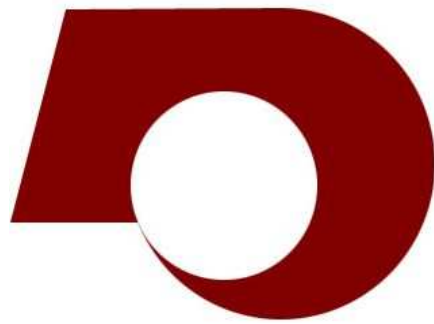


令和6～7年度（2024～2025年度）

熊本県農業動向年報



がんばるけん！

くまもとけん！



©2010 熊本県くまモン

熊本県農林水産部

はじめに

ここに、令和6～7年度（2024～2025年度）の熊本県農業動向年報を発行いたします。

本年報は、最近の本県における農業構造、農家経済及び農業生産の動向等について取りまとめたものですので、業務等に御活用いただければ幸いに存じます。

また、年報の作成にあたって、貴重な資料を提供していただきました関係機関の方々に対し、厚く御礼申し上げます。

令和8年（2026年）6月

熊本県農林水産部

目次

| | | |
|------------|--------------------------------|----|
| 第1章 | 農業経済及び農家経済の動向 | |
| (第1節) | 農業経済の動向 | |
| 第1 | 県内経済の動向 | 1 |
| 第2 | 主要指標からみた農業経済の動向 | 2 |
| (第2節) | 農家経済の動向 | 3 |
| (第3節) | 経済連携協定等の動向 | |
| 第1 | CPTPP協定 | 4 |
| 第2 | 日EU・EPA | 8 |
| 第3 | 日米貿易協定 | 9 |
| 第4 | RCEP（地域的な包括的経済連携） | 10 |
| 第5 | 経済連携協定等が与える農業・農家経済への影響 | 11 |
| 第6 | EPA及びFTAのこれまでの動きと今後の見通し | 12 |
| 第2章 | 多彩な担い手の育成・確保（農業経営環境の変化） | |
| (第1節) | 就業構造の変化 | |
| 第1 | 農業者の就業構造 | 15 |
| 第2 | 農業労働力の動向 | 16 |
| 第3 | 認定農業者の動向 | 17 |
| 第4 | 農業法人の動向 | 18 |
| 第5 | 地域営農組織の動向 | 18 |
| 第6 | 企業等の農業参入の動向 | 20 |
| 第7 | 農業後継者の確保状況 | 21 |
| 第8 | 女性の経営参画と社会参画の状況 | 23 |
| 第9 | 農業分野における外国人材雇用状況 | 24 |
| (第2節) | 経営構造の変化 | |
| 第1 | 農業者の動向 | 25 |
| 第2 | 経営組織 | 26 |
| (第3節) | 耕地及び地価の動向 | |
| 第1 | 耕地面積の動向 | 27 |
| 第2 | 農地移動の動向 | 29 |
| 第3 | 耕作放棄地の動向 | 32 |
| (第4節) | 農業投資及び金融の動向 | |
| 第1 | 農業固定資産の動向 | 33 |
| 第2 | 農業農村整備投資の動向 | 33 |
| 第3 | スマート農業機械の普及の動向 | 34 |
| 第4 | 農業金融の動向 | 36 |

第3章 農産物の生産、流通及び価格の動向

| | |
|---------------------------------|-----|
| (第1節 農産物の価格や農業産出額等の動向) | |
| 第1 農産物価格及び農業生産資材価格の動向 | 37 |
| 第2 農業産出額及び生産農業所得 | 39 |
| 第3 農業生産性の動向 | 42 |
| 第4 食料自給率の動向 | 43 |
| (第2節 気象の動向と農業気象災害の発生状況) | |
| 第1 気象の動向 | 45 |
| 第2 農業気象災害の発生状況 | 46 |
| (第3節 新たな流通販売の促進) | |
| 第1 県内及び県外流通 | 47 |
| 第2 農畜産物輸出 | 48 |
| 第3 農産加工と6次産業化 | 50 |
| 第4 農林水産物の輸送問題（物流の2024年問題）に対する対応 | 51 |
| (第4節 水稻、麦、大豆の生産、流通及び価格の動向) | |
| 第1 水稻の生産、流通及び価格の動向 | 54 |
| 第2 麦の生産、流通及び価格の動向 | 62 |
| 第3 大豆の生産、流通及び価格の動向 | 66 |
| (第5節 野菜、果実、花きの生産、流通及び価格の動向) | |
| 第1 野菜の生産、流通及び価格の動向 | 68 |
| 第2 果実の生産、流通及び価格の動向 | 77 |
| 第3 花きの生産、流通及び価格の動向 | 80 |
| (第6節 工芸作物の生産、流通及び価格の動向) | |
| 第1 いぐさの生産、流通及び価格の動向 | 83 |
| 第2 茶の生産、流通及び価格の動向 | 85 |
| 第3 葉たばこの生産、流通及び価格の動向 | 86 |
| (第7節 畜産物の生産、流通及び価格の動向) | |
| 第1 乳用牛の生産、流通及び価格の動向 | 87 |
| 第2 肉用牛の生産、流通及び価格の動向 | 90 |
| 第3 豚の生産、流通及び価格の動向 | 94 |
| 第4 採卵鶏の生産、流通及び価格の動向 | 96 |
| 第5 ブロイラーの生産、流通及び価格の動向 | 97 |
| 第6 養蜂の生産、流通及び価格の動向 | 98 |
| 第7 飼料の生産、流通及び価格の動向 | 99 |
| 第8 家畜伝染病等の発生動向 | 102 |
| (第8節 その他農産物の生産、流通及び価格の動向) | 104 |

| | |
|--------------------------------|-----|
| (第9節 環境に配慮した農業の動向) | |
| 第1 地下水と土を育む農業の推進 | 105 |
| 第2 総合的な病虫害防除の推進 | 107 |
| 第3 家畜排せつ物の管理の適正化と有効利用の推進 | 108 |
| 第4 農業用廃プラスチック類等の適正処理の推移 | 109 |
| (第10節 新たな技術の開発と普及) | |
| 第1 県オリジナル品種・高品質生産技術の開発 | 110 |
| 第2 低コスト・省力化生産技術の開発 | 111 |
| 第3 環境に配慮した生産技術の開発 | 111 |
| 第4 新品種及び先端技術の普及定着 | 111 |
| 第5 農産物加工技術の開発と普及 | 114 |
| 第6 情報ネットワークなどを活用した新技術等の迅速な提供 | 115 |
| (第11節 農業生産基盤の整備) | |
| 第1 農業生産基盤の整備 | 116 |
| 第2 田んぼダムの取組み | 117 |
| 第4章 活力とうるおいのある農村の形成 | |
| (第1節 快適で安全な農村の生活環境の整備) | 118 |
| (第2節 中山間地域の農業の活性化) | |
| 第1 中山間地域の指標の変化 | 118 |
| 第2 鳥獣被害防止対策の推進 | 119 |
| 第3 捕獲鳥獣のジビエ活用 | 120 |
| (第3節 日本型直接支払制度の実施状況) | |
| 第1 多面的機能支払制度 | 122 |
| 第2 中山間地域等直接支払制度 | 123 |
| 第3 環境保全型農業直接支払制度 | 124 |
| (第4節 農業団体の経営基盤と活動の充実強化) | |
| 第1 農業協同組合 | 125 |
| 第2 農業共済組合 | 125 |
| 第5章 生産者と消費者との共生 | |
| (第1節 都市と農村の交流) | 127 |
| (第2節 農業・農村への理解促進) | |
| 第1 市民農園の設置状況等について | 129 |
| 第2 「くまもとふるさと食の名人」による食文化伝承活動の推進 | 129 |
| 第3 地産地消協力店の指定 | 130 |
| 第4 「熊本県地産地消サイト」及びSNSを活用した情報提供 | 130 |
| 第5 県民と一体的に行う地産地消推進の取組み | 131 |
| 第6 直売所の振興 | 131 |

| | | |
|-------|--------------|-----|
| 第6章 | 令和7年8月豪雨への対応 | |
| (第1節) | 被害について | 132 |
| (第2節) | 発災初期における県の動き | |
| 第1 | 被害状況の把握 | 133 |
| 第2 | 国への要望 | 133 |
| (第3節) | 農畜産業者への支援 | |
| 第1 | 金融支援 | 134 |
| 第2 | 農業者の営農支援 | 134 |
| 第3 | 品目毎の支援 | 135 |
| 第4 | 農業機械・施設等の復旧 | 136 |
| 第5 | 畜産業者の営農支援 | 136 |
| (第4節) | 農地・農業用施設の復旧等 | |
| 第1 | 農地・農業用施設の復旧 | 137 |
| 第2 | 市町村支援 | 137 |
| | 利用にあたって | 138 |
| | 付属資料 | 142 |

第1章 農業経済及び農家経済の動向

第1節 農業経済の動向

第1 県内経済の動向

(県経済に占める農業の割合は
ほぼ前年並み)

令和5年度(2023年度)の県経済の成長率は、名目値は前年比1.8%増、実質値は0.4%減となった。

また、新型コロナウイルス感染症対策等の資金繰り支援が企業倒産を抑制していたが、これらの支援が終了する中で再生が困難な企業が整理され始めたことから、倒産件数は、前年比43.8%と、大幅に増加した。

(表I-1-(1))

経済成長率を業種別に見ると、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた社会経済活動が緩やかに持ち直したため、宿泊・飲食サービス業が大幅に増加し、全体ではわずかに増加した。

農業では、農産物の販売価格の上昇、輸出の拡大等の要因により、前年比11.4%とかなり大きく増加した。

(表I-1-(2))

県内の総生産額に対する農業の割合、土地面積に占める耕地の割合、県内就業者数に占める農林水産業従事者数の割合はともに、ほぼ前年となった。(図I-1-(1))

表I-1-(1) 県の経済成長率と主要経済指標の推移
(対前年比増減率)

| 項目 | 単位 | H27 | R2 | R4 | R5 |
|-----------|----|-------|--------|-------|-------|
| 経済成長率(名目) | | 2.7 | △ 3.4 | 2.6 | 1.8 |
| (実質) | | 1.4 | △ 4.0 | 2.0 | △ 0.4 |
| 大型小売店販売額 | | △ 1.4 | △ 1.8 | 4.2 | 6.6 |
| 鉱工業生産指数 | % | 3.7 | △ 10.8 | 8.0 | △ 3.3 |
| 新設住宅着工件数 | | △ 4.8 | △ 13.9 | △ 1.8 | 6.2 |
| 消費者物価指数 | | 0.9 | △ 0.3 | 2.2 | 3.4 |
| 企業倒産件数 | | 9.2 | 10.3 | 9.1 | 43.8 |
| 有効求人倍率 | 倍 | 1.12 | 1.24 | 1.42 | 1.34 |

資料) 九州財務局「管内主要経済指標」
県企画振興部「県民経済計算報告書」

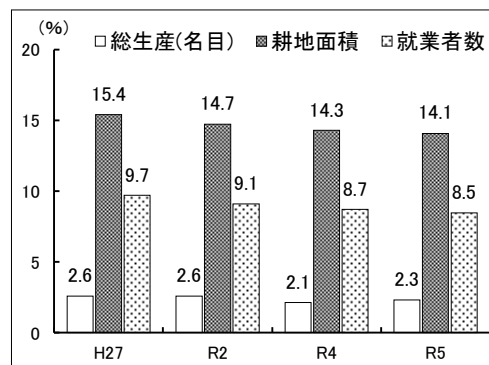
注) 経済成長率は年度、消費者物価指数は熊本市

表I-1-(2) 経済成長率と農業総生産の増減率の推移
(対前年度増減率)

| 項目 | H27 | R2 | R4 | R5 |
|--------------|-------|--------|--------|-------|
| 県内総生産(名目) | 2.7 | △ 3.4 | 2.6 | 1.8 |
| うち農林水産業 | 7.9 | △ 0.2 | △ 8.0 | 11.3 |
| うち農業 | 8.0 | 2.0 | △ 9.9 | 11.4 |
| うち鉱業 | 1.5 | △ 1.2 | 23.1 | △ 1.8 |
| うち製造業 | 7.3 | 9.5 | 8.0 | △ 4.8 |
| うち建設業 | 2.7 | △ 2.8 | 4.2 | 3.0 |
| うち卸売・小売業 | 1.0 | △ 6.5 | 2.5 | 4.7 |
| うち運輸・郵便業 | 4.6 | △ 31.1 | 12.0 | 6.6 |
| うち宿泊・飲食サービス業 | △ 1.5 | △ 42.9 | 21.9 | 36.6 |
| 国内総生産 | 3.9 | △ 3.1 | 2.0 | 5.3 |
| うち農業総生産 | 6.3 | 0.4 | △ 12.3 | 0.0 |

資料) 内閣府「国民経済計算」
県企画振興部「県民経済計算報告書」

図I-1-(1) 県全体の産業及び面積における農業の割合



資料) 農林水産省「作物統計」
県企画振興部「県民経済計算報告書」

注) 就業者数は、農林水産業の就業者数及び雇用量

第2 主要指標からみた農業経済の動向

(令和6年(2024年)の農業産出額はかなりの程度増加)

令和6年(2024年)の農業産出額は、前年と比べ肉用牛や鶏卵等が減少した一方で、米や野菜、果実等が増加したことから、4,116億円(前年比109.6%)とかなりの程度増加し、生産農業所得は1,744億円(前年比112.2%)とかなり大きく増加した。

令和2年(2020年)を100としたときの令和6年(2024年)における農産物価格指数(全国値)は、鶏卵、葉茎菜、花き類等の販売単価上昇を受けて、前年より8.0%増加し117.3となった。(付属資料Ⅲ-1-(4))

また、農業生産資材価格指数(全国値)は、前年に比べて農機具等の価格が上昇したものの、肥料等の価格はやや減少したことから、ほぼ前年並みの120.6(前年比99.4%)となり、農産物と農業生産資材の相対価格関係の変化を示す農業の交易条件指数(農業生産資材価格指数に対する農産物価格指数の比率)は、前年よりかなりの程度増加し、97.3(前年比108.6%)となった。(表I-1-(3))

表I-1-(3) 県の農業経済関係指標の推移

| 項目 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 対前年比増減率(%) | | |
|------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|-------|
| | | | | | | | | | | R4/R3 | R5/R4 | R6/R5 |
| 農業産出額 | 億円 | 3,102 | 3,071 | 3,348 | 3,407 | 3,477 | 3,512 | 3,757 | 4,116 | 1.0 | 7.0 | 9.6 |
| 生産農業所得 | " | 1,136 | 1,080 | 1,177 | 1,495 | 1,485 | 1,446 | 1,554 | 1,744 | △ 2.6 | 7.5 | 12.2 |
| 耕地面積 | 千ha | 120.4 | 117.4 | 114.1 | 109.1 | 107.5 | 105.9 | 104.3 | 103.3 | △ 1.5 | △ 1.5 | △ 1.0 |
| 販売農家数 | 千戸 | 54.3 | 46.5 | 40.1 | 32.5 | — | — | 26.3 | — | — | — | — |
| 基幹的農業従事者数 | " | 82.0 | 73.0 | 65.2 | 51.8 | 51.9 | 47.8 | 43.5 | 41.3 | △ 7.9 | △ 9.0 | △ 5.1 |
| 農産物価格指数 | R2年=100 | 82.2 | 83.7 | 90.1 | 100.0 | 100.8 | 102.2 | 108.6 | 117.3 | 1.4 | 6.3 | 8.0 |
| 農業生産資材価格指数 | " | 80.8 | 88.8 | 98.2 | 100.0 | 106.7 | 116.6 | 121.3 | 120.6 | 9.3 | 4.0 | △ 0.6 |
| 農業交易条件指数 | " | 101.7 | 94.3 | 91.8 | 100.0 | 94.5 | 87.7 | 89.5 | 97.3 | △ 7.2 | 2.1 | 8.6 |

資料) 農林水産省「農業生産指数」、「生産農業所得統計」、「農林業センサス」、「作物統計」

注) 農業産出額については、H19年から推計方法が変更されたため、過年次との比較の際には注意が必要

注) 基幹的農業従事者数はR2から調査項目の見直しされたため、過年次との比較の際には注意が必要

第2節 農家経済の動向

(個人経営体の農業所得はかなり大きく減少)

令和6年(2024年)の1農業経営体あたりの所得は、農業所得が前年より50万円(前年比133.8%)増加したが、農外所得(調査対象者が営む林業、漁業、商工業等農業以外の所得)が前年より74万円減少したため、農家所得全体では、前年より24万円(前年比86.3%)減少し、149万円となった。(図I-2-(1))

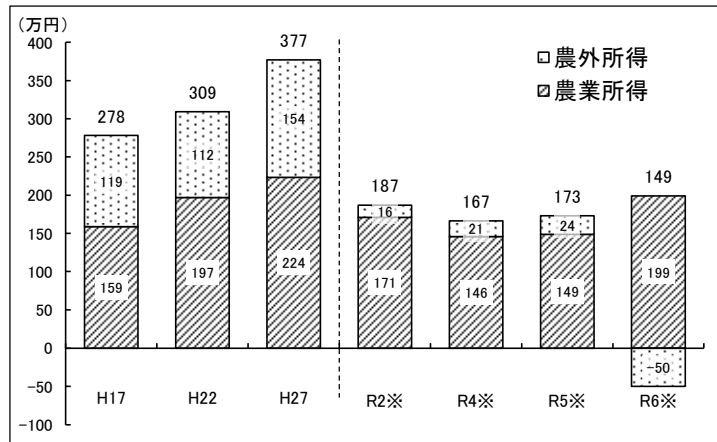
農業粗収益は、稲作が大幅に増加、野菜や畜産においてもかなり大きく増加したことから、全体では前年と比べ11.5%増加し約1,236万円となった。

(表I-2-(1))

農業経営費は、前年と比べて9.7%増加し1,037万円となったが、農業粗収益の増加に伴い、農業所得率は2.5ポイント上昇し16.1%となった。

(図I-2-(2))

図I-2-(1) 農家所得の推移



資料)「農業経営統計調査(営農類型別統計)」

※令和元年以降は九州平均値(調査の見直しにより、県別データは公表されなくなった)かつ個人経営体の数値。

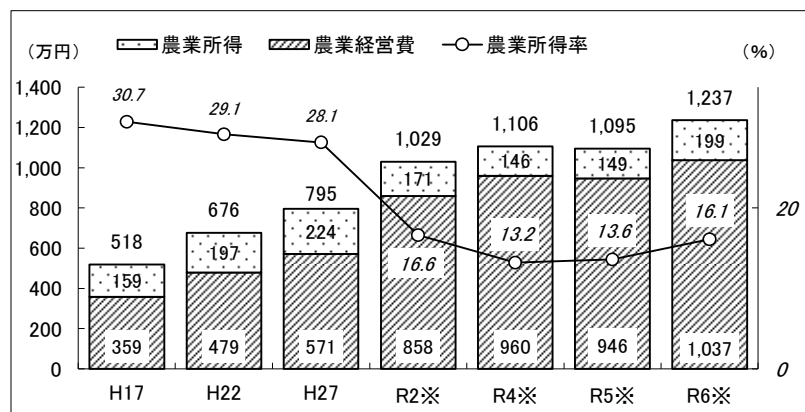
表I-2-(1) 作物別農業粗収益の推移

| 作目名 | 単位 | 稲作 | 野菜 | 果樹 | 工作 芸物 | 畜産 | 全体 |
|----------|----|-------|-------|-------|----------|-------|---------|
| R6年 | 万円 | 106.8 | 353.9 | 139.0 | 37.6 | 335.0 | 1,236.5 |
| R5年 | 万円 | 77.4 | 299.9 | 133.9 | 42.6 | 292.5 | 1,094.5 |
| R4年 | 万円 | 60.5 | 309 | 138.6 | 44.4 | 314 | 1,105.5 |
| R6/R5増減率 | % | 27.5 | 15.3 | 3.7 | △13.3 | 12.7 | 11.5 |
| R5/R4増減率 | % | 21.8 | △3.0 | △3.5 | △4.2 | △7.4 | △1.0 |

資料)農林水産省「農業経営統計調査(営農類型別統計)」

※平成29年以降は九州平均値(調査の見直しにより、県別データは公表されなくなった)。

図I-2-(2) 農業経営費及び農業所得率の推移



資料)「農業経営統計調査(営農類型別経営統計)」

注) 農業粗収益 = 農業所得 + 農業経営費

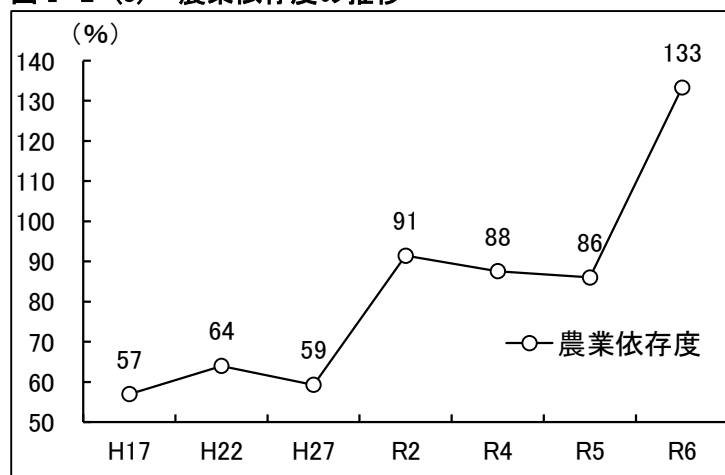
農業所得率 = (農業所得 ÷ 農業粗収益) × 100

※平成29年以降は九州平均値(調査の見直しにより、県別データは公表されなくなった)かつ個人経営体の数値。

次に、令和6年（2024年）の農業依存度は、農外事業所得が-50万円であったことから、133%（前年比47ポイント増加）となった。

（図 I -2-(3)）

図 I -2-(3) 農業依存度の推移



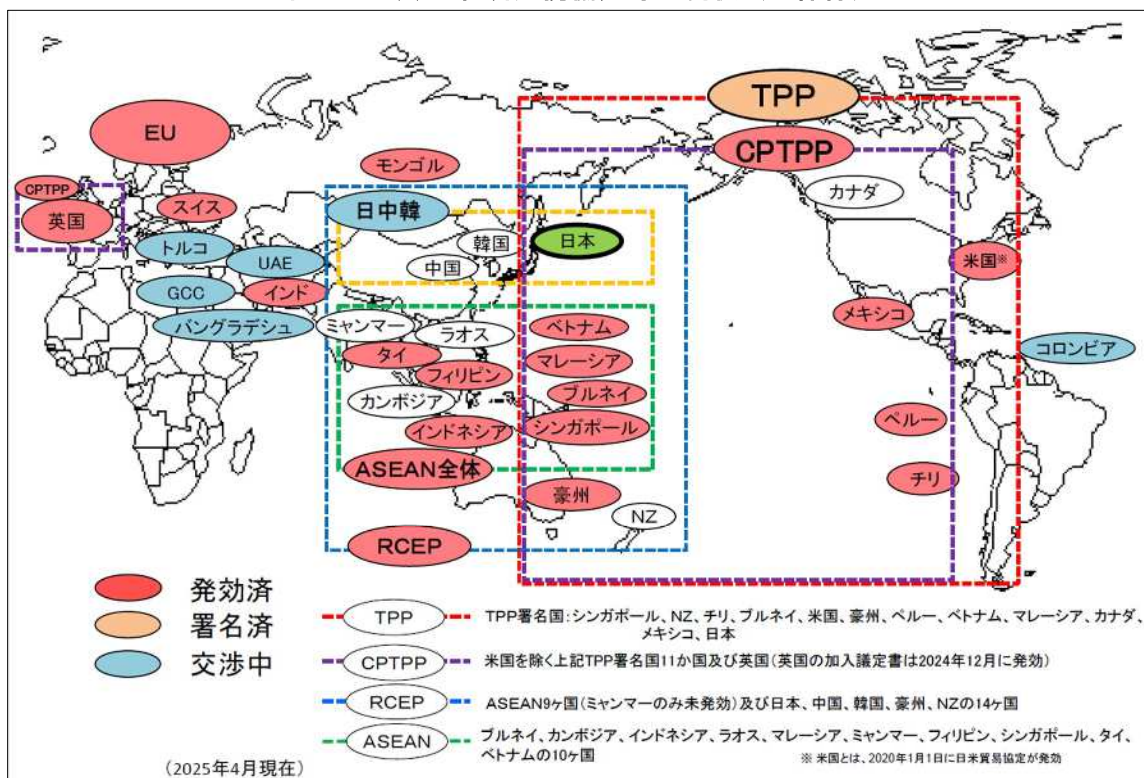
資料)「農業経営統計調査（営農類型別経営統計）」

注) 農業依存度＝農業所得÷（農業所得＋農業生産関連事業所得＋農外事業所得）×100

※平成30年までは販売農家、令和元年からは個人経営体の数値。

第3節 経済連携協定等の動向

図 I-3-(1) 経済連携協定等の現状（全体像）



資料) 農林水産省 輸出・国際局「経済連携交渉等の状況について(農林水産関係)」

第1 CPTPP協定

1 CPTPP協定のこれまでの動き

CPTPP協定(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)については、平成29年(2017年)11月10日に大筋合意、平成30年(2018年)3月8日に11か国による署名が行われ、協定文が確定した。

これを受けて政府は国内手続きに着手し、平成30年(2018年)6月13日に協定の承認が、6月29日に関連法案が成立し、国内手続きが完了した。(表 I-3-(1))

平成30年(2018年)12月30日に、日本、メキシコ、シンガポール、ニュージーランド、カナダ、オーストラリアでCPTPPが発効した。続いて、平成31年(2019年)1月14日にベトナム、令和3年(2021年)9月19日にペルー、令和4年(2022年)11月29日にマレーシア、令和5年(2023年)2月21日にチリ、令和5年(2023年)7月21日にブルネイにおいても発効した。

また、新たにイギリスの加入に向けて、令和6年(2024年)12月15日までに原署名国である11か国のうち9か国(日本、シンガポール、チリ、ニュージーランド、ベトナム、ペルー、マレーシア、ブルネイ、オーストラリア)で国内手続きが完了し、イギリスのCPTPP加入に関する議定書が発効している。(カナダとメキシコは未批准。)

さらに、コスタリカについては、令和6年(2024年)11月28日にTPP委員会が開催され、加入作業部会設置が決定し、令和8年(2026年)5月6日に実質的な妥結

(合意)に至っている。

なお、関税水準は、日本で毎年4月に、その他の国で毎年1月に次年目に切り替わることになっており、令和8年(2026年)4月1日に日本は9年目の関税水準に移行した。

協定の発効以後、農畜産物の急激な輸入量増加とはなっていないものの、今後も輸入動向の注視が必要である。

《参考：CPTPP協定の概要》

- ・環太平洋パートナーシップ(TPP)協定からの離脱を表明した米国以外の国の11か国間で交渉・署名したもの。
- ・合意内容としては、米国が離脱する前の従来のTPP協定のうち、市場アクセス(農林水産物を含む関税の撤廃削減等)は維持し、医薬品(生物製剤)のデータ保護期間などの知的財産や投資の規定など22項目を、米国が復帰するまで凍結(効力を停止)することとなった。また、「TPP12の発効が見込まれる場合又は見込まれない場合に、いずれかの締約国の要請があったときは、この協定の見直しを行う」と規定されている。
- ・国が、国内の農林水産業に悪影響を与えないよう粘り強く交渉を行い、農林水産物の約2割(18%)を関税撤廃の例外とした。一方、牛肉、水産物など、我が国の農林水産物・食品の輸出関心の高い品目の全てで関税撤廃を獲得。
- ・英国の加入については、日英EPAでは関税が撤廃されなかった精米等の関税撤廃を獲得。
- ・関税水準は、日本で毎年4月に、その他の国で毎年1月に次年目に切り替わる。

表 I-3-(1) TPPおよびCPTPP協定交渉の経緯及び国・県の対応(～R8年4月)

| 日程 | 国の動き(交渉状況等) | 県の動き(県・県議会) |
|----------|---|---|
| H27.10.5 | TPP協定が大筋合意 | 10.6 県議会意見書 |
| 10～11月 | 定性的影響公表 | 11.17 知事・議長政府提案 |
| 12.24 | 経済効果分析公表(定量的影響公表) | 12.10 定性影響公表 12.17 県議会意見書 |
| | | 2.22 定量影響公表 2.29 県議会意見書 10.4 県議会意見書 |
| H28.12.9 | 国会で議決(日本) | 10.27 知事・議長政府提案 |
| H29.1月 | 米国離脱(トランプ大統領がTPPから永久離脱する大統領令に署名) | 12.12 TPP対策特別委員会(⇒設置終了) 12.19 県議会意見書 |
| 5.2,3 | CPTPP交渉開始(閣僚会合) | |
| ～ | 首席交渉官会合等を8回程度開催 | 6.6,7 知事政府提案 |
| 11.10 | 大筋合意(TPP閣僚会合で確認) | 11.7,8 知事政府提案 |
| 11.24 | TPP関連政策大綱改訂 | 11.28 国への要望活動 12.11 定性的影響公表 |
| 12.21 | CPTPP、日EU・EPA影響試算公表 | 11.28 国への要望活動 |
| 12.22 | 補正予算閣議決定 | 12.11 定性的影響公表 |
| H30.1.23 | 首席交渉官会合(凍結は22項目で合意) | |
| 2月 | 補正予算成立 | 2.26 定量的影響公表 |
| 3.8 | CPTPP協定署名 | ○完了済(原署名国) メキシコ(H30.6.28)、日本(H30.7.6)、シンガポール(H30.7.19)、 ニュージーランド(H30.10.25) カナダ(H30.10.26)、オーストラリア(H30.10.31) ベトナム(H30.11.15) ペルー(R3.7.21)、マレーシア(R4.11.29)、 チリ(R5.2.21)、ブルネイ(R5.7.21) ○新規加入 英国(R6:9か国が英国の加入に関する議定書を発効) コスタリカ(R6.11.28 加入手続の開始、R8.5.6 実質的な妥結(合意)) |
| 7.6 | (日本)協定承認(6.13) 関連法案(6.29)成立 ⇒国内手続き完了(7.6) | |
| 12.21 | H30補正予算閣議決定 | |
| 12.30 | 発効 ← | |
| | | |

| | | | |
|------------|---------------|---------------------------------------|--------------|
| H31. 1. 19 | TPP委員会（第1回） | | |
| | | 3. 15 国への要望活動 | 3. 15 意見書採択 |
| R2. 4. 1 | 関税水準が3年目に切り替え | 5. 15 政府提案 11. 9, 10 政府提案 | 12. 15 意見書採択 |
| R3. 4. 1 | 関税水準が4年目に切り替え | 5. 25, 26 政府提案 10. 27 政府提案 | |
| R4. 4. 1 | 関税水準が5年目に切り替え | 5. 26, 27 政府提案 10. 17 政府提案 | |
| R5. 4. 1 | 関税水準が6年目に切り替え | 5. 24, 25, 26 政府提案 11. 1 政府提案 | |
| R6. 4. 1 | 関税水準が7年目に切り替え | 5. 22, 23, 24 政府提案 11. 12, 13 政府提案 | |
| R7. 4. 1 | 関税水準が8年目に切り替え | 6. 2, 3, 4 政府提案 11. 4, 5, 7 政府提案 | |
| R8. 4. 1 | 関税水準が9年目に切り替え | 6. 1, 2, 3 政府提案 11月 政府提案 | |

国資料や各種報道等を基に作成

2 CPTPP協定の今後の動向

令和8年（2026年）4月現在、中国、台湾、エクアドル、ウルグアイ、ウクライナ、インドネシアが加入申請を行っており、加入の是非については、TPP委員会での協議が必要となる。

加入に向けては、基本的に貿易や投資ルール分野で高い自由化の基準を受け入れることが前提で、関税分野はそれぞれ2国間で交渉を行うこととなる。

第2 日EU・EPA

1 日EU・EPAのこれまでの動き

日EU・EPA（経済連携協定）は、平成25年（2013年）3月から交渉を開始し、平成29年（2017年）7月6日に大枠合意、12月8日に交渉妥結、平成30年（2018年）7月17日に署名が行われ、協定文が確定した。

その後の国内手続きについて、日本では平成30年（2018年）12月8日に、EUは欧州理事会で12月20日にそれぞれ完了し、平成31年（2019年）2月1日に発効した。また、令和8年（2026年）4月1日には、関税水準が9年目に移行した。（表I-3-(2)）

《参考：日EU・EPAの概要》

- ・農林水産物の輸入に関し、米について撤廃除外を確保。一方、牛肉、茶、水産物などの輸出関心品目を含め、ほぼ全ての品目で関税撤廃を獲得（ほとんどが即時撤廃）。
- ・関税水準は、日本で毎年4月に次年目へ切り替わる。

表I-3-(2) 日EU・EPAをめぐる状況（～R7年4月）

| 日程 | 国の動き（交渉状況等） |
|----------------|--------------------------------------|
| H25.3月 | 日EU首脳電話会談で交渉開始 第1回～21回交渉官会合・閣僚会合等 |
| H29.7.6 | 大枠合意 |
| 11.2 | 定性的な影響公表 |
| 12.8 | 交渉妥結（ISDS分野を除いて最終合意） |
| 12.21 | TPP11、日EU・EPA経済効果分析（影響試算）公表 |
| H30.2月 | 補正予算成立 |
| 7.17 | 署名 |
| | 日本は臨時国会で12.8に成立 EUは欧州理事会で12.20に決定 |
| 12.21 | H30補正予算閣議決定 |
| H31.2.1 | 協定発効 |
| R2.4.1 | 関税水準が3年目に切り替え |
| R3.4.1 | 関税水準が4年目に切り替え |
| R4.4.1 | 関税水準が5年目に切り替え |
| R5.4.1 | 関税水準が6年目に切り替え |
| R6.4.1 | 関税水準が7年目に切り替え |
| R7.4.1 | 関税水準が8年目に切り替え |
| R8.4.1 | 関税水準が9年目に切り替え |

国資料や各種報道等を基に作成

2 日EU・EPAの今後の動向

今後、段階的に関税が引き下げられる中で、輸入増加の動きが引き続き強まる可能性とも報じられており、引き続き輸入動向の注視が必要である。

第3 日米貿易協定

1 日米貿易協定のこれまでの動き

令和2年（2020年）1月1日、日米貿易協定が発効した。これは、CPTPP協定、日EU・EPAに続く、大型協定となった。

この協定は、平成30年（2018年）9月26日の日米首脳会談において、「日米物品貿易協定（TAG: Trade Agreement on goods）」として交渉開始が合意され、共同声明では「過去の経済連携協定で約束した市場アクセスの譲許内容が最大限」と記載された。平成31年（2019年）4月24日から交渉を開始し、わずか5か月後の令和元年（2019年）9月26日に最終合意に達した。その後、国会での承認手続きを経て、令和2年（2020年）1月1日に協定発効となり、令和8年（2026年）4月には、日本の関税水準は8年目に移行した（表I-3-(3)）。

《参考：日米貿易協定の主な概要》

- ・農林水産品に係る日本側の関税について、TPPの範囲内に抑制。コメは除外。農林水産品の関税撤廃率は、大幅に低い約37%。一方、我が国の輸出関心が高い42品目（醤油、ながいも、切り花、柿等）の関税削減・撤廃を獲得。

表I-3-(3) 日米貿易協定を巡る状況（～R8年4月）

| 日程 | 内容 | 詳細 |
|------------|-------------------|---|
| H29. 2. 10 | 日米首脳会談 | 日米2国間の「経済対話」実施を合意 |
| 4. 18 | 日米経済対話① | 財政政策、インフラ、2国間の貿易等の3分野で協議。米国トランプ大統領は、対日貿易赤字の不均衡是正を強調したが、日米FTAに言及せず、日米経済対話の継続を訴える |
| 10. 16 | 日米経済対話② | |
| 11. 6 | 日米経済対話③ | |
| H30 | 日米経済対話 事務レベル交渉 | |
| 4. 17, 18 | 日米首脳会合 | TPPを巡って、新たな貿易協議を行うことで合意。 |
| 8. 9 | 新たな貿易協議① | 自動車への追加関税や農産品の関税分野に関する議論も行われ、関税協議を含む貿易促進の枠組みづくりで一致 |
| 9. 25 | 新たな貿易協議② | |
| 9. 26 | 日米首脳会合 | 日米TAG交渉の開始を合意 |
| 10. 16 | | 米国議会へ日米TAG交渉開始を通知 |
| 12. 21 | | 米国通商代表部は、日本との貿易交渉の方針を発表 |
| H31. 4. 24 | | 日米物品貿易協定（TAG）交渉開始 |
| R1. 9. 26 | 日米首脳会談 | 最終合意 |
| 10. 8 | | 正式署名 |
| 12. 4 | (日本)臨時国会 | 協定の承認 |
| R2. 1. 1 | | 協定発効 |
| R2. 4. 1 | | 関税水準が2年目に移行 |
| R3. 4. 1 | | 関税水準が3年目に移行 |
| R4. 4. 1 | | 関税水準が4年目に移行 |
| R5. 4. 1 | | 関税水準が5年目に移行 |
| R6. 4. 1 | | 関税水準が6年目に移行 |
| R7. 4. 1 | | 関税水準が7年目に移行 |
| R8. 4. 1 | | 関税水準が8年目に移行 |

国資料や各種報道等を基に作成

2 日米貿易協定の今後の見通し

令和7年（2025年）4月に、米国から相互関税を設定するとの発表があり、同年7月までの交渉の結果、農産品を含め、日本側の関税を引き下げることには含まれていないことで合意され、同年9月に大統領令の署名がなされた。

県としては、日米貿易協定で合意された関税等の内容を堅持することに加え、相互関税に関する米国との交渉において、コメや牛肉など重要品目などを含め農林水産品の輸入に関し現行の合意内容以上に踏み込んで譲歩が行われないう国へ要望するとともに、引き続き動向を注視していく。

第4 RCEP（地域的な包括的経済連携）

RCEPは平成24年（2012年）11月に交渉立上げを宣言し、令和2年（2020年）11月に合意・署名された。

その後、令和3年（2021年）4月に日本国内の手続きが完了、日本以外の国でも手続きが完了し、協定発効の条件を満たしたことから、令和4年（2022年）1月1日に日本や中国など10か国で協定が発効した。また、韓国は令和4年（2022年）2月1日、マレーシアは同年3月18日、インドネシアは令和5年（2023年）1月2日、フィリピンは同年6月2日に協定が発効した。（表I-3-(4)）

《参考：RCEPの主な概要》

- ・輸出する重要5品目（米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物）について、関税削減・撤廃を除外。中国に対しては、鶏肉調製品や野菜等（たまねぎ、ねぎ、にんじん、しいたけ、冷凍さといも、冷凍ブロッコリー、うなぎ調製品等）の関税削減・撤廃を除外。一方輸入については、中国からははたて貝、韓国からはキャンディー・板チョコレート等の菓子、インドネシアからは牛肉等の関税撤廃を獲得。

表I-3-(4) RCEPを巡る状況（～R7年4月）

| 日程 | 国の動き（交渉状況等） |
|------------|--|
| H24. 11 月 | RCEP交渉立上げを宣言 |
| R2. 11. 11 | インドを除く15か国での妥結に合意 |
| R2. 11. 15 | 合意・署名 |
| R3. 4. 28 | 日本国内の手続き完了 |
| R4. 1. 1 | 発効 |
| R4. 4. 1 | 関税水準が2年目に切り替え（日本、インドネシア、フィリピン） ※その他の国は毎年1月1日に切り替え |
| 2. 1 | 韓国発効 |
| 3. 18 | マレーシア発効 |
| R5. 1. 2 | インドネシア発効 |
| 4. 1 | 関税水準が3年目切り替え（日本、インドネシア、フィリピン） ※その他の国は毎年1月1日に切り替え |
| 6. 2 | フィリピン発効 |
| R6. 4. 1 | 関税水準が4年目切り替え（日本、インドネシア、フィリピン） ※その他の国は毎年1月1日に切り替え |
| R7. 4. 1 | 関税水準が5年目切り替え（日本、インドネシア、フィリピン） ※その他の国は毎年1月1日に切り替え |
| R8. 4. 1 | 関税水準が6年目切り替え（日本、インドネシア、フィリピン） ※その他の国は毎年1月1日に切り替え |

国資料や各種報道等を基に作成

第5 経済連携協定等が与える農業・農家経済への影響

1 本県農林水産業への影響

県では、経済連携協定等が与える県内農林水産物への影響額を試算した（平成30年（2018年）2月26日および令和2年（2020年）1月20日に公表）。

その結果影響試算額は、CPTTPで55～94億円、日EU・EPAで28～57億円、日米貿易協定で40～77億円となった。（表I-3-(5)）

《参考：県農林水産物への影響試算》

県では、県内農林水産物への影響をできる限り幅広く整理する観点から、国の試算を参考にした「価格への影響」に、県独自として「価格下落に伴う生産量への影響」や「コメや野菜等の品目への影響」を上乗せして、影響試算を実施。

表I-3-(5) 県産農林畜水産物への影響

| 品目 | 熊本県の影響試算額 | | |
|-------|-------------------|--------------------|------------------|
| | CPTTP H30.12発効 | 日EU EPA H31.2発効 | 日米貿易協定 R2.1発効 |
| 米 | 1.1 | - | - |
| 小麦 | 0.9～1.9 | - | 1.2 |
| 大麦 | 0.2 | - | ... |
| 牛肉 | 24.8～48.8 | 7.7～15.1 | 21.4～41.8 |
| 豚肉 | 10.4～20.0 | 9.8～19.3 | 8.3～16.6 |
| 牛乳乳製品 | 3.4～5.8 | 2.4～5.4 | 1.9～3.4 |
| かんきつ | 2.4～4.9 | 0.2～0.5 | 5.4～10.6 |
| 鶏肉 | ... | - | 0.9～1.6 |
| 鶏卵 | ... | ... | 0.6～1.1 |
| 野菜 | 5.2 | - | 0.3 |
| 林産物 | 6.1 | 8.2～16.4 | - |
| 水産物 | ...～0.2 | - | - |
| 合計 | 55～94 | 28～57 | 40～77 |

2 県の対応の方向性

TPPや日米貿易協定など、諸外国との経済連携の進展は、わが国にとって工業製品の輸出拡大等の経済効果が生じる一方で、農林水産物の市場開放が求められることから、本県の基幹産業である農林水産業への影響が懸念される。そのため、経済連携協定等の交渉の行方に関わらず、稼げる農林水産業の実現に向けてゆるまなく取り組んでいく必要がある。

《参考1：国における「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策（農林水産分野）》

- 令和7年度 補正予算 (R7. 11. 28 閣議決定、R7. 12. 16 国会成立)：国 未公表
- 令和6年度 補正予算 (R6. 11. 22 閣議決定、R6. 12. 17 国会成立)：2,449 億円
- 令和5年度 補正予算 (R5. 11. 10 閣議決定、R5. 11. 29 国会成立)：2,527 億円
- 令和4年度 補正予算 (R4. 11. 8 閣議決定、R3. 12. 2 国会成立)：3,050 億円
- 令和3年度 補正予算 (R3. 11. 26 閣議決定、R3. 12. 20 国会成立)：3,200 億円
- 令和2年度 補正予算 (R2. 12. 15 閣議決定、R3. 1. 28 国会成立)：3,220 億円
- 令和元年度 補正予算 (R1. 12. 13 閣議決定、R2. 1. 30 国会成立)：3,250 億円
- 平成30年度補正予算 (H30. 12. 21 閣議決定、H31. 2. 7 国会成立)：3,188 億円
- 平成29年度補正予算 (H29. 12. 22 閣議決定、H30. 2. 1 国会成立)：3,170 億円
- 平成28年度補正予算 (H28. 8. 24 閣議決定、H29. 10. 11 国会成立)：3,453 億円
- 平成27年度補正予算 (H27. 12. 18 閣議決定、H28. 1. 20 国会成立)：3,122 億円

《参考2：県におけるT P P関連予算の対応状況（農林水産分野）》

| | | |
|----------------------------------|--|-----------------|
| 国の R7 年度補正予算 (R7. 11. 16 成立) | ⇒ 県 R7 年度 1 月補正 ～県 R8 年度当初予算 計 | 4, 265, 688 千円 |
| 国の R6 年度補正予算 (R6. 12. 17 成立) | ⇒ 県 R6 年度 2 月補正 ～県 R7 年度 6 月補正 計 | 7, 166, 996 千円 |
| 国の R5 年度補正予算 (R5. 11. 29 成立) | ⇒ 県 R5 年度 2 月補正 ～県 R6 年度当初 計 | 6, 687, 485 千円 |
| 国の R4 年度補正予算 (R4. 12. 2 成立) | ⇒ 県 R4 年度 12 月補正 ～県 R4 年度 2 月補正 計 | 6, 728, 686 千円 |
| 国の R3 年度補正予算 (R3. 12. 20 成立) | ⇒ 県 R3 年度 2 月補正 計 | 4, 708, 779 千円 |
| 国の R2 年度補正予算 (R3. 1. 28 成立) | ⇒ 県 R2 年度 2 月補正 ～県 R3 年度 2 月補正 計 | 5, 480, 620 千円 |
| 国の R 元年度補正対応 (R2. 1. 30 成立) | ⇒ 県 R 元年度 2 月補正 ～県 R2 年度 2 月補正 計 | 6, 372, 108 千円 |
| 国の H30 年度補正対応 (H31. 2. 7 成立) | ⇒ 県 H30 年度 2 月補正 ～県 R 元年度 2 月補正 計 | 7, 284, 194 千円 |
| 国の H29 年度補正対応 (H30. 2. 1 成立) | ⇒ 県 H29 年度 2 月補正 ～県 H30 年度 2 月補正 計 | 8, 804, 359 千円 |
| 国の H28 年度補正対応 | ⇒ 県 H28 年度 9 月補正 ～県 H29 年度 当初 計 | 9, 060, 300 千円 |
| 国の H27 年度補正対応 (H28. 1. 20 成立) | ⇒ 県 H27 年度 2 月補正 ～県 H28 年度 2 月補正 計 | 10, 044, 512 千円 |

第6 EPA及びFTAのこれまでの動きと今後の見通し

1 EPA及びFTAのこれまでの動き

EPA（経済連携協定：Economic Partnership Agreement）、FTA（自由貿易協定：Free Trade Agreement）は、2カ国または数カ国で、関税撤廃等、貿易のルールを取り決めるものである。一方、WTOは、加盟国（160カ国・地域）間において、貿易自由化等の共通のルールを決めるものである。

日本は、これまで24カ国・地域と21の経済連携協定等が発行済・署名済である。

現在はトルコ、コロンビア、日中韓、バングラディッシュ、GCC※、アラブ首長国連邦（UAE）と交渉中である。なお、韓国、カナダとは交渉中断中である。（表 I-3-(6)）

※GCC（湾岸協力会議）…ペルシャ湾岸6産油国で構成する地域協力機構で加盟国地域にお

表 I-3-(6) 日本のEPA・FTAを巡る状況

| | 相手国 | 政府間交渉 | 大筋合意 | 協定署名 | 協定発効 |
|----|-----------|----------|---|-----------------------|------------------------|
| 1 | シンガポール | H13. 1～ | — | H14. 1 (H19. 3 改正) | H14. 11 (H19. 9 改正) |
| 2 | メキシコ | H14. 11～ | — | H16. 9 (H23. 9 改正) | H17. 4 (H24. 4 改正) |
| 3 | マレーシア | H16. 1～ | H17. 5 | H17. 12 | H18. 7 |
| 4 | チリ | H18. 2～ | H18. 9 | H19. 3 | H19. 9 |
| 5 | タイ | H16. 2～ | H17. 9 | H19. 4 | H19. 11 |
| 6 | インドネシア | H17. 7～ | H18. 11 | H19. 8 | H20. 7 |
| 7 | ブルネイ | H18. 6～ | H18. 12 | H19. 6 | H20. 7 |
| 8 | アセアン全体 | H17. 4～ | H19. 8 | H20. 4 | H20. 12 |
| 9 | フィリピン | H16. 2～ | H16. 11 | H19. 9 | H20. 12 |
| 10 | スイス | H19. 5～ | H20. 9 | H21. 2 | H21. 9 |
| 11 | ベトナム | H19. 1～ | H20. 9 | H20. 12 | H21. 10 |
| 12 | インド | H19. 1～ | H22. 9 | H22. 10 | H23. 8 |
| 13 | ペルー | H21. 5～ | H22. 11 | H23. 5 | H24. 3 |
| 14 | オーストラリア | H19. 4～ | H26. 4 | H26. 7 | H27. 1 |
| 15 | モンゴル | H19. 5～ | H26. 7 | H27. 2 | H28. 6 |
| 16 | TPP12 | H19. 12～ | H27. 10 | H28. 2 | |
| 17 | CPTPP | H29. 5～ | H29. 11 | H30. 3 | H30. 12 |
| 18 | EU | H19. 10～ | H29. 12 | H30. 7 | H31. 2 |
| 19 | 米国 | H30. 9～ | R1. 8 | R1. 10 | R2. 1 |
| 20 | 英国 | R2. 6～ | R2. 9 | R2. 10 | R3. 1 |
| 21 | RCEP | H19. 9～ | R2. 10 | R2. 11 | R4. 1 |
| 22 | バングラディッシュ | R6. 3～ | R7. 12 | R8. 2 | 国内手続き中 |
| 23 | UAE | R6. 9～ | R8. 3 | 未定 | 未定 |
| 24 | GCC | H18. 9～ | FTA (H21年に交渉延期し、R6年再開) | | |
| 25 | コロンビア | H19. 6～ | EPA | | |
| 26 | 日中韓 | H19. 7～ | FTA (R6年5月に日中韓首脳会談で交渉再開が合意。R7年3月に日中韓経済貿易大臣会合で議論。) | | |
| 27 | トルコ | H19. 11～ | EPA | | |
| 中断 | 韓国 | H15. 12～ | EPA (H16年から交渉中断) | | |
| 中断 | カナダ | H19. 8～ | EPA (交渉中断中) | | |



ける共通規制・経済発展・共通通貨・人的交流などの推進を目指して1981年に創設された。加盟国は、サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、クウェート、カタール、バーレーン、オマーンの6カ国。平成21年（2009年）から交渉延期していたが、令和6年（2024年）に再開された。

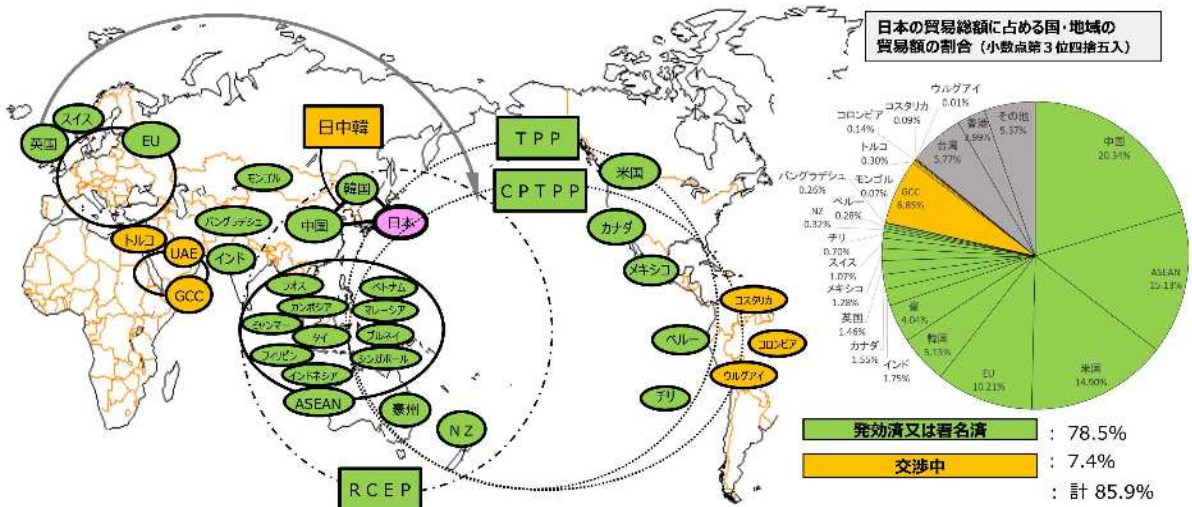
2 EPA・FTAの今後の動向

政府は、交渉中の国と合意に至ったものから順次、署名・発効手続きを進めていくものと思われる。令和6年(2024年)には、日中韓首脳会議による交渉再開の合意、GCCの交渉再開が開始されており、令和8年(2025年)には、UAEとの大筋合意にいたっている。県としては今後の動向を注視していく。

図 I-3-(2) EPAおよびFTAの取組状況

■ 日本との間で協定が存在する相手国との貿易が日本の貿易総額に占める割合は8割弱(78.5%)
(22の協定により、51か国をカバー)。交渉中の相手国・地域も含めれば9割に近づく(85.9%)。

● : 既に協定が発効済又は署名済の国・地域 ● : 現在協定の交渉をしている国・地域



(注1) GCC: 湾岸協力理事会(Gulf Cooperation Council)
(アラブ首長国連邦、バーレーン、サウジアラビア、オマーン、カタール、クウェート)
(注2) 米国については、日米貿易協定・日米デジタル貿易協定

出典: 財務省貿易統計(2026年1月公表)
(各国の貿易額の割合については、小数点第3位四捨五入)

資料) 外務省 「我が国の経済連携協定(EPA/FTA)等の取組」

第2章 多彩な担い手の育成・確保（農業経営環境の変化）

第1節 就業構造の変化

第1 農業者の就業構造

（農業経営体数は減少傾向で、高齢化が進む。このうち個人経営体は減少する一方で、法人経営体等団体経営体数は増加傾向で推移）

本県の農業経営体数は減少傾向で推移しており、令和7年（2025年）は27,619経営体で、令和2年（2020年）より6,333経営体（18.7%）減少した。

このうち個人経営体は26,234経営体で、6,382経営体（19.6%）減少している。個人経営体の中でも、主業経営体は9,004経営体で、1,822経営体（16.7%）減少した。

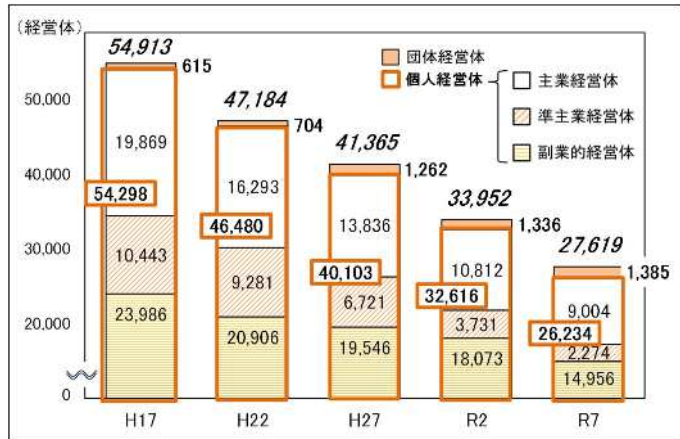
一方で、団体経営体は1,385経営体で、5年前より49経営体（3.7%）増加した。団体経営体は増加傾向で推移しており、法人化が進んでいる。（図Ⅱ-1-(1)）

（新規就農者等49歳以下の農業経営体が全体に占める割合は増加）

農業経営体の年齢構成割合を見ると、令和7年（2025年）では「60歳以上」の割合が増加し、全体の74.5%を占めている。

一方で、新規就農者等49歳以下の割合が増加しており、全体の11.6%を占めている。（図Ⅱ-1-(2)）

図Ⅱ-1-(1) 農業経営体数の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

注1) 農業経営体とは、①、②又は③のいずれかに該当する事業を行う者。

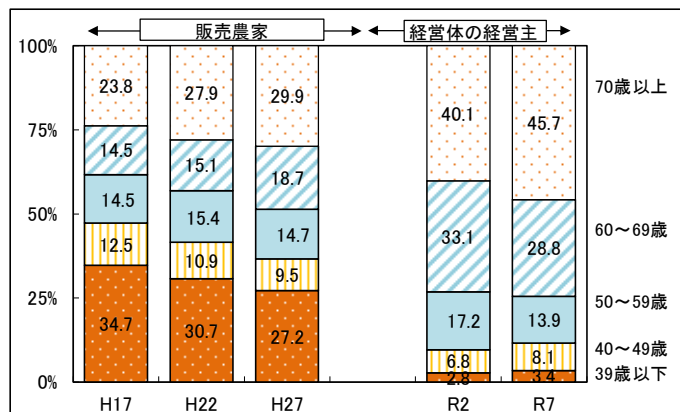
- ①経営耕地面積が30a以上の規模の農業
- ②農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業規模が基準以上の農業
- ③農作業の受託の事業

注2) 主業経営体：農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる

準主業経営体：農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

副業的経営体：1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体

図Ⅱ-1-(2) 年齢階層別経営体数等の構成比の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

注) 平成17年～27年は販売農家の年齢比、令和2年、7年は経営体の経営主の年齢比であるため、比較する時は注意。

第2 農業労働力の動向

(基幹的農業従事者数は長期的に大幅に減少する一方で、49歳以下が全体に占める割合は上昇)

個人経営体において、主として自営農業に従事する基幹的農業従事者数は約20年間で半減している。令和7年(2025年)の基幹的農業従事者数は40,036人で、5年前より人(22.7%)減少した。

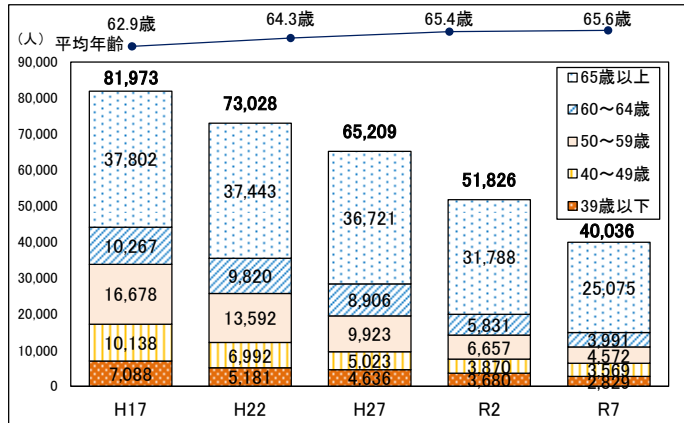
年齢別に見ると、65歳以上は25,075人(全体の62.6%)と、依然として高い割合を占め、高齢化が進んでいる。一方で、49歳以下は6,398人(全体の約16.0%)で、5年前より1.4ポイント増加した。このことにより、平均年齢は65.6歳となり、ほぼ横ばいとなった。(図Ⅱ-1-(3)、図Ⅱ-1-(4))

(常時雇用者数は大幅に増加、団体経営体の役員・構成員は同程度で推移)

常時雇用者等は、平成27年(2015年)以降、同程度で推移しており、令和7年(2025年)は14,041人となり、5年前より3,860人(37.9%)増加した。年齢別に見ると、常時雇用者の就業者の年齢は39歳以下が最も多く、全体の約5割を占めている。

団体経営体の役員・構成員は3,785人となり、5年前からわずかに減少(2.0%減少)となっており、基幹的農業従事者数の減少程度と比較して緩やかになっている。(図Ⅱ-1-(5))

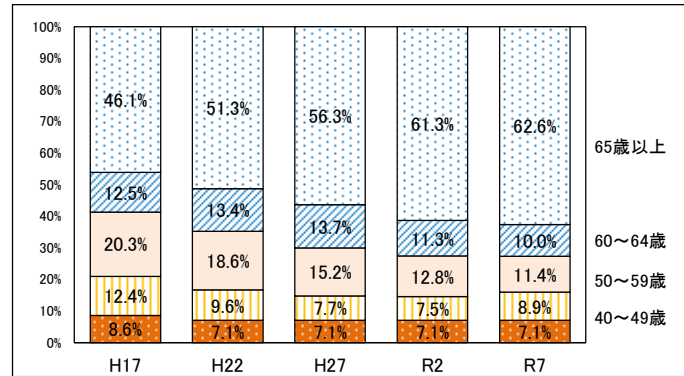
図Ⅱ-1-(3) 基幹的農業従事者(個人経営体)の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

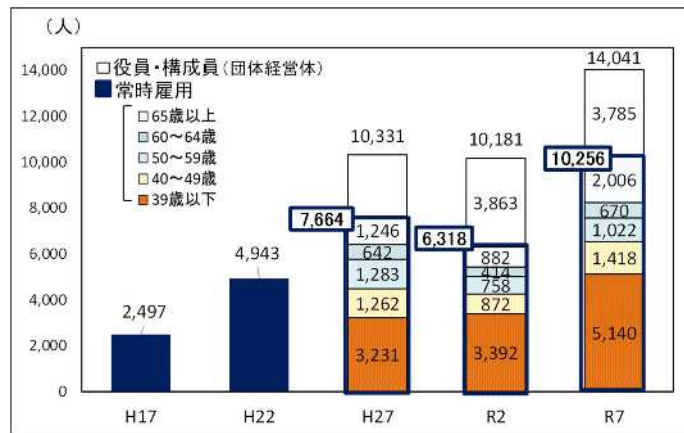
注) 基幹的農業従事者数: 個人経営体において、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。

図Ⅱ-1-(4) 年齢別の基幹的農業従事者割合の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

図Ⅱ-1-(5) 常時雇用者、団体経営体の役員等の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

注1) 団体経営体のうち、役員・構成員は年間150日以上従事した者の数値

注2) 平成22年以前は団体経営体の役員・構成員の人数は調査されていない。

注3) 平成27年の常時雇用者の人数は年齢区分に応じて推計を行っている。

第3 認定農業者の動向

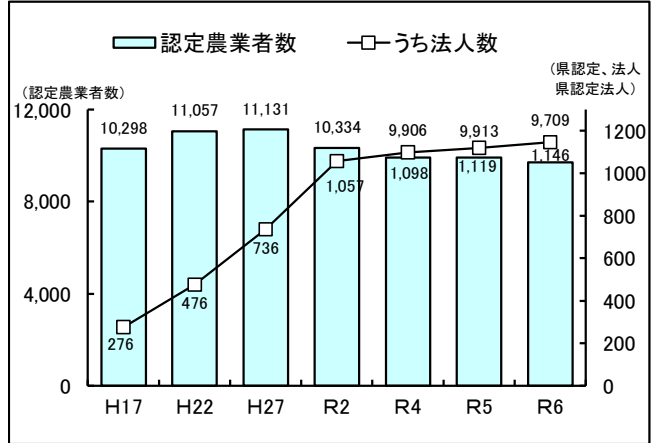
(認定農業者数はわずかに減少)

地域農業を担う認定農業者の認定状況をみると、令和6年度末（2024年度末）で9,709経営体が認定されており、昨年度からわずかに減少となっている。

また、認定農業者に占める法人経営体数も、令和6年度末（2024年度末）で1,146経営体（11.8%）となっており、毎年増加している。（図Ⅱ-1-(6)）

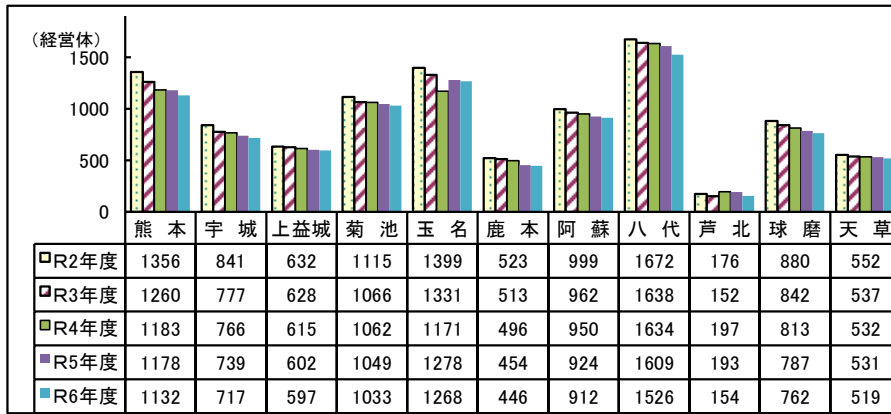
認定農業者数を地域別でみると、令和6年度末（2024年度末）において、八代地域が最も多く、熊本、菊池、玉名、八代の4地域が1,000経営体を超えた。（図Ⅱ-1-(7)）

図Ⅱ-1-(6) 認定農業者数の推移



資料) 県農林水産部調べ（データは年度末の数値）

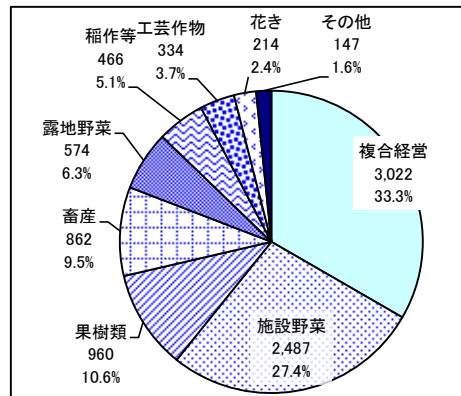
図Ⅱ-1-(7) 地域振興局別の認定状況



資料) 県農林水産部調べ（データは年度末の数値）
注) 市町村認定分のみで県・国認定は含まない

また、令和6年度末（2024年度末）の認定農業者の主な経営類型は、多い順に、複合経営3,022経営体（33.3%）、施設野菜2,487経営体（27.4%）、果樹類960経営体（10.6%）、畜産862経営体（9.5%）、露地野菜574経営体（6.3%）となった。（図Ⅱ-1-(8)）

図Ⅱ-1-(8) 営農類型別の認定状況



資料) 県農林水産部調べ（データは年度末の数値）
注) 市町村認定分のみで県・国認定は含まない

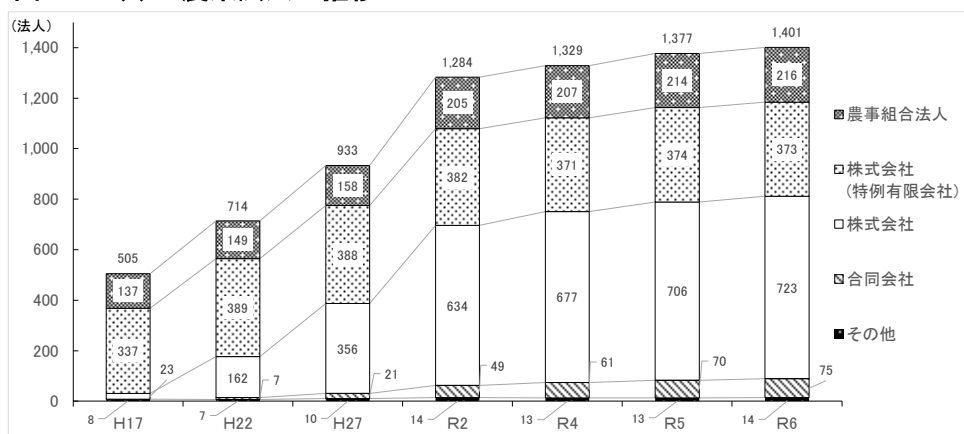
第4 農業法人の動向

(農業法人数はわずかに増加)

農業経営の法人化は、経営の多角化や安定化を図る有効な手段であることから、法人化推進に取り組んできた。令和6年度末(2024年度末)の農業法人数は、前年度から24法人増加し、1,401法人となった。(図Ⅱ-1-(9))

農業法人を形態別にみると、株式会社が723法人(51.6%)と最も多く、次いで株式会社(特例有限会社)373法人(26.6%)、農事組合法人216法人(15.4%)となっている。

図Ⅱ-1-(9) 農業法人の推移



資料) 県農林水産部調べ(データは年度末の数値)

注) その他は合資会社や一般社団法人等を含む

注2) 合同会社はH22度から調査開始

第5 地域営農組織の動向

(地域営農組織数はわずかに減少)

本県の土地利用型農業は、生産コストの低減や効率的な土地利用を図るため、地域の実状に応じた地域営農組織づくりが進められている。

地域営農組織数の推移をみると、令和6年度末(2024年度末)で357組織となり、わずかに減少となった。

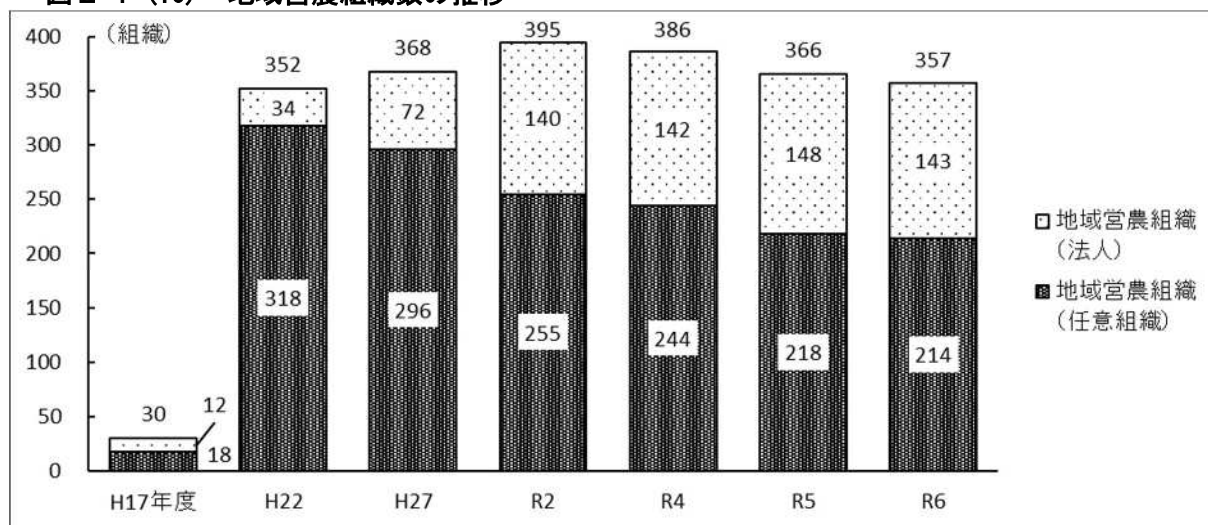
形態別では、任意組織が214組織と前年度から4組織減少、法人は前年から5組織減少し、143組織となった。

(図Ⅱ-1-(8))

また、地域別では、阿蘇地域が78組織で最も多く、次いで菊池地域64組織、玉名地域45組織の順となった。

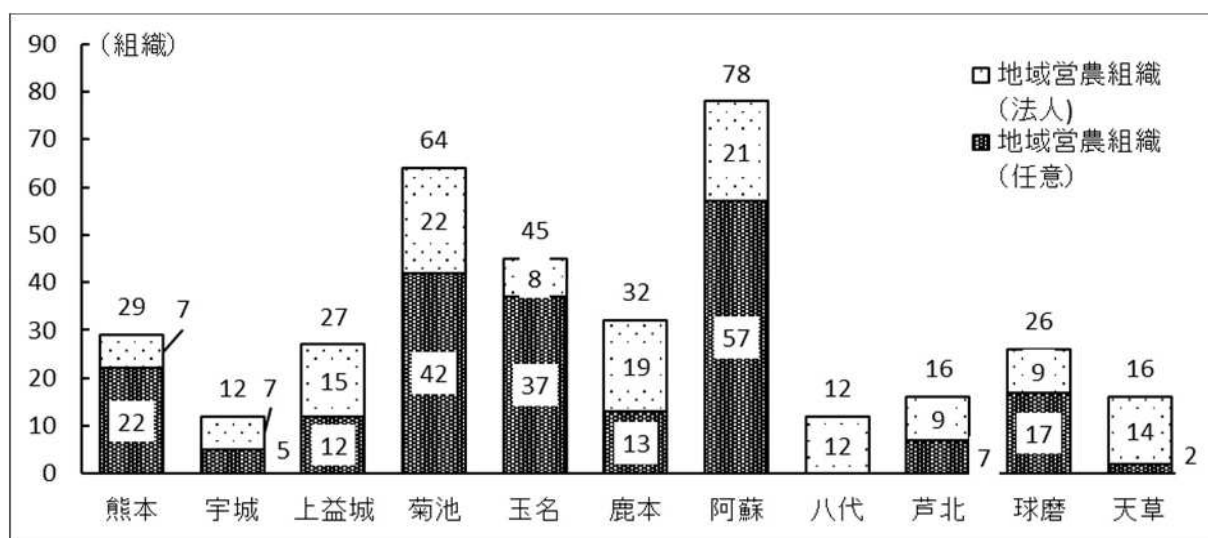
(図Ⅱ-1-(11))

図Ⅱ-1-(10) 地域営農組織数の推移



資料) 県農林水産部調べ (データは令和6年度末の数値)

図Ⅱ-1-(11) 地域別地域営農組織数



資料) 県農林水産部調べ (データは令和6年度末の数値)

第6 企業等の農業参入の動向 (企業等の農業参入はやや増加)

企業等の農業参入については、平成21年(2009年)の改正農地法の施行により、企業等の農業参入が容易になったことから、県内各地で企業等の農業参入が増加している。

参入状況としては、平成21年度(2009年度)から令和6年度(2024年度)までの16年間で合計273件となった。(前年比+11件)

(図Ⅱ-1-(12))

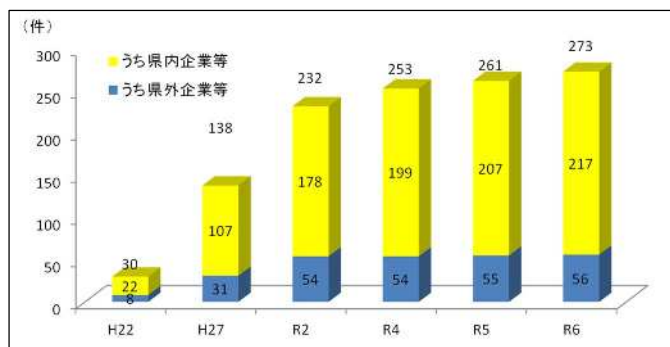
営農面積は、852.4haとなり、地域農業において新たな担い手としての役割を果たしている。

(図Ⅱ-1-(13))

業種別では飲食・食品関連業が多く、原料の調達や販売を行うほか、加工施設の設置など6次産業化を展開する企業がみられる。

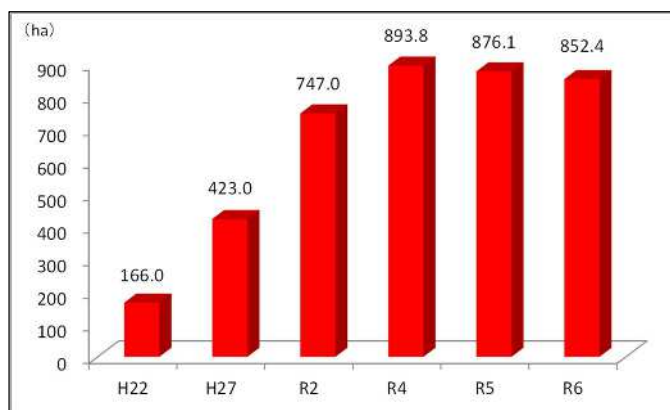
(図Ⅱ-1-(14))

図Ⅱ-1-(12) 企業等参入件数



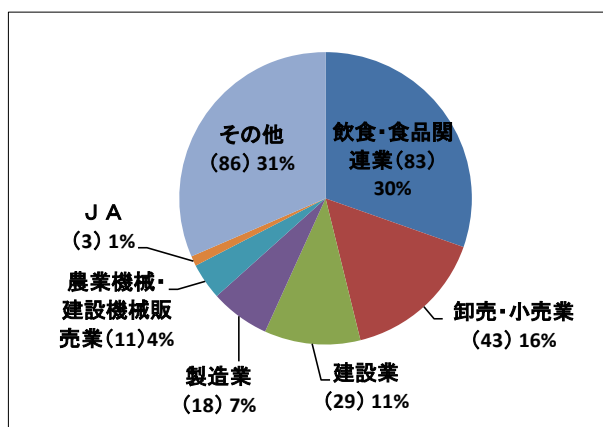
資料) 県農林水産部調べ

図Ⅱ-1-(13) 営農面積の推移



資料) 県農林水産部調べ

図Ⅱ-1-(14) 業種別内訳



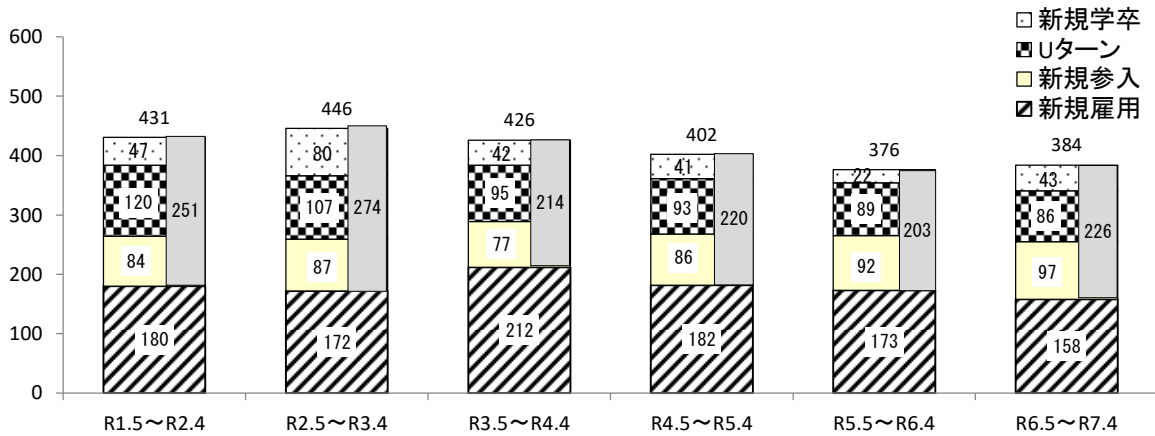
資料) 県農林水産部調べ

第7 農業後継者の確保状況

(新規就農者はわずかに増加)

令和6年(2024年)5月～令和7年(2025年)4月(令和7年度調査)の新規就農者数は384人となり、前期より8人増加した。内訳をみると、新規学卒就農者が前期より21人増の43人、Uターン就農者が3人減の86人、農外からの新規参入者は5人増の97人となった。また、農業法人への就職就農や農業参入企業に雇用された新規雇用就農者は、前期より15人減の158人となった。(図Ⅱ-1-(15))

図Ⅱ-1-(15) 新規就農者数の推移

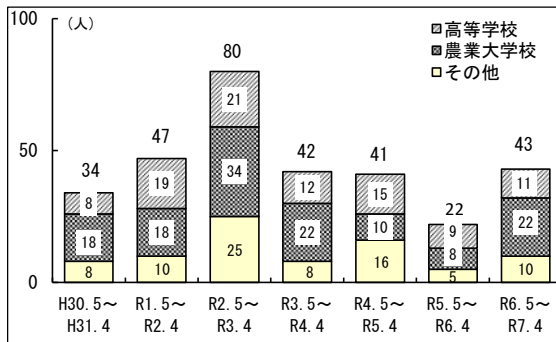


(資料) 県農林水産部、県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」

新規学卒就農者数の内訳をみると、高校卒が11人、県立農業大学校卒が22人で、あわせて全体の76.7%を占めている。(図Ⅱ-1-(16))

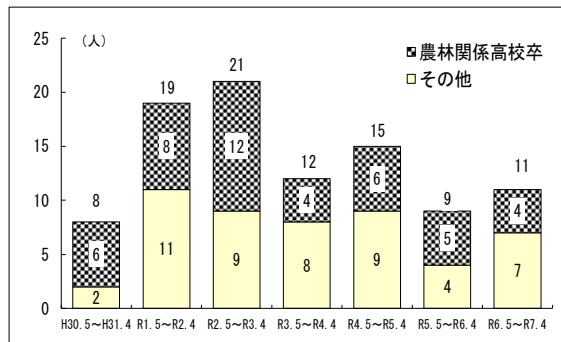
高校卒就農者数の内訳をみると、農業関係高校卒業者は、4人で36.4%となった。(図Ⅱ-1-(17))

図Ⅱ-1-(16) 新規学卒就農者数の推移



(資料) 県農林水産部、県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」

図Ⅱ-1-(17) 高校卒就農者数の推移



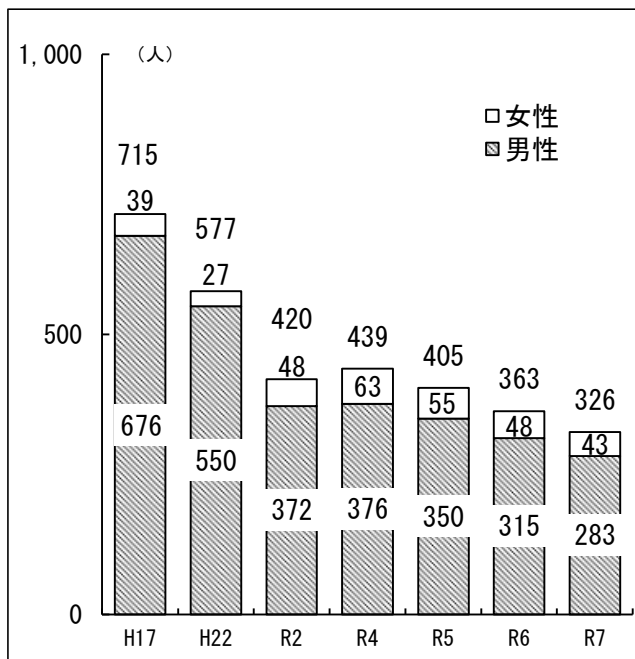
(資料) 県農林水産部、県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」

(青年農業者数はかなりの程度減少)

25歳以下の青年農業者数は、令和7年度（2025年）は326人（男283人、女43人）となった。（図Ⅱ-1-(18)）

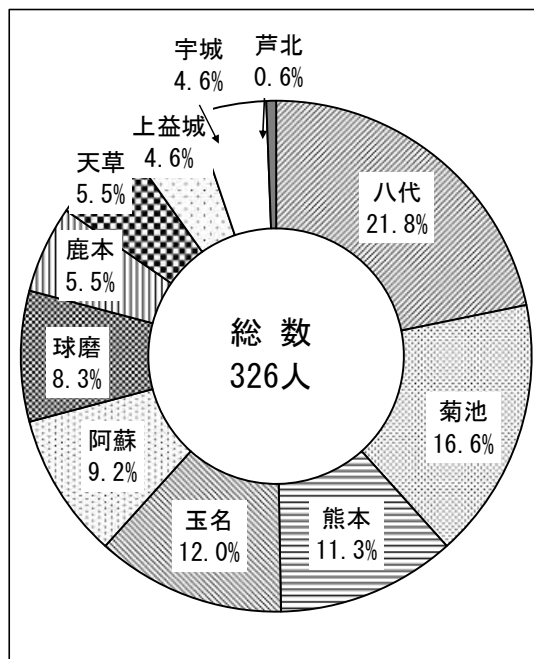
地域別には、八代地域が71人（21.8%）と最も多く、次いで菊池地域54人（16.6%）、熊本地域37人（11.3%）となっており、この3地域で全体の49.7%を占め、他の地域に比べ多くの青年農業者が確保されている。（図Ⅱ-1-(19)）

図Ⅱ-1-(18) 青年農業者の推移



(資料) 県農林水産部、県農業会議
「青年農業者・新規就農者実態補完調査」
(就農時の年齢をもとに算出した推定値)

図Ⅱ-1-(19) 地域別青年農業者数



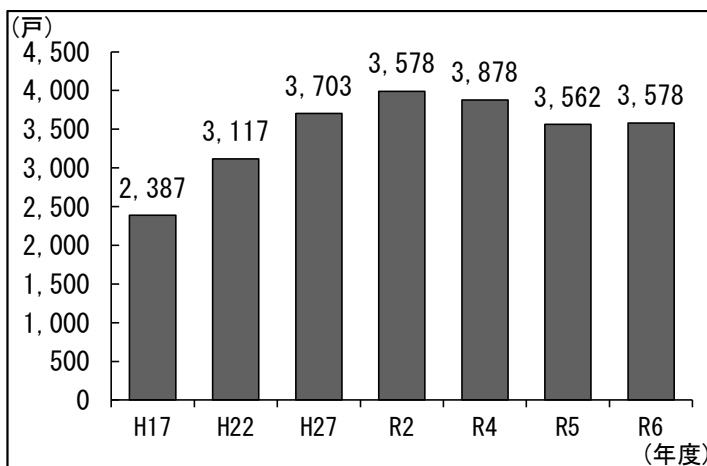
(資料) 県農林水産部、県農業会議
「青年農業者・新規就農者実態補完調査」
(就農時の年齢をもとに算出した推定値)

第8 女性の経営参画と社会参画の状況

(家族経営協定締結農家数は
ほぼ前年度並み)

家族経営協定は、女性の経営参画や就業環境の整備など、家族農業経営の発展を図ることを目的として推進してきた。令和6年度末(2024年度)の締結数は3,578戸となり、前年に比べ16戸増加した。(図Ⅱ-1-(20))

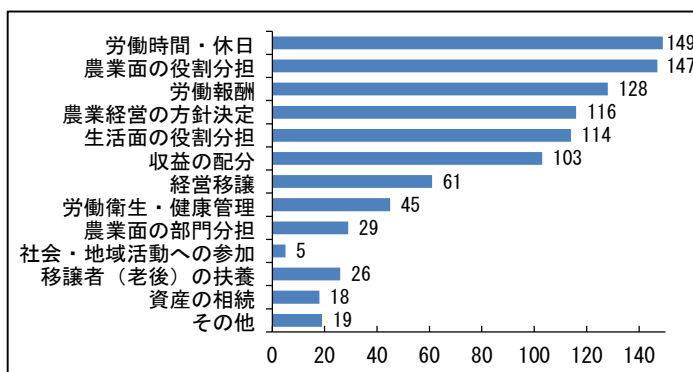
図Ⅱ-1-(20) 家族経営協定締結農家数の推移



資料) 県農林水産部調べ(データは年度末の数値)

また、令和6年度末(2024年度)に新たに家族経営協定を締結・再締結した取り決めの内容は、「労働時間・休日」、「農業面の役割分担」、「労働報酬」、「農業経営の方針決定」、「生活面の役割分担」の順となった。(図Ⅱ-1-(21))

図Ⅱ-1-(21) 家族経営協定の取り決め内容



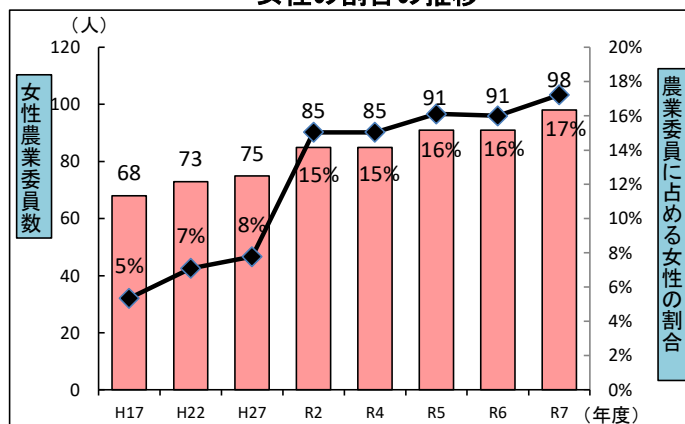
資料) 県農林水産部調べ

(農業委員に占める女性の
割合はわずかに増加)

令和7年度(2025年度)の女性農業委員数は、前年度より7人増加し、98人となった。

また、農業委員に占める女性の割合は、17%で前年度に比べわずかに増加した。(図Ⅱ-1-(22))

図Ⅱ-1-(22) 女性農業委員数と農業委員に占める女性の割合の推移



資料) 県農業会議調べ(令和8年3月31日現在)

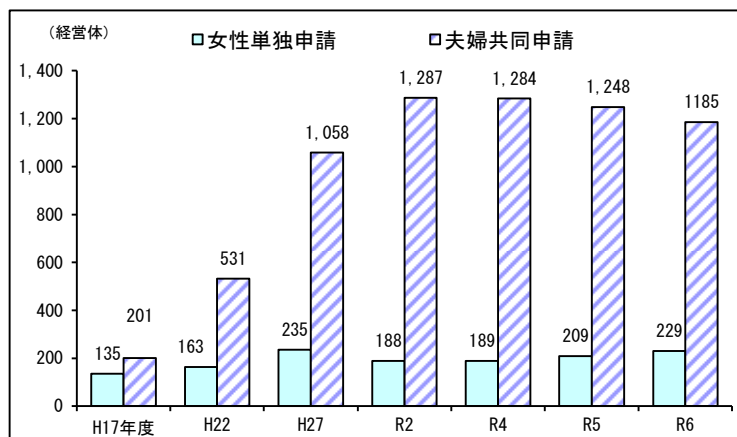
(女性単独の認定農業者数はかなりの程度増加、夫婦共同申請数はやや減少)

女性の認定農業者数をみると、女性単独申請数が令和6年度(2024年度)で229経営体となっており、前年度に比べ20経営体増加している。

夫婦による共同申請数は、令和6年度(2024年度)は1,185経営体で前年度に比べ63経営体減少した。

(図Ⅱ-1-(23))

図Ⅱ-1-(23) 認定農業者制度における女性の単独申請及び夫婦共同申請数の推移



資料) 県農林水産部調べ(データは年度末の数値)

注) 令和2年度以降の値は、市町村認定と県認定の合計値

第9 農業分野における外国人材雇用状況

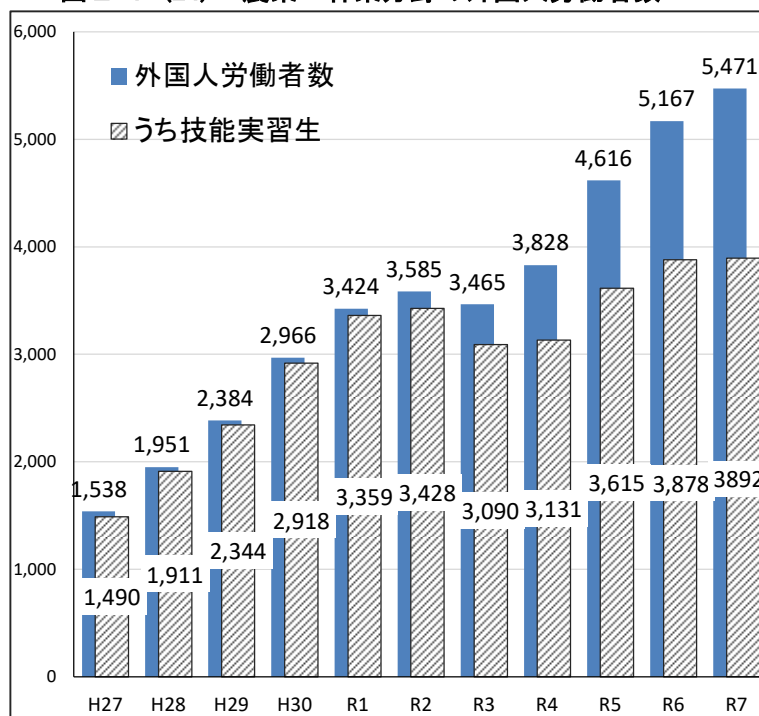
(外国人労働者はややないしかなり増加)

農業・林業分野での外国人労働者数は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う水際対策の影響で、令和3年度は減少したが令和4年3月以降の入国規制緩和以降は再び増加。令和7年(2025年)10月末現在では前年に比べ304人増加し、5,471人となった。なお、このうち約71%にあたる3,892人は、技能実習生が占めている。

(図Ⅱ-1-(24))

また、令和元年(2019年)4月から創設された「特定技能」の農業分野は、出入国在留管理庁「特定技能在留外国人人数」の集計結果、令和7年(2025年)6月末時点で2,343人となっている。

図Ⅱ-1-(24) 農業・林業分野の外国人労働者数



資料) 熊本労働局「外国人雇用状況」の届出状況集計結果(毎年10月末の数値)

第2節 経営構造の変化

第1 農業者の動向

(農業経営体の規模拡大が進むが、法人等団体経営体の経営面積は全体の約2割を占め、横ばい傾向。)

農業経営体数は減少傾向にある中、令和7年(2025年)における1ha未満の経営体数は5年前より3,609経営体(24.0%)減少した。一方、1経営体当たりの耕地面積は増加傾向であり、令和7年(2025年)における10ha以上の大規模経営体数は957経営体となり、5年前より122経営体(14.6%)増加した。

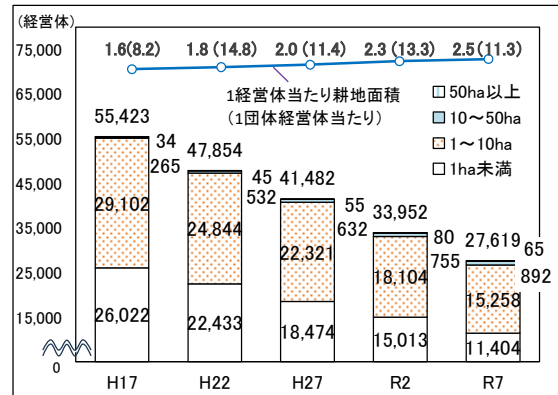
経営耕地面積を経営体別でみると、令和7年(2025年)における団体経営体の経営耕地面積は15,642haと全体の22.7%を占めるまで拡大しており、1経営体当たりは11.3haとなっている。

(販売金額1,000万円を超える農業経営体の割合は増加傾向)

農産物販売金額規模別について、令和7年(2025年)の販売金額500万円未満の経営体数は5年前より5,207経営体(22.3%)減少した一方、販売金額5,000万円以上は5年前より170経営体(18.1%)増加した。

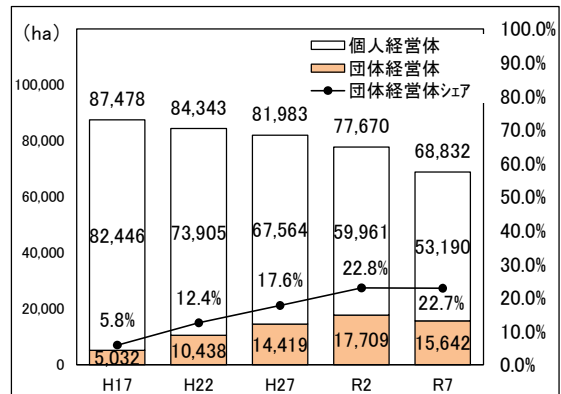
販売金額1,000万円を超える農業経営体は6,230経営体となり、5年前と比べ3.3ポイント上昇し全体の22.6%を占めるまで拡大した。

図Ⅱ-2-(1) 規模別経営体数の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

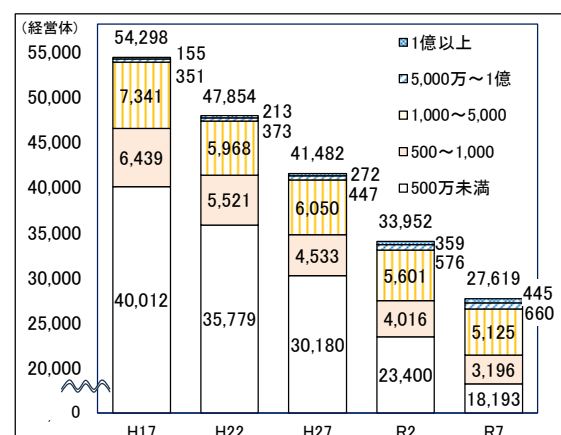
図Ⅱ-2-(2) 経営体別経営耕地面積の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

注) H22以前の団体経営体は組織経営体の数値であり、単純な比較はできない。

図Ⅱ-2-(3) 販売金額別経営体数の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

注) H17は販売農家の指標であり、単純な比較はできない。

第2 経営組織

(単一経営体が約8割を占める)

農業経営体を経営組織（営農形態）別にみると、単一経営農家（主位部門の総販売額が80%以上の農家）は、令和7年(2025年)は20,064経営体と全体の約8割を占めている。

部門別にみると、兼業農家のウエイトが比較的高い稲作単一経営が8,822経営体と最も多く、次いで果樹単一経営が3,804経営体となった。

複合経営農家については、減少傾向にあり、土地利用率の低下と重ね合わせると、単作化が進んでいることが考えられる。(表Ⅱ-2-(1))

表Ⅱ-2-(1) 経営組織別農業経営体の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R7 | 増減(▲)年率(%) | | | |
|---------|------|------|------|------|------|------|------------|-------|-------|------|
| | | | | | | | 17~22 | 22~27 | 27~R2 | 2~7 |
| 経営体数 | 千経営体 | 48.6 | 43.2 | 37.9 | 31.5 | 25.9 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.2 | ▲0.2 |
| 単一経営農家 | 千経営体 | 34.0 | 30.9 | 28.1 | 24.4 | 20.1 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.2 |
| 作 | 千経営体 | 16.7 | 14.9 | 12.6 | 10.7 | 8.8 | ▲0.1 | ▲0.2 | ▲0.2 | ▲0.2 |
| 芸作物 | 千経営体 | 1.4 | 1.0 | 0.7 | 0.6 | 0.3 | ▲0.3 | ▲0.3 | ▲0.2 | ▲0.4 |
| 設野菜 | 千経営体 | 5.0 | 4.5 | 4.4 | 3.9 | 3.3 | ▲0.1 | ▲0.0 | ▲0.1 | ▲0.2 |
| 地野菜 | 千経営体 | 1.3 | 1.6 | 1.6 | 1.5 | 1.1 | 0.2 | ▲0.0 | ▲0.0 | ▲0.3 |
| き・花木 | 千経営体 | 0.9 | 0.8 | 0.7 | 0.6 | 0.5 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.2 | ▲0.2 |
| 樹類 | 千経営体 | 5.7 | 5.2 | 5.0 | 4.4 | 3.8 | ▲0.1 | ▲0.0 | ▲0.1 | ▲0.1 |
| 産 | 千経営体 | 2.2 | 2.0 | 1.9 | 1.8 | 1.4 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.1 | ▲0.2 |
| 蚕 | 千経営体 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | - | - | ▲0.8 | 0.0 | - | - |
| の他 | 千経営体 | 0.8 | 0.8 | 1.2 | 0.9 | 0.9 | ▲0.1 | 0.5 | ▲0.2 | ▲0.1 |
| 複合経営農家 | 千経営体 | 14.6 | 12.3 | 9.9 | 7.1 | 5.8 | ▲0.2 | ▲0.2 | ▲0.3 | ▲0.2 |
| 準単一経営農家 | 千経営体 | 11.1 | 2.8 | 2.1 | 5.2 | 4.3 | ▲0.7 | ▲0.3 | 1.5 | ▲0.2 |

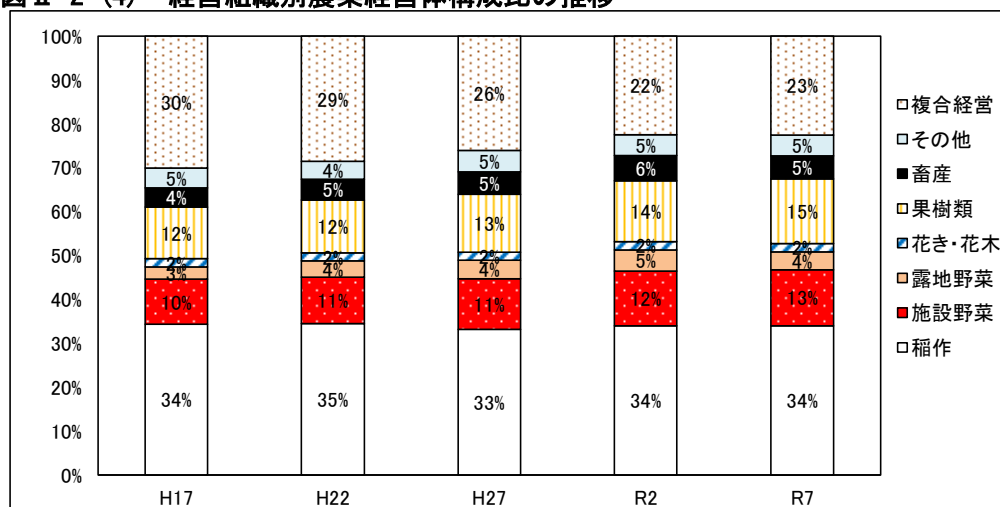
資料) 農林水産省「農林業センサス」

注) 単一経営農家とは農産物の販売収入1位の部門の販売額が総販売額の80%以上を占めるものをいう。

複合経営農家とは、同割合が80%未満であるものをいう。

準単一複合経営農家とは複合経営農家のうち、同割合が60~80%を占めるものをいう。

図Ⅱ-2-(4) 経営組織別農業経営体構成比の推移



資料) 農林水産省「農林業センサス」

第3節 耕地及び地価の動向

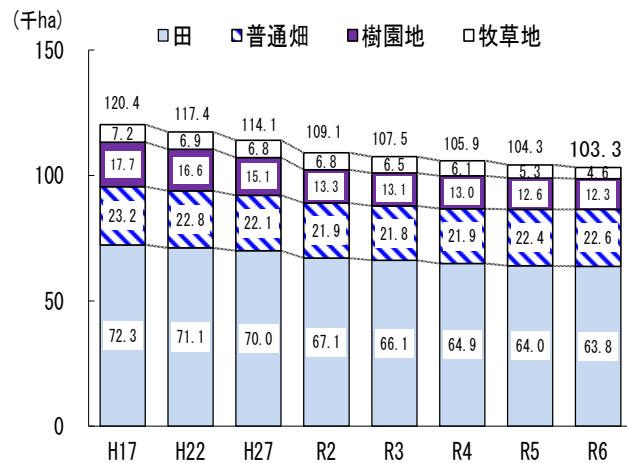
図Ⅱ-3-(1) 耕地面積の推移

第1 耕地面積の動向

(耕地面積は緩やかに減少)

令和6年(2024年)の耕地面積は103.3千haで、前年に比べ、1.0千haの減少となった。田は63.8千haで、前年に比べ0.2千ha減少し、畑(樹園地及び牧草地含む)は39.5千haで、前年に比べ、0.8千ha減少した。

(図Ⅱ-3-(1)、巻末表Ⅱ-3-(3)(4))



資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

(令和6年(2024年)の作付面積はわずかに減少)

作付面積は、農林水産省「農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率」によると、令和6年(2024年)は102,100ha(前年比(以下同)98.9%)とわずかに減少した。

作目別にみると、水稻が29,700ha(99.0%)とやや減少し、麦類が8,500ha(102.4%)とわずかに増加した。

(表Ⅱ-3-(1))

表Ⅱ-3-(1) 作物別作付面積の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | 増減率 | | | | | |
|-----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|---------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | | | H17~H22 | H22~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 |
| 作付面積 | 千ha | 116.7 | 112.1 | 109.6 | 105.0 | 104.5 | 103.2 | 102.1 | ▲0.8 | ▲0.5 | ▲0.9 | ▲0.5 | ▲1.2 | ▲1.1 |
| 稲 | 〃 | 42.6 | 39.5 | 35.6 | 33.3 | 31.3 | 30.0 | 29.7 | ▲1.5 | ▲2.1 | ▲6.5 | ▲6.0 | ▲4.2 | ▲1.0 |
| 麦類 | 〃 | 6.7 | 6.3 | 6.7 | 7.2 | 7.9 | 8.3 | 8.5 | ▲1.2 | 1.3 | 6.9 | 10.6 | 4.4 | 2.7 |
| 稲・麦類以外 | 〃 | 67.5 | 66.3 | 67.2 | 64.5 | 65.3 | 64.9 | 63.9 | ▲0.3 | 0.3 | ▲4.0 | 1.1 | ▲0.5 | ▲1.6 |
| 大豆・そば・なたね | 〃 | — | — | — | 3.1 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | — | — | — | 7.6 | 1.3 | ▲3.8 |
| その他作物 | 〃 | 67.5 | 66.3 | 67.2 | 61.4 | 61.9 | 61.6 | 60.7 | ▲0.3 | 0.3 | ▲8.6 | 0.8 | ▲0.5 | ▲1.5 |

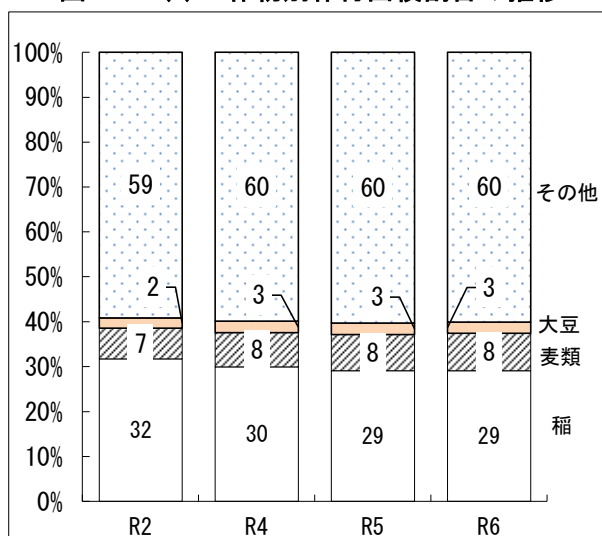
資料) 農林水産省「農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率」

注) H28までの「その他作物」は、雑穀・豆類(そば及びそれ以外の雑穀、大豆、小豆、いんげん、らっかせい及びそれ以外の豆類の乾燥子実用を含む)、野菜(とうもろこし、えんどう、そらまめ、大豆、いんげん等の未成熟用、ばれいしょを含む)、かんしょ、果樹、工芸作物、飼肥料作物、桑、花き、花木、種苗等。H28までの品目は主なものを記載しているため、合計値は一致しない。

注) R1からの「稲」は水稻、「その他作物」は、陸稲、かんしょ、小豆、いんげん、らっかせい、果樹、茶、野菜、花き、飼料作物等。

令和6年（2024年）の作物別作付面積の割合をみると、稲の占める割合が作付面積の29%となっている。（図Ⅱ-3-(2)）

図Ⅱ-3-(2) 作物別作付面積割合の推移



資料) 農林水産省「農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率」

注) その他作物は、陸稲、そば、なたね、かんしょ、小豆、いんげん、らっかせい、果樹、茶、野菜、花き、飼料作物等。

（熊本県の耕地利用率はほぼ前年並み）

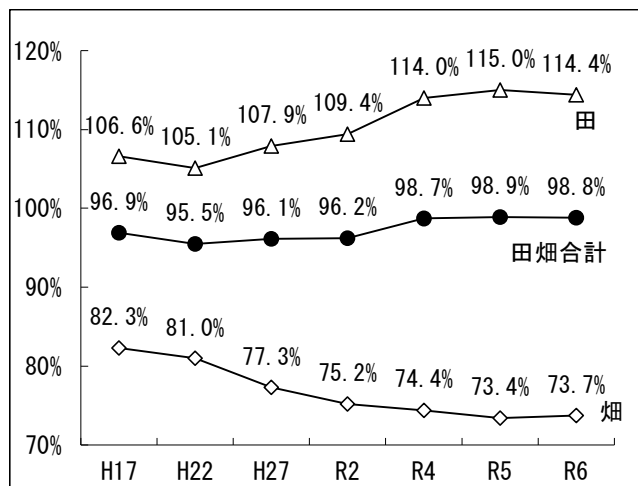
耕地利用率（耕地面積に対する作付延面積の割合）をみると、令和6年（2024年）はほぼ前年並みの98.8%（前年比（以下同）99.9%）となった。

田畑別にみると、令和6年（2024年）の田は、ほぼ前年並みの114.4%（99.5%）、畑もほぼ前年並みの73.7%（100.4%）となった。

耕地利用率については、平成22年度（2010年度）から創設された戸別所得補償制度や、飼料用米や

稲発酵粗飼料（WCS）用稲などへの作付け転換の進展を受けて、増加傾向にあったが、近年は従事者不足や高齢化の進行等により横ばいで推移している。（図Ⅱ-3-(3)）

図Ⅱ-3-(3) 耕地利用率の推移

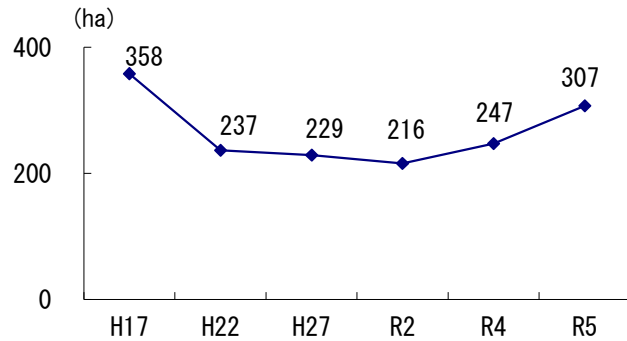


資料) 農林水産省「農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率」

次に、農地転用面積についてみると、平成17年（2005年）との比較では転用面積がかなり大きく減少している。

令和5年（2023年）は前年に比べ約60ha増加し、307haとなった。（図Ⅱ-3-(4)）

図Ⅱ-3-(4) 農地転用面積の推移



資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

第2 農地移動の動向

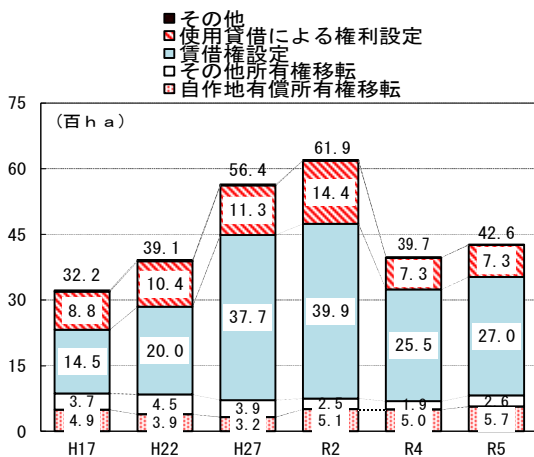
(農地の権利移動面積は増加)

耕作目的の農地の権利移動の動向を見ると、農地法及び農業経営基盤強化促進法（以下「基盤強化法」）による権利移動の令和5年（2023年）の総面積は、前年から296ha増の4,267haとなった。（図Ⅱ-3-(5)）

そのうち、基盤強化法による権利移動が約87%（3,713ha）となっている。（図Ⅱ-3-(6)）

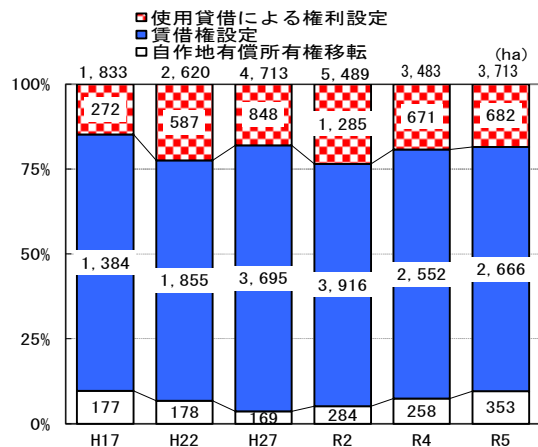
また、基盤強化法によるもののうち、権利の種類で見てみると、賃借権設定及び使用貸借による権利設定が全体の約90%を占めている。（図Ⅱ-3-(6)）

図Ⅱ-3-(5) 耕作目的農地の権利移動の推移



資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

図Ⅱ-3-(6) 農業経営基盤強化促進に係る権利移動

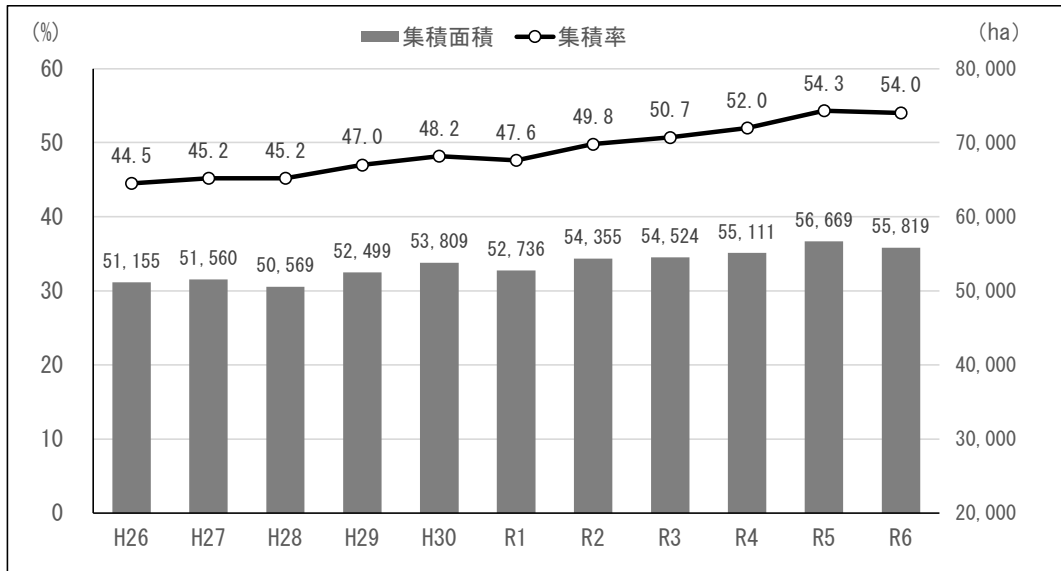


資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

(農地の集積率はほぼ前年度並み)

担い手への農地集積面積は55,819haとわずかに減少したものの、農地集積率は54.0%とほぼ前年度並みとなった。(図Ⅱ-3-(7))

図Ⅱ-3-(7) 農地集積の状況

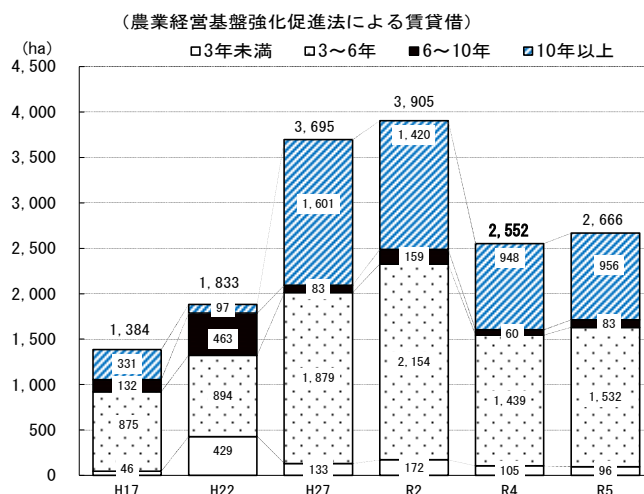


資料) 農林水産省「農地中間管理機構の実績等に関する資料」

また、賃借権の設定期間を見ると、3年～6年の契約が過半を占める傾向にあり、令和5年（2023年）では約57%を占めている。

(図Ⅱ-3-(8))

図Ⅱ-3-(8) 期間別賃借権設定面積



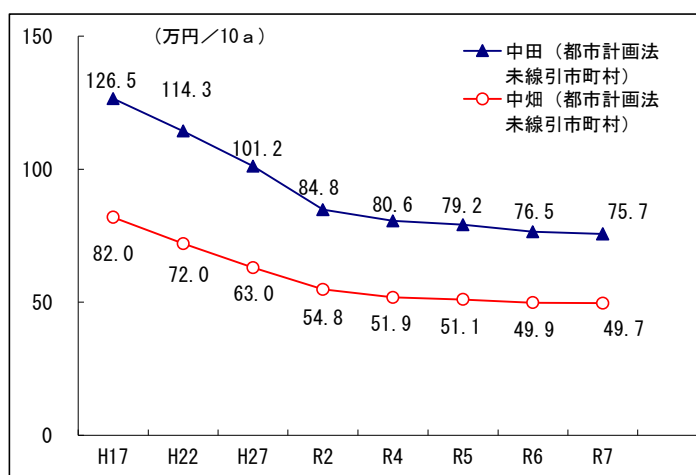
資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

(農地の価格は下落)

令和7年（2025年）の耕作目的の農地価格は、純農業的な地域である「都市計画法による市街化区域の線引きが行われていない市町村の農用地区域内」における県平均の農地価格で表すと、10a当たり中田で75.7万円、中畑で49.7万円となっており、対前年比でそれぞれ1.1%、0.4%下落している。

(図Ⅱ-3-(9))

図Ⅱ-3-(9) 田畑売買価格の推移



資料) 県農業会議「田・畑売買価格等に関する調査」

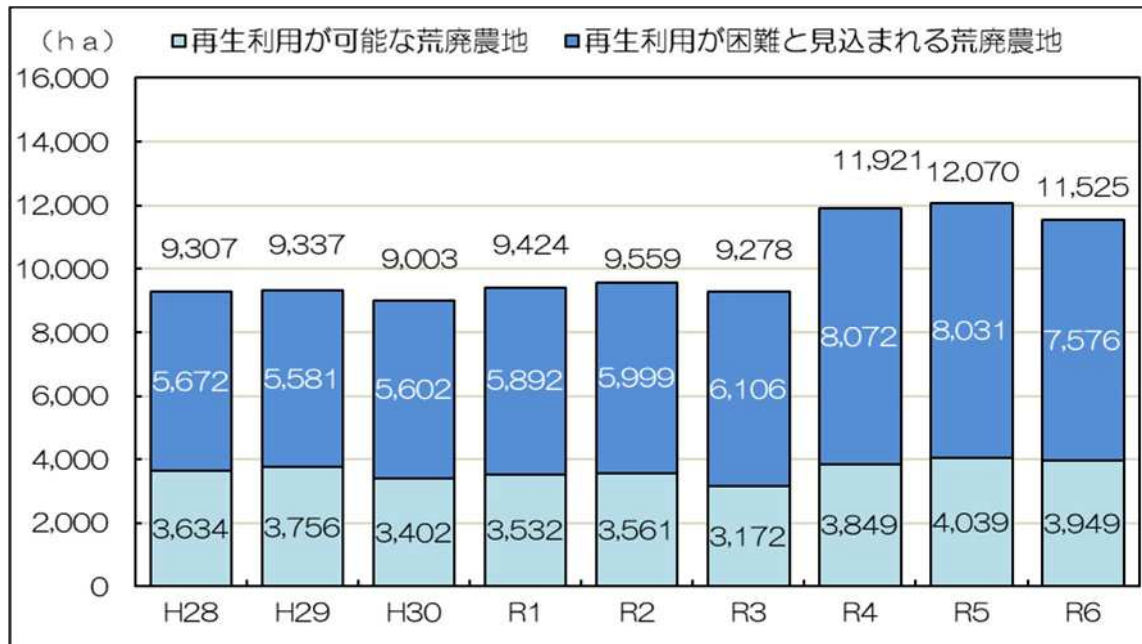
注) 農用地区域内の自作地を自作地として売買する場合の価格

第3 耕作放棄地の動向

(耕作放棄地のうち再生困難な農地の割合は約7割)

令和6年(2024年)の耕作放棄地の面積は、11,525ha。内訳は「再生利用が可能な農地」が34%、「再生利用が困難と見込まれる農地」が66%となっている。(図Ⅱ-3-(8))

図Ⅱ-3-(8) 耕作放棄地の推移



資料) 農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査」

注) 各項目の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合がある。

注) 令和4年度より、一部地域の調査手法を精査

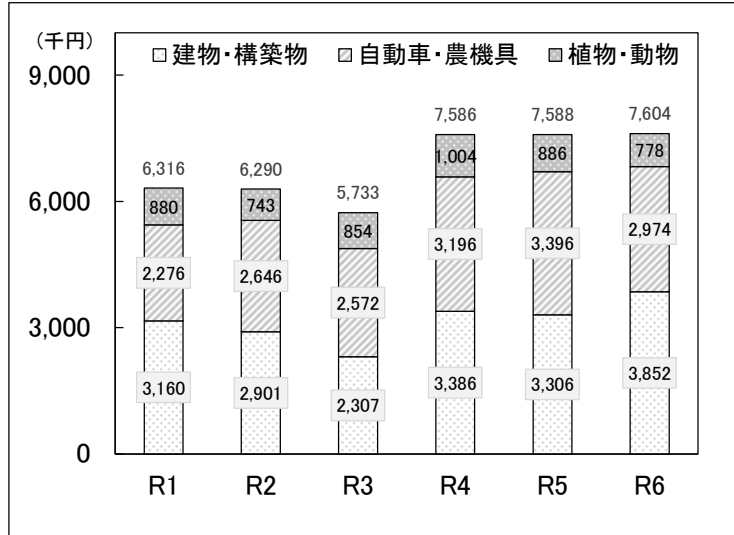
第4節 農業投資及び金融の動向

第1 農業固定資産の動向

(農業固定資産額は前年並み)

令和6年(2024年)の個人経営体当たりの農業固定資産額(土地を除く)は、建物・構築物が増加したものの、自動車・農機具、植物・動物は減少し、ほぼ前年並みとなった(前年比100.2%)。(図Ⅱ-4-(1))

図Ⅱ-4-(1) 農業固定資産額(個人経営体当たり)の推移



資料) 農林水産省「農業経営統計調査」九州平均値

注) 農業固定資産とは、農業に係る有形固定資産のうち土地を除いた合計(自動車・農機具、建物・構築物、植物・牛馬)をいう。

注) R4以降は個人経営体(青色申告を行っている経営体)の数値。

第2 農業農村整備投資の動向

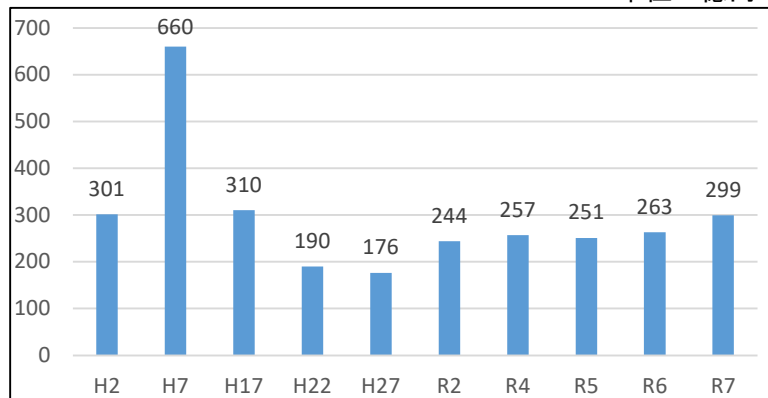
(本県のNN投資額はかなり大きく増加)

本県のNN投資額は、平成2年度(1990年度)以降、経済対策やUR関連対策等を実施し、平成10年度(1998年度)までは増加したものの、それ以降は公共予算の削減などの影響もあり、減少傾向にあった。

近年は、国のNN事業関係予算はやや増加傾向にあるが、本県のNN投資額については、かなり大きく増加し、令和7年度(2025年度)のNN投資額は、前年度より36億円増(前年度比114%)の299億円となった。(図Ⅱ-4-(2))

図Ⅱ-4-(2) NN投資額の推移

単位: 億円



資料) 県農林水産部調べ

注) NNとは、「農業農村整備」の略称。

注) 県予算のうち、土地改良費と農地防災事業費を集計したものであり、多面的機能支払交付金等のソフト事業やその他単県事業を含む。

第3 スマート農業機械の普及の動向

(環境制御機器やドローン等の導入は増加)

県では、担い手の減少が進む中、「くまもとの農業」の持続的発展に向け、「農作業の効率化」、「収量・品質の向上」、「誰もが実践可能な農業技術」の3つの視点で、スマート農業技術や機械を活用した現地実証、試験研究、若い世代への啓発を展開しながら、生産性の向上に取り組んでいる。

生産現場では、生産コストの低減や高付加価値化による収益性向上に向けた施設整備や機器の導入が進んでいる。

1 施設園芸 環境制御機器

ほ場やハウス内外の環境（温湿度、日射量、CO₂濃度等）を各種センサーで自動測定し、タブレット等において確認ができ、自動で天窓の開閉やかん水等を実施することができる。令和7年度（2025年度）は3.14haの施設で導入された（表Ⅱ-4-(1)）

表Ⅱ-4-(1) 環境制御機器を導入した施設数及び面積

| 導入した施設数（棟） | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 年度 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 計 |
| トマト | 45 | 45 | 20 | 9 | 3 | 4 | — | 8 | 1 | 10 | 145 |
| ナス | — | 10 | 3 | — | 6 | 2 | 2 | 10 | 1 | — | 34 |
| キュウリ | — | 3 | — | — | — | — | — | — | — | — | 3 |
| イチゴ | — | — | 2 | — | — | — | — | — | — | — | 2 |
| ベビリーフ | — | — | — | — | — | — | 18 | 28 | — | — | 46 |
| 年計 | 45 | 58 | 25 | 9 | 9 | 6 | 20 | 46 | 2 | 10 | 230 |
| 導入した施設面積（ha） | | | | | | | | | | | |
| トマト | 13.53 | 12.26 | 5.83 | 3.21 | 0.98 | 0.83 | — | 2.23 | 0.24 | 3.14 | 42.25 |
| ナス | — | 2.34 | 0.76 | — | 1.21 | 0.73 | 0.96 | 2.23 | 0.16 | — | 8.39 |
| キュウリ | — | 0.64 | — | — | — | — | — | — | — | — | 0.64 |
| イチゴ | — | — | 0.49 | — | — | — | — | — | — | — | 0.49 |
| ベビリーフ | — | — | — | — | — | — | 0.98 | 1.52 | — | — | 2.50 |
| 年計 | 13.53 | 15.24 | 7.08 | 3.21 | 2.19 | 1.56 | 1.94 | 5.98 | 0.40 | 3.14 | 54.27 |

資料) 県農林水産部調べ

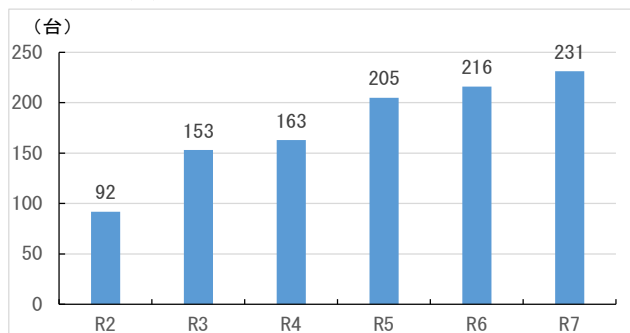
図Ⅱ-4-(3) 環境制御機器



2 作物 ドローン

農薬や肥料の散布が可能なドローンは、取扱いが容易で比較的安価であることから、地域営農組織や個人での導入が進んでおり、主に米麦等の病害虫防除に使用されている。（表Ⅱ-4-(2)）

図Ⅱ-4-(4) ドローンの導入状況（累計）



資料) 県農林水産部調べ

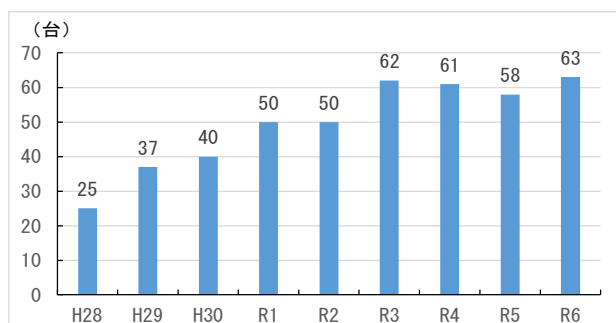
図Ⅱ-4-(5) ドローンによる散布



3 畜産 ロボット

搾乳ロボットは、酪農において欠かせない作業である搾乳作業を自動で行う装置で、自動給餌器とセットになっており、乳牛がエサを求めて搾乳ロボット内に入ることで搾乳が開始される。また、哺乳ロボットは、子牛に自動でほ乳作業を行う。県内においては令和6年末時点で搾乳ロボットが63台導入されている。（表Ⅱ-4-(3)）

図Ⅱ-4-(6) 搾乳ロボットの導入状況

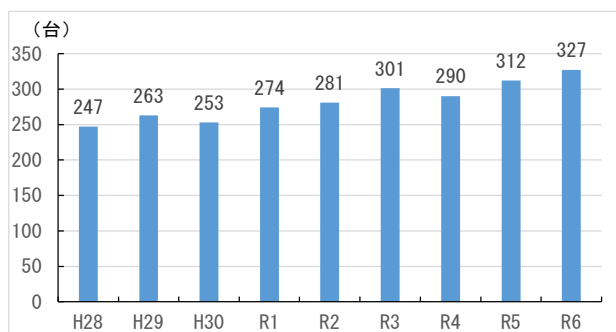


図Ⅱ-4-(7) 搾乳ロボット



資料) 県農林水産部調べ

図Ⅱ-4-(8) ほ乳ロボットの導入状況



図Ⅱ-4-(9) ほ乳ロボット

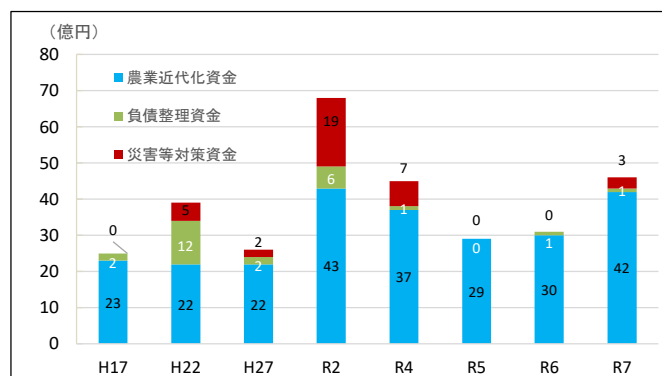


資料) 県農林水産部調べ

第4 農業金融の動向

農業制度資金の承認等実績は、令和2年度（2020年度）に新型コロナウイルス対策緊急支援資金等の貸付けにより前年度比でかなり大きく増加した。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いた令和5年度、6年度は30億円前後だったが、令和7年度（2025年度）は、農業近代化資金の活用が伸び、前年度に比べ約15億円増加した。

図Ⅱ-4-(10) 農業制度資金承認等実績の推移



資料) 県農林水産部調べ

1 農業近代化資金

(設備投資等により貸付けは大幅に増加)

農業近代化資金の令和7年度（2025年度）の承認実績は、燃油や資材等の価格の高騰が続くものの、設備投資を積極的に進める傾向が見られ、前年度と比較し、大幅に増加した。（前年度比137.5%）。（巻末表Ⅱ-4-(1)）

2 負債整理資金

(負債整理資金は大幅に増加)

令和6年度（2024年度）は、農業経営負担軽減支援資金で54百万円の貸付実績が生じたが、令和7年度（2025年度）は大家畜・養豚特別支援資金で約61百万円、酪農・肉用牛担い手緊急支援資金で約61百万円の貸付実績が生じ、前年度と比較し、大幅に増加した。（前年度比225.9%）（巻末表Ⅱ-4-(1)）

第3章 農産物の生産、流通及び価格の動向

第1節 農産物の価格や農業産出額等の動向

第1 農産物価格及び農業生産資材価格の動向

(農産物価格指数は、前年からかなりの程度上昇)

令和6年(2024年)の農産物価格指数(全国値、令和2年(2020年)を100とする)は、畜産以外の価格の上昇により、117.3(前年比(以下同)108%)とかなりの程度上昇した。

品目別にみると、米は価格が大幅に上昇し114.5(126.9%)となった。野菜はきゅうり、キャベツ等の価格が上昇し127.7(112.7%)となった。果実はりんご、みかん等の価格が上昇し124.9(118.6%)となった。畜産は、鶏卵の価格が低下し110.6(97.5%)となった。(表Ⅲ-1-(1))

表Ⅲ-1-(1) 類別農産物価格指数の推移

| 区 分 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | 増減(△)年率(%) | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|------------|---------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | | H17~H22 | H22~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 |
| 農産物総合 | 82.2 | 83.7 | 90.1 | 100 | 102.2 | 108.6 | 117.3 | 0.4 | 1.5 | 2.1 | 2.2 | 6.3 | 8.0 |
| 米 | 93.2 | 87.6 | 77.6 | 100 | 82.0 | 90.2 | 114.5 | △1.2 | △2.4 | 5.2 | △18.0 | 10.0 | 26.9 |
| 野菜 | 79.6 | 91.6 | 101.1 | 100 | 106.2 | 113.3 | 127.7 | 2.8 | 2.0 | △0.2 | 6.2 | 6.7 | 12.7 |
| 果実 | 59.7 | 71.3 | 75.1 | 100 | 101.4 | 105.3 | 124.9 | 3.6 | 1.0 | 5.9 | 1.4 | 3.8 | 18.6 |
| 花き類 | 97.5 | 96.0 | 98.9 | 100 | 117.2 | 119.1 | 126.1 | △0.3 | 0.6 | 0.2 | 17.2 | 1.6 | 5.9 |
| 工芸作物 | 128.4 | 107.2 | 105.3 | 100 | 113.1 | 111.7 | 115.4 | △3.5 | △0.4 | △1.0 | 13.1 | △1.2 | 3.3 |
| 畜産 | 77.5 | 77.3 | 98.0 | 100 | 105.3 | 113.4 | 110.6 | △0.1 | 4.9 | 0.4 | 5.3 | 7.7 | △2.5 |

資料) 農林水産省「農業物価指数」

注) 主要作目のみ掲載。R2年の数値を100として再計算。

(農業生産資材価格指数は、やや上昇)

令和6年(2024年)の農業生産資材価格指数(全国、令和2年(2020年)を100とする)は、肥料や飼料等の価格が低下したものの農機具等が上昇し、120.6(99.4%)とほぼ前年並みとなった。(表Ⅲ-1-(2))

表Ⅲ-1-(2) 類別農業生産資材価格指数の推移

| 区 分 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | 増減(△)年率(%) | | | | | |
|--------|------|------|-------|-----|-------|-------|-------|------------|---------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | | H17~H22 | H22~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 |
| 生産資材総合 | 80.8 | 88.8 | 98.2 | 100 | 116.6 | 121.3 | 120.6 | 1.9 | 2.0 | 0.4 | 16.6 | 4.0 | △0.6 |
| 種苗・苗木 | 84.7 | 86.6 | 94.8 | 100 | 104.0 | 106.8 | 109.6 | 0.4 | 1.8 | 1.1 | 4.0 | 2.7 | 2.6 |
| 畜産用動物 | 71.3 | 63.4 | 94.0 | 100 | 96.2 | 88.3 | 86.8 | △2.3 | 8.2 | 1.2 | △3.8 | △8.2 | △1.7 |
| 肥料 | 69.4 | 92.0 | 101.2 | 100 | 130.8 | 147.0 | 136.9 | 5.8 | 1.9 | △0.2 | 30.8 | 12.4 | △6.9 |
| 飼料 | 70.8 | 82.0 | 102.1 | 100 | 138.0 | 145.7 | 140.5 | 3.0 | 4.5 | △0.4 | 38.0 | 5.6 | △3.6 |
| 農薬 | 86.5 | 95.4 | 97.8 | 100 | 102.9 | 112.9 | 114.8 | 2.0 | 0.5 | 0.4 | 2.9 | 9.7 | 1.7 |
| 光熱動力 | 83.0 | 94.0 | 100.9 | 100 | 127.3 | 126.9 | 130.0 | 2.5 | 1.4 | △0.2 | 27.3 | △0.3 | 2.4 |
| 農機具 | 91.2 | 95.6 | 97.7 | 100 | 100.9 | 105.0 | 108.3 | 0.9 | 0.4 | 0.5 | 0.9 | 4.1 | 3.1 |
| 建築資材 | 78.1 | 83.8 | 94.3 | 100 | 133.3 | 137.2 | 137.0 | 1.4 | 2.4 | 1.2 | 33.3 | 2.9 | △0.1 |
| 賃借料・料金 | 89.7 | 92.5 | 96.3 | 100 | 102.3 | 105.0 | 107.8 | 0.6 | 0.8 | 0.8 | 2.3 | 2.6 | 2.7 |

資料) 農林水産省「農業物価指数」

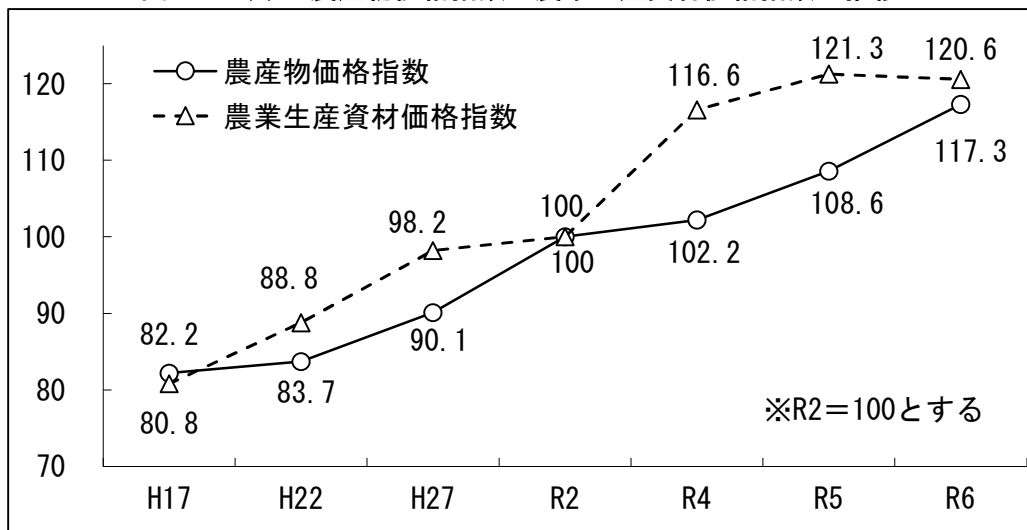
注) 主要作目のみ掲載。R2年の数値を100として再計算。

(農業交易条件は、前年からかなりの程度上昇)

令和6年(2024年)は農産物価格指数が上昇し、農業生産資材価格指数は減少したため、農業交易条件指数[※]は97.3(前年比108.7%)とかなりの程度、上昇した。(図Ⅲ-1-(1)(2))

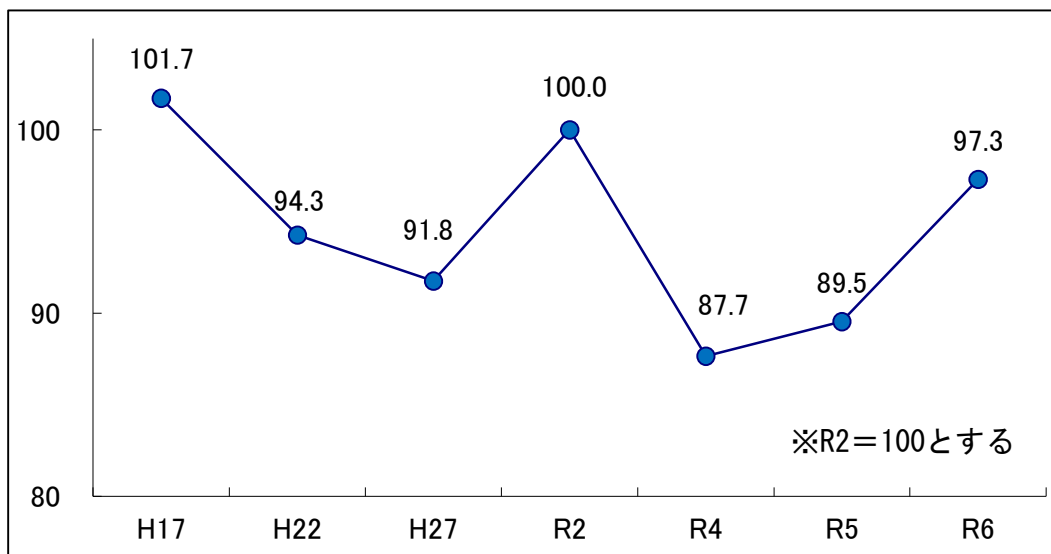
※農業交易条件指数とは、生産者の収益環境の変化を示す指標として指数化したもので、農業交易条件指数の上昇は生産者の経営環境の改善を意味する。

図Ⅲ-1-(1) 農産物価格指数と農業生産資材価格指数の推移



資料) 農林水産省「農業物価指数」

図Ⅲ-1-(2) 農業の交易条件指数の推移



資料) 農林水産省「農産物価格指数」

注) 交易条件指数 = 農産物価格指数 ÷ 生産資材価格指数

第2 農業産出額及び生産農業所得

1 令和6年(2024年)農業産出額

(令和6年(2024年)の農業産出額は、前年からかなりの程度増加)

令和6年(2024年)の農業産出額は、鶏卵や肉用牛等が減少した一方で、米や野菜、豚、乳用牛等が増加したため、前年より359億円増の4,116億円(前年比(以下同)109.6%)とかなりの程度増加した。

また、全国順位は6位(前年5位)、九州では2位(前年同)となった。

品目別では、米は前年より217億円増の545億円(166.2%)と大幅に増加した。全国的な流通量が減少し、需要の高まりに伴う価格の大幅な上昇等によるもの。

野菜は前年より143億円増の1,508億円(110.5%)とかなりの程度増加した。

夏期の高温や冬期の低温など気象の影響で全国的に生産量が減少し、需要の高まりに伴うトマト、すいか等県主要品目全般の価格が上昇したこと等によるもの。

果実は、前年より28億円増の419億円(107.2%)とかなりの程度増加した。

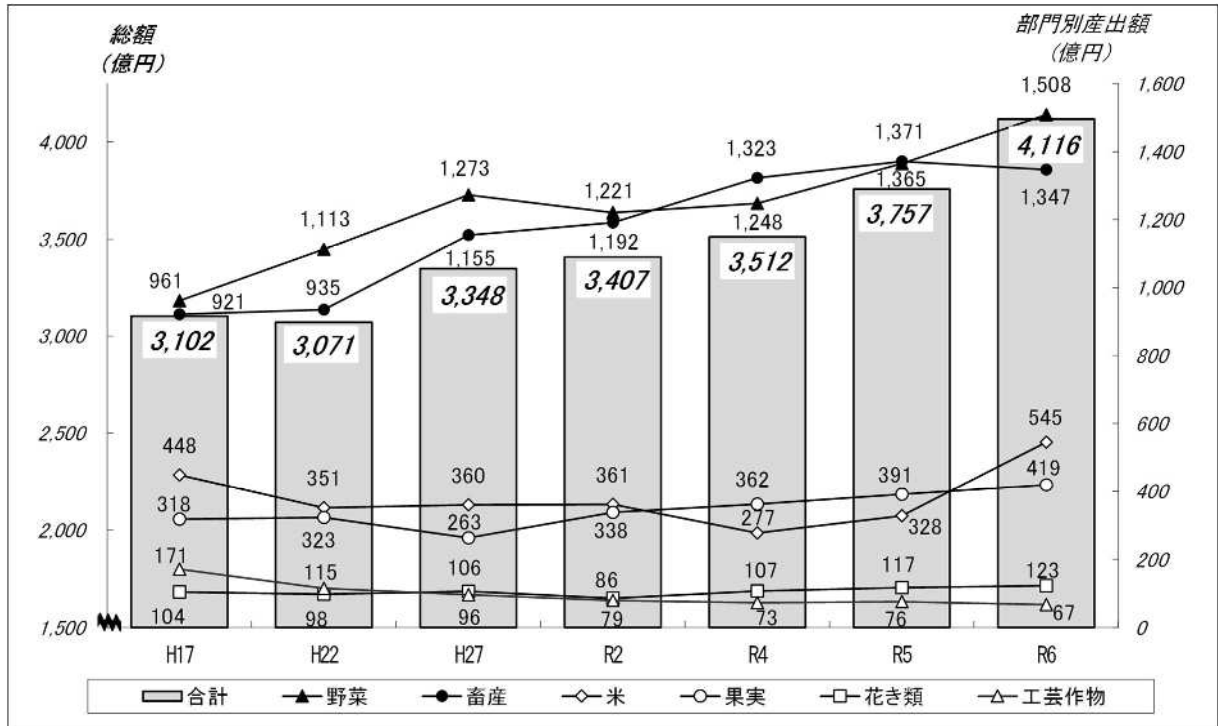
夏季の高温等の影響により全国的な生産量が減少し、引き合いが強かったこと等に伴う価格の上昇等によるもの。

畜産は、前年より24億円減の1,347億円(98.2%)とわずかに減少した。

物価高騰による消費者の生活防衛意識の高まりから牛肉消費量が減少し、肉用牛(枝肉・子牛)の価格が低下し、代替となる豚は需要の高まりに伴う価格の大幅な上昇等により増加した。乳用牛は令和5年の飲用等(加工・発酵乳)向け生乳取引価格の引き上げにより増加した一方、令和5年度に高病原性鳥インフルエンザで高騰した鶏卵の単価が令和6年は落ち着いたことによるもの。

(図Ⅲ-1-(3)、表Ⅲ-1-(3))

図Ⅲ-1-(3) 農業産出額及びその内訳の推移



資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

表Ⅲ-1-(3) 各品目の農業産出額

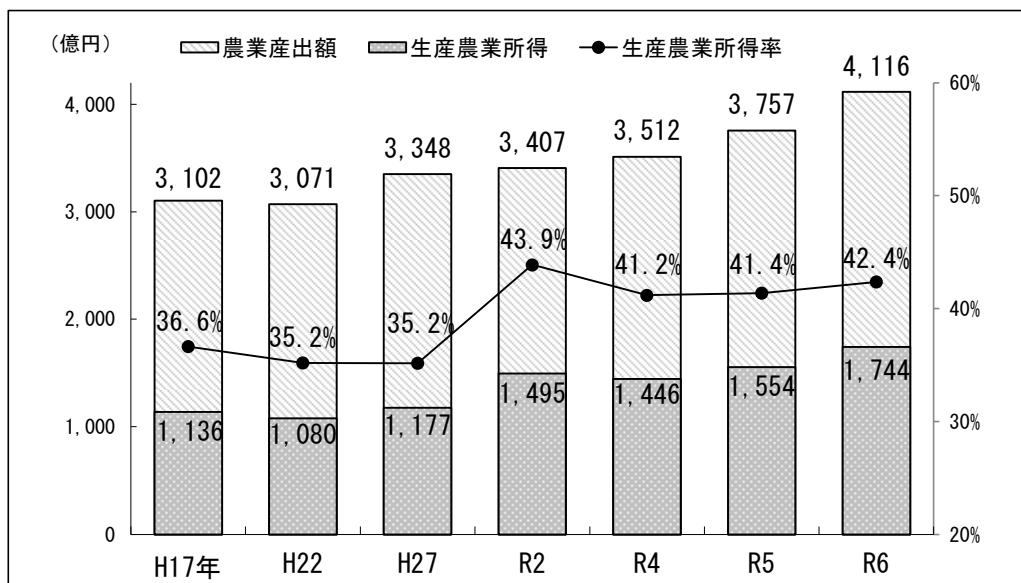
| 年次 | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 農業 産出 額 | 米 | 448 | 351 | 360 | 361 | 277 | 328 | 545 |
| | 野菜 | 961 | 1,113 | 1,273 | 1,221 | 1,248 | 1,365 | 1,508 |
| | 果実 | 318 | 323 | 263 | 338 | 362 | 391 | 419 |
| | 花き類 | 104 | 98 | 106 | 86 | 107 | 117 | 123 |
| | 工芸作物 | 171 | 115 | 96 | 79 | 73 | 76 | 67 |
| | 畜産 | 921 | 935 | 1,155 | 1,192 | 1,323 | 1,371 | 1,347 |
| | その他 | 179 | 136 | 95 | 130 | 122 | 109 | 107 |
| 合計 | 3,102 | 3,071 | 3,348 | 3,407 | 3,512 | 3,757 | 4,116 | |

2 令和6年（2024年）生産農業所得

（令和6年（2024年）の生産農業所得は、かなりの程度増加）

令和6年（2024年）の生産農業所得は、前年より190億円増の1,744億円（前年比112.2%）となった。また全国順位は3位、九州では1位となった。（図Ⅲ-1-(4)）

図Ⅲ-1-(4) 農業産出額及び生産農業所得の推移



資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

3 令和7年（2025年）主要品目の動向

米は、「令和の米騒動」を受け、主食用米の作付面積が前年からかなりの程度増加したことに加え、生育期間中の天候に恵まれたことから、生産量は前年からかなり大きく増加した。また、全国的に米の需要が高まり、価格は前年より大幅に上昇したことから、米の産出額は前年より増加傾向となった。

野菜は、令和7年8月豪雨災害により一部の品目で生産量が減少したが、生産量が前年と同等または増加した品目も多かったことから、単価はやや低く推移したものの、産出額は増加傾向となった。

果樹は、着果や果実肥大が順調であったことから、生産量が増加し、単価は下がったことで、産出額は前年並み傾向となった。

花き類は、生産者の減少や夏季の高温等により生産量が減少し、産出額は減少傾向となった。

工芸作物は、畳表の単価は低下し、いぐさや葉たばこの作付面積が減少したことから、産出額は減少傾向となった。

畜産は、肉用牛では子牛価格が回復基調にあることに加え、枝肉価格も高値で推移しており、乳用牛では飲用向け生乳取引価格が引き上げられ単価が上昇し、豚肉では国産の引き合いが高かったものの生産量は低下した。また、鶏卵やブロイラーでは全国的な高病原性鳥インフルエンザの影響により高い水準で推移したことから、畜産の産出額は総じて増加傾向となった。

第3 農業生産性の動向

（令和6年（2024年）の労働生産性と資本生産性は増加。土地生産性はかなりの程度増加）

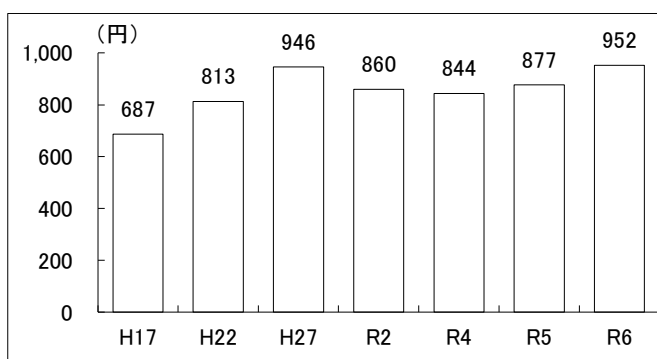
令和6年は、農業粗収益、農業経営費ともに増加しているが、前者の増加幅が大きかったことで、付加価値額が増加したため、労働生産性（農業労働1時間あたりの付加価値額）は、952円（前年比（以下同）108.6%）と前年よりかなりの程度増加した。（図Ⅲ-1-（5））

同様に、土地生産性（経営耕地10aあたりの付加価値額）も、127,600円（122.2%）と大幅に増加した。（図Ⅲ-1-（6））

また、資本生産性（農業固定資本1,000円あたりの付加価値額）は、524円（149.1%）と大幅に増加した。（図Ⅲ-1-（7））

なお、平成16年（2004年）からの農業生産性の動向は、国の農業経営統計調査の見直しにより、平成15年（2005年）までのデータとの累年的データの比較ができないものとなった。これは、農業収支は農家全体を計上するものの、農業以外については農業経営に関与する世帯員（就学者を除く当該農業従事日数60日以上の方）が関わる収支のみを計上したためである。

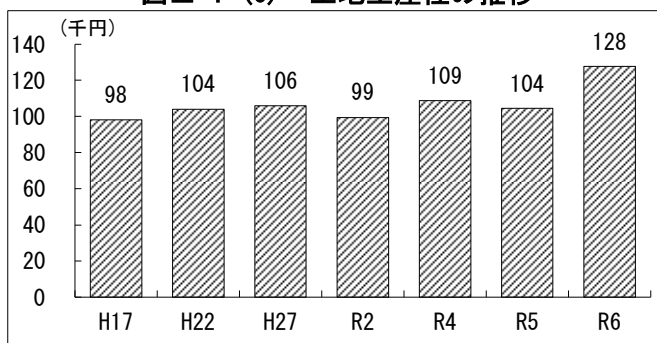
図Ⅲ-1-（5） 労働生産性の推移



資料) 農林水産省「農家経済調査」「農業経営統計調査」

注) 農業労働1時間あたりの付加価値額である。
 ※H29以降は九州平均値（県別データの公表なし）
 ※R4以降は個人経営体（青色申告を行っている経営体）の数値

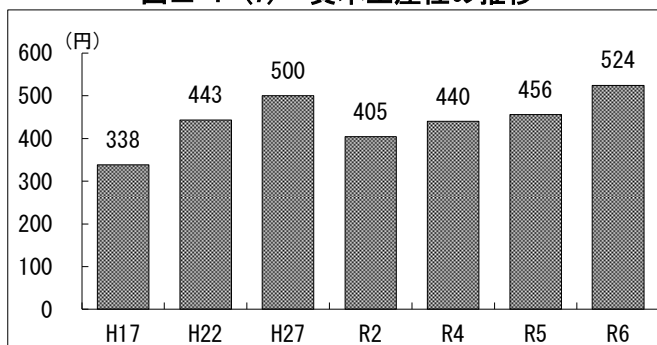
図Ⅲ-1-（6） 土地生産性の推移



資料) 農林水産省「農家経済調査」「農業経営統計調査」
 注) 経営耕地10aあたりの付加価値額である。

※H29以降は九州平均値（県別データの公表なし）
 ※R4以降は個人経営体（青色申告を行っている経営体）の数値

図Ⅲ-1-（7） 資本生産性の推移



資料) 農林水産省「農家経済調査」「農業経営統計調査」

注) 農業固定資本1,000円あたりの付加価値額である。
 ※H29以降は九州平均値（県別データの公表なし）
 ※R4以降は個人経営体（青色申告を行っている経営体）の数値。

第4 食料自給率の動向

(令和5年度(2023年度)の本県の食料自給率はカロリーベースで62%、生産額ベースで154%)

我が国のカロリーベース総合食料自給率は、平成10年(1998年)以降40%前後で推移してきており、依然として食料の海外への依存度が高い状況にある。

令和5年度(2023年度)の本県における総合食料自給率について、カロリーベースは、前年度から2ポイント増加し62%となった。また、生産額ベースでは、前年度から8ポイント増加し154%となった。(表Ⅲ-1-(4))

本県において、カロリーベースよりも生産額ベースの自給率が高いのは、他県に比べカロリーの高い米やイモなどの割合が低く、逆に販売単価の高い野菜や畜産、果実の割合が高いためである。野菜と畜産、その他が農業産出額の約3分の1ずつを占める多彩な営農が反映されている。

表Ⅲ-1-(4) 本県食料自給率の推移

| 区分 | | 単位 | H17年度 | 22 | 27 | R2 | R4 | R5※ | R6※※ |
|----------------------|------------|-----|-------|------|------|------|------|------|------|
| 総合自給率 | カロリーベース(県) | | 58 | 61 | 58 | 55 | 60 | 62 | |
| | (全国) | | (40) | (39) | (39) | (37) | (38) | (38) | (38) |
| 生産額ベース | 生産額ベース(県) | | 153 | 155 | 152 | 164 | 146 | 154 | |
| | (全国) | | (70) | (70) | (66) | (67) | (58) | (61) | (64) |
| 県内の品目別 (重量・金額)ベース | 米 | % | 148 | 163 | 155 | 142 | 155 | 153 | |
| | 小麦 | | 20 | 10 | 14 | 19 | 23 | 20 | |
| | 大豆 | | 6 | 9 | 5 | 7 | 5 | 9 | |
| | 野菜 | | 264 | 283 | 303 | 315 | 322 | 333 | |
| | 果実 | | 133 | 115 | 98 | 107 | 111 | 107 | |
| | 牛乳 | | 257 | 244 | 252 | 270 | 275 | 277 | |
| | 牛肉 | | 191 | 179 | 161 | 142 | 162 | 171 | |
| | 豚肉 | | 118 | 116 | 120 | 124 | 139 | 128 | |
| 鶏卵 | 112 | 106 | 116 | 125 | 123 | 137 | | | |

資料) 農林水産省「食料需給表」、「生産農業所得統計」、「作物統計」、総務省「国勢調査」、「推計人口」

注) 品目別自給率=国内品目別自給率×県生産量割合÷県人口割合として県で試算(人口割合は、各年10月1日現在)。米、小麦、大豆は収穫量、その他は農業産出額(野菜はいも類を除く)、牛乳は、飲用向けとし、国内自給率を100%として試算した。

※R5の数値のうち、確定値は全国値のみであり、県の数値は概算値。

※※R6の数値は、全国値(概算値)のみ公表。

※※R6品目別自給率(県算出)は、R6都道府県別値が公表された後、試算予定。

県の推計である品目別自給率に関して、大豆、野菜、牛乳、牛肉、鶏卵は前年より産出額が増加したこと等により上昇し、その他の品目は、生産量または産出額が前年並みか前年より減少したため、自給率は減少した。

本県は、カロリーベースで全国17位、生産額ベースで全国8位に位置しており、米、野菜、牛乳、牛肉等の品目で自給率が100%を超えるなど、国民生活を維持するための食料供給県として重要な役割を果たしているといえる。(表Ⅲ-1-(5)(6))

表Ⅲ-1-(5) 食料自給率 (R5 カロリーベース)

| 順位 | 都道府県名 | 食料自給率 |
|----|-------|-------|
| 1 | 北海道 | 213 |
| 2 | 秋 田 | 202 |
| 3 | 山 形 | 148 |
| 4 | 青 森 | 123 |
| 5 | 新 潟 | 114 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| 14 | 福 井 | 66 |
| 14 | 島 根 | 66 |
| 16 | 宮 崎 | 64 |
| 17 | 熊 本 | 62 |
| 18 | 鳥 取 | 60 |
| 19 | 長 野 | 55 |
| 20 | 滋 賀 | 49 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| 45 | 神奈川 | 2 |
| 46 | 大 阪 | 1 |
| 47 | 東 京 | 0 |

資料) 農林水産省「都道府県別食料自給率」

表Ⅲ-1-(6) 食料自給率 (R5 生産額ベース)

| 順位 | 都道府県名 | 食料自給率 |
|----|-------|-------|
| 1 | 宮 崎 | 267 |
| 2 | 鹿児島 | 261 |
| 3 | 青 森 | 229 |
| 4 | 北海道 | 204 |
| 5 | 岩 手 | 195 |
| 6 | 山 形 | 167 |
| 7 | 高 知 | 162 |
| 8 | 熊 本 | 154 |
| 9 | 長 崎 | 140 |
| 10 | 秋 田 | 137 |
| 11 | 佐 賀 | 136 |
| 12 | 長 野 | 131 |
| 13 | 鳥 取 | 125 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| 45 | 神奈川 | 11 |
| 46 | 大 阪 | 6 |
| 47 | 東 京 | 2 |

資料) 農林水産省「都道府県別食料自給率」

第2節 気象の動向と農業気象災害の発生状況

第1 気象の動向

(平均気温は平年よりやや高く、年間降水量はほぼ前年並み、日照時間はかなりの程度長い)

熊本地方の年平均気温は、18.1℃で、平年(17.2℃)より+0.9℃高かった。月別の平年値と比較すると、それぞれ1月は-0.2℃、2月は-2.2℃、3月は+1.1℃、4月は+0.4℃、5月は-0.4℃、6月は+1.5℃、7月は+2.2℃、8月は+0.8℃、9月は+2.8℃、10月は+3.4℃、11月は+0.4℃、12月は+1.2℃であった。

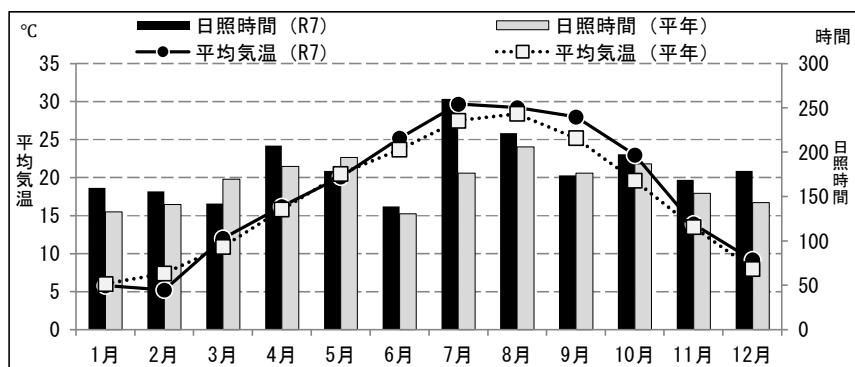
年間降水量は、1,998mmで平年(2,007.0mm)比99.6%とほぼ前年並みであった。一方、8月10日から11日にかけて熊本地方と天草・芦北地方に線状降水帯が発生し、県内7市町に大雨特別警報が発表され、記録的な大雨となった。

梅雨入り(九州北部地方)は5月16日ごろで平年(6月4日ごろ)より19日早く、明けは6月27日ごろで平年(7月19日ごろ)より22日とかなり早かった。

日照時間は、2,184時間で平年(1,996時間)比109%とかなりの程度長かった。月ごとに平年値と比較すると、1月は120%、2月は110%、4月は113%、6月は106%、7月は147%、8月は108%、10月は106%、11月は110%、12月は125%と長く、3月は84%、5月は92%、9月は99%と短かった。

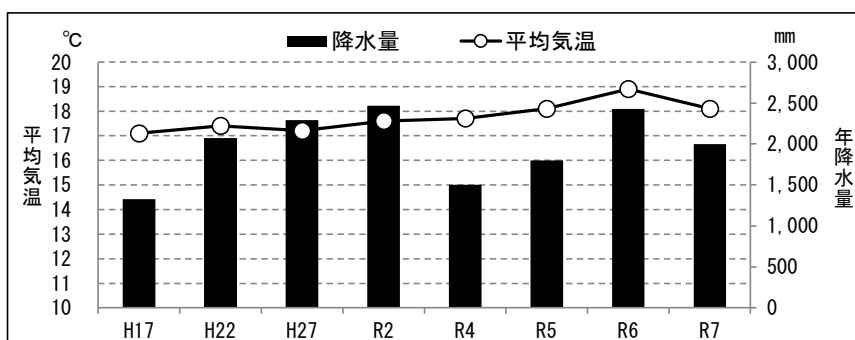
台風は、第12号が8月21日に九州上陸し、第15号が9月に接近した。

図Ⅲ-2-(1) 令和7年(2025年)の平均気温と日照時間月別推移(熊本地方)



資料) 気象庁「気象統計情報」

図Ⅲ-2-(2) 平均気温と年降水量の年別推移(熊本地方)



資料) 気象庁「気象統計情報」

第2 農業気象災害の発生状況

(農業関係被害は約681億円)

令和7年(2025年)1~12月の気象災害による農業関係被害額は、約681億円となった。

6月22日~6月25日の大雨による被害が約9千7百万円、令和7年8月豪雨による被害が約680億円、9月10日の大雨による被害が約3百万円であった。(表Ⅲ-2-(1))。

表Ⅲ-2-(1) 農業気象災害の発生状況(令和7年(2025年)1~12月)【確定値】

(単位:千円)

| | 災害名 | 時期 | 農作物 | 農業施設 (ビニールハウス等) | 農地・ 農業用施設 | 計 |
|---|--------------|-----------|-----------|--------------------|--------------|------------|
| 1 | 大雨 | 6.10~6.11 | ※林業被害のみ | | | |
| 2 | 大雨 | 6.22~6.25 | | | 97,227 | 97,227 |
| 3 | 令和7年8月 豪雨 | 8.6~11 | 1,638,119 | 5,916,900 | 60,460,669 | 68,015,688 |
| 4 | 大雨 | 9.10 | 2,632 | | | 2,632 |
| 計 | | | 1,640,751 | 5,916,900 | 60,557,896 | 68,115,547 |

資料) 県農林水産部調べ

第3節 新たな流通販売の促進

第1 県内及び県外流通

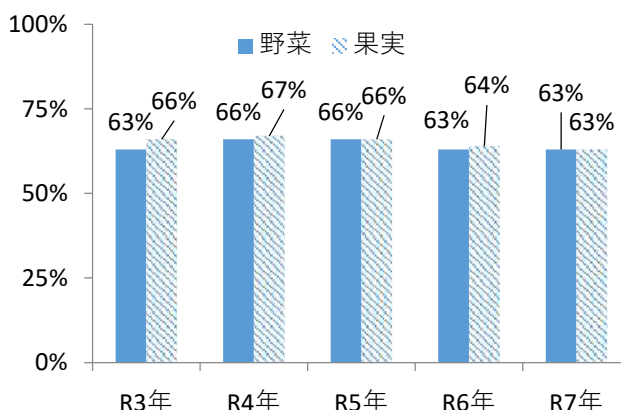
（県内地方卸売市場における県産青果物の取扱数量は6～7割で推移）

熊本県内の地方卸売市場における令和7年（2025年）の県産青果物の取扱数量は、野菜が63%、果実が63%であり、近年6～7割で推移している。

（図Ⅲ-3-(1)）

県産青果物は、一部を除いて県外への出荷割合が高く、特に本県の主要品目であるトマト、すいか、メロン、いちご、みかん、不知火類（デコポン）は、大消費地への出荷によって産地が発展してきた経緯もあり、東京、大阪の市場において大きなシェアを占めている。（表Ⅲ-3-(1)）

図Ⅲ-3-(1) 県内の地方卸売市場における県産青果物のシェア



資料) 熊本県卸売市場統計

表Ⅲ-3-(1) 東京・大阪市場における取扱量の県産シェアと位置 (単位: トン、%)

| | 東京 (令和7年) | | | | 大阪 (令和7年) | | | |
|------|-----------|-----------|-------|----|-----------|-----------|-------|----|
| | 取扱量 (トン) | うち県産 (トン) | シェア | 順位 | 取扱量 (トン) | うち県産 (トン) | シェア | 順位 |
| 野菜計 | 1,246,347 | 29,086 | 2.3% | 11 | 450,076 | 18,873 | 4.2% | 8 |
| トマト | 81,132 | 18,597 | 22.9% | 1 | 29,940 | 13,771 | 46.0% | 1 |
| なす | 37,586 | 1,875 | 5.0% | 6 | 9,764 | 1,701 | 17.4% | 2 |
| 果実計 | 336,305 | 29,137 | 8.7% | 3 | 182,294 | 7,045 | 3.9% | 5 |
| すいか | 37,715 | 7,285 | 19.3% | 1 | 17,216 | 2,524 | 14.7% | 4 |
| メロン | 14,689 | 1,880 | 12.8% | 2 | 6,041 | 1,018 | 16.9% | 3 |
| いちご | 24,229 | 539 | 2.2% | 7 | 7,447 | 1,165 | 15.6% | 3 |
| みかん | 85,711 | 13,116 | 15.3% | 3 | 22,961 | 1,448 | 6.3% | 2 |
| 不知火類 | 5,585 | 3,101 | 55.5% | 1 | 1,933 | 499 | 25.8% | 2 |

資料) 東京: 東京都中央卸売市場 市場統計情報、大阪: 大阪市中央卸売市場年報

注) トマトはミニトマト等すべてのトマトを含む。なすは、こなす、べいなす、ながなすの計。すいかは小玉すいかも含む。みかんは、極早生、早生、普通、ハウスの計。

これらの特徴を生かし、大消費地にある連携量販店の店頭で試食販売等の販売促進フェア等を実施し、売り場の確保や県産品の認知度向上を図っている。

一方で、物流の2024問題や輸送コストの高騰もあり、近距離かつ九州一の消費地である福岡県を新たなターゲットとして、「食のみやこフェス」や「食べ歩きフェア」といったイベントを開催し、新たな消費拡大・販路開拓の支援を行っている。

他にも、登録産品数が全国1位である地理的表示(GI)登録産品などの特色ある農林水産物を生かして、スーパーマーケットトレードショー等の商談会への出展支援や、首都圏等ホテル・レストランの産地視察対応による県産品の提案などに取り組んでいる。

第2 農畜産物輸出

(令和6年度(2024年度)の輸出額は過去最高を更新)

輸出の取組みは、国内マーケットが縮小傾向にある中、新たな販路の開拓と創出、国内市場の需給安定、輸出を通じたブランド価値の向上につながるものとして期待されている。

県産農畜産物の輸出額は、毎年度増加しており、令和6年度(2024年度)輸出額についても、過去最高を更新し、約70億9千万円となった。

(図Ⅲ-3-(2))

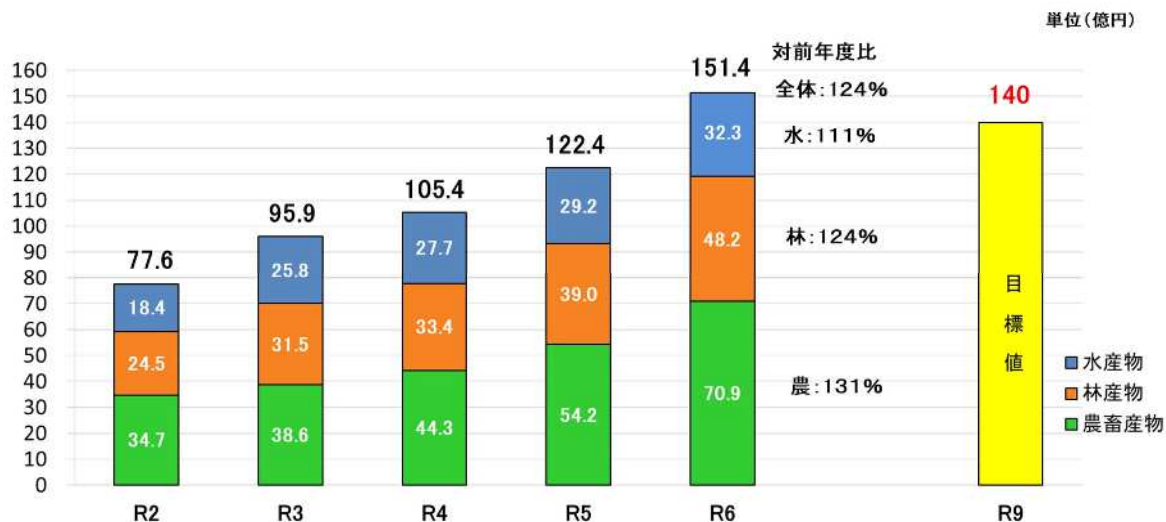
品目別では、輸出額の5割以上を占める牛肉は、安定した和牛人気を背景に増加している。メロンは、連携協定を締結した小売店を中心に、香港やシンガポールへの輸出が安定し、かんきつは、台湾向けにゆうばれの出荷が開始した。(表Ⅲ-3-(2))

県では、さらなる輸出拡大を図るため、海外バイヤーを招へいし、産地視察や商談会、現地小売店・飲食店でのプロモーション等を実施している。また、非関税障壁の高い台湾への輸出を促進するため、取引準備から商談機会の創出まで総合的な支援を実施し、市場開拓を図っている。

加えて、シンガポールに「熊本県アジア事務所」を、また香港に「熊本香港事務所」を設置し、本県農林水産物等の輸出促進の支援等を行っている。

さらに、県・市町村・関係団体で連携して、「くまもとうまかもん輸出支援協議会」を設立し、県産品の輸出拡大に向けた情報交換や販促活動による「オール熊本」での支援を実施している。

図Ⅲ-3-(2) 令和6年度（2024年度）県産農林水産物等の輸出実績



(くまもと新時代共創総合戦略のKPI)

資料) 県商工労働部調べ(県が輸出を把握している団体・業者への調査)

表Ⅲ-3-(2) 令和6年度（2024年度）農産物等の品目別・国別輸出状況

| | 米 | かんしょ | いちご | 梨 | メロン | かんきつ | 牛肉 | 牛乳 | その他の農畜産物 | 加工食品 | 合計 | 合計(R5) | 対前年度比 |
|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|-----------|---------|----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 香港 | 0 | 21,693 | 456,063 | 3,297 | 49,653 | 18,074 | 676,793 | 143,825 | 133,732 | 377,976 | 1,881,106 | 1,668,596 | 113% |
| 台湾 | 0 | 0 | 46,422 | 3,617 | 0 | 20,535 | 1,392,105 | 4,291 | 80,200 | 136,217 | 1,683,387 | 1,496,774 | 112% |
| アメリカ | 591 | 0 | 5,225 | 0 | 3,122 | 0 | 489,271 | 0 | 4,533 | 270,262 | 773,004 | 535,141 | 144% |
| タイ | 0 | 0 | 30,237 | 31 | 0 | 0 | 229,642 | 2,059 | 4,627 | 55,504 | 322,100 | 134,720 | 239% |
| 中国 | 880 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23,000 | 270,569 | 294,449 | 236,174 | 125% |
| シンガポール | 33,284 | 39 | 51,753 | 116 | 20,708 | 57 | 102,042 | 2,461 | 9,136 | 46,335 | 265,931 | 232,478 | 114% |
| その他 | 241 | 105 | 12,949 | 0 | 170 | 4 | 1,058,065 | 0 | 4,204 | 799,174 | 1,874,912 | 1,115,415 | 168% |
| 合計 | 34,996 | 21,837 | 602,649 | 7,061 | 73,653 | 38,670 | 3,947,918 | 152,636 | 259,432 | 1,956,037 | 7,094,889 | 5,419,298 | 131% |
| 合計(R5) | 29,452 | 17,841 | 643,643 | 17,635 | 70,160 | 39,960 | 2,824,381 | 175,212 | 229,428 | 1,371,586 | 5,419,298 | | |
| 対前年度比 | 119% | 122% | 94% | 40% | 105% | 97% | 140% | 87% | 113% | 143% | 131% | | |

資料) 県商工労働部調べ(県が輸出を把握している団体・業者への調査)

第3 農産加工と6次産業化

(農産加工の技術や商品性は格段に進歩)

本県では、農林水産業における所得の確保と雇用の創出を目指して、本県産の優れた農林水産物を活用した付加価値の高い加工品づくりと、その流通・販売に取り組む6次産業化の動きを支援し、新たなビジネスの展開や新産業の創出を図ることとしている。

県内の6次産業化の取組みを強力に推進するため、「地域資源活用・地域連携熊本サポートセンター」を設置し、6次産業化に取り組む事業者を支援している。

その結果、令和8年(2026年)1月末までに、県内93事業者が6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受けており、認定事業者数は九州第2位、全国第6位となっている。

さらに、本県では、良質な農産物を利用した特徴ある加工食品づくりに取り組む比較的小規模の加工組織等も活発に活動しており、令和6年(2024年)には組織数850、販売額514億円となった。(表Ⅲ-3-(3)(4))

このような動きを支援するために、消費者ニーズを捉えた個性ある商品開発・改良を推進するとともに、優秀な加工食品の発掘・PRに向けて、隔年で農産物加工食品コンクールを開催している。令和6年度(2024年度)は、県内各地から23団体33点の出品があり、加工技術や商品性等は格段に進歩している。さらに、その金賞受賞商品は、令和7年度(2025年度)「優良ふるさと食品中央コンクール」の国産畜水産品利用部門において、農林水産省大臣官房長賞を受賞している。

(表Ⅲ-3-(5)(6))

令和7年度(2025年度)からは、「食のみやこ熊本県」の創造につなげるため、地域の関係者が一体となって食の高付加価値化に取り組む組織(コンソーシアム)の育成及び取組みの支援を行っている。

さらに、県南地域においては、フードバレーの取組みとして、物価高騰や豪雨災害で大きな影響を受けた県南地域の食関連産業の復興を図るため、競争に打ち勝つ「売れるモノづくり」に取り組む県南事業所を、ソフト・ハード両面で支援している。また、リスクにも強い「強靱な販路づくり」のため、大規模展示商談会への出展支援や福岡都市圏における物産フェア、通販サイト(「くまもと県南フード市場」Yahoo!ショッピング店)での販売促進キャンペーンなどに取り組んでいる。

また、県南フードバレーを支える「人材づくり」として、主に経営者を対象としたビジネススクール「フードバレー経営塾」を開催している。

加えて、これまで蓄積した情報やノウハウを生かして、新たな視点を追加し、「フードバレー構想ステージ2」として、さらなる推進を図るため、加工品等のコンクールを行う「くまもと県南フードグランプリ」の開催や、インバウンドを対象とした「ガストロノミーツアー」を実施している。

表Ⅲ-3-(3) 農産物加工所数の推移

| 項目 | 単位 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 加工組織数 | 件 | 840 | 950 | 660 | 640 | 850 |

資料) 農林水産省 6次産化総合調査

※調査対象：農産物の加工を営む農業経営体及び農業協同組合等が運営する農産物加工場

表Ⅲ-3-(4) 農産物加工所販売額の推移

| 項目 | 単位 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 販売額 | 百万円 | 37,182 | 40,032 | 41,736 | 43,256 | 51,386 |

資料) 農林水産省 6次産業化総合調査

表Ⅲ-3-(5) 県農産物加工食品コンクール（隔年開催）出品数の推移

| 項目 | 単位 | H18年 (度) | H20 | H22 | H24 | H26 | H28 | H30 | R2 | R4 | R6 |
|-----|----|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 出品数 | 点 | 27 | 23 | 52 | 56 | 88 | 33 | 49 | 27 | 30 | 33 |

資料) 県農林水産部調べ

表Ⅲ-3-(6) 全国優良ふるさと食品中央コンクール受賞作品

| 年度 | 受賞名 | 受賞作品 | 受賞組織 |
|-----|------------------|-----------------------|-------------------------|
| H21 | 農林水産省総合食料局長賞 | ドライトマト | 八代地域農業協同組合 ドレミ館トマト加工研究会 |
| H22 | 農林水産省総合食料局長賞 | お米でつくったデコシフォン | 加工所みかん屋さん |
| H23 | (財) 食品産業センター会長賞 | ばんぺい柚味噌 | 生活研究グループ 鮎帰会 |
| H24 | (財) 食品産業センター会長賞 | 野菜で作ったラスク | (有) 阿蘇健康農園 |
| H25 | 農林水産省食料産業局長賞 | ASOMILK 飲むヨーグルト | (有) 阿部牧場 |
| H26 | (財) 食品産業センター会長賞 | キイチばあちゃんのつぼん汁 | (株) あさぎり・フレッシュフーズ |
| H27 | (一財) 食品産業センター会長賞 | 上天草の和風だし | 上天草農林水産物ブランド推進協議会 |
| H28 | 農林水産大臣賞 | 阿蘇タカナード | 阿蘇さとう農園 漬物工房まんまミーア! |
| H29 | 農林水産省食料産業局長賞 | おっげんしゃー | 一二海 |
| H30 | 農林水産省食料産業局長賞 | きのこ南蛮 | きくちの母ちゃん |
| R1 | 農林水産省食料産業局長賞 | 鶏塩たまご麺 | マツヤマエッグファーム |
| R2 | (一財) 食品産業センター会長賞 | バストラミビーフ | (株) 山の未来舎 |
| R3 | 農林水産省大臣官房長賞 | 惹苺仁糖(よくいにんとう) | 肥後はとむぎ会日月亭 |
| R4 | 農林水産省大臣官房長賞 | にんにく農家が作った焼肉のたれ | 山之一 |
| R5 | (一財) 食品産業センター会長賞 | ヨーグルトディップ+1 | (株) オオヤブデイリーファーム |
| R6 | 農林水産省大臣官房長賞 | 八代産野生鹿肉のケーゼ(型焼きソーセージ) | カネムマンソーセージ |
| R7 | 農林水産省大臣官房長賞 | シャインマスカットレーズンバターサンド | (株) 石井フルーツ |

資料) 県農林水産部調べ

第4 農林水産物の輸送問題（物流の2024年問題）に対する対応

（効率的な輸送体制の構築に取り組む）

平成31年（2019年）4月改正の「働き方改革関連法」により、令和6年（2024年）4月1日からトラックドライバーに時間外労働時間の上限規制が適用された。

「持続可能な物流の実現に向けた検討会」（経済産業省・国土交通省・農林水産省）において示された株式会社N×総合研究所の調査では、物流効率化に取り組まなかった場合、2019年比で最大14.2%（農林水産業では32.5%）の輸送能力不足が起こると試算された。

本県は農産物輸送の98%以上をトラック輸送に頼っており、当問題への対応は喫緊の課題となっていたことから、平成30年度から熊本県農協青果物輸送改善協議会が行うモーダルシフトやレンタルパレットによる輸送試験に対して支援を行ってきたところ。

令和5年（2023年）6月に、国において「物流革新に向けた政策パッケージ」及び「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」が公表され、荷待ち・荷役作業時間の削減など、荷主が取り組むべき事項が明示された。

これを受けて、本県では関係機関連携会議やセミナー等を開催し、農林水産団体の関係者と課題や対策の共有を図るとともに、令和5年度9月補正予算と令和5年度2月補正（令和6年度に繰越し）では国庫を活用し、モーダルシフト・レンタルパレットの実証、また農産物集出荷システム構築などを緊急的に支援した。（図Ⅲ-3-(3)）

令和7年度は物流の2024年問題の影響や、輸送効率化に向けた対応状況を把握するため、荷主と物流事業者を対象に調査を実施し、各種対策により農産物が首都圏へ完全に運べなくなるといった事態には至っていないことが分かったが、トラックドライバーの減少は続くともみられ、5年後、10年後も選ばれる産地であり続けるためには、今後も引き続き、発荷主、着荷主、物流事業者が連携して効率的な輸送体制を構築し、県産農産物の安定供給を維持していく必要がある。（表Ⅲ-3-(7)）

図Ⅲ-3-(3) 農産物集出荷システムの概要



表Ⅲ-3-(7) <参考>これまでの県の主な取組み

| |
|---|
| <p>平成 30 年度～</p> <p>熊本県農協青果物輸送改善協議会の実施する輸送試験への支援</p> <p>※輸送試験支援→フェリー・RORO 船、JR 貨物、共同輸送、レンタルパレット等の実証</p> |
| <p>令和 5 年 5 月～</p> <p>県内各 JA 等へのヒアリングによる課題把握</p> <p>【主な課題】現状の多くがバラ積み、遠隔地域の集荷、部会毎にトラック会社と契約、選果場の集約、出荷先市場の集約</p> |
| <p>令和 5 年 9 月</p> <p>県産農産物県外輸送効率化緊急支援事業創設(令和 5 年度 9 月補正)</p> <p>事業費：68 百万円(補助率：定額) 事業主体：農業協同組合等</p> <p>主な補助内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①協議・検討事務費等 先進地視察など → 2 JA ②選果場等機能強化 輸送パレット、フォークリフト導入等→ 8 JA (JA あまくさ、本渡五和) ③モダリティ等実証 JR・フェリー、レンタルパレット実証→ 4 JA (JA あまくさ、本渡五和) ④遠隔地共同輸送(天草地域) JA 横断の共同輸送→ 2 JA ⑤SP 広域調査事業、間接補助事業事務費→JA 熊本経済連 |
| <p>令和 6 年 2 月</p> <p>熊本県農産物輸送効率加速化緊急支援事業創設(2 月補正繰越し)</p> <p>事業費：95 百万円(補助率：定額(上限額あり)) 事業主体：農業協同組合等</p> <p>事業期間：令和 6 年 3 月～令和 7 年 3 月</p> <p>主な補助内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①農産物集出荷システム(※)構築事業→12JA40 部会でシステムモデル導入 (R7.10 末時点) ②モダリティ等実証(JR・フェリー、レンタルパレット実証)→ 5 JA (JA あまくさ、本渡五和) ③商慣行適正化推進(自主行動計画達成に係る経費) → 4 JA (JA あまくさ) |
| <p>令和 7 年 6 月～</p> <p>農産物輸送状況調査実施(荷主と物流事業者双方へのアンケート、ヒアリング)</p> <p>【調査項目】物流の 2024 年問題の影響、輸送効率化対策の進捗状況、運賃交渉等の状況、2030 年問題に向けた今後の対応</p> |

第4節 水稲、麦、大豆の生産、流通及び価格の動向

第1 水稲の生産、流通及び価格の動向

1 生産の動向

本県の稲作は、「需要に応じた米の生産」を基本に、競争力のある県産米のブランド化や安全安心な米づくりなど、地域の特色を生かした「売れる米産地」づくりに取り組んでいる。

生産者数と作付面積が年々減少する中、「令和の米騒動」による米価高騰を受け、令和7年産水稲作付面積はかなりの程度増加している。

(令和7年産(2025年産)水稲作付面積はかなり増加)

本県の水稲作付面積(主食用米、備蓄米、加工用米、米粉用米)は、2,500ha増加し、32,200haとなった。(図Ⅲ-4-(1)、巻末表Ⅲ-4-(1))

(県オリジナル品種「くまさんの輝き」の面積拡大)

水稲の品種別作付割合は、令和7年産(2025年産)ではヒノヒカリ約41%、森のくまさん約13%、くまさんの輝き約13%、コシヒカリ約10%と、4品種で約77%を占めている。

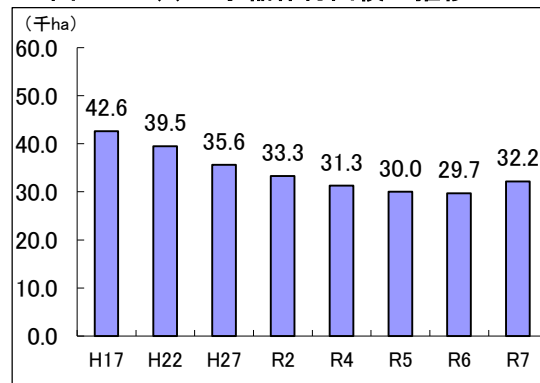
熊本県育成水稲品種「くまさんの輝き」の令和7年産(2025年産)作付面積は4,048haで、前年より大幅に増加した(前年比117%)。今後も熊本県産米のリーディング品種として高品質・良食味生産を行っていく。

また、業務用多収品種「やまだわら」の令和7年産(2025年産)作付面積は141haで、前年より大幅に減少した(前年比78%)。

なお、多収品種については、今後も品種特性を生かし、多収低コスト生産を推進していく。

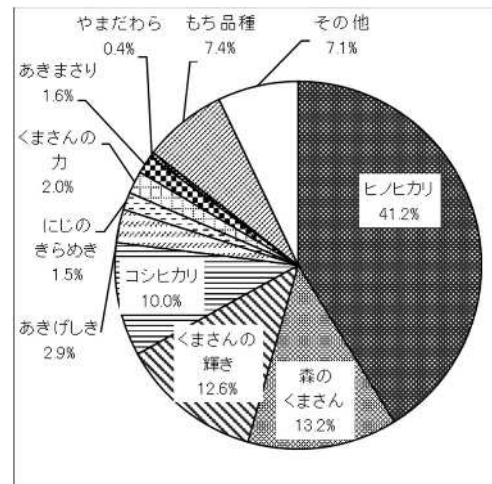
(図Ⅲ-4-(2)、巻末表Ⅲ-4-(2))

図Ⅲ-4-(1) 水稲作付面積の推移



資料) 農林水産省「作物統計」

図Ⅲ-4-(2) 主要品種の作付シェア (R7)

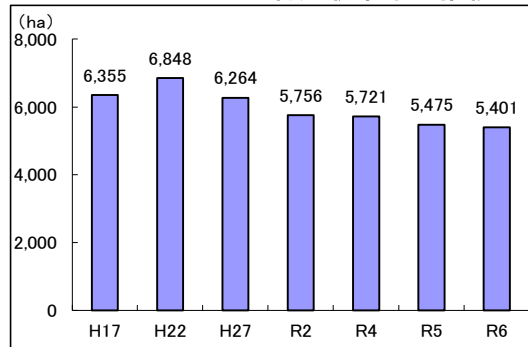


資料) 農林水産省「作物統計」及び県農林水産部調べ

(特別栽培米の作付けはやや減少)

農林水産省特別栽培農産物に係る表示ガイドラインに基づく特別栽培米の作付けは、平成22年度（2010年度）をピークに減少傾向にある。令和6年産（2024年産）は5,401haとわずかに減少した。（図Ⅲ-4-(3)）

図Ⅲ-4-(3) 農林水産省ガイドラインに基づく特別栽培米の推移



資料) 県農林水産部調べ

(県産米の食味評価)

令和7年産（2025年産）米の食味ランキングでは、県北「ヒノヒカリ」、県北「森のくまさん」が「A'」評価、県北「くまさんの輝き」、県南「くまさんの輝き」が「A」評価だった。（表Ⅲ-4-(1)、巻末表Ⅲ-4-(3)）

表Ⅲ-4-(1) 米の食味ランキングの推移

| 地区名・品種名 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|------------|----|----|----|----|----|
| 県北・ヒノヒカリ | A | A | A | A | A' |
| 県北・コシヒカリ | A | A | A' | — | — |
| 県北・森のくまさん | A | A | 特A | A | A' |
| 県北・くまさんの輝き | — | A | A | A | A |
| 県南・くまさんの輝き | — | A | A | A | A |

資料) 一般財団法人 日本穀物検定協会発表
注) 「くまさんの輝き」はR3は地域区分なしで出品。

(令和7年産（2025年産）米粉用米・飼料用米の作付面積は大幅に減少)

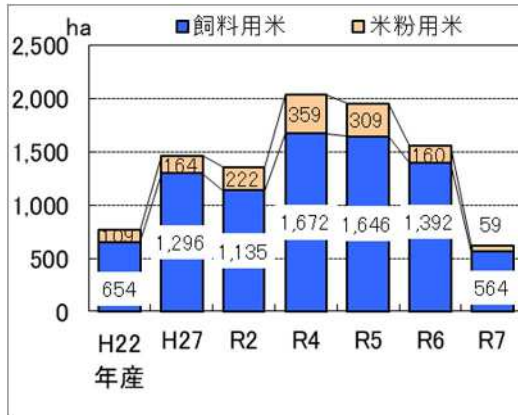
近年、主食用米需要の減少に伴い、新規需要米等への作付け転換を図る生産者が増加していたが、「令和の米騒動」により、主食用米の作付が増加したことで、令和7年産（2025年産）の米粉用米作付面積については59ha（前年比37%）と大幅に減少、飼料用米作付面積については564ha（前年比41%）と大幅に減少した。

(図Ⅲ-4-(4)、巻末表Ⅲ-4-(4))

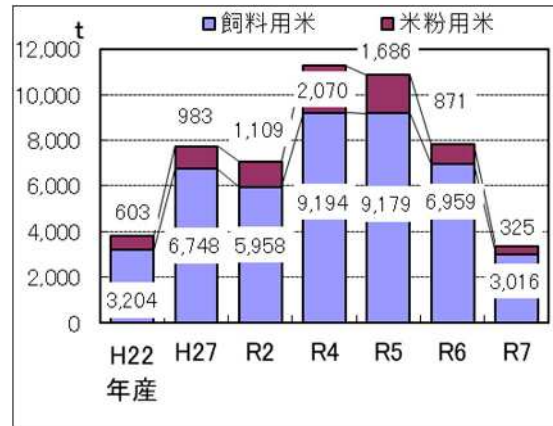
令和7年産（2025年産）の生産集出荷数量については、米粉用米、飼料用米ともに作付面積が大幅に減少したことに伴い、米粉用米では325 t（前年比37%）、飼料用米では3,016t（前年比43%）とどちらも大幅に減少した。

(図Ⅲ-4-(5)、巻末表Ⅲ-4-(4)(5))

図Ⅲ-4-(4) 米粉・飼料用米作付面積の推移



図Ⅲ-4-(5) 米粉・飼料用米生産集出荷数量(実績)



資料) 農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」(R7は「新規需要米の取組計画認定状況(9月15日時点)」、「新規需要米生産集出荷数量」)

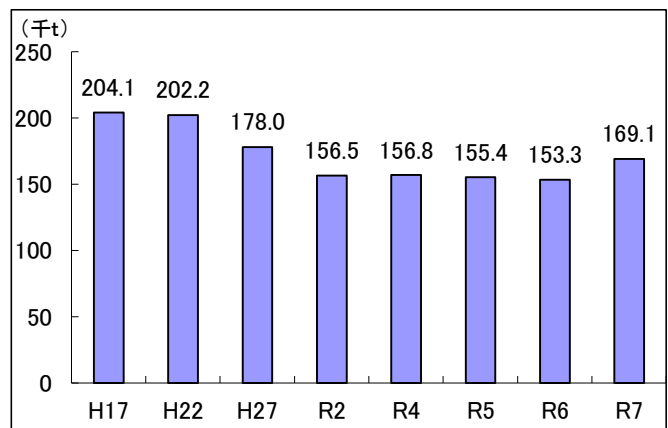
(令和7年産(2025年産)水稻の収穫量は、前年よりかなり増加)

熊本県における令和7年産(2025年産)水稻は、全体を通して天候に恵まれ、ふるい目幅1.7mmベースの10a当たり収量は525kg、収穫量(子実用)は16万9,100tとなった。

なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況単収指数は107で、各作柄表示地帯別では、県北地帯は作況単収指数108、阿蘇地帯は作況単収指数107、県南地帯は作況単収指数107、天草地帯は作況単収指数104となった。

(図Ⅲ-4-(6)、巻末表Ⅲ-4-(6))

図Ⅲ-4-(6) 水稻収穫量の推移



資料) 農林水産省「作物統計」

【参考】水稻収穫量調査の見直しについて

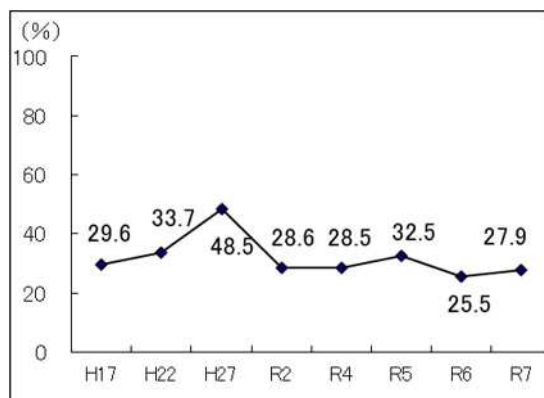
農林水産省は、水稻収穫量調査について、令和7年産から調査方法の見直しを実施。令和6年産まで“作柄の良否”を示す指数として活用されてきた「作況指数」を廃止し、5か年中3平均の10a当たり収量に対する当年産の10a当たり収量の比率で表す「作況単収指数」により公表することとなった。

(1等比率は低迷)

熊本県の令和7年産米における1等比率は、近年同様、登熟期の高温による白未熟粒の発生等により中生品種を中心に品質が低い傾向で、27.9%となっており、前年より2.4ポイント上昇した。(図Ⅲ-4-(7))

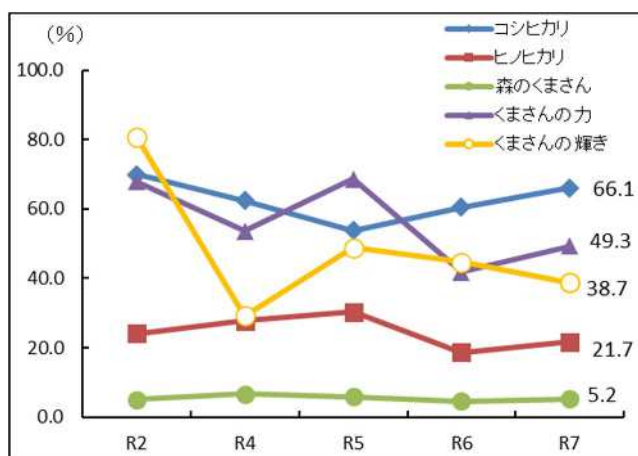
品種別では、「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「くまさんの力」の1等比率は上昇したものの、「くまさんの輝き」の1等比率は低下した。(図Ⅲ-4-(8)、巻末表Ⅲ-4-(7))

図Ⅲ-4-(7) 水稲うるち上位等級率の推移



資料) 農林水産省「米の検査結果」
ただし、令和7年産米はR8年3月時点の速報値

図Ⅲ-4-(8) 近年の水稲主要品種の上位等級率の推移



資料) 農林水産省「米の検査結果」
ただし、令和7年産米はR8年3月時点の速報値

2 稲作の生産性及び収益性

(生産費はわずかに減少)

水稲の10a当たり生産費(副産物価額差引)は、令和6年産(2024年産)では92,051円とわずかに減少した(前年比98%)。

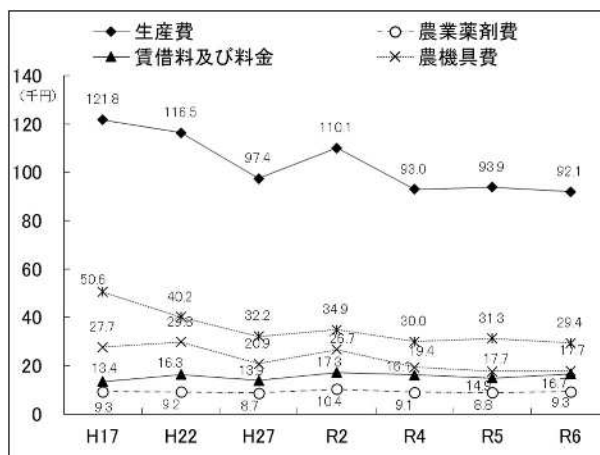
これに、支払利子及び支払地代を加えた支払利子・地代算入生産費は97,144円(前年比99%)とわずかに減少し、自己資本利子及び自作地地代を加えた全算入生産費は、前年とほぼ同等の108,977円(前年比100%)となった。

主な費目の動向としては、土地改良及び水利費(前年比83%)、建物費(前年比83%)が大幅に減少した。

また、費用合計(97,566円)に占める費目別構成割合は、労働費が30.1%で最も高く、農機具費が18.2%、賃借料及び料金が17.1%の順となっており、この3費目で生産費の約65%を占めている。

(図Ⅲ-4-(9)、巻末表Ⅲ-4-(8))

図Ⅲ-4-(9) 水稲10a当たり費用別生産費の推移



資料)九州農政局調べ

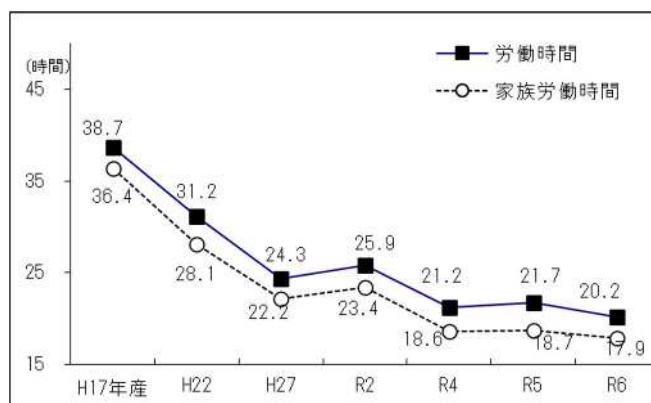
(労働時間はわずかに増加)

10a当たり投下労働時間は、令和6年産(2024年産)では20.2時間で前年に比べ1.5時間減少した(前年比93%)

また、投下労働時間に占める家族労働時間は、17.9時間で、前年に比べ、0.8時間減少した(前年比96%)。

(図Ⅲ-4-(10)、巻末表Ⅲ-4-(9))

図Ⅲ-4-(10) 水稲10a当たり投下労働時間



資料)九州農政局「米生産費(販売農家)」

(所得は大幅に増加)

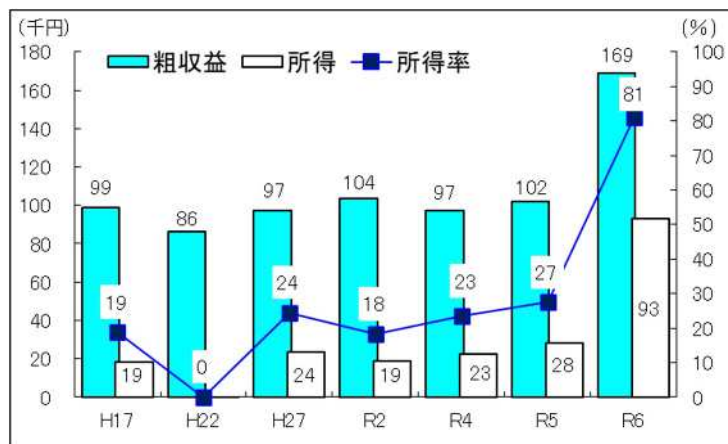
令和6年産(2024年産)の10a当たり粗収益は、収量が平年並みに確保されたこと、「令和の米騒動」により米価が高騰したことを背景に168,964円(前年比165%)と大幅に増加した。このことから、10a当たり所得は92,773円(前年比333%)となり、所得率は54.9%と大幅に増加した。

(図Ⅲ-4-(11)、巻末表Ⅲ-4-(9))

また、10a当たり家族労働報酬は80,940円(前年比487%)と前年に比べ大幅に増加した。

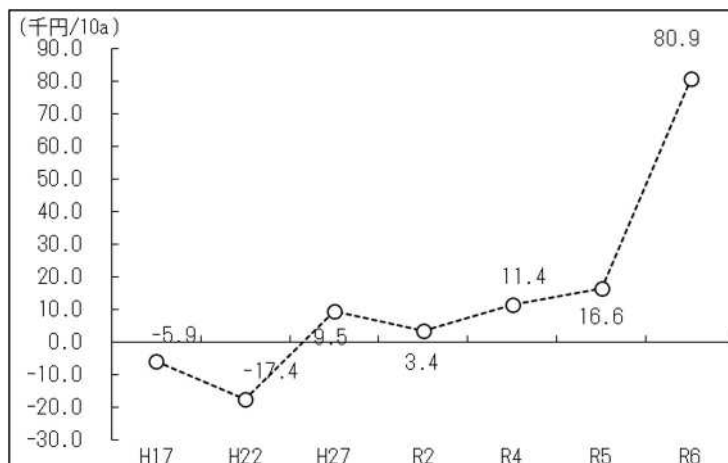
(図Ⅲ-4-(12)、巻末表Ⅲ-4-(9))

図Ⅲ-4-(11) 水稻の粗収益・所得・所得率



資料)九州農政局「米生産費(販売農家)」

図Ⅲ-4-(12) 水稻10a当たり家族労働報酬



資料)九州農政局「米生産費(販売農家)」

3 流通の動向

(1) 集荷・販売の状況

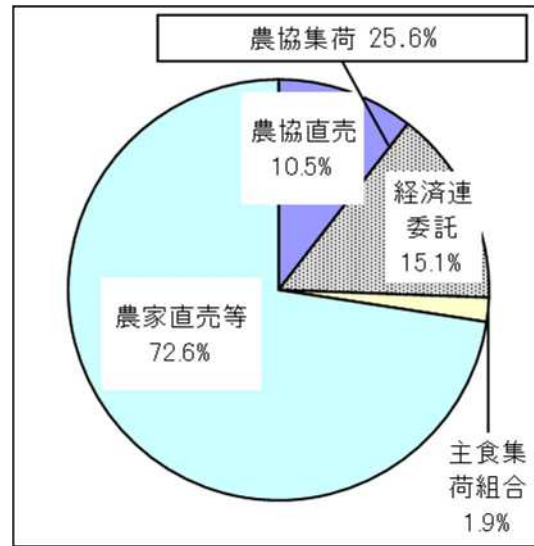
(農協集荷割合は大幅に減少)

本県の令和6年産(2024年産)主食用米の生産量144,700t(篩目1.85mm)に対して、農協の集荷数量割合は25.6%(前年比78.5%)と大幅に減少し、このうち農協直売は10.5%、経済連への販売委託は15.1%であった。

また、主食集荷組合の集荷数量割合は1.9%(前年比135.7%)であった。農家直売等(直売、農家消費、無償譲渡等)割合は72.6%(前年比110.2%)とかなりの程度増加した。

(図Ⅲ-4-(13))

図Ⅲ-4-(13) R5年産米の集荷状況



資料) 県農林水産部調べ

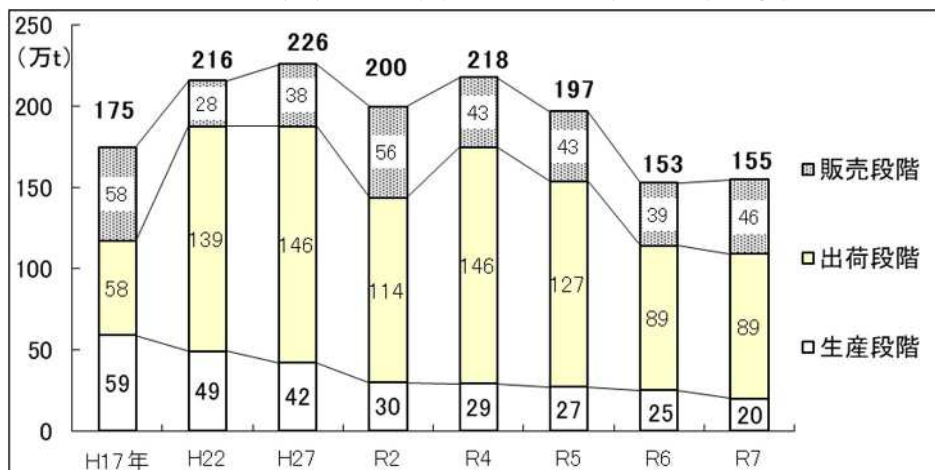
(2) 全国の民間在庫の状況

(民間在庫量は155万トン)

主食用米(うるち玄米及びもち米)の令和7年(2025年)6月末の民間在庫量は155万tで、合計では前年同期から2万t増加した。

(図Ⅲ-4-(14))

図Ⅲ-4-(14) 民間流通における6月末在庫の推移



資料) 農林水産省調べ

4 価格の動向

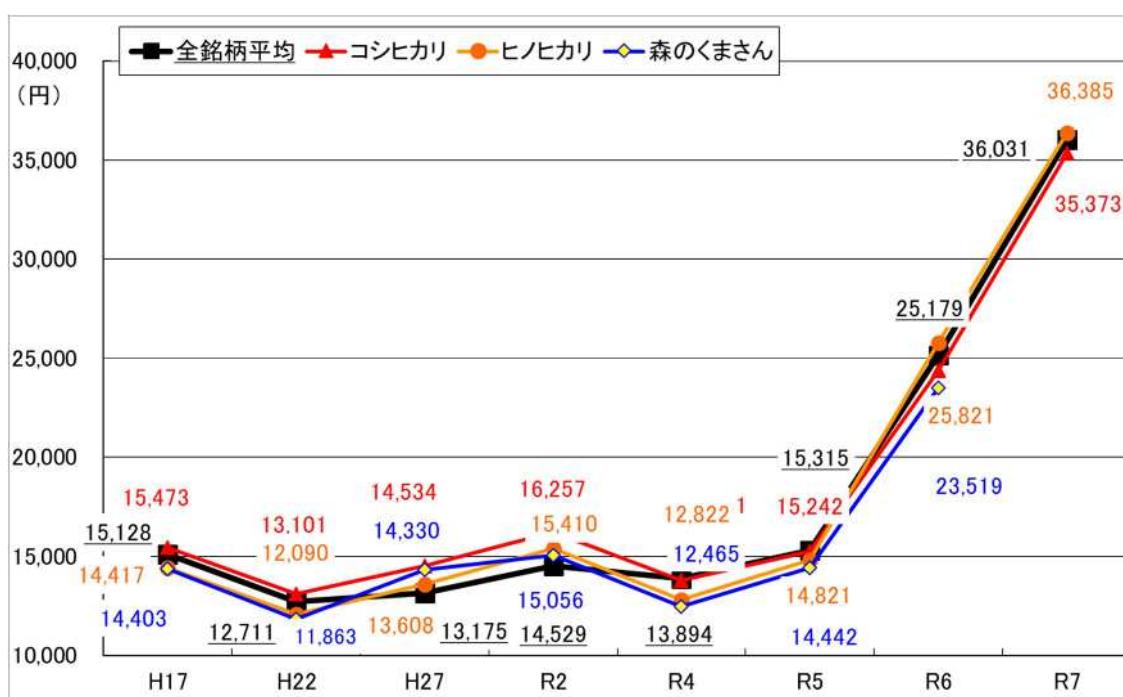
(令和7年産(2025年産)も米価高騰が継続)

令和6年8月の南海トラフ地震臨時情報の発表以降、米の需要が全国的に高まり、JA等集荷業者への出荷減少や業者間の調達競争が激しくなったことから価格が高騰。

令和7年産米については、政府備蓄米放出や生産量増加による供給の増加と、急激な価格高騰等による需要の減退により価格は下がりつつあるものの、全銘柄平均価格は36,031円(前年比143%)と前年より大幅に高い状況である。県産米の60kg当たり相対取引価格についても、コシヒカリが35,373円(前年比145%)、ヒノヒカリが36,385円(同比141%)と大幅に高い状況である。

(図Ⅲ-4-(15)、巻末表Ⅲ-4(10)(11))

図Ⅲ-4-(15) 県産米価格の推移



資料) 17年産までは(財)全国米穀取引・価格形成センター公表平均落札価格の推移

注) 価格には、包装代(紙袋)、センターへの抛出金及び消費税を含まない。

資料) 18年産以降は農林水産省調べ。

注) 価格には、包装代(紙袋)、センターへの抛出金及び消費税を含む。

注) 令和7年産は、出回りから3月までの加重平均価格(速報値)。

第2 麦の生産、流通及び価格の動向

1 生産の動向

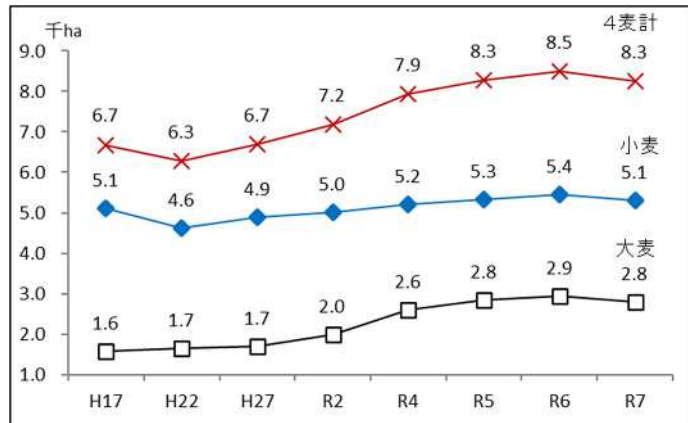
(麦の作付面積はわずかに減少)

麦の作付面積は、令和7年産(2025年産)は前年より約249ha(2.9%)減少して8,500haとなった。

麦種別では、小麦で2%減少して5,310ha、大麦で4%減少して2,800haとなった。

(図Ⅲ-4-(16)、巻末表Ⅲ-4-(12))

図Ⅲ-4-(16) 麦の作付面積の推移



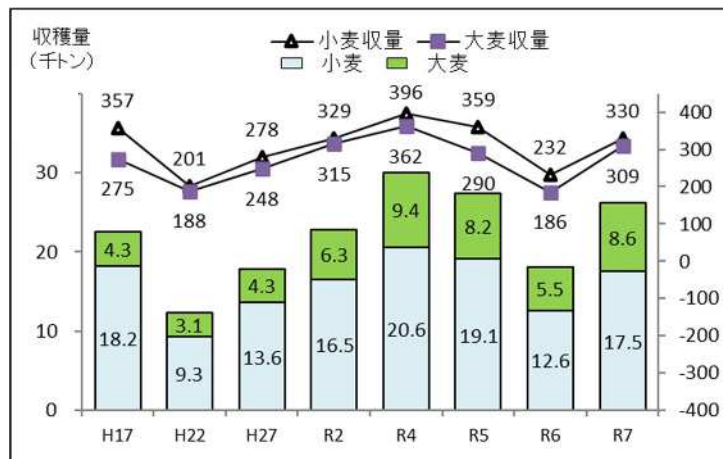
資料) 農林水産省「作物統計」

(収穫量は4麦計で大幅に増加、品質も小麦と大麦で大幅に上昇)

令和7年産(2025年産)は12月中に播種は完了し、低温により出芽や生育の遅れが見られたが、3月以降の高温・多照により生育は良好となり、収穫量が増加した。

4麦種の収穫量は前年より8,070t増加して26,140tとなった。単収は小麦で前年対比142%の330kg/10a、大麦で前年対比166%の309kg/10aとなった。(図Ⅲ-4-(17))

図Ⅲ-4-(17) 主要2麦種の収穫量の推移



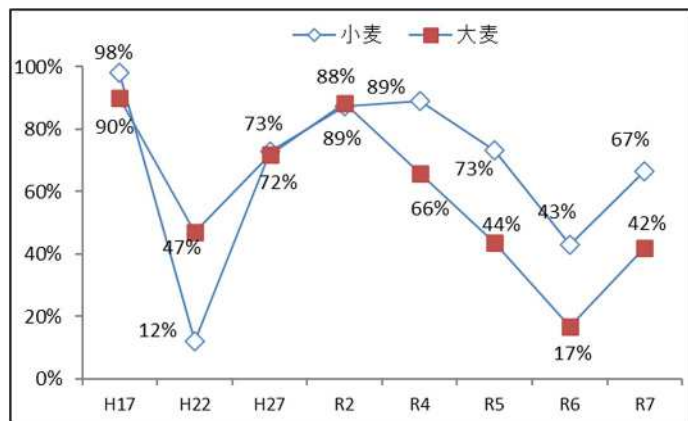
資料) 農林水産省「作物統計」

注) 平年収量 小麦: 354kg/10a 大麦: 297kg/10a

また、収穫時期の降雨により品質が低下したが、小麦では1等比率は前年比プラス24ポイントの67%、大麦は前年比プラス25ポイントの42%に上昇した。

(図Ⅲ-4-(18))

図Ⅲ-4-(18) 主要2麦種の1等比率の推移



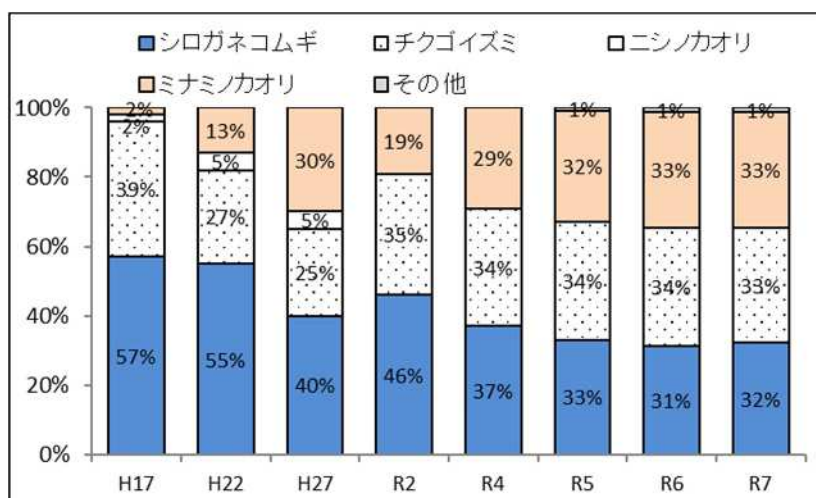
資料) 農林水産省「麦の農産物検査結果」

(品種別作付け比率は、前年並み)

作付品種は、食品産業等と農業団体等で構成された民間流通協議会の作付計画に基づき作付け割合等が協議されている。

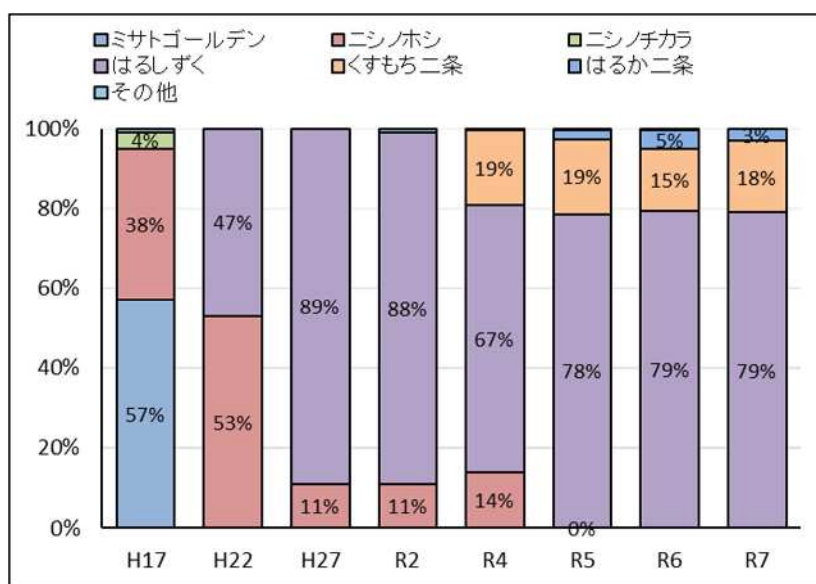
令和7年産(2025年産)の品種別作付面積の割合は、小麦は前年と同様に主要3品種が同程度の面積比率となり、大麦は前年と同様に約8割で「はるしずく」が作付けされた。(図Ⅲ-4-(19)、(20))

図Ⅲ-4-(19) 小麦主要品種作付面積構成比の推移



注) 平成17年産までの主要品種については農林水産省調査(それ以外は県農林水産部調査)

図Ⅲ-4-(20) 大麦主要品種作付面積構成比の推移



注) 平成17年産までの主要品種については農林水産省調査(それ以外は県農林水産部調査)

2 生産性及び収益性

(生産費はやや増加、所得は大幅に減少)

令和6年産(2024年産)小麦の全算入生産費は57,309円で、前年比マイナス4.3ポイントの95.7%とやや減少した。

粗収益は前年産に比べ大幅に減少したため、所得も大幅に減少した。(表Ⅲ-4-(2))

表Ⅲ-4-(2) 小麦の10a当たりの生産費及び収益性(熊本)

| 区 分 | 単位 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|-------------|---------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 全算入生産費※ | 円 | 62,220 | 57,006 | 50,410 | 52,116 | 53,185 | 57,415 | 59,889 | 57,309 | |
| 生産費※ | 円 | 45,163 | 44,764 | 39,502 | 44,012 | 44,960 | 48,128 | 51,011 | 49,148 | |
| 費用項目 | 種 苗 費 | 円 | 1,881 | 2,121 | 2,197 | 2,731 | 3,178 | 3,119 | 3,222 | 3,143 |
| | 肥 料 費 | 円 | 4,757 | 4,273 | 6,730 | 6,745 | 7,943 | 8,762 | 12,174 | 10,992 |
| | 農 薬 費 | 円 | 1,556 | 3,427 | 2,443 | 3,187 | 3,215 | 3,304 | 3,426 | 3,653 |
| | 農 機 具 費 | 円 | 8,067 | 6,770 | 7,701 | 10,001 | 9,009 | 9,243 | 9,811 | 10,446 |
| | 労 働 費 | 円 | 12,874 | 13,506 | 9,138 | 9,381 | 8,923 | 9,205 | 9,106 | 9,566 |
| | そ の 他 | 円 | 16,205 | 15,304 | 11,597 | 12,676 | 12,797 | 14,663 | 13,466 | 11,643 |
| | 費 用 合 計 | 円 | 45,340 | 45,401 | 39,806 | 44,721 | 45,065 | 48,296 | 51,205 | 49,443 |
| 労 働 時 間 | 時 間 | 10 | 11 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 粗 粗 収 益 | 円 | 66,941 | 53,466 | 12,655 | 8,055 | 13,835 | 22,665 | 19,178 | 11,062 | |
| 粗 所 得 | 円 | 28,034 | 16,644 | △ 24,758 | △ 32,715 | △ 28,212 | △ 23,446 | △ 29,824 | △ 35,456 | |
| 家 族 労 働 報 酬 | 円 | 17,418 | 9,215 | △ 29,755 | △ 36,208 | △ 31,307 | △ 26,811 | △ 33,119 | △ 38,668 | |

資料)九州農政局「熊本農林水産統計年報」(～H26年産)

H27年産以降は全国を設計単位とした標本の中から本県分を抜き出して集計した事例結果であり、未公表。

平成30年産以降については、都道府県別の調査結果が公表されていないため、九州全体の調査結果である。

※全算入生産費=生産費+自己資本利子+自作地地代+支払利子+支払地代

※生産費=費用合計-副産物価額

3 価格の推移

(県産小麦はわずかに低下からかなり上昇、大麦はかなり上昇)

麦の価格は、生産者と食品産業等が品質評価を反映した入札・相対等により決定する仕組みとなっており、令和7年産(2025年産)の県産麦の販売価格は、食品産業等との播種前契約により決定された。県内の麦については熊本県麦流通協議会において需給調整を行っているが、全国的には小麦で販売予定数量が購入希望数量を上回り、大麦で販売予定数量が購入希望数量を下回った。県産麦価格において、小麦は日本麺用のシロガネコムギが3,578円/60kgとわずかに低下、チクゴイズミが3,933円/60kgとかなり上昇し、パン・中華麺用のミナミノカオリは3,650円/60kgと前年並みとなった。また、大麦においてははるしづくが2,478円/50kg、くすもち二条が2,556円/60kgとなりいずれも前年よりかなり上昇した。裸麦は、イチバンボシが2,340円/60kgと前年並みとなった(いずれも1等価格)。(表Ⅲ-4-(3))

なお、小麦のみ平成23年産(2011年産)から輸入麦の政府売渡価格の改定(4、10月)に合わせて、播種前に入札又は相対により契約された価格に輸入麦の政府売渡価格の変動率を乗じる取引価格の事後調整が導入されている。

表Ⅲ-4-(3) 麦の民間流通価格の推移

| 麦種 | 品種名 | 単位 | H17年産 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------|------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 小麦 | シロカネコムキ | 円 /60kg | 2,040 | 2,779 | 2,667 | 2,520 | 2,400 | 3,540 | 3,617 | 3,578 |
| | チクコイスマ | 円 /60kg | 2,086 | 2,797 | 2,670 | 2,520 | 2,400 | 3,540 | 3,695 | 3,933 |
| | ニシノカオリ | 円 /60kg | 2,106 | 2,934 | 2,745 | - | - | - | - | - |
| | ミナミノカオリ | 円 /60kg | 2,100 | 2,921 | 2,751 | 3,000 | 3,060 | 3,840 | 3,628 | 3,650 |
| (二条大麦) | ニシノチカラ | 円 /50kg | 1,432 | | | | | | | |
| | ミサトコールデン | 円 /50kg | 1,404 | | | | | | | |
| | ニシノホシ | 円 /50kg | 1,376 | 2,069 | 1,949 | 1,965 | 1,978 | 2,100 | 2,100 | |
| | はるしずく | 円 /50kg | 1,404 | 2,103 | 1,990 | 2,010 | 1,978 | 2,100 | 2,258 | 2,478 |
| | くすもちー 条 | 円 /50kg | | | | | | | 2,275 | 2,556 |
| 裸麦 | イチバンホシ | 円 /60kg | 1,894 | 2,982 | 2,627 | 2,585 | 2,385 | 2,340 | 2,340 | 2,340 |

資料) J A熊本経済連調べ

※1等ばら価格(税抜)

※25年産からは相対取引基準価格

4 流通の概要

(全量が地場企業の製粉・精麦会社との相対取引)

県産麦の流通は、小麦は全国大手企業や地場企業の製粉会社、大麦・裸麦は地場企業の精麦会社を中心に相対取引されている。令和6年産(2024年産)麦の出回り状況は、令和7年(2025年)8月末現在で、小麦が11,021t、大麦が3,843t、裸麦が16tとなった。

第3 大豆の生産、流通及び価格の動向

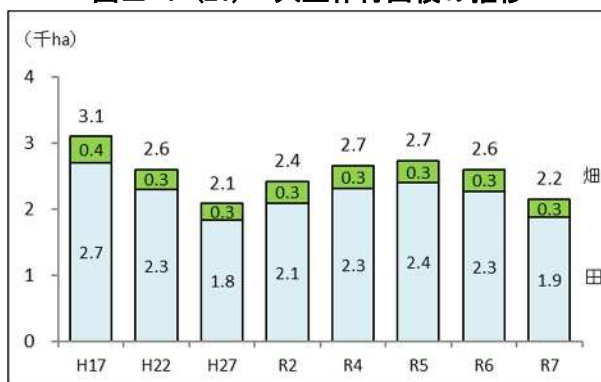
1 生産の動向

(大豆作付面積は大幅に減少)

令和7年産(2025年産)は、「令和の米騒動」による米価高騰を受けて大豆から水稲への転換が行われたことにより前年産より450ha(17%)減少し2,150haとなった。

作付品種は、フクユタカ群(フクユタカ、フクユタカA1号)が中心(1,850ha)で、他にそらみのり(276ha)、すずおとめ2号(20ha)等が作付けされた。(図Ⅲ-4-(21))

図Ⅲ-4-(21) 大豆作付面積の推移

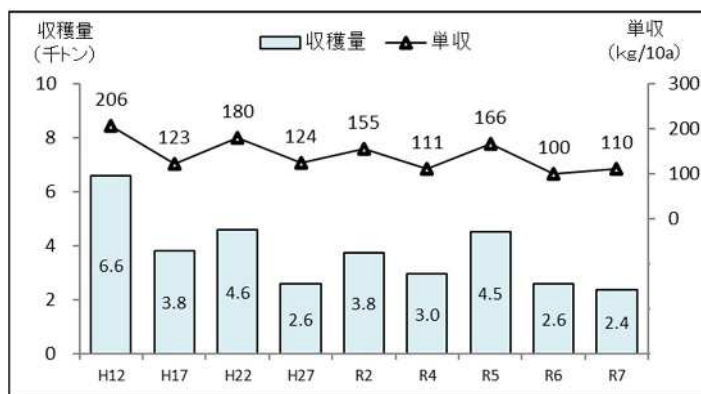


資料) 農林水産省「作物統計」

図Ⅲ-4-(22) 大豆の生産量と単位収量の推移

(収穫量は大幅に減少)

令和7年産(2025年産)の大豆の単収は、令和7年8月豪雨による冠水被害や開花期以降の高温・乾燥により平年対比85%の110kg/10aとなった。作付面積が減少したことから、収穫量は前年産より230t減の2,370tとなった。(図Ⅲ-4-(22))



資料) 農林水産省「作物統計」

注) 大豆の平年収量: 130 kg/10a

2 価格の推移

(販売平均価格はわずかに増加)

令和6年産の入札・相対・契約平均価格は前年より215円(2.6%)高い8,370円/60kg(税抜き全農価格)となった。(表Ⅲ-4-(4))

表Ⅲ-4-(4) 販売価格及び大豆交付金の推移

| | 単位 | H12年産 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 販売価格 | 円/60kg | 4,987 | 6,573 | 5,902 | 11,282 | 10,965 | 10,361 | 8,155 | 8,370 |
| 交付金 | 円/60kg | 8,350 | 8,020 | 3,168 | 12,520 | 10,830 | 10,360 | 10,770 | 10,770 |

注) 販売価格: JA熊本経済連での全銘柄加重平均価格

注) 交付金は、平成18年産までは大豆交付金。19年産は水田経営所得安定対策における数量単価(1等)、23年産からは農業者戸別所得補償の数量単価(1等)、25年産からは経営所得安定対策の数量単価(1等)。

3 生産性及び収益性

(生産費は前年並み、所得は大幅に減少)

令和6年産(2024年産)大豆の全額算入生産費は52,176円で、前年比99.9%でほぼ前年並みであった。収量が前年より減少したことから、粗収益、所得は大幅に減少した。(表Ⅲ-4-(5))

表Ⅲ-4-(5) 大豆10a当たりの生産費及び収益性(熊本)

| 区 分 | 単位 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|---------|-------------|--------|--------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 全算入生産費 | 円 | 66,524 | 62,058 | 51,268 | 54,038 | 48,775 | 46,934 | 52,113 | 52,176 | |
| 生産費※ | 円 | 49,833 | 46,891 | 40,330 | 38,281 | 39,325 | 38,342 | 42,655 | 41,975 | |
| 費用項目 | 種 苗 費 | 円 | 1,814 | 2,030 | 1,407 | 2,205 | 2,611 | 2,396 | 2,786 | 2,615 |
| | 肥 料 費 | 円 | 1,492 | 2,280 | 104 | 1,315 | 2,087 | 2,165 | 2,272 | 2,394 |
| | 農 機 具 費 | 円 | 5,099 | 5,975 | 6,960 | 7,537 | 6,806 | 7,930 | 7,900 | 9,156 |
| | 労 働 費 | 円 | 27,574 | 19,475 | 10,861 | 10,144 | 9,683 | 9,240 | 8,957 | 9,287 |
| | そ の 他 | 円 | 14,063 | 17,280 | 20,998 | 17,095 | 18,289 | 16,912 | 20,924 | 18,823 |
| | 費 用 合 計 | 円 | 50,042 | 47,040 | 40,330 | 38,296 | 39,476 | 38,643 | 42,839 | 42,275 |
| 労 働 時 間 | 時間 | 23 | 15 | 8 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 粗収益 | 粗 収 益 | 円 | 48,443 | 37,820 | 27,042 | 22,545 | 27,246 | 21,327 | 29,951 | 17,078 |
| | 所 得 | 円 | 25,618 | 9,099 | △ 6,428 | △ 15,650 | △ 8,839 | △ 14,338 | △ 10,641 | △ 23,460 |
| | 家 族 労 働 報 酬 | 円 | 9,201 | △ 5,443 | △ 13,365 | △ 21,764 | △ 12,808 | △ 18,030 | △ 15,014 | △ 28,059 |

資料)農林水産省「大豆生産費調査」(~H26年産)

注1)平成27年産以降は全国を設計単位とした標本の中から本県分を抜き出して集計した事例結果であり、未公表。

注2)平成29年産以降については、都府県別調査結果が公表されていないため、九州全体の調査結果である。

※ 全算入生産費=生産費+自己資本利子+自作地地代+支払利子+支払地代
生産費=費用合計-副産物価額

第5節 野菜、果実、花きの生産、流通及び価格の動向

第1 野菜の生産、流通及び価格の動向

1 野菜生産の動向

(作付面積はわずかに減少、総収穫量はかなりの程度減少、産出額はやや増加)

本県の野菜は、トマト、いちご、すいか、なす、メロンなどの施設野菜を中心に、野菜生産出荷安定法並びに熊本県野菜振興計画に基づき、適地適作を基本とし、生産基盤や集出荷施設の整備、産地の集団化及び組織育成などを通じて、産地構造改革を推進している。

主要野菜の生産動向を見ると、令和6年産(2024年産)は総作付面積が前年より1.7%減の12,444haとわずかに減少した。内訳では、果菜類が前年より2.6%減(トマト、メロン等の減少のため)、葉茎菜類及び根菜類もわずかに減少となっている。

令和6年産(2024年産)の総収穫量は、トマトやナスなどの多くの品目で減少したことにより、前年に比べかなりの程度減少し444,925tとなった。

(表Ⅲ-5-(1))

表Ⅲ-5-(1) 野菜生産の推移

| 区分 | 単位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | 増減(Δ)年率(%) | | | | | |
|-------|-----|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|---------|---------|------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | 面積 | 割合 | 面積 | 割合 | 面積 | 割合 | 面積 | 割合 | 面積 | 割合 | 面積 | 割合 | H17~H22 | H22~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 | | |
| 総作付面積 | 千ha | 14.4 | 100.0% | 13.7 | 100.0% | 13.0 | 100.0% | 12.3 | 100.0% | 12.8 | 100.0% | 12.7 | 100.0% | 12.4 | 100.0% | △ 4.8 | △ 5.0 | △ 0.6 | 3.5 | △ 0.8 | △ 1.7 |
| 果菜類 | 千ha | 6.2 | 43.2% | 5.7 | 41.3% | 5.0 | 38.0% | 4.6 | 37.2% | 4.5 | 35.2% | 4.4 | 34.8% | 4.3 | 34.5% | △ 8.8 | △ 12.7 | △ 0.8 | △ 2.2 | △ 1.9 | △ 2.6 |
| 葉茎菜類 | 千ha | 3.4 | 23.9% | 3.5 | 25.4% | 4.0 | 31.0% | 4.1 | 33.3% | 4.5 | 35.2% | 4.5 | 35.4% | 4.4 | 35.6% | 1.4 | 15.9 | 0.2 | 9.5 | △ 0.3 | △ 1.1 |
| 根菜類 | 千ha | 4.8 | 33.0% | 4.6 | 33.3% | 4.1 | 31.1% | 3.6 | 29.5% | 3.8 | 29.6% | 3.8 | 29.9% | 3.7 | 30.0% | △ 3.9 | △ 11.3 | △ 1.1 | 3.9 | 0.1 | △ 1.4 |
| 総収穫量 | 千t | 437 | | 444 | | 460 | | 461 | | 472 | | 478 | | 445 | | 1.6 | 3.7 | 0.0 | 2.4 | 1.1 | △ 6.8 |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」「作物統計(かんしょ)」及び県農林水産部調べ

注) 総作付面積は、野菜生産出荷統計調査品目にかんしょを加えて算出した

注) H22年産以降はアスパラガスを追加(15年産以前は統計値の公表無し)

注) H27年産以降はごぼう、かぼちゃ、スイートコーンを除く(統計値の公表が不定期)

令和6年産(2024年産)の野菜の産出額(いも類を含む)は、前年に比べ82億円増の1,508億円となった。本県の農業産出額に占める野菜の割合は、平成17年産(2005年産)の32.6%から平成27年産(2015年産)までは39.7%と増加傾向にあったが、近年は横ばいで推移しており、令和6年産(2024年産)は36.6%と前年に比べわずかに減少した。(表Ⅲ-5-(2))

一方、食の安全安心への関心の高まりや新型コロナウイルス感染症拡大後の消費動向の変化、需要が拡大している加工・業務用への対応、米政策の見直し等、農業をめぐる環境が大きく変化する中、本県の野菜生産は、多様化する消費者・実需者ニーズへの対応や競争力のある生産供給体制の確立がより一層求められるようになっている。

表Ⅲ-5-(2) 野菜産出額の推移

| 区分 | 単位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|-------|----|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| | | 産出額 | 割合 | 産出額 | 割合 | 産出額 | 割合 | 産出額 | 割合 | 産出額 | 割合 | 産出額 | 割合 | 産出額 | 割合 |
| 農業産出額 | 億円 | 3,102 | 100.0% | 3,071 | 100.0% | 3,348 | 100.0% | 3,407 | 100.0% | 3,512 | 100.0% | 3,757 | 100.0% | 4,116 | 100.0% |
| 野菜産出額 | 億円 | 1,011 | 32.6% | 1,167 | 38.0% | 1,328 | 39.7% | 1,277 | 37.5% | 1,310 | 37.3% | 1,426 | 38.0% | 1,508 | 36.6% |

資料) 農林水産省「生産農業所得統計」。

注) H12年までは農業粗生産額、H13年以降は農業産出額、定義は同義

(果菜類の作付面積は前年に比べわずかに減少)

本県野菜の主力である果菜類の作付面積は、いちご、すいか、メロン類で減少が続いており、令和6年産(2024年産)は4,288haと前年に比べわずかに減少した。

品目別にみると、トマト(ミニトマト含む)は、県下全域で栽培されており、低コスト耐候性ハウスの導入や他品目からの転換等により、作付面積は堅調に増加してきたが、令和6年産(2024年産)は前年より1.6%減の1,210haとなった。

いちごは、玉名・八代地域をはじめ県下全域で作付けされている。高齢化、長時間労働等の影響により平成16年産(2004年産)から減少傾向であり、近年は県育成品種「ゆうべに」の導入等もあり面積減少が緩和され、微減傾向で推移している。令和6年産(2024年産)は前年より1.0%減の284haとなった。

すいかは、熊本・鹿本地域を中心に作付されている。重量野菜のため作付面積は昭和54年産の3,260haをピークに減少が続いている。カット販売の増加等により単価は近年安定しているが、生産者の高齢化が進んでいるため、令和6年産(2024年産)は前年より4.0%減の1,190haとなった。

メロン類は、生産者の高齢化と担い手減少により面積減少が続いており、令和6年産(2024年産)は前年より2.1%減の793haとなった。

なすは、平成18年(2006年)以降夏秋なすを中心に減少に転じていたが、平成26年(2014年)以降、堅調な価格や低コスト耐候性ハウスの導入、他品目からの転換等により横ばいで推移しており、令和6年産(2024年産)は前年より1.0%減の393haとなった。

(表Ⅲ-5-(3))

表Ⅲ-5-(3) 野菜作付面積の推移(果菜類)

| 区分 | 単位 | H17年産 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | 増減(Δ)年率(%) | | | | |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | | H17~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 |
| トマト | ha | 1,130 | 1,250 | 1,260 | 1,250 | 1,230 | 1,210 | 1.0 | 0.1 | Δ 0.1 | Δ 1.6 | Δ 1.6 |
| いちご | ha | 427 | 324 | 305 | 293 | 287 | 284 | Δ 2.7 | Δ 0.6 | Δ 0.4 | Δ 2.0 | Δ 1.0 |
| すいか | ha | 1,790 | 1,490 | 1,290 | 1,260 | 1,240 | 1,190 | Δ 1.8 | Δ 1.4 | Δ 0.2 | Δ 1.6 | Δ 4.0 |
| メロン類 | ha | 1,420 | 998 | 862 | 832 | 810 | 793 | Δ 3.5 | Δ 1.5 | Δ 0.4 | Δ 2.6 | Δ 2.1 |
| なす | ha | 452 | 408 | 418 | 403 | 397 | 393 | Δ 1.0 | 0.2 | Δ 0.4 | Δ 1.5 | Δ 1.0 |
| 5品目計 | ha | 5,219 | 4,470 | 4,135 | 4,038 | 3,964 | 3,870 | | | | | |

資料)農林水産省「野菜生産出荷統計」

(葉茎菜類の作付面積はわずかに減少)

葉茎菜類の作付面積は、機械化・省力化の進展等により平成13年（2001年）までは3,674haと増加したものの、その後は減少傾向にあった。しかし、国産の加工・業務用需要の高まり等から作目転換や大規模化等により平成22年（2010年）以降増加傾向に転じ、近年はほぼ横ばいで推移している。令和6年産（2024年産）は前年より2.6%減の4,429haとなった。

品目別にみると、キャベツは、堅調な需要により近年はほぼ横ばいで推移しており、令和6年産（2024年産）は前年並みの1,320haとなった。

軽量野菜であるほうれんそうは、消費者の堅調な需要はあるが、高冷地の夏秋栽培は減少傾向にある。平成24年（2012年）頃には、菊池・鹿本地域で加工用契約栽培の面積が増加。令和6年産（2024年産）は前年より0.2%減の507haとなった。

レタスは、これまで作付けの中心であった天草地域に加え、近年、八代地域を中心に面積が増加していたが、その後は横ばいで推移し、令和6年産（2024年産）は前年より3.0%減の587haとなった。

アスパラガスは、鹿本、阿蘇、八代地域を中心に県内各地で作付けされている。単価が安定していることに加え、選果施設の整備等により他品目からの転換や規模拡大が進んだ。近年は横ばいで推移しており、令和6年産（2024年産）は前年より4.0%減の96haとなった。

ブロッコリーは、八代地域を中心に作付されている。国産需要の高まりにより価格が堅調であることに加え、製氷機の整備により氷詰め出荷が可能となったことから近年面積が増加しており、令和6年産（2024年産）は前年より0.4%増の924haとなった。

(表Ⅲ-5-(4))

表Ⅲ-5-(4) 野菜作付面積の推移(葉茎菜類)

| 区分 | 単位 | H17年産 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | 増減(Δ)年率(%) | | | | |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | | H17~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 |
| キャベツ | ha | 1,240 | 1,390 | 1,370 | 1,330 | 1,320 | 1,320 | 1.1 | △ 0.1 | △ 0.3 | △ 0.8 | 0.0 |
| ほうれんそう | ha | 448 | 484 | 466 | 503 | 508 | 507 | 0.8 | △ 0.4 | 0.8 | 1.0 | △ 0.2 |
| レタス | ha | 456 | 617 | 605 | 605 | 605 | 587 | 3.1 | △ 0.2 | 0.0 | 0.0 | △ 3.0 |
| アスパラガス | ha | 65 | 107 | 99 | 100 | 100 | 96 | 5.1 | △ 0.8 | 0.1 | 0.0 | △ 4.0 |
| ブロッコリー | ha | 133 | 311 | 492 | 900 | 920 | 924 | 8.9 | 4.7 | 6.2 | 2.2 | 0.4 |
| 5品目計 | ha | 2,342 | 2,909 | 3,032 | 3,438 | 3,453 | 3,434 | | | | | |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」

(根菜類(主要7品目)の作付面積はわずかに減少)

根菜類の作付面積は、価格の低迷や生産者の高齢化、食生活の変化等より減少傾向となっており、令和6年産(2024年産)は3,988haとなった。

品目別にみると、だいこんは、阿蘇地域を中心に高冷地の立地条件を生かした産地形成がなされている。温暖化や豪雨による生産の不安定、夏季の北海道、青森産との競合により、作付面積は減少傾向が続いており、令和6年産(2024年産)は前年より1.7%減の770haとなった。

にんじんは、機械化一貫体系や集出荷施設の整備等により省力化が図られた結果、転作作物や畑地域の主要品目として菊池地域を中心に定着しており、令和6年産(2024年産)は前年より0.8%増の734haとなった。

ごぼうは、菊池地域を中心に栽培されており、平成31年(2019年)3月に菊池地域では「菊池水田ごぼう」が地理的表示(GI)保護制度に登録された。令和6年産(2024年産)は前年より1.9%減の261haとなった。

さといもは、阿蘇、上益城地域を中心に栽培されている。気象変動による生産の不安定や生産者の高齢化が進んでおり、令和6年産(2024年産)は前年より4.7%減の429haとなった。

しょうがは、八代、宇城地域を中心に栽培されており、令和2年(2020年)3月に八代地域では「八代生姜」がGI保護制度に登録された。一時期輸入が急増し面積が急激に減少したが、原産地表示制度による国内産と国外産の明確化により国内産の需要が高まり、近年は微減傾向で推移してきたが、生産者の高齢化と豊作による単価安の影響で令和6年産(2024年産)は前年より大幅に減少し、7.9%減の139haとなった。

かんしょは、ほ場整備や収穫機械導入等の省力化が図られた結果、作付面積は平成7年まで増加傾向であったが、近年は生産者の高齢化等によりほぼ横ばいで推移しており、令和6年産(2024年産)は前年より1.5%減の810haとなった。

ばれいしょは、八代、玉名地域を中心に栽培されている。県内に加工工場が稼働したことで需要が高まっており、令和6年産(2024年産)は前年より0.6%増の655haとなった。

(表Ⅲ-5-(5))

表Ⅲ-5-(5) 野菜作付面積の推移(根菜類)

| 区分 | 単位 | H17年産 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | 増減(Δ)年率(%) | | | | |
|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|--------|-------|-------|-------|
| | | | | | | | | H17~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 |
| だいこん | ha | 1,130 | 869 | 832 | 796 | 783 | 770 | △ 2.6 | △ 0.4 | △ 0.4 | △ 1.7 | △ 1.7 |
| にんじん | ha | 492 | 618 | 590 | 715 | 728 | 734 | 2.3 | △ 0.5 | 1.9 | 1.8 | 0.8 |
| ごぼう | ha | 261 | - | 258 | 262 | 266 | 261 | - | - | 0.2 | 1.5 | △ 1.9 |
| さといも | ha | 634 | 543 | 467 | 463 | 450 | 429 | △ 1.5 | △ 1.5 | △ 0.1 | △ 2.8 | △ 4.7 |
| しょうが | ha | 184 | 182 | 170 | 167 | 151 | 139 | △ 0.1 | △ 0.7 | △ 0.2 | △ 9.6 | △ 7.9 |
| かんしょ | ha | 1,250 | 1,070 | 824 | 815 | 822 | 810 | △ 1.5 | △ 2.6 | △ 0.1 | 0.9 | △ 1.5 |
| ばれいしょ | ha | 645 | 614 | 578 | 627 | 651 | 655 | △ 0.5 | △ 0.6 | 0.8 | 3.8 | 0.6 |
| 7品目計 | ha | 4,596 | 3,896 | 3,719 | 3,845 | 3,851 | 3,798 | | | | | |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」および「作物統計(かんしょ)」※H27年のごぼうは、統計値の公表無し

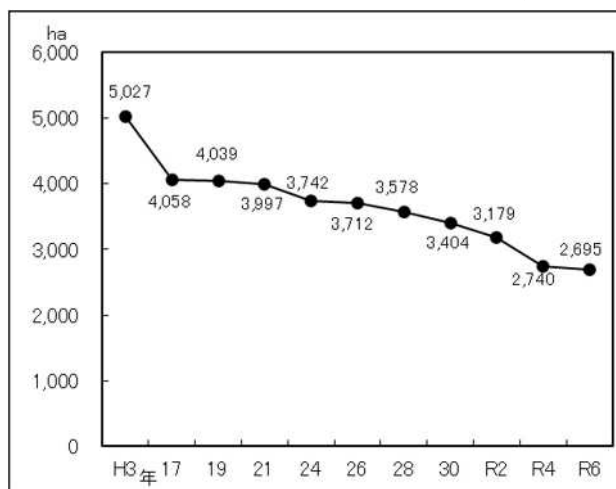
(野菜のハウス面積は平成3年(1991年)以降減少傾向)

野菜のハウス設置面積は、生産安定・品質向上等を目的とした農家の施設化への意欲の高まりにより、施設の高度化、大型化が進み、平成3年(1991年)までは増加してきた。しかし、平成3年(1991年)以降減少に転じており、令和6年(2024年)にかけて45.7%減少し約2,695haとなった。

(図Ⅲ-5-(1))

ハウスの設置面積が減少した要因としては、生産者の高齢化や台風被害、消費低迷によるすいか、メロンの栽培面積が減少していることが大きな要因となっている。なお、平成3年(1991年)の台風19号により本県の簡易なパイプハウスを主体とした施設は甚大な被害を受けたため、それ以降、自然災害等に強い耐候性ハウスの導入が図られている。

図Ⅲ-5-(1) 野菜のハウス設置面積



資料) H4～21年：農林水産省「園芸用施設及び農業用廃プラスチックに関する調査」

H24年～：農林水産省「園芸用施設の設置等の状況」

注) ハウス設置面積にはガラス室を含む (H24年以前は含まない)

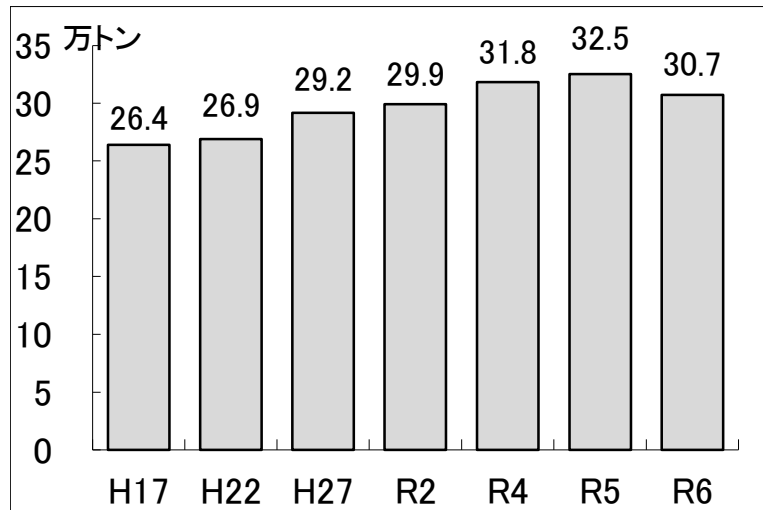
2 流通及び価格の動向

(出荷数量は前年に比べかなりの程度減少)

令和6年産(2024年産)の野菜の出荷数量は、前年から減少し30.7万t(6.5%減)となった。(図Ⅲ-5-(2))

令和6年産(2024年産)の中央卸売市場における主な出荷先の割合は、九州27%、関東25%、近畿21%の順となっている。(図Ⅲ-5-(3))

図Ⅲ-5-(2) 県野菜の出荷数量の推移

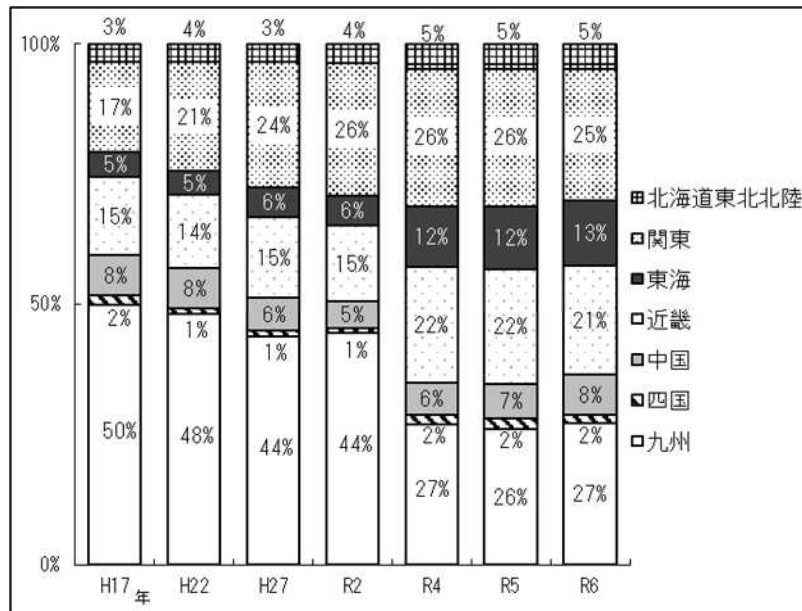


資料) 農林水産省「青果物卸売市場調査報告(R3年以前)」、「野菜生産出荷統計(R4年以降)」

注) R3年以前は1・2類都市の市場のみ対象

注) H13年以前は野菜14品目、14年以降は15品目(ミトマ追加)

図Ⅲ-5-(3) 県産野菜出荷先の割合の推移(県外向け)



資料) 農林水産省「青果物卸売市場調査報告」

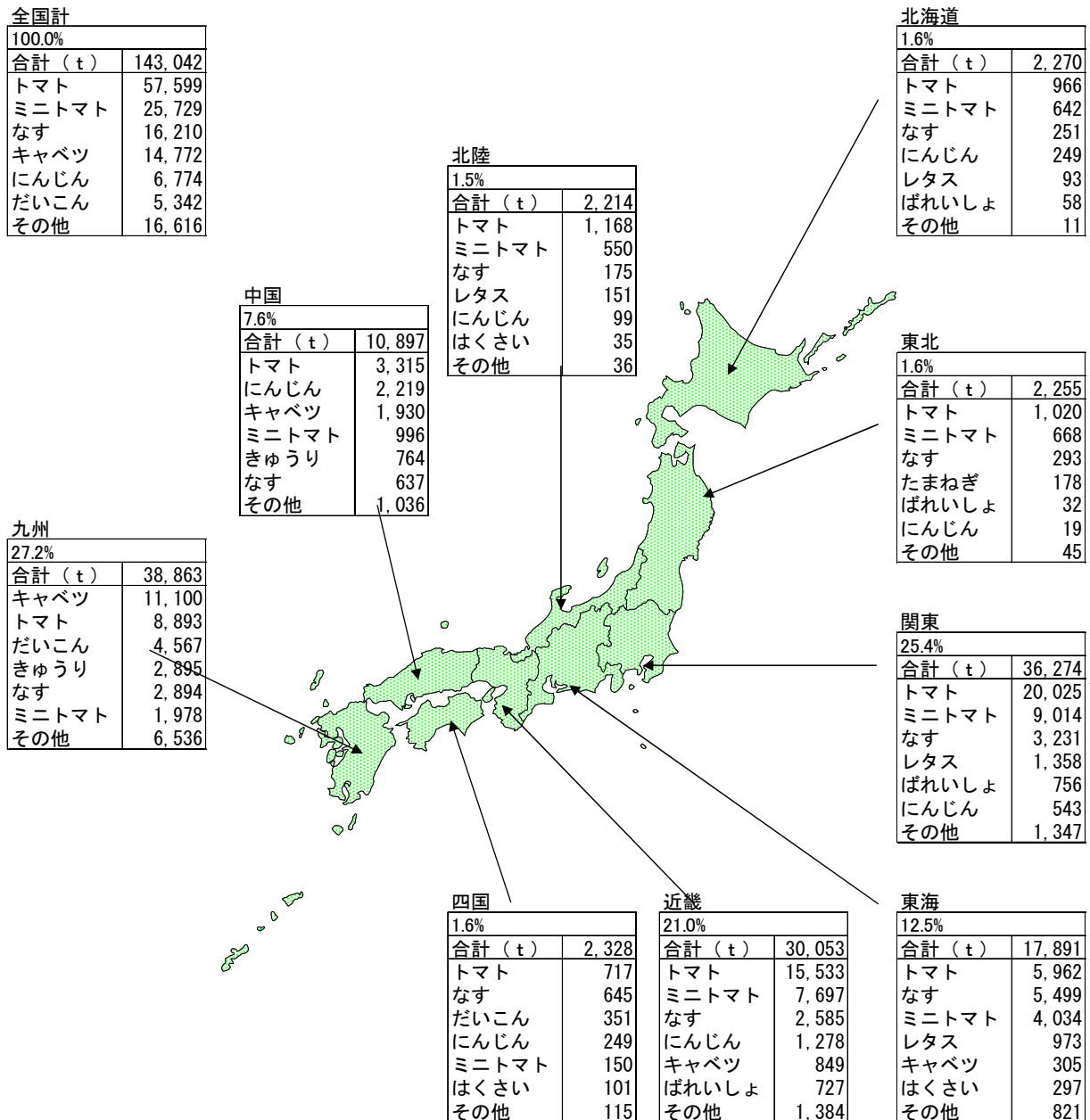
注) H8年以前は全市場対象、H9年~19年は1類・2類都市の市場、

H20~R3年以降は主要都市の市場、R4年以降は中央卸売市場のみ対象

野菜の品目別に出荷先をみると、トマト、ミニトマト、なすなどの果菜類は関東・東海及び近畿等の大消費地を中心に、遠くは北海道、東北まで出荷されている。キャベツ、はくさい、だいこんは、主に西日本向けに、レタスは主に関東向けに出荷されている。

(図Ⅲ-5-(4))

図Ⅲ-5-(4) 野菜の品目別、地域別出荷状況 (R6年)



資料) 農林水産省「青果物卸売市場調査報告」

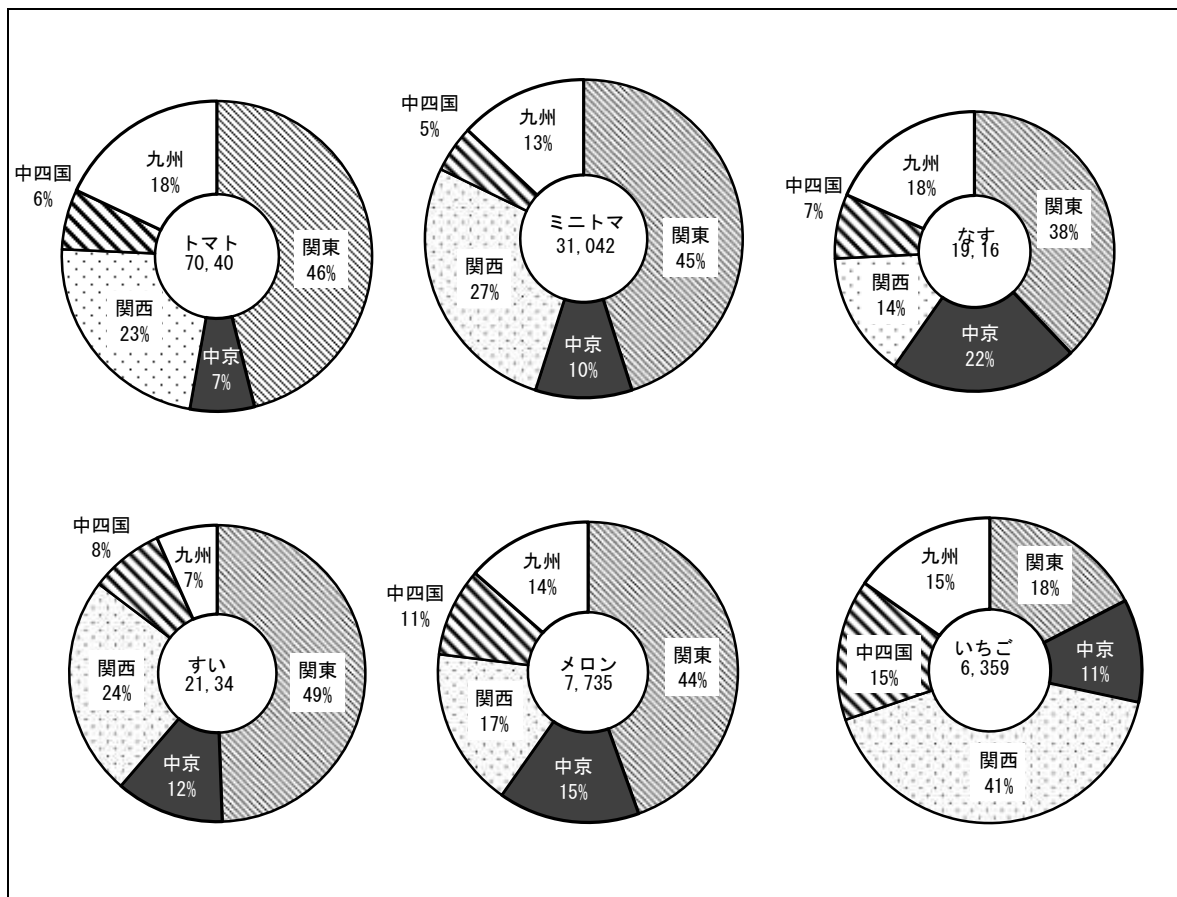
注) 中央卸売市場のみ対象

注) 調査品目は、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、ミニトマト、ピーマン、ばれいしょ、さといも、たまねぎの15品目

施設野菜の主要6品目について、出荷先を県経済連の販売実績でみると、トマト、ミニトマト、すいか、メロンは関東（関東以北を含む、以下同じ）を中心に出荷されており、いちごは関西を中心に出荷されている。また、なすは関東及び中京へ出荷されている。

(図Ⅲ-5-(5))

図Ⅲ-5-(5) 主要野菜の地域別出荷割合 (R6年産)



資料) JA熊本経済連共販実績

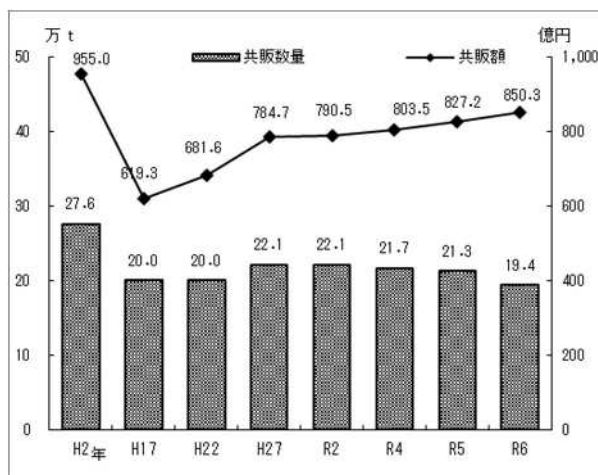
注) 円グラフ中の「関東」は、関東以北を含む
円グラフ中の「九州」は、山口県を含む

次に野菜の農協共販数量の推移をみると、生産者の高齢化等による共販作付面積の減少が続いているものの単収の向上等により、近年横ばい傾向にある。令和6年産（2024年産）は前年より9.0%減の19.4万tであった。

共販額は、平成2年（1990年）の955億円まで順調に伸びたが、平成3年（1991年）以降は、栽培面積の減少や景気後退による価格低迷等により減少傾向となった。しかし、平成17年（2005年）を境にトマト、ミニトマトの伸びとともに回復傾向にある。令和6年産（2024年産）は前年よりわずかに増加し、850.3億円となった。

（図Ⅲ-5-(6)）

図Ⅲ-5-(6) 野菜共販の推移



資料) J A 熊本経済連共販実績

（野菜類の価格は前年かなり大きく上昇）

令和6年産（2024年産）野菜の販売価格は、前年より12.6%上昇した。

前年に比べ、すいか、メロン類、キャベツ、きゅうり、トマト等で全体的に販売単価が上昇した。

（表Ⅲ-5-(6)）

表Ⅲ-5-(6) 県産主要野菜の市場価格の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | 増減(Δ)年率(%) | | | | | |
|-----------|------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|------------|---------|--------|--------|-------|-------|
| | | | | | | | | | H17~H22 | H22~H27 | H27~R2 | R2~R4 | R4~R5 | R5~R6 |
| すいか | 円/kg | 198 | 207 | 232 | 249 | 298 | 293 | 339 | 0.9 | 2.3 | 3.2 | 19.7 | Δ 1.7 | 15.7 |
| メロン類 | 円/kg | 375 | 448 | 517 | 480 | 550 | 562 | 635 | 3.6 | 2.9 | Δ 0.5 | 14.6 | 2.2 | 13.0 |
| プリンスメロン | 円/kg | 432 | 458 | 484 | 519 | 584 | 624 | 594 | 1.2 | 1.1 | 3.9 | 12.5 | 6.8 | Δ 4.8 |
| アンデスメロン | 円/kg | 417 | 469 | 532 | 505 | 558 | 570 | 620 | 2.4 | 2.6 | Δ 0.3 | 10.5 | 2.2 | 8.8 |
| アムスメロン | 円/kg | 323 | 464 | 570 | 533 | 618 | 581 | 771 | 7.5 | 4.2 | 0.3 | 15.9 | Δ 6.0 | 32.7 |
| ホームランメロン | 円/kg | 230 | 381 | 419 | 391 | 476 | 482 | 514 | 10.6 | 1.9 | 0.8 | 21.7 | 1.3 | 6.6 |
| クインシーメロン | 円/kg | 378 | 477 | 487 | 446 | 551 | 559 | 643 | 4.8 | 0.4 | 0.6 | 23.5 | 1.5 | 15.0 |
| 肥後グリーンメロン | 円/kg | 244 | 322 | 347 | 356 | 379 | 381 | 465 | 5.7 | 1.5 | 1.6 | 6.5 | 0.5 | 22.0 |
| アールスメロン | 円/kg | 396 | 463 | 609 | 549 | 625 | 637 | 713 | 3.2 | 5.6 | Δ 2.2 | 13.8 | 1.9 | 11.9 |
| きゅうり | 円/kg | 212 | 256 | 282 | 307 | 273 | 319 | 397 | 3.8 | 2.0 | Δ 1.8 | Δ 11.1 | 16.8 | 24.5 |
| トマト | 円/kg | 310 | 332 | 325 | 306 | 309 | 330 | 369 | 1.4 | Δ 0.4 | Δ 2.9 | 1.0 | 6.8 | 11.8 |
| なす | 円/kg | 301 | 315 | 364 | 359 | 347 | 365 | 400 | 0.9 | 2.9 | Δ 0.4 | Δ 3.3 | 5.2 | 9.6 |
| かぼちゃ | 円/kg | 216 | 309 | 276 | 269 | 265 | 290 | 356 | 7.4 | Δ 2.2 | Δ 1.6 | Δ 1.5 | 9.4 | 22.8 |
| いちご | 円/kg | 1,014 | 962 | 1,112 | 1,345 | 1,413 | 1,453 | 1,609 | Δ 1.0 | 2.9 | 4.1 | 5.1 | 2.8 | 10.7 |
| はくさい | 円/kg | 60 | 44 | 54 | 40 | 48 | 56 | 67 | Δ 6.0 | 4.2 | Δ 5.4 | 20.0 | 16.7 | 19.6 |
| キャベツ | 円/kg | 67 | 88 | 90 | 79 | 73 | 80 | 114 | 5.6 | 0.5 | Δ 5.7 | Δ 7.6 | 9.6 | 42.5 |
| レタス | 円/kg | 163 | 154 | 167 | 123 | 144 | 141 | 155 | Δ 1.1 | 1.6 | Δ 5.3 | 17.1 | Δ 2.1 | 9.9 |
| だいこん | 円/kg | 59 | 76 | 69 | 64 | 72 | 73 | 87 | 5.2 | Δ 1.9 | Δ 2.8 | 12.5 | 1.4 | 19.2 |
| 野菜計 | 円/kg | 309 | 335 | 355 | 357 | 371 | 388 | 437 | 1.6 | 1.2 | Δ 0.3 | 3.9 | 4.6 | 12.6 |

資料) J A 熊本経済連共販実績

第2 果実の生産、流通及び価格の動向

1 生産の動向

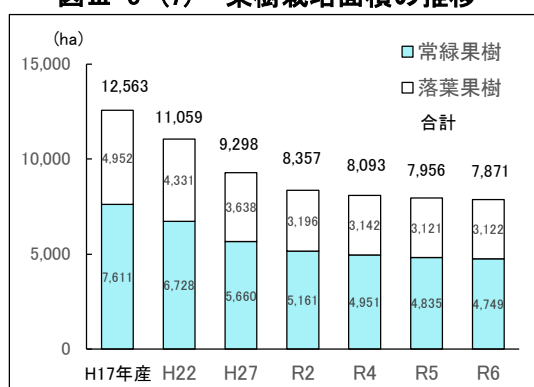
(栽培面積はほぼ前年並み、産出額はかなり増加)

令和6年産(2024年産)の栽培面積は、担い手の減少や高齢化が進む中、果樹全体で7,871ha(前年比(以下「同」)99%)となりほぼ前年並みであった。

令和6年産(2024年産)の生産量は、着果量が少なかったことに加え夏の高温乾燥により、常緑果樹、落葉果樹ともに大きく減少し、果樹全体では95,876t(同75%)と、大幅に減少した。

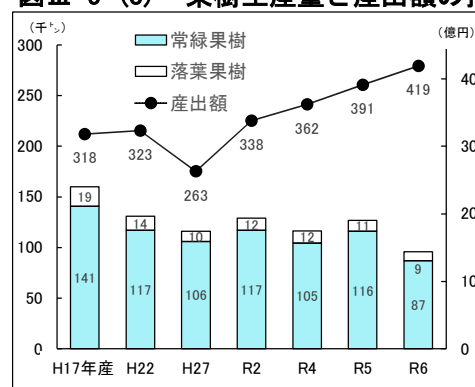
令和6年産(2024年産)の産出額は、品質良好で高単価であったことから、果樹全体では419億円(同107%)とかなりの程度増加した(図Ⅲ-5-(7)(8))。

図Ⅲ-5-(7) 果樹栽培面積の推移



資料) 県農林水産部「熊本県果樹振興実績書」

図Ⅲ-5-(8) 果樹生産量と産出額の推移



資料) 農林水産省「生産農業所得統計」
県農林水産部「熊本県果樹振興実績書」

(1) 常緑果樹

令和6年産(2024年産)の栽培面積は、うんしゅうみかんが前年より39ha減少し、3,002ha(同99%)となった。その他にもほとんどの品目で減少しており、常緑果樹全体では4,749ha(同98%)とやや減少した。

令和6年産(2024年産)の生産量については、うんしゅうみかんは裏年で着果量が少なかったことと夏の高温乾燥により、令和5年産と比較すると、63,835t(同75%)と大幅に減少した。不知火類(デコポン)は、果実の日焼けと裂果の多発により12,706t(同72%)と、大幅に減少した。なつみかんを含め、ほとんどの品目で減少したことから、常緑果樹全体では87,006t(同75%)と、大幅に減少した(巻末表Ⅲ-5-(5)(10))。

(2) 落葉果樹

令和6年産(2024年産)の栽培面積は、なし等でわずかに減少したが、くり等でわずかに増加し、落葉果樹全体では3,122ha(同100%)となった。

令和6年産(2024年産)の生産量については、くりは夏の高温障害等により、1,854t(同84%)と大幅に減少し、なしは収穫前の障害の発生等で4,165t(同70%)と大幅に減少した。そのため、落葉果樹全体では、8,870t(同79%)と大幅に減少した(巻末表Ⅲ-5-(10))。

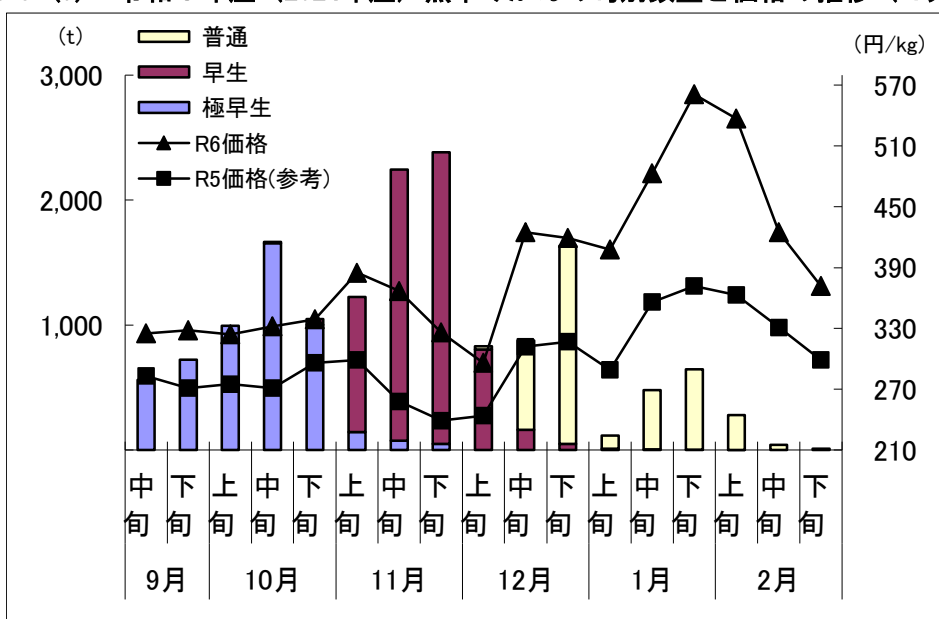
2 流通及び価格の動向

令和6年産（2024年産）のうんしゅうみかんの価格は、全国的に量が少なく引き合いが強かったこと、品質が良かったことから、期間を通じて前年を上回る単価で推移し、前年を大幅に上回る単価となった（同129%）（図Ⅲ-5-(9)）。

令和6年産（2024年産）の不知火類（デコポン）の全国シェアは、わずかに増加し41%となった（図Ⅲ-5-(10)）。価格は、全国的に量が少なく引き合いが強かったこと、品質良好だったことから前年に比べ大幅に増加した（同121%）（図Ⅲ-5-(11)）。

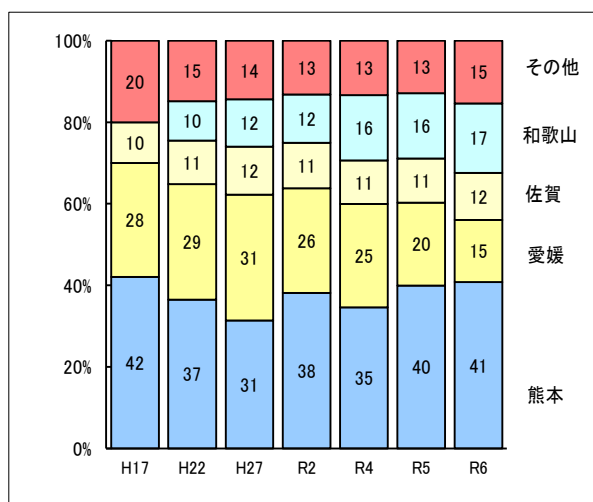
落葉果樹の価格については、なしは、全国的に量が少なく引き合いが強かったことから大幅に増加し、くりも加工向けの高い需要が継続したが、わずかに減少した（なし同124%、くり同99%）（図Ⅲ-5-(11)）。

図Ⅲ-5-(9) 令和6年産（2024年産）熊本みかんの旬別数量と価格の推移（4大市場）



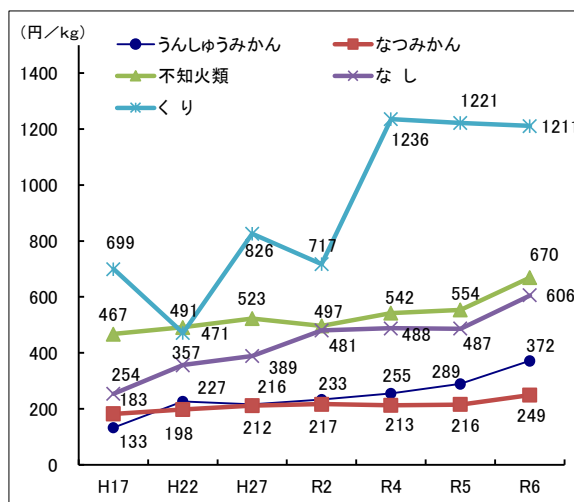
資料) 日園連「柑橘販売年報」

図Ⅲ-5-(10) デコポンの四大市場販売シェア



資料) 日園連「柑橘販売年報」

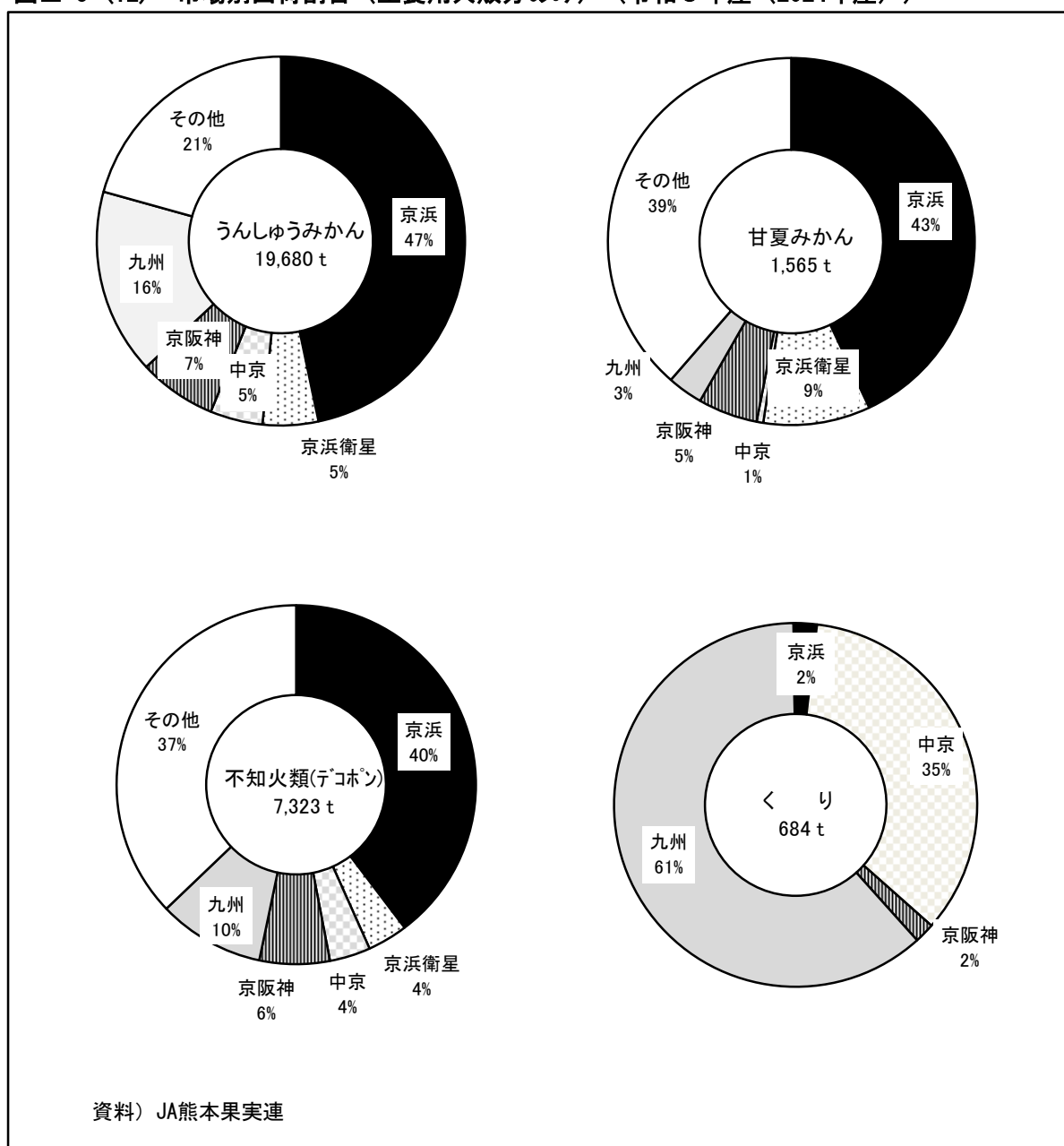
図Ⅲ-5-(11) 主要果実市場価格の推移



資料) J A 熊本果実連（税込）

主要果実の市場別出荷割合をJA熊本果実連の販売実績で見ると、うんしゅうみかんでは京浜47%、京浜衛星5%、甘夏みかんでは京浜43%、京浜衛星9%、不知火類（デコポン）では京浜40%、京浜衛星4%と、かんきつ類は大都市中心の販売となっている。くりは加工用途の多い九州に61%、中京に35%の出荷となっている。（図Ⅲ-5-（12））

図Ⅲ-5-（12） 市場別出荷割合（生食用共販分のみ）（令和6年産（2024年産））



グラフ内市場の凡例

- 京 浜：東京青果、東京シティ青果、東京新宿ベジフル 等
- 京浜衛星：JA全農青果センター（東京、神奈川）、浦和中央青果市場 等
- 中 京：セントライ青果、名古屋青果、岐阜中央青果 等
- 京 阪 神：東果大阪、大果大阪青果、JA全農青果センター（大阪） 等
- 九 州：熊本大同青果、北九州青果、朝日青果

第3 花きの生産、流通及び価格の動向

1 生産の動向

(産出額はやや増加)

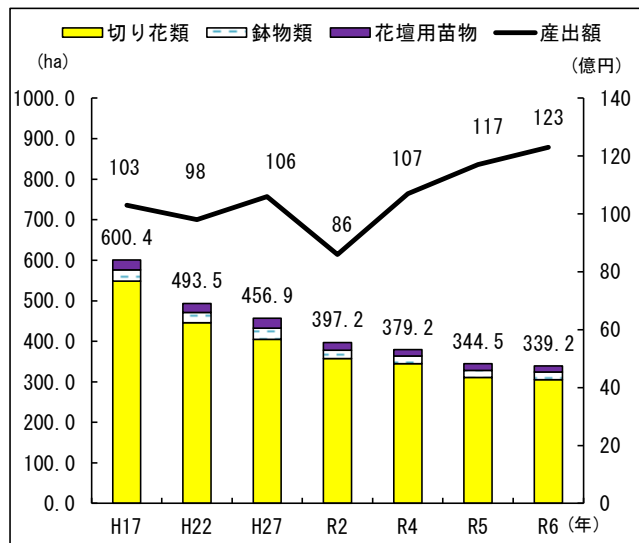
本県における花きの生産は、天草など冬期温暖な海岸地域から熊本、菊池、鹿本、八代などの平坦地域、阿蘇などの夏期冷涼な高原地域まで多岐にわたり、それぞれの立地条件を活かしてキク、宿根カスミソウ、トルコギキョウ、バラ、カーネーション、カラー、リンドウ、枝物等幅広い品目の作付が行われている。

花き類（花木類、芝類を除く）の令和6年産（2024年産）作付面積は、前年に比べ△1.5%とわずかに減少し339.2haとなった。

農業産出額については、価格が比較的高単価であったことから令和5年に比べ+5.1%とやや増加し123億円となった。

(図Ⅲ-5-(13)、巻末表Ⅲ-5-(11))

図Ⅲ-5-(13) 花き産出額および花き類作付面積の推移



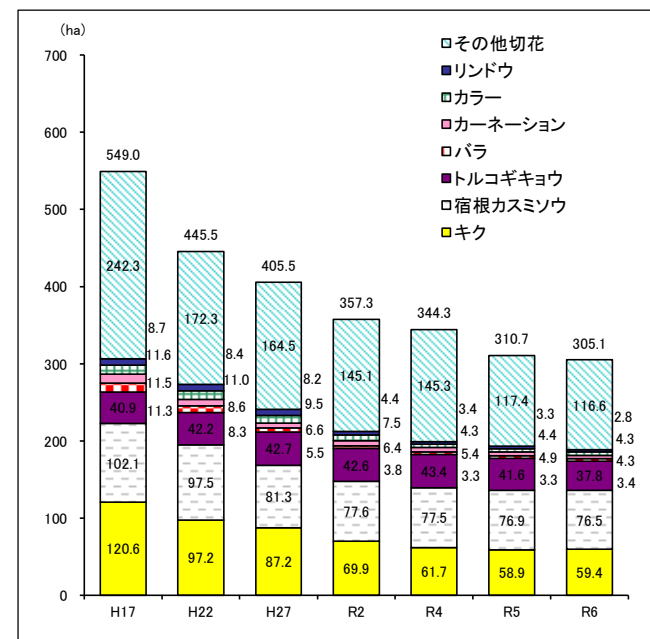
資料) 産出額：生産農業所得統計
作付面積：県農林水産部調べ

(切り花類の生産量はかなりの程度減少)

主力である切り花類の令和6年産（2024年産）の作付面積は、生産農家の高齢化等により、前年に比べ1.8%減少し305.1haとなった。また、花き類（花木類、芝類を除く）に占める割合は、89.9%となった。生産量は7,348万本で、前年に比べ8.7%減少となった。

品目別では、切り花類の作付面積の19.5%を占めるキクは、前年より0.8%増加し59.4haとなった。県外出荷向けでは、お盆や正月等の物日向けの黄系輪ギクが、県内出荷向けでは、白系輪ギクを中心に、スプレー菊や小菊など、様々な品種が作付けされている。

図Ⅲ-5-(14) 切り花類作付面積の推移



資料) 県農林水産部調べ

作付面積・生産量ともに全国第1位である宿根カスミソウは、作付面積76.5ha

(前年比99.5%)、生産量1,626万本(前年比89.9%)であり、切り花類に占める割合は、作付面積で25.1%、生産量では22.1%となった。

トルコギキョウは、作付面積全国第1位、生産量全国第2位となっており、生産安定対策として高品質苗生産技術や圃場芽摘み等の導入により、高品質生産が行われている。作付面積は37.8ha(前年比90.9%)、生産量は734万本(前年比91.4%)であり、切り花類に占める割合は、作付面積で12.4%、生産量では10.0%となった。

カラーは湿地性と畑地性に分けられ、本県では湿地性を中心に栽培されており、白やグリーン系の品種を中心に栽培されている。作付面積は前年に比べ△2.3%とわずかに減少し4.3haとなった。

(図Ⅲ-5-(14)、表Ⅲ-5-(7)、巻末表Ⅲ-5-(11)、(12))

表Ⅲ-5-(7) 生産量

| 区分 | 単位 | H17 (年) | H22 | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|-------|----|------------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 切花類 | 万本 | 14,923 | 12,272 | 11,825 | 9,030 | 9,068 | 8,609 | 8,044 | 7,348 |
| 鉢物類 | 万鉢 | 373 | 356 | 258 | 150 | 156 | 155 | 154 | 155 |
| 花壇用苗物 | 万鉢 | 1,410 | 1,234 | 1,001 | 862 | 919 | 840 | 859 | 837 |

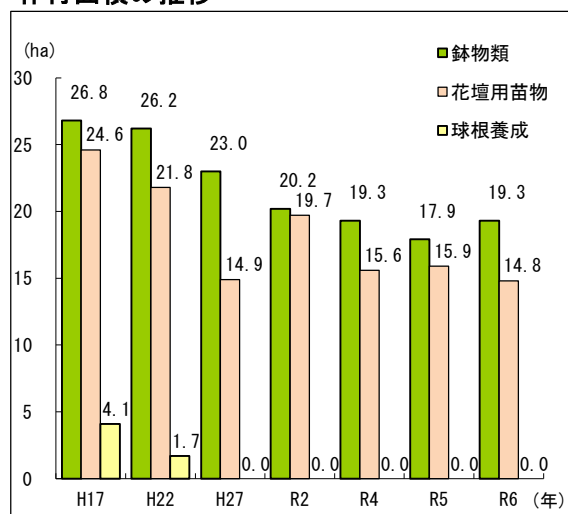
資料) 県農林水産部調べ

(鉢物の生産量はほぼ前年並み、苗物類の生産量はわずかに減少)

鉢物類の面積は前年から7.8%増加の19.3ha、生産量は0.6%増加の155万鉢、花壇用苗物の面積は前年から6.9%減り14.8ha、生産量は2.6%減り837万鉢となった。

(図Ⅲ-5-(15)、表Ⅲ-5-(7)、巻末表Ⅲ-5-(11)、(13))

図Ⅲ-5-(15) 鉢物・花壇用苗物・球根養成作付面積の推移



資料) 県農林水産部調べ

2 流通及び価格の動向

(1) 流通の概要

(県産の花き類の出荷量はかなりの程度減少。切り花類の37.6%は県外へ出荷)

令和6年産(2024年産)の県産の花き類(芝類を除く)の出荷量は、高齢化に伴う生産者や作付面積の減少により、前年より7.7%減少し、7,563万本(鉢)となった。県内向けの出荷は、キク、バラ、カーネーション、宿根カスミソウ、トルコギキョウなどが中心で、令和6年産(2024年産)の出荷量は、前年より4.6%減少し4,723万本(鉢)であった。

県外への出荷は、農協系統取り扱いによる共同販売が主体で、宿根カスミソウ、キク、トルコギキョウ、カラー、洋ランなどを中心に行われている。令和6年産（2024年産）では、出荷量（農協系統取り扱い）が前年より10.9%減少し2,840万本（鉢）となり、花き類の県外出荷割合は37.6%と前年並みであった。

また、バケツ低温輸送など高鮮度な状態で東京等の関東を主体に、遠くは北海道・東北へも出荷しており、冬春作型を主とした周年出荷を行っている。（表Ⅲ-5-（8）、巻末Ⅲ-5-（14）（15））

表Ⅲ-5-（8） 熊本県産花きの県内市場および農協系統での販売状況

| 区分 | | 単位 | H17 (年) | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------|------|-----|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 県内市場 | 出荷量 | 万本 | 11,245 | 8,652 | 6,675 | 5,390 | 5,088 | 4,950 | 4,723 |
| | 販売金額 | 万円 | 561,033 | 470,983 | 400,097 | 330,987 | 363,207 | 366,897 | 357,290 |
| | 販売単価 | 円/本 | 50 | 54 | 60 | 61 | 71 | 74 | 76 |
| 農協系統 | 出荷量 | 万本 | 4,416 | 4,595 | 4,051 | 3,268 | 3,201 | 3,188 | 2,840 |
| | 販売金額 | 万円 | 332,020 | 406,745 | 388,920 | 295,676 | 366,450 | 367,278 | 342,707 |
| | 販売単価 | 円/本 | 75 | 89 | 96 | 90 | 114 | 115 | 121 |
| 合計 | 出荷量 | 万本 | 15,661 | 13,247 | 10,726 | 8,658 | 8,289 | 8,193 | 7,563 |
| | 販売金額 | 万円 | 893,053 | 877,728 | 789,017 | 626,663 | 729,657 | 734,176 | 699,998 |
| | 販売単価 | 円/本 | 57 | 66 | 74 | 72 | 88 | 90 | 93 |

資料) 県農林水産部調べ

（2）価格の動向

（販売金額はやや減少、販売単価はやや増加）

花きの需要は回復傾向にあるが、高齢化による作付面積の減少に伴い出荷量は回復していないため、令和6年産（2024年産）の県産花き類の販売金額は前年より4.7%減少し、69億9,998万円とやや減少、平均販売単価は93円（前年比103.3%）とやや増加した。

県内市場における花き全体の販売金額は、前年より2.6%減の35億7,290万円で、平均販売単価は76円（前年比102.7%）となった。品目別の販売単価は、キクが前年より1.8%増（1円高）の57円/本、バラが前年より7.2%増（6円高）の89円/本、カーネーションが前年より3.4%増（2円高）の61円/本、宿根カスミソウが前年より2.8%増（2円高）の74円/本、トルコギキョウが前年より6.5%減（7円安）の101円/本となった。

一方、県外出荷が主体となっている農協系統扱いの販売金額は6.7%減の34億2,707万円で、花き類の平均販売単価は前年より5.2%増（6円高）の121円となり、県内市場に比べて高い水準で推移した。品目別では、宿根カスミソウが前年より8.5%増（8円高）の102円/本、トルコギキョウが前年より2.0%増（4円高）の206円/本、キクが前年より6.7%増（5円高）の80円/本となった。

（表Ⅲ-5-（8）、巻末表Ⅲ-5-（15）（16））

第6節 工芸作物の生産、流通及び価格の動向

第1 いぐさの生産、流通及び価格の動向

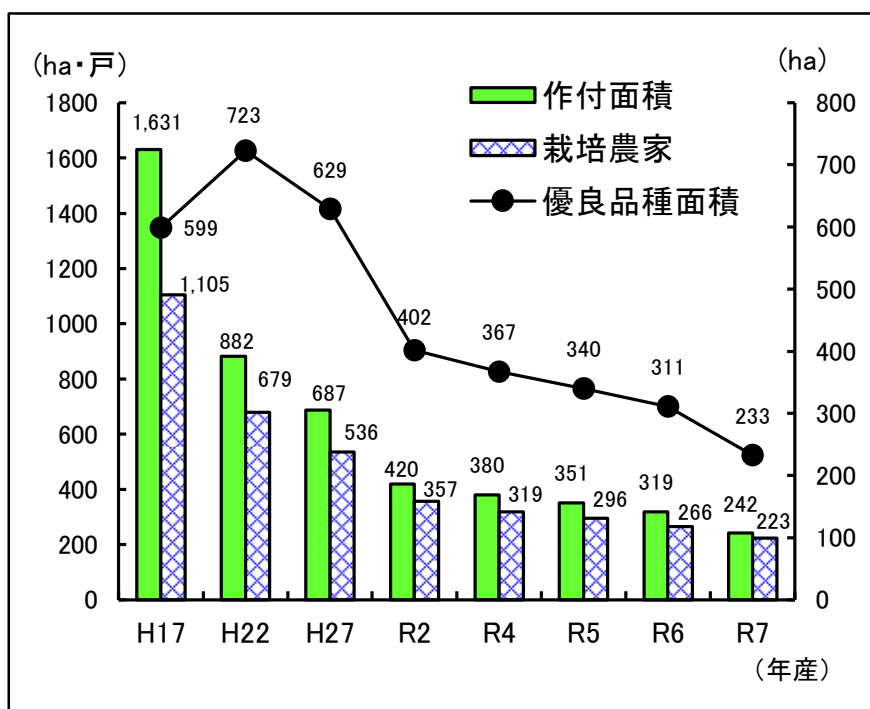
1 生産の概況

(栽培農家、作付面積は大幅に減少)

高齢化による作付中止や需要の低迷などにより、令和7年(2025年)産いぐさの栽培農家は、前年と比較して16%減少し、223戸となった。作付面積は24%減少して242haとなった。

なお、品種「涼風、夕凧、ひのみどり、ひのはるか」を合わせた優良品種の作付面積は233haとなり、31%減少した。品種別では「ひのみどり」64ha(16%減)、「涼風」120ha(30%減)の作付面積となった。(図Ⅲ-6-(1)、巻末表Ⅲ-6-(1))

図Ⅲ-6-(1) いぐさ生産の動向



資料) 県農林水産部調べ

2 畳表生産枚数および価格

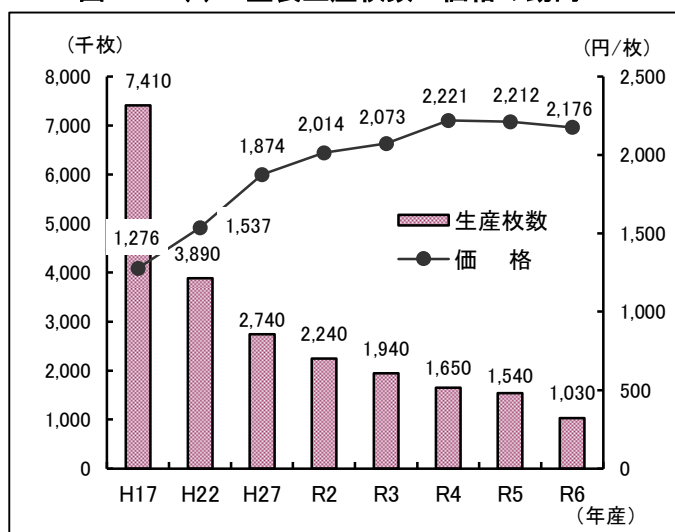
(生産枚数は大幅に減少、平均価格はわずかに低下)

令和6年(2024年)産の畳表生産枚数は1,030千枚(前年比66.9%)と大幅に減少した。

1枚当たりの平均価格は、2,176円(同98.4%)とわずかに低下した。(図Ⅲ-6-(2))

なお、優良品種「ひのみどり」等を使用して生産される高品質畳表では、「ひのさらさ」の平均価格は前年と比較してかなりの程度上回り、「ひのさくら」はほぼ前年並み、「ひのさやか」はやや下回った。(表Ⅲ-6-(1)、巻末表Ⅲ-6-(1))

図Ⅲ-6-(2) 畳表生産枚数・価格の動向



資料) 農林水産省、JA熊本経済連、JAやつしろ調べ

表Ⅲ-6-(1) 高品質畳表「ひのさらさ」「ひのさくら」「ひのさやか」の販売状況

| 項目 | 単位 | H17産 | H22産 | H27産 | R2産 | R4産 | R5産 | R6産 |
|-------|-----|---------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 平均価格 | 円/枚 | 2,003 | 1,681 | 2,128 | 2,183 | 2,394 | 2,364 | 2,332 |
| ひのさらさ | 円/枚 | 4,572 | 4,216 | 5,126 | 5,463 | 5,895 | 5,972 | 6,410 |
| ひのさくら | 円/枚 | 2,475 | 2,630 | 3,052 | 3,113 | 3,425 | 3,474 | 3,521 |
| ひのさやか | 円/枚 | 1,849 | 1,618 | 1,990 | 2,027 | 2,250 | 2,190 | 2,113 |
| 枚数 | 枚 | 415,608 | 1,016,424 | 635,438 | 464,787 | 398,888 | 364,253 | 325,227 |
| ひのさらさ | 枚 | 8,977 | 6,942 | 14,462 | 9,849 | 8,068 | 8,385 | 8,826 |
| ひのさくら | 枚 | 63,702 | 45,463 | 39,365 | 35,405 | 23,799 | 24,801 | 23,599 |
| ひのさやか | 枚 | 342,929 | 964,019 | 581,611 | 419,533 | 367,021 | 331,067 | 292,802 |

資料) JA熊本経済連(~H12産)、JAやつしろ調べ(H17産~)

「ひのさらさ」「ひのさくら」「ひのさやか」はJAやつしろの商標畳表

第2 茶の生産、流通及び価格の動向

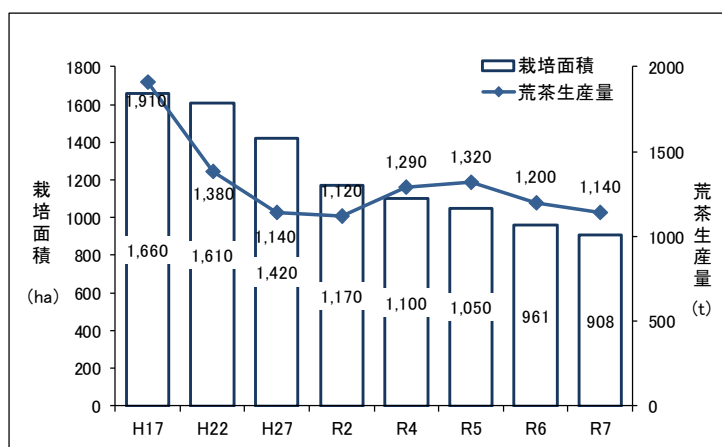
(栽培面積、荒茶生産量はやや減少、荒茶価格は上昇)

茶の栽培面積は、傾斜地や生産性が低い小規模な茶園の改廃や高齢化等による担い手の減少等から、昭和50年代をピークに年々減少している。平成15年（2003年）から25年（2013年）までその傾向は緩やかであったが、平成26年（2014年）から減少の程度が大きくなり、令和7年（2025年）は前年より53ha減少して908haとなった。

荒茶生産量については、令和7年（2025年）は、前年より60t減少し1,140tとなった。

(図Ⅲ-6-(3)、巻末表Ⅲ-6-(2))

図Ⅲ-6-(3) 茶の栽培面積、生産量の推移



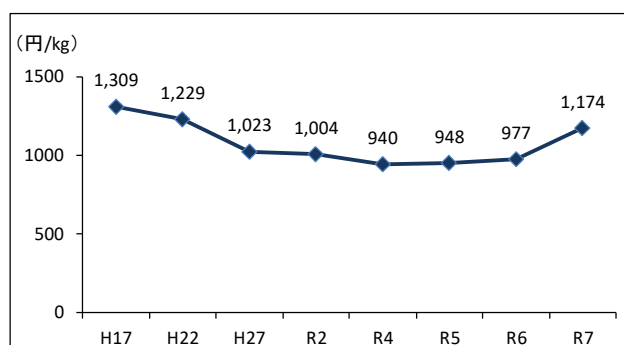
資料) 農林水産省「作物統計」

令和7年（2025年）の県経済連取扱量（荒茶）は637tで全生産量の56%を占めている。

また価格は、景気の低迷やリーフ茶の消費減少等から低水準で推移していたが、全国的な碾茶生産の増加によるリーフ用荒茶不足により、二番茶以降の需要が増加したことから、令和7年（2025年）の県経済連平均単価は前年から約197円増加し、1,174円/kgとなった。

(図Ⅲ-6-(4)、巻末表Ⅲ-6-(2))

図Ⅲ-6-(4) 茶（荒茶）平均価格の推移



資料) 県経済連調べ

第3 葉たばこの生産、流通及び価格の動向

(農家戸数はやや減少、栽培面積はかなりの程度減少)

令和7年(2025年)の葉たばこ栽培農家戸数は、前年よりやや減少し、310戸となった。また、栽培面積は前年より44ha減少し、599haとなった。

病害の発生等がみられたものの、収量は平年(過去5年の平均収量)に比べて7.9%増加し300kg/10aであった。1戸当たり栽培面積は前年から2.1%減少し193aとなり、1戸当たり販売金額は前年より1.5%増加し10,918千円であった。

葉たばこの流通については、J Tとの契約に基づき生産され、原料に適さないものを除きすべて買い入れられる。

(表Ⅲ-6-(2)、巻末Ⅲ-6-(3))

表Ⅲ-6-(2) 葉たばこ栽培の推移

| 項目 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 農家戸数 | 戸 | 1,119 | 967 | 600 | 495 | 336 | 332 | 326 | 310 |
| 栽培面積 | 在来種 | ha | 52 | 36 | — | — | — | — | — |
| | 黄色種 | ha | 1,930 | 1,705 | 1,192 | 937 | 660 | 664 | 643 |
| | 計 | ha | 1,982 | 1,741 | 1,192 | 937 | 660 | 664 | 643 |
| 収穫量 | t | 5,088 | 3,594 | 2,823 | 2,161 | 1,869 | 1,974 | 1,836 | 1,794 |
| 販売代金※ | 百万円 | 9,801 | 6,866 | 5,672 | 4,537 | 3,875 | 3,818 | 3,507 | 3,385 |
| 一戸当り | 栽培面積 | a | 177 | 180 | 199 | 189 | 196 | 200 | 197 |
| | 販売代金※ | 千円 | 8,759 | 7,100 | 9,453 | 9,165 | 11,530 | 11,500 | 10,757 |

資料) 中九州たばこ耕作組合調べ

注: 平成17年度から販売代金に消費税を加えて生産者に支払われる(販売代金は消費税抜き)

注: 平成27年から、在来種は委託契約栽培のため除外。

第7節 畜産物の生産、流通及び価格の動向

第1 乳用牛の生産、流通及び価格の動向

1 飼養の動向

(飼養戸数はやや減少し、飼養頭数はわずかに減少)

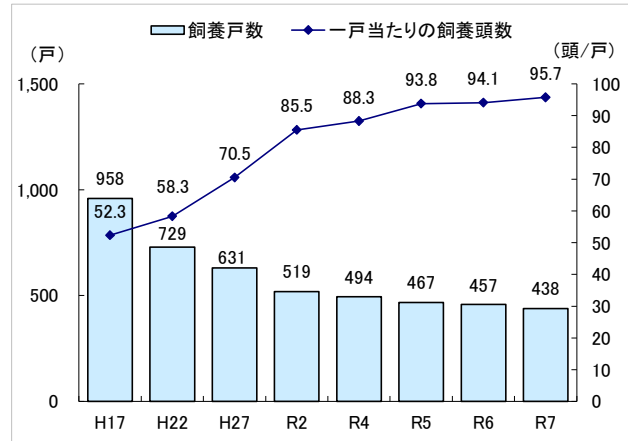
飼養戸数は、飼養者の高齢化等の影響により減少傾向を続けており、令和7年(2025年)は前年よりやや減少して438戸(前年比95.8%)となった。(図Ⅲ-7-(1))

飼養頭数は、平成17年度(2005年度)後半から平成19年度(2007年度)にかけて行われた生乳の減産型計画生産を受けて減少していたが、平成23年(2011年)に回復して以降、増減を繰り返し、令和7年(2025年)は、わずかに減少して41,900頭(前年比97.4%)となった。このうち経産牛については、29,700頭(前年比98.3%)とわずかに減少した。(図Ⅲ-7-(2))

1戸当たりの飼養頭数は、年々増加しており、令和7年(2025年)はわずかに増加して95.7頭(前年比101.7%)となった。(図Ⅲ-7-(1))

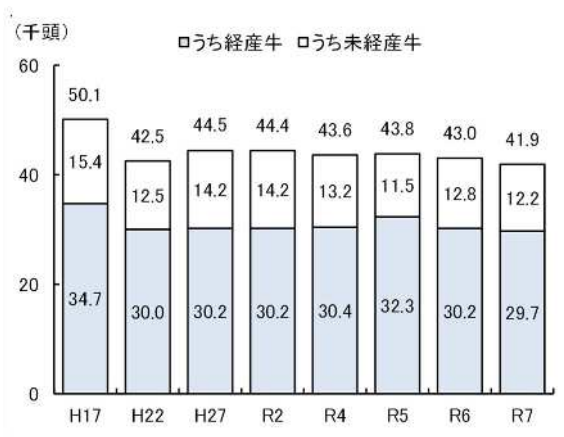
令和6年度(2024年度)の搾乳牛の総死廃病頭数は2,992頭で、その内訳は、心不全991頭(総死廃病頭数に占める割合33.1%)、乳房炎(慢性、急性及び甚急性)360頭(12.0%)、股関節脱臼198頭(6.6%)、牛伝染性リンパ腫180頭(5.9%)、ダウンナー症候群94頭(3.1%)の順であった(家畜共済調べ)。

図Ⅲ-7-(1) 乳用牛飼養戸数及び1戸当たりの飼養頭数



資料) 農林水産省「畜産統計」

図Ⅲ-7-(2) 乳用牛飼養頭数



資料) 農林水産省「畜産統計」

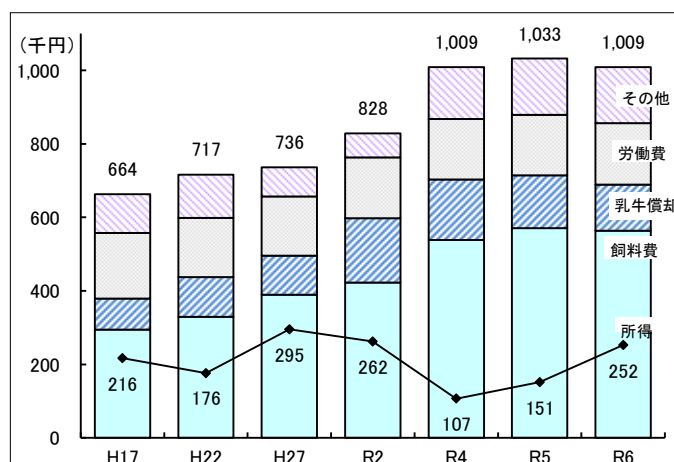
2 生産性及び収益性

(生産費はわずかに減少、乳牛1頭あたりの所得は大幅に増加)

令和6年(2024年)の搾乳牛1頭あたりの生産費は、飼料費、乳牛償却費等の減少により1,008,759円(前年比97.7%)とわずかに減少した。

また、令和6年(2024年)の搾乳牛1頭あたりの所得は252,401円(前年比167%)と大幅に増加した。(図Ⅲ-7-(3))

図Ⅲ-7-(3) 牛乳生産費及び所得



資料) 農林水産省「畜産物生産費調査」(全国)

注) 搾乳牛通年換算1頭当たり

費用合計は「資本利子・地代全額算入生産費」

3 生産・流通及び価格の動向

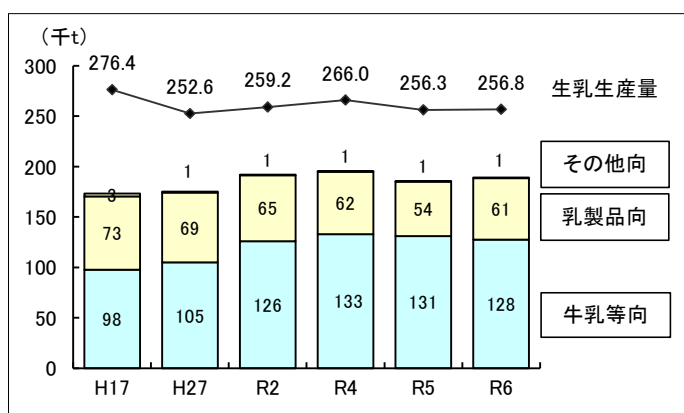
(生産量はほぼ前年並み)

生乳の生産は、暑さで乳牛の体力が落ちる夏場は減少し、冬場には増加する。一方、生乳の需要は飲用牛乳向けを中心に夏場は増加し、冬場には減少する。牛乳の製造だけでは生乳の需給が不安定になるため、季節的な生乳需給の調整弁としても、乳製品の製造は不可欠である。

生乳生産量について、令和5年度は、農家数の減少や猛暑の影響により生乳生産量は減少した。

令和6年(2024年)の生乳生産量は、ほぼ前年並みの256,782t(前年比100.2%)となった。(図Ⅲ-7-(4))

図Ⅲ-7-(4) 生乳生産量及び処理量の推移



資料) 農林水産省「牛乳乳製品統計」

(生乳農家販売価格はやや増加)

酪農経営の安定と牛乳・乳製品の安定供給を図るため、飲用向けに比べて価格が安いバターや脱脂粉乳などの乳製品向け生乳（加工原料乳）を販売した生産者には加工原料乳生産者補給金が交付されている。

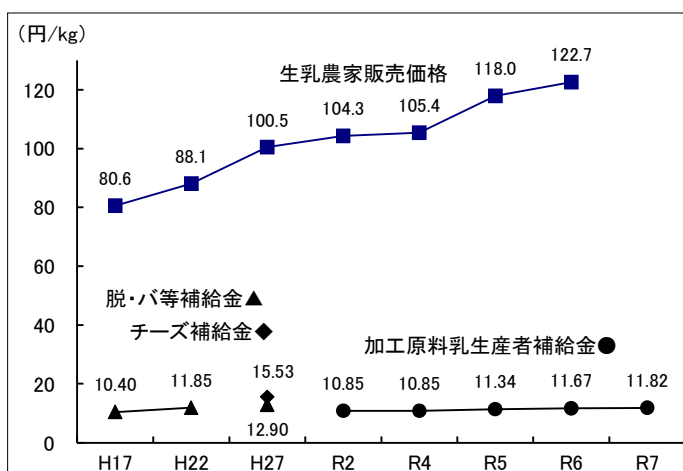
令和7年度（2025年度）の補給金単価は、加工原料乳1kgあたり9.09円、集送乳調整金1kgあたり2.73円となっている。

生乳農家販売価格は、生乳取引価格（飲用向け乳価及び乳製品向け乳価）と加工原料乳生産者補給金等をプール計算したものであり、平成20年（2008年）以降は上昇傾向で推移している。

令和4年（2022年度）及び令和5年（2023年）は生産コストの上昇を受け、生乳取引価格の期中値上げが行われた。

令和6年度（2024年度）の生乳農家販売価格は122.7円（前年比104.0%）であった。（図Ⅲ-7-(5)）

図Ⅲ-7-(5) 生乳農家販売価格の推移



資料) 農林水産省「農業物価統計」

注) 加工原料乳生産者補給金単価は、平成29年度から脱脂粉乳・バター等（脱・バ）等向け、チーズ向け、生クリーム向けを一本化。

第2 肉用牛の生産、流通及び価格の動向

1 飼養の動向

(飼養戸数はやや減少、飼養頭数は横ばい)

飼養戸数は、飼養者の高齢化等により減少傾向で推移しており、令和7年(2025年)はやや減少して1,900戸(前年比94.1%)となった。(図Ⅲ-7-(6))

飼養頭数は、横ばいで111,100頭(前年比100.0%)となった。うち子取り用めす牛は、わずかに減少して43,200頭(前年比98.0%)となった。

また、飼養頭数のうち乳用種はやや減少し、22,100頭(前年比96.9%)となった。(図Ⅲ-7-(7))

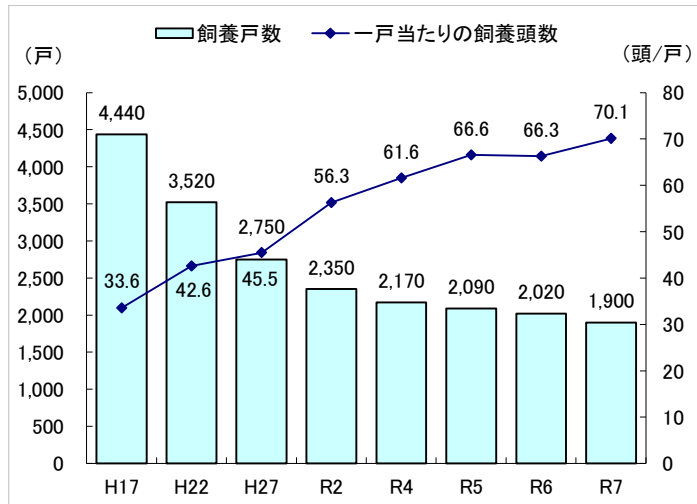
1戸当たりの飼養頭数は、増加傾向で推移してきたが、令和7年(2025年)はやや増加して70.1頭(前年比105.7%)となった。(図Ⅲ-7-(6))

令和6年度(2024年度)の繁殖用雌牛の総死廃病頭数は942頭で、その内訳は、心不全397頭(総死廃病頭数に占める割合42.1%)、牛伝染性リンパ腫205頭(21.8%)、難産26頭(2.8%)、急性鼓張症24頭(2.5%)、肺炎18頭(1.9%)の順であった。

一方、肥育牛の総死廃病頭数は2,989頭であり、その内訳は、心不全1,166頭(39.0%)、肺炎427頭(14.3%)、急性鼓張症97頭(3.2%)、牛伝染性リンパ腫51頭(1.7%)が主となっている(家畜共済調べ)。

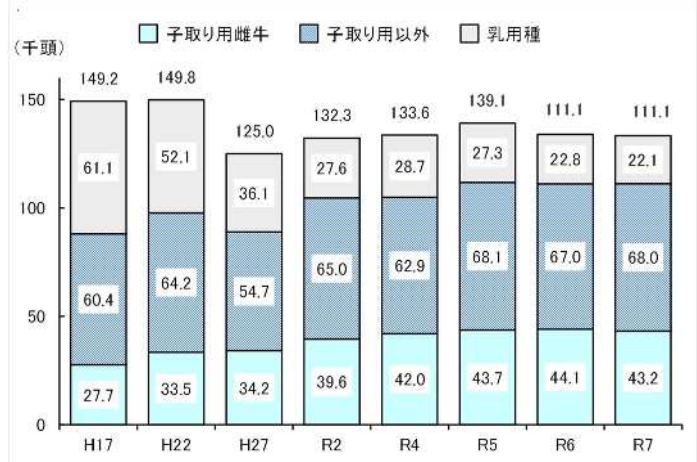
また、令和7年度(2025年度)の繁殖成績では、未經産牛の受胎月齢は16.7カ月、経産牛の平均再受胎日数は132.2日、受胎までの平均授精回数は1.7回であった(県家畜保健衛生所調べ)。

図Ⅲ-7-(6) 肉用牛飼養戸数及び1戸当たりの飼養頭数



資料) 農林水産省「畜産統計」

図Ⅲ-7-(7) 肉用牛飼養頭数



資料) 農林水産省「畜産統計」

2 生産性及び収益性

(繁殖部門の生産費はほぼ前年並み、所得は大幅に減少)

子牛の生産費は、不安定な国際情勢を背景にした飼料価格の高止まりにより、令和6年度(2024年度)はほぼ前年並みで864,024円(前年比98.6%)となった。

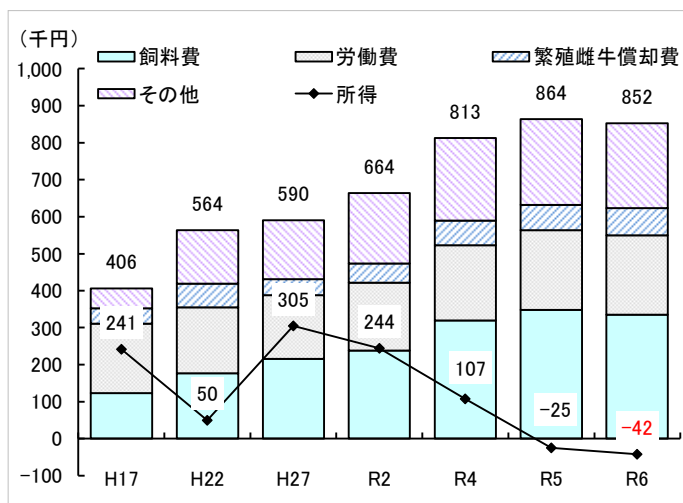
このため、繁殖雌牛1頭当たりの所得は、△41,946円となった。(図Ⅲ-7-(8))

(肥育部門の生産費はかなりの程度減少、所得は大幅に回復)

令和6年度(2024年度)の肥育牛生産費は、もと畜費の減少により、かなりの程度減少し1,375,264円(前年比93.1%)となった。

また、肥育牛1頭当たりの所得は、前年に比べ大幅に回復し、△590円となった。(図Ⅲ-7-(9))

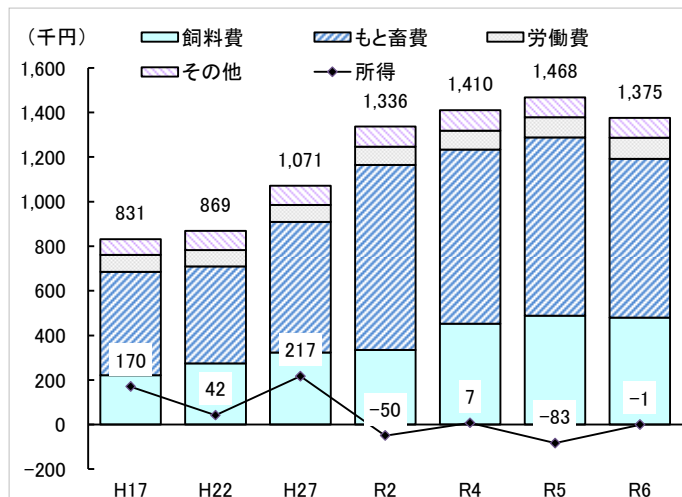
図Ⅲ-7-(8) 子牛1頭当たりの生産費及び繁殖雌牛1頭当たりの所得



資料) 農林水産省「畜産物生産費調査」(全国)

注) 費用合計は「資本利子・地代全額算入生産費」

図Ⅲ-7-(9) 肥育牛1頭当たりの生産費及び所得



資料) 農林水産省「畜産物生産費調査」(全国)

注) 去勢若齢肥育牛1頭当たり

費用合計は「資本利子・地代全額算入生産費」

3 流通及び価格の動向

(1) 肉用子牛

(取引頭数はやや減少)

近年の子取り用めす牛の増加に伴い、熊本県内の市場における肉用子牛の取引頭数は増加傾向であったが、令和7年(2025年)は、やや減少し21,624頭(前年比95.7%、黒毛和種17,860頭、褐毛和種3,764頭)となった。(図Ⅲ-7-(10))

(取引価格は、黒毛和種は大幅に上昇、褐毛和種はわずかに上昇)

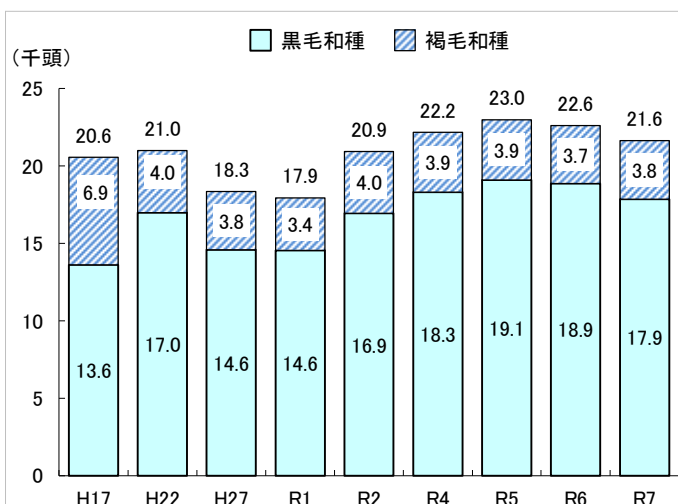
熊本県内の市場における肉用子牛の取引価格は、平成13年(2001年)の国内BSEの発生により一時大きく下落。その後は、回復傾向で推移。

平成22年(2010年)以降は、子取り用めす牛の減少等に伴う子牛の取引頭数が減少や、枝肉価格の上昇により、子牛価格も年々上昇し、平成28年(2016年)は過去最高水準まで到達。以降は頭打ちとなり、高い水準で推移した。

直近の動向をみると、黒毛和種は、令和2年(2020年)以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により、インバウンド・外食需要が減少し、枝肉出荷が停滞したことにより、一時的に子牛価格も下落。令和3年(2021年)は、経済活動の再開に伴いやや回復した。

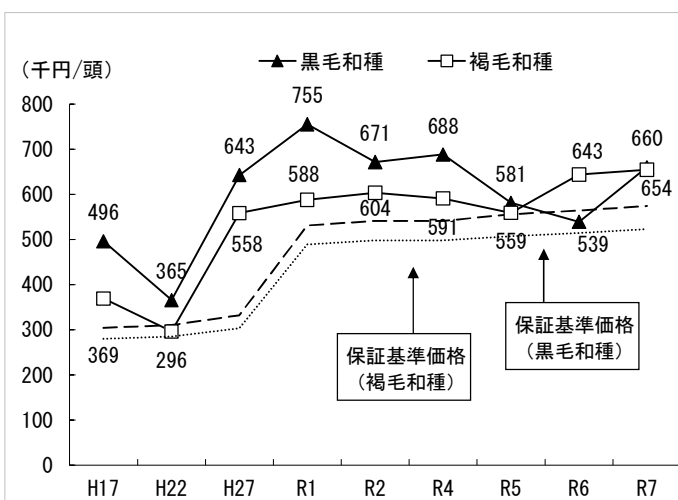
令和7年(2025年)は、子取り用めす牛の減少等に伴う子牛の取引頭数の減少により、黒毛和種は大幅に上昇して659,721円(前年比122.4%)となった。一方、褐毛和種は、全国的な赤身ブームや飼養頭数の減少に伴う希少価値の上昇等により全国からの引きも強く、子牛価格は好調となり、わずかに上昇して654,243円(前年比101.7%)となった。(図Ⅲ-7-(11))

図Ⅲ-7-(10) 肉用子牛取引頭数の推移



資料) (独) 農畜産業振興機構公表

図Ⅲ-7-(11) 子牛価格の推移



資料) H7, 12年は公益社団法人熊本県畜産協会による速報値

(2) 牛枝肉

(卸売価格は、和牛去勢(A-5)はほぼ前年度並み、和牛去勢(A-4)はやや上昇、交雑牛去勢はわずかに上昇、乳用牛去勢はかなり大きく上昇)

牛枝肉の卸売価格は、平成13年(2001年)の国内BSE発生の影響により下落したものの、平成14年度(2002年度)以降消費の回復や米国産牛肉輸入停止の影響を受けて、堅調に推移した。

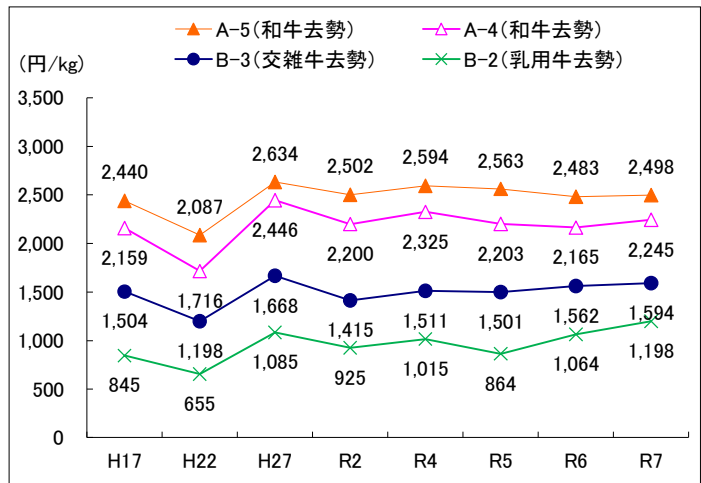
その後、平成19年度(2007年度)からの景気の低迷や、平成23年(2011年)の東日本大震災による消費減退や暫定基準値を超える放射性物質検出による影響で、価格は大幅に下落した。

平成24年度(2012年度)以降は、需要の回復などにより価格が上昇し、平成28年度(2016年度)以降は、A-5(和牛去勢)で、2,854円と過去最高水準に達した。

その後も高い水準で推移していたが、令和元年度(2019年度)以降は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により急激に価格が低下した。

令和7年(2025年)の和牛去勢(A-5)の卸売価格は、ほぼ前年度並みで2,498円/kg(前年比100.6%)、和牛去勢(A-4)は、やや上昇して2,245円/kg(前年比103.7%)、交雑牛去勢(B-3)は、わずかに上昇し1,594円/kg(前年比102.0%)、乳用牛去勢(B-2)は、かなり大きく上昇し1,198円/kg(前年比112.6%)となった。(図Ⅲ-7-(12))

図Ⅲ-7-(12) 和牛去勢及び乳用種去勢枝肉卸売価格の推移



資料) 農林水産省「食肉流通統計」東京市場

第3 豚の生産、流通及び価格の動向

1 飼養の動向

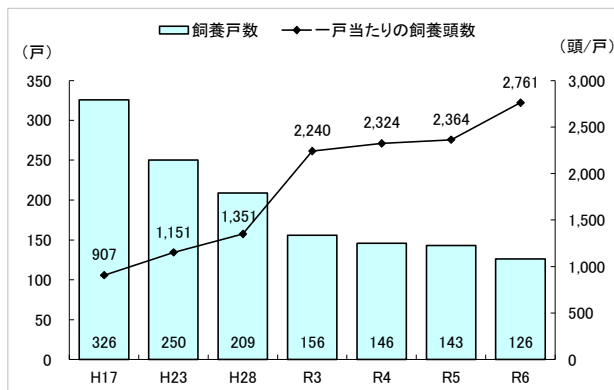
(飼養戸数はかなり大きく減少、飼養頭数はわずかに増加)

令和6年(2024年)は、飼養戸数が前年からかなり大きく減少して126戸(前年比88.1%)であった。(図Ⅲ-7-(13))

飼養頭数は、わずかに増加し347,900頭(前年比102.9%)となった。このうち、子取り用めす豚頭数は、28,600頭(前年比102.1%)であった。(図Ⅲ-7-(14))

1戸あたりの飼養頭数は、大幅に増加して2,761頭(前年比116.8%)となった。(図Ⅲ-7-(13))

図Ⅲ-7-(13) 豚飼養戸数と1戸当たりの飼養頭数



資料) 農林水産省「畜産統計」

注) H22, H27, R2, R7は調査が実施されていない

図Ⅲ-7-(14) 豚飼養頭数



資料) 農林水産省「畜産統計」

注) H22, H27, R2, R7は調査が実施されていない

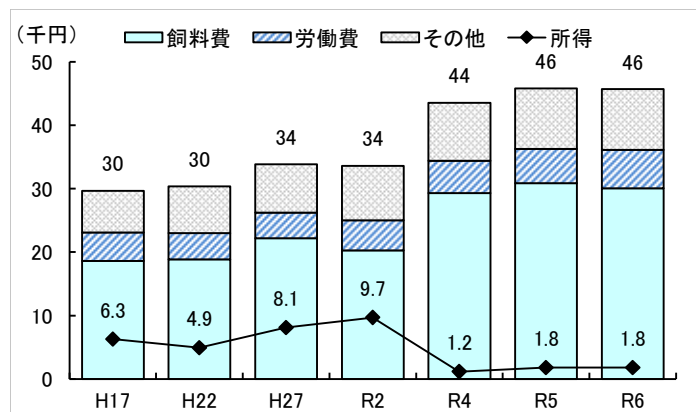
2 生産性及び収益性

(生産費は、所得はほぼ前年度並み)

令和6年度(2024年度)は、飼料費や労働費の増加により、肥育豚1頭あたりの生産費は45,715円(前年比99.8%)とほぼ前年度並みだった。

また、肥育豚1頭あたりの所得は、令和6年度(2024年度)は、1,807円(前年比100.0%)とほぼ前年並みだった。(図Ⅲ-7-(15))

図Ⅲ-7-(15) 肥育豚1頭当たりの生産費及び所得



資料) 農林水産省「畜産物生産費調査」(全国)

注) 費用合計は「資本利子・地代全額算入生産費」

3 流通及び価格の動向

豚枝肉

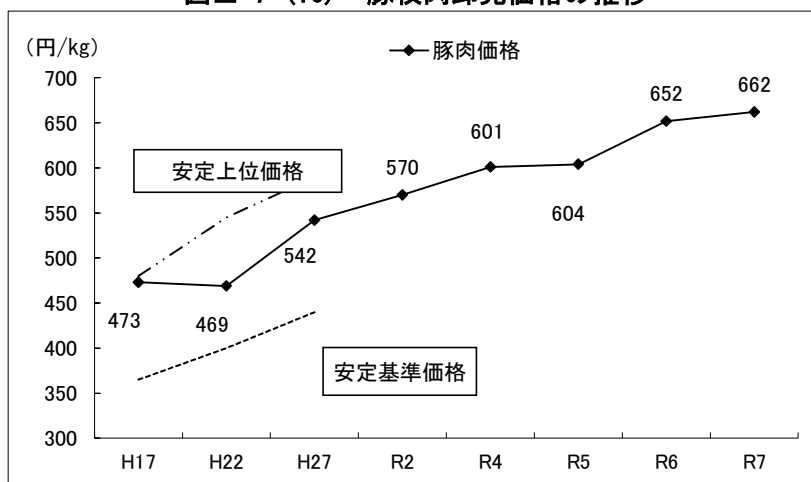
(豚枝肉卸売価格はわずかに上昇)

豚枝肉卸売価格は、平成13年（2001年）以降、牛肉の代替需要の影響などにより、上昇傾向で推移した。

平成25年度（2013年度）には、円安や現地価格の高騰等により輸入量が減少し、国産豚肉へ代替需要が高まったこと等によりかなり上昇。翌平成26年度（2014年度）や29年度（2017年度）は、国内PED発生の影響等によって出荷頭数が減少したことから一時的にかなりの高水準を記録した。

令和7年（2025年）は、価格はわずかに上昇し、662円/kg（前年比101.5%）となった。（図Ⅲ-7-(16)）

図Ⅲ-7-(16) 豚枝肉卸売価格の推移



資料) 農林水産省「食肉流通統計」

注) 中央10市場加重平均、安定上位・基準価格は「省令価格」

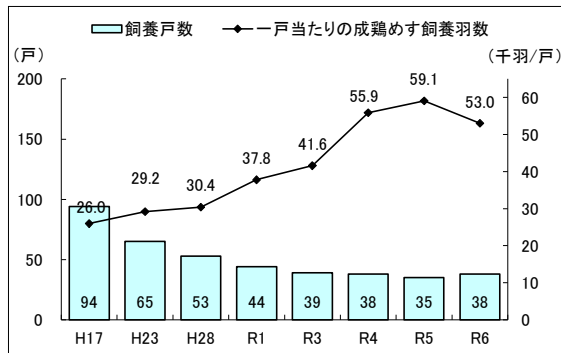
第4 採卵鶏の生産、流通及び価格の動向

1 飼養の動向

(飼養戸数はかなりの程度増加、飼養羽数はやや減少)

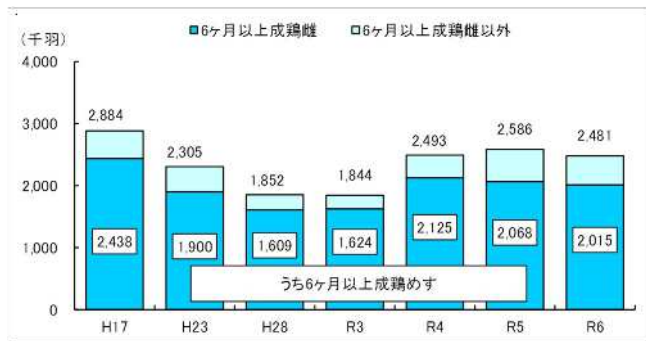
令和6年(2024年)の飼養戸数は、前年からかなりの程度増加して38戸(前年比108.6%)、飼養羽数は、やや減少して2,481千羽(同比95.9%)、1戸当たりの成鶏めす飼養羽数は、かなりの程度減少して53.0千羽/戸(同比89.7%)となった。(図Ⅲ-7-(17)(18))

図Ⅲ-7-(17) 採卵鶏飼養戸数及び1戸当たりの飼養羽数



資料) 農林水産省「畜産統計」
注) H22, H27, R2, R7 は調査が実施されていない。

図Ⅲ-7-(18) 採卵鶏飼養羽数



資料) 農林水産省「畜産統計」
注) H22, H27, R2, R7 は調査が実施されていない。

2 流通及び価格の動向

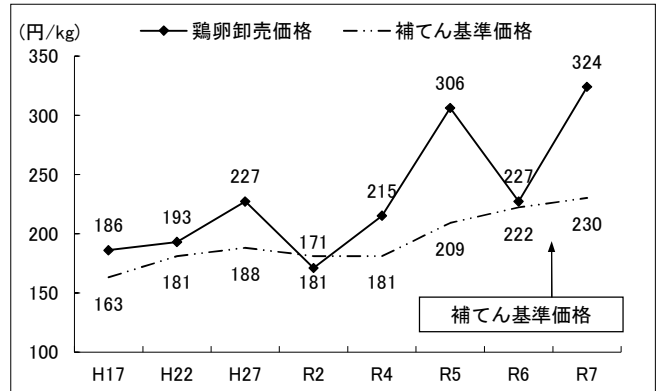
(価格は大幅に上昇)

卸売価格は、夏場の低需要期に向けて低下し、年末の需要期に向けて上昇する傾向がある。

平成26年(2014年)以降、鳥インフルエンザの発生による殺処分羽数により需給バランスが崩れ、冬季に価格が急激に高騰する傾向にある。

令和7年(2025年)の卸売価格は、2024から2025年にかけて発生した鳥インフルエンザの影響による供給不足に加え、飼料など生産コストの上昇の影響で昨年度と比較すると324円/kg(前年比142.7%)と、大幅に上昇した。(図Ⅲ-7-(19))

図Ⅲ-7-(19) 鶏卵卸売価格の推移



資料) (株)JA全農たまご(東京M)

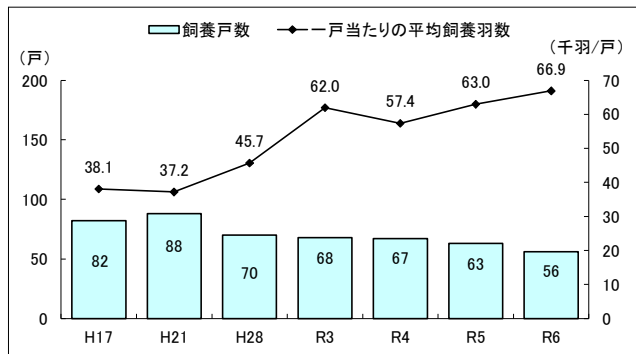
第5 プロイラーの生産、流通及び価格の動向

1 飼養の動向

(飼養戸数はかなり大きく減少、飼養羽数はやや減少)

令和6年(2024年)の飼養戸数は、かなり大きく減少して56戸(前年比88.9%)、飼養羽数は、やや減少して3,746千羽(前年比94.4%)となった。1戸当たりの飼養羽数は、かなりの程度増加して66.9千羽(前年比106.2%)となった。(図Ⅲ-7-(20)(21))

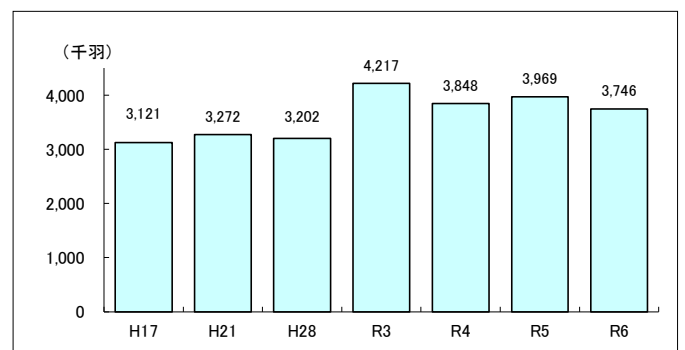
図Ⅲ-7-(20) プロイラー飼養戸数及び1戸当たりの飼養羽数



資料) 農林水産省「畜産統計」

注) H22~24, H27, R2, R7 は調査が実施されていない

図Ⅲ-7-(21) プロイラー飼養羽数



資料) 農林水産省「畜産統計」

注) H22~24, H27, R2, R7 は調査が実施されていない

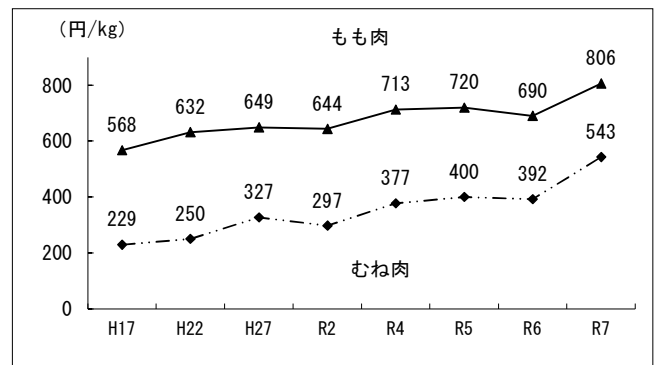
2 流通及び価格の動向

(もも肉は大幅に増加、むね肉は大幅に増加)

もも肉及びむね肉の卸売価格は、健康志向の高まり等を背景に、平成25年度(2013年度)以降は高水準で推移。平成29年度(2017年度)後半からは生産拡大等の影響により、価格はやや落ち着きを見せていた。

令和7年度(2025年度)は、消費者の需要が堅調に推移したことから、もも肉は806円/kg(前年比116.8%)と大幅に増加、むね肉は543円/kg(前年比136.5%)と大幅に増加した。(図Ⅲ-7-(22))

図Ⅲ-7-(22) プロイラー卸売価格の推移



資料) 農林水産省「食鳥流通統計」

第6 養蜂の生産、流通及び価格の動向

1 生産の動向

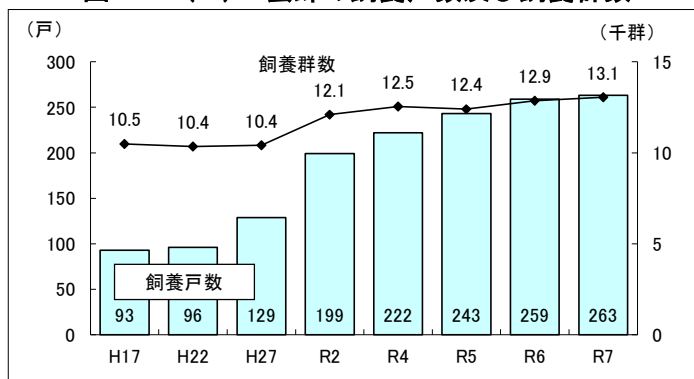
(飼養戸数、飼養群数はわずかに増加)

令和7年(2025年1月1日調査)の飼養戸数はわずかに増加し263戸(前年比101.5%)となった。

同様に、飼養群数もわずかに増加し13,053群(前年比101.5%)であった。(図Ⅲ-7-(23))

1戸当たりの平均飼養群数はほぼ前年並みの49.6群(前年比99.9%)となった。

図Ⅲ-7-(23) 蜜蜂の飼養戸数及び飼養群数



資料) 県農林水産部調べ

蜂蜜を採取するためのレンゲ等の蜜源植物については、養蜂業者自らが作付けを行い、蜜源植栽面積の維持を図っている。

また、農薬散布による被害発生を未然に防ぐため、平成21年度(2009年度)からは地域においても「農薬危害防止に係る地域連絡会議」を開催し、養蜂業者と農薬使用者の情報交換を行う体制が整備されている。

2 価格及び流通の動向

国産蜂蜜の自給率は5.5%(令和6年(2024年))であり、廉価な外国産蜂蜜の輸入の影響を受け、ほぼ横ばいで推移している。

国産蜂蜜については、生産量約2,600tのうち、約99%が家庭用として流通し、約1%がシンガポールなど海外へ輸出されている。輸入蜂蜜については輸入量の60%にあたる約27,200tが家庭用として流通し、40%にあたる約18,200tが業務・加工用として流通している(財務省「貿易統計」、農林水産省畜産振興課調べ)。

第7 飼料の生産、流通及び価格の動向

1 粗飼料

(1) 生産の動向

(飼料作物の作付面積はほぼ前年並み)

飼料作物の作付面積は、昭和50年代後半をピークに年々減少し、平成17年（2005年）以降は増加に転じていたものの、平成27年（2015年）以降、概ね横ばいで推移しており、令和6年（2024年）は28,152ha（前年比99.7%）とほぼ前年並みであった。種別では、青刈とうもろこし3,260ha、ソルガム599ha、牧草13,500ha、飼料用イネ（稲WCS及び飼料用米）10,793haとなった。飼料用イネの作付面積については、稲WCSが9,401ha（前年比102.6%）とわずかに増加し、飼料用米については1,392ha（前年比84.6%）とかなり大きく減少した。（表Ⅲ-7-(1)）

表Ⅲ-7-(1) 飼料作物作付面積（延面積）の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|----------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 青刈とうもろこし | ha | 4,590 | 4,330 | 3,720 | 3,210 | 3,080 | 3,300 | 3,260 | |
| ソルガム | ha | 1,340 | 1,420 | 965 | 756 | 638 | 618 | 599 | |
| 牧草 | ha | 13,100 | 12,900 | 14,300 | 14,400 | 14,200 | 13,500 | 13,500 | |
| 飼料用イネ | 稲WCS | ha | 1,144 | 3,308 | 6,987 | 7,852 | 8,519 | 9,167 | 9,401 |
| | 飼料用米 | ha | — | 654 | 1,296 | 1,135 | 1,672 | 1,646 | 1,392 |
| 計 | ha | 20,174 | 22,612 | 27,268 | 27,353 | 28,109 | 28,231 | 28,152 | |

資料) 農林水産省「作物統計」及び「新規需要米認定状況」

※R6牧草については熊本県調査なし、R5年度数値を代用

草種別の10a当たり収量は、青刈とうもろこし4,290kg（前年比96.8%）、ソルガム5,000kg（前年比95.1%）牧草4,110kg（前年比100.2%）と長大作物がやや減少、牧草が前年並みとなった。（表Ⅲ-7-(2)）

表Ⅲ-7-(2) 草種別の10a当たり収量の推移

| 作物名 | 単収 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-----|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 全国 | 青刈とうもろこし | kg/10a | 5,440 | 5,040 | 5,220 | 4,960 | 5,070 | 5,090 | 5,150 |
| | ソルガム | kg/10a | 6,340 | 5,590 | 4,790 | 4,140 | 4,170 | 4,250 | 3,870 |
| | 牧草 | kg/10a | 4,130 | 3,630 | 3,540 | 3,370 | 3,520 | 3,400 | 3,470 |
| 熊本 | 青刈とうもろこし | kg/10a | 4,980 | 4,570 | 4,150 | 4,300 | 4,380 | 4,430 | 4,290 |
| | ソルガム | kg/10a | 6,330 | 5,840 | 4,880 | 5,120 | 5,200 | 5,260 | 5,000 |
| | 牧草 | kg/10a | 5,200 | 3,800 | 3,960 | 4,160 | 4,050 | 4,100 | 4,110 |

資料) 農林水産省「作物統計」

(2) 流通及び価格の動向

(粗飼料の流通量はやや減少、価格は高止まり)

県内における粗飼料流通状況については、畜産農家の飼養規模拡大に伴う労働力の不足等により、利便性の高い購入粗飼料の利用者が一定数存在している。令和6年度(2024年度)の流通量は、前年度からやや減少し、6.4万t程度(前年比96.8%)となった。(表Ⅲ-7-(3))

表Ⅲ-7-(3) 県内粗飼料流通状況

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|--------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 乾草(梱包) | t | 68,022 | 44,927 | 47,123 | 77,949 | 67,411 | 61,221 | 60,215 |
| 乾草(成型) | t | 28,183 | 14,721 | 15,277 | 2,424 | 1,505 | 1,641 | 1,546 |
| 稲わら(乾) | t | 1,732 | 10,850 | 8,075 | 8,881 | 3,132 | 3,516 | 2,482 |
| 計 | t | 97,937 | 70,498 | 70,475 | 89,254 | 72,048 | 66,378 | 64,243 |

資料) 県農林水産部調べ(団体等の取扱量)

注) H29年度以降の乾草(成型)は、ヘイキューブのみの数値

令和6年度(2024年度)の流通粗飼料の価格は、円安の影響により高止まり状況が続いており、乾草(梱包)が1kg当たり62~77円、乾草(成型)で74~114円、稲わら22~64円となった。(表Ⅲ-7-(4))

表Ⅲ-7-(4) 流通粗飼料価格の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 乾草(梱包) | 円/kg | 35~37 | 30~51 | 33~67 | 45~53 | 47~88 | 46~93 | 62~77 |
| 乾草(成型) | 円/kg | 41~42 | 35~62 | 49~73 | 46~61 | 78~91 | 78~102 | 74~114 |
| 稲わら(乾) | 円/kg | 30~32 | 34~35 | 30~39 | 40~43 | 18~75 | 18~67 | 22~64 |

資料) 県農林水産部調べ(団体等の取扱量)

2 配合飼料

(県内生産量、流通量はほぼ前年並み)

配合飼料の県内生産量は、平成8年度（1996年度）の新規工場における生産開始等により60万tを超えた。平成16年（2004年）には、BSE対策のため、反すう動物用飼料（A飼料）とそれ以外の飼料（B飼料）の工場生産ライン分離を義務付ける飼料安全法改正が行われたことを受けて、県内の1工場がA飼料生産専用工場となった。令和6年度（2024年度）は69万2千t（前年比99.6%）であった。（図Ⅲ-7-(24)）

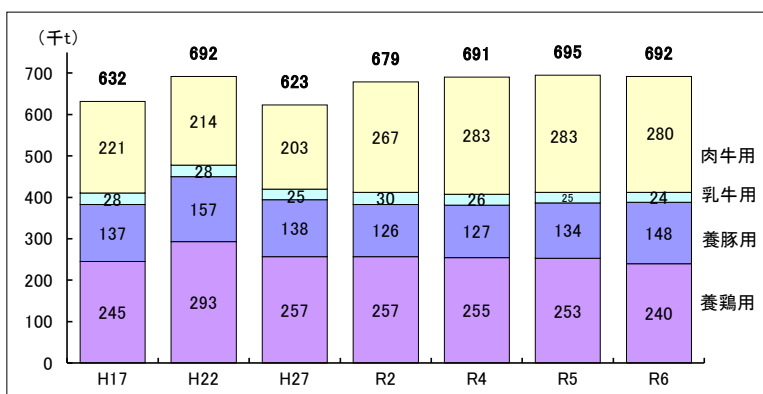
一方、県内流通量は、昭和60年度（1985年度）の59万7千tをピークに減少傾向にあったが、平成17年度（2005年度）から増加に転じた。

しかしながら、平成22年（2010年度）以降は、肉用牛の飼養頭数の増減に伴い消費量も変動し、令和6年度（2024年度）は47万8千t（前年比99.5%）となった。（図Ⅲ-7-(25)）

配合飼料は、原料の約5割を占めるとうもろこしの国際価格（シカゴ相場）、為替相場、海上運賃等の影響を受け

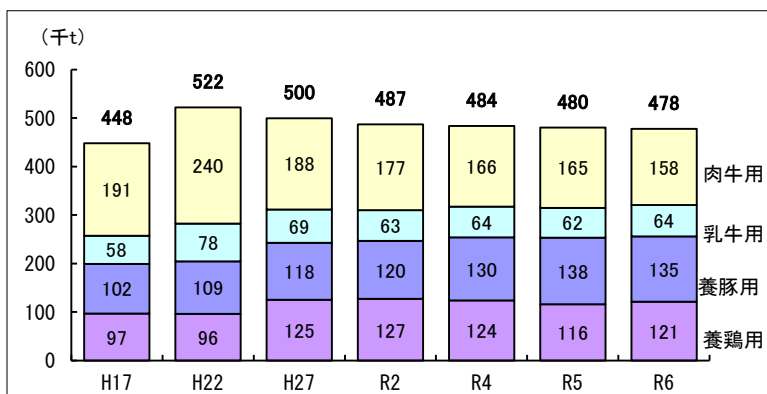
ながら価格が形成される。ウクライナの情勢不安によるシカゴ相場の上昇や為替の円安等を背景に令和4年（2022年）10月に101千円/tまで値を上げたが、その後令和6年度にかけては、値を下げつつも配合飼料工場譲渡価格は高止まりで推移し、令和7年（2025年）12月は94千円/tとなっている。（図Ⅲ-7-(26)）

図Ⅲ-7-(24) 配合飼料生産量の推移



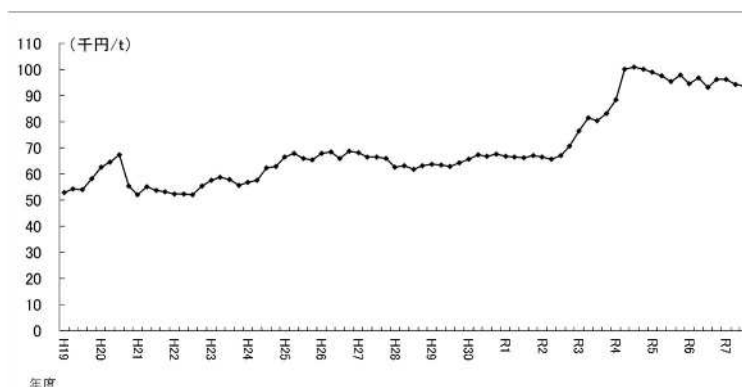
資料) 農林水産省/配合飼料供給安定機構「飼料月報」

図Ⅲ-7-(25) 配合飼料流通量の推移



資料) 農林水産省/配合飼料供給安定機構「飼料月報」

図Ⅲ-7-(26) 配合飼料工場譲渡価格の推移



第8 家畜伝染病等の発生動向

1 鳥インフルエンザ

(県内の発生はなし)

国内における高病原性鳥インフルエンザの令和7年度(2025年度)シーズンの発生は、16道府県 24事例 約576万羽となった。

熊本県では、平成26年度の肉用鶏、平成28年度の採卵鶏、令和3年度の肉用鶏の3事例で発生している。

図Ⅲ-8-(1) 高病原性鳥インフルエンザの発生状況

| 年度 | H22 | H23 ~H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 ~R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----------|-----|-------------|------|-----|-------|-----|------------|-----|-----|------|------|-----|-----|
| 発生件数 | 熊本県 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 九州 | 3 | 0 | 3 | 0 | 4 | 0 | 0 | 15 | 4 | 24 | 3 | 5 |
| | 全国 | 24 | 0 | 6 | 0 | 12 | 1 | 0 | 52 | 25 | 84 | 11 | 51 |
| 発生道府県数 | 9 | - | 5 | - | 9 | 1 | - | 18 | 12 | 26 | 10 | 14 | 16 |
| 殺処分羽数(万羽) | 183 | - | 46.4 | - | 166.7 | 9.1 | - | 987 | 189 | 1771 | 85.6 | 932 | 576 |

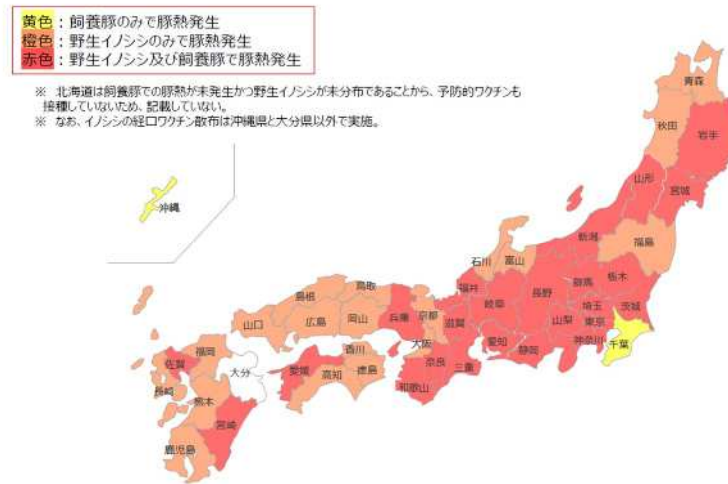
資料) 農林水産省「鳥インフルエンザに関する情報」

2 豚熱

(県内では発生なし)

国内の豚熱は、平成30年9月の岐阜県での発生以降、27都県の104事例で、約448千頭が殺処分されており、令和5年8月には九州では初めて佐賀県でも発生した。ワクチン接種は令和元年9月から飼養豚等で開始され、本県を含む九州でも令和5年9月から開始した。また、令和6年6月に佐賀県で九州初となる豚熱感染野生いのししが確認されて以降、長崎県、宮崎県、福岡県、鹿児島県と感染が急拡大している。令和6年11月には県境に近い福岡県八女市での感染確認を受け、本県が野生いのししへの経口ワクチン散布推奨地域に国から指定され、12月に県北地域(山鹿市・和水町・菊池市)で経口ワクチンの緊急散布を実施した。また、令和8年2月の宮崎県小林市での感染いのしし確認に伴い、3月に球磨郡多良木町で緊急散布を実施したが、3月26日に本県初となる豚熱感染いのししが同町で確認された。(図Ⅲ-8-(2))

図Ⅲ-8-(2) 豚熱発生・ワクチン接種状況（2026年4月現在）



資料) 農林水産省「豚熱に関する情報」

3 馬インフルエンザ

令和7年4月8日、国内では17年ぶりとなる馬インフルエンザの発生が県内で確認された（最終的に8農場24頭で感染確認）。

過去の発生（平成20年）では国体や競馬の開催中止等、多大な影響があったことから、まん延防止対策には農林水産省や他県との連携とともに、県下全域の関係者が一丸となって防疫対応を行う必要があった。

家畜保健衛生所による迅速な病性鑑定とともに、発症馬の隔離及び飼養馬の移動自粛、消毒、ワクチン接種等を関係団体や獣医師と連携して実施したところ、大きな発生拡大はなく、6月20日に発生終息に至った。

第8節 その他農産物の生産、流通及び価格の動向

(そばの面積はほぼ前年並み、桑は前年から増減なし)

そばは、主産地である阿蘇地域で、米の生産調整に伴う転作作物及び畑作での輪作体系作物として定着している。平成28年産（2016年産）から、熊本地震による水稲からの転換等により増加傾向にあり、令和6年産は前年から5ha増加している（前年比100.8%）。

桑は、前年と同じ31.1haである。（表Ⅲ-8-(1)）

表Ⅲ-8-(1) 特産農産物の作付面積の推移

(単位：ha)

| 項目 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| そば | 405.0 | 412.0 | 536.0 | 670.0 | 672.0 | 646.0 | 651.0 |
| 桑 | 9.7 | 10.2 | 18.6 | 36.3 | 30.9 | 31.1 | 31.1 |

資料) 農林水産省統計部、県農林水産部調べ

第9節 環境に配慮した農業の動向

第1 地下水と土を育む農業の推進

(「地下水と土を育む農業推進条例」の推進)

本県の豊かで美味しい地下水と豊沃な土は、未来に引き継ぐべき悠久の宝である。そのため、本県では全国に先駆けて、地下水を「公共水」と位置づけ、地下水の保全に取り組んできた。農業においては、くまもとグリーン農業の取組みや堆肥の広域流通、水田を積極的に活用した地下水かん養など、地下水と土を育む農業の取組みを行ってきたところである。これら農業者の真摯な取組みを県民全体で支え、恒久的な取組みとする必要があることから、県では平成27年(2015年)4月に「地下水と土を育む農業推進条例」を制定した。本条例では、①土づくりを基本とした化学肥料及び農薬削減の取組み、②家畜排せつ物を使用した良質な堆肥生産及び流通の取組み、③飼料用米等の生産及び湛水等による水田有効活用の取組みを「地下水と土を育む農業」として推進し、施策を展開してきた。また、幅広い関係団体からなる県民会議を設置し、県民と協働した運動を展開している。

(くまもとグリーン農業等による環境負荷低減)

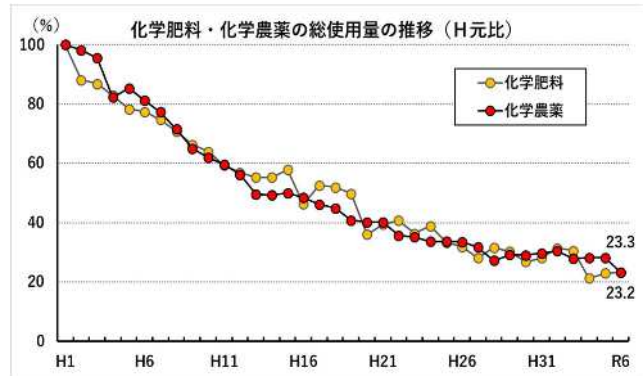
農業は本来、環境と調和した産業であり、環境保全に果たす役割は大きい。

このため、本県では、平成2～12年度(1990～2000年度)にかけて「土づくり・減農薬運動」、さらに平成13年度(2001年度)からは県農業計画に「環境に配慮した農業の推進」を掲げ、天敵の導入等による総合的病害虫管理(IPM)や有機物の投入等による土づくりを推進することで、減化学肥料・減農薬栽培による環境負荷低減に取り組んできた。

平成17年度(2005年度)からは、これら環境に配慮した農業の取組みの名称を「くまもとグリーン農業」に改め、平成23年度(2011年度)にくまモンをキャラクターに使用したマークを作成するとともに、「くまもとグリーン農業生産宣言・応援宣言制度(以下、「宣言制度」という。)」を発足させた。また、同年度(2011年度)から始まった環境保全型農業直接支払交付金により、環境保全の取組みに対する直接支援を実施し、環境負荷低減を促進している。

令和3年度(2021年度)に国が食料・農林水産業の生産性向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、化学肥料・化学農薬の低減についてより高い目標が示されたため、取組のレベルアップを目指し、令和5年度(2023年度)に宣言制度を見直すとともにマークを一新した。併せて、有機農業や有作くんなど特別栽培以上に取組む農業者の増加に向け、くまもとグリーン農業の

図Ⅲ-9-(1) 県内における化学肥料と農薬の総使用量の推移(平成元年基準)



高度化や有機農業の生産拡大に向けた環境づくりに取り組んでいる。

その結果、平成元年度（1989年度）を基準として令和6年度（2024年度）には化学肥料の総使用量は約23%、農薬の総使用量は約23%となり、農業生産に起因する環境への負荷低減につながっている。（図Ⅲ-9-(1)）

（新たな地下水と土を育む農業等の推進に関する計画の策定）

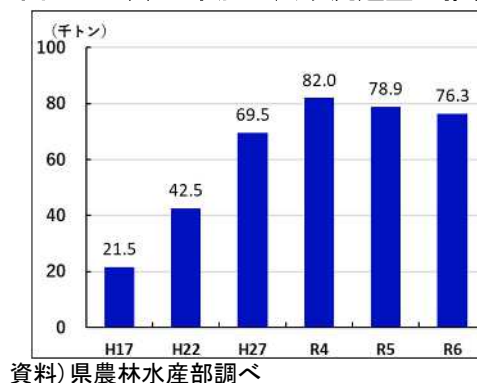
令和6年度に「地下水と土を育む農業の推進に関する計画」、「熊本県みどりの食料システム基本計画」及び「熊本県有機農業推進計画」の3つの計画を統合し、「環境負荷を低減しながら地下水と土の良好な状態を維持しつつ、稼げる農林畜水産業を実現する」ことを目指す姿とした「地下水と土を育む農業等の推進に関する計画」を策定した。この計画では、「くまもとグリーン農業の推進」、「地下水を育む農業の推進」、「CO₂ゼロエミッション化の推進」、「消費者の理解醸成」の4つの基本的施策を柱に位置付け、土づくりを基本とした化学肥料・農薬の低減など環境負荷低減に資する取組みを総合的に推進していく。

（堆肥の広域流通量の推進）

県や関係農業団体で構成する「熊本県耕畜連携推進協議会」を中心として、堆肥による土づくりを推進するため、耕種地帯と畜産地帯の連携に関する取組みを推進するとともに、良質堆肥生産のための堆肥共励会の開催等を実施している。

また、畜産環境保全指導事業及び耕畜連携体制緊急整備事業により、堆肥の利用推進及び堆肥の広域流通促進を支援している。堆肥の広域流通量は、化学肥料価格高騰により肥料としての堆肥の需要が増えたものの、近年は横ばいで推移しており、令和6年度（2024年度）で76,350 tとなった。（図Ⅲ-9-(2)）

図Ⅲ-9-(2) 堆肥の広域流通量の推移



第2 総合的な病害虫防除の推進

(環境に配慮した防除技術の推進)

農業生産活動に伴う環境への負荷の軽減を図り、食料の安定供給を実現するためには、総合防除の考え方に基づき、病害虫・雑草の発生予防及びまん延防止を体系的に推進することが不可欠である。特に、薬剤抵抗性を獲得し防除困難となっている病害虫への対応も含め、予防・予察を重視した防除体系の構築が重要となっている。

このため、病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備、発生予察等に基づく効率的な防除タイミングの判断、生物的・物理的・耕種的・化学的防除を組み合わせた総合的な病害虫防除を推進している。

具体的には、天敵等を利用した生物的防除法、防虫ネットや太陽熱土壌消毒等による物理的防除法及び抵抗性品種の利用等による耕種的防除法を組み合わせ、化学合成農薬の使用量削減を図っている。

(表Ⅲ-9-(1)(2))

表Ⅲ-9-(1) 環境に配慮した防除技術

| | |
|-------|--------------------------------|
| 生物的防除 | 天敵、生物農薬（B T 剤等）の利用等 |
| 物理的防除 | 防虫ネット、太陽熱利用土壌消毒、近紫外線除去フィルムの利用等 |
| 耕種的防除 | 輪作、除草、抵抗性品種の利用等 |

表Ⅲ-9-(2) 県内における農薬の使用量

単位：t

| 年 度 | H17 | H22 | H27 | R 2 | R 4 | R 5 | R 6 |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 使 用 量 | 10,393 | 8,033 | 7,140 | 6,859 | 6,357 | 5,611 | 5,217 |

注) 1 一般社団法人日本植物防疫協会「農薬要覧」県別農薬種類別出荷数量表他から集計

2 農薬年度；前年10月から当年9月まで

また、一方で総合的な病害虫防除体系の確立と普及のために、①高精度な病害虫発生予察と情報提供による効率的防除の推進、②天敵や抵抗性品種を利用した栽培技術の研究、普及、③総合防除実践指標の作成と推進に取り組んでいる。

今後、さらに総合的な病害虫防除を推進するため、防除の目安となる判断基準などの技術確立・普及に努めるとともに、農家の農薬適正使用の意識に対する啓発活動を行っていく。

第3 家畜排せつ物の管理の適正化と有効利用の推進

(畜産環境問題に係る苦情発生件数は大幅に減少)

令和8年(2026年)3月現在、県内の恒常的な家畜排せつ物の不適切な管理(野積み、素掘り等)は解消されており、季節的に発生する一時的な不適切処理については、広域本部(地域振興局)を中心として速やかに、適正な処理を指導している。

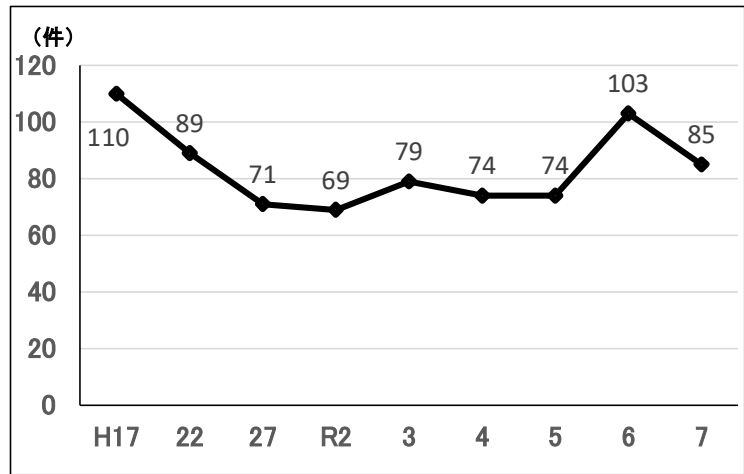
畜産環境問題に係る令和6年(2024年)7月から令和7年(2025年)6月の苦情発生件数は、前年より大幅に減少し85件となった。(図Ⅲ-9-(3))

内訳としては、悪臭による苦情が約4割を占めている。(図Ⅲ-9-(4))

一方、県では、農業団体と連携して熊本県耕畜連携推進協議会を組織し、この協議会を通じて堆肥共励会の開催やホームページ「くまもと堆肥ネット」により堆肥生産や技術に関する情報を提供している。また、「たい肥の達人認証制度」を創設して堆肥製造に関する地域コーディネーターの育成等も行なっている。

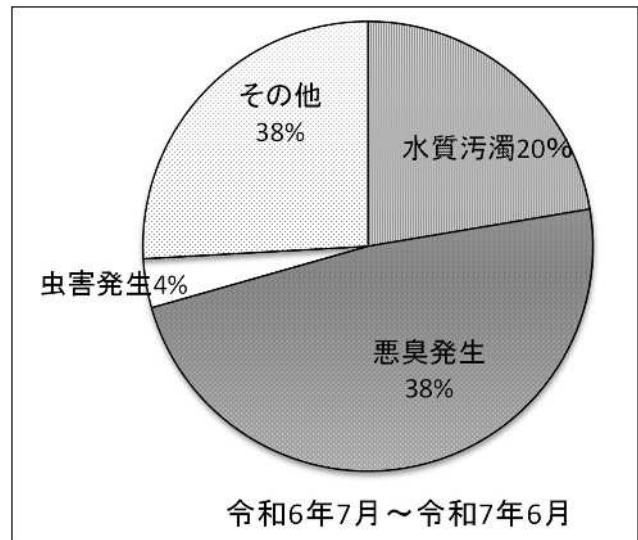
さらに、菊池地域などの畜産地帯から熊本、八代、玉名地域などの耕種地帯へ堆肥の広域流通にも取り組んでいる。

図Ⅲ-9-(3) 畜産経営に関する苦情発生件数の推移



資料) 県農林水産部調べ

図Ⅲ-9-(4) 家畜経営に関する苦情発生割合



資料) 県農林水産部調べ

第4 農業用廃プラスチック類等の適正処理の推移

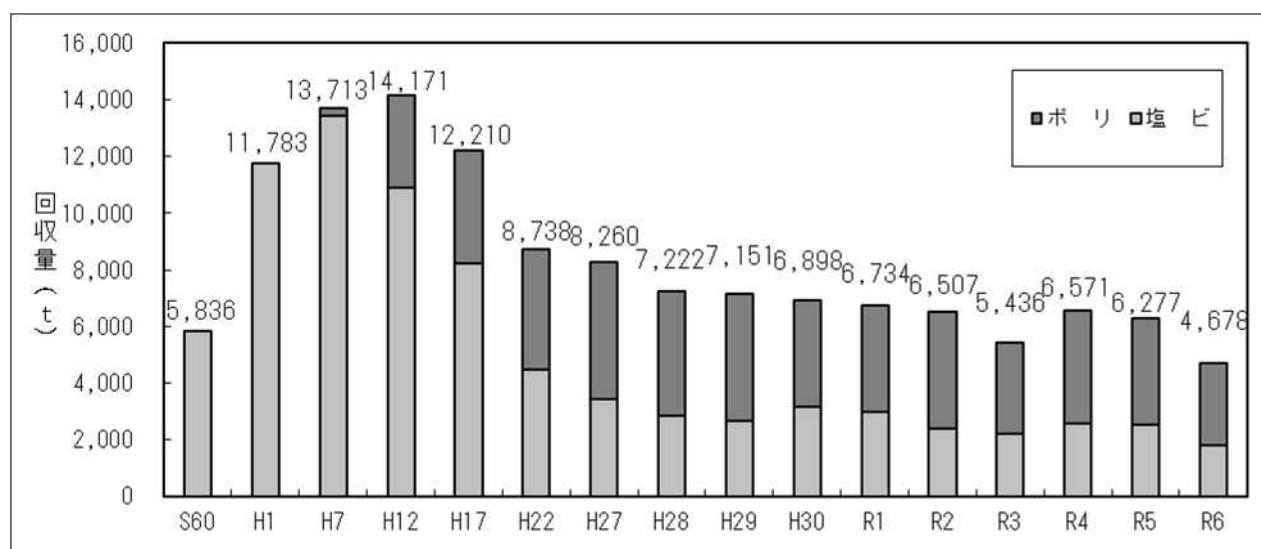
(農業用廃プラスチック類等の回収量は減少傾向)

本県は野菜、花き、果樹などのハウス栽培が盛んであり、令和6年度（2024年度）のハウス設置面積調査結果では約2,695haとなっている。

これらの施設園芸に使用された使用済みの農業用廃プラスチック類は、使用者の責任で適正に処理することが基本であるが、個々の農家で適正に処理することが難しいため、農協等で組織された市町村等農業用廃プラスチック類処理対策協議会を中心に再生利用を基本とする組織的な回収が進められており、令和6年度（2024年度）の回収量は4,678tであった。

市町村等農業用廃プラスチック類処理対策協議会は、農業者に対する適正処理の普及啓発、農協を中心とした組織的回収等の推進活動を展開している。（図Ⅲ-9-(5)）

図Ⅲ-9-(5) 農業用廃プラスチック回収量の推移



資料) 県農林水産部調べ

第10節 新たな技術の開発と普及

第1 県オリジナル品種・高品質生産技術の開発

(優良品種・家畜の育成による高品質化進む)

農業研究センターでは、美味しさ、健康志向への対応など実需者や消費者ニーズの多様化に対応した品種の開発・家畜の選定を進めている。

また、地球温暖化や集中豪雨などの気象変動に対応する品種や重要病害虫への耐性を有する品種についても開発を進めるとともに、国・民間が開発した品種や県内各地で栽培されている在来種の中から、本県の特性に適合し、将来性が見込まれる優良な品種の選定を進めている。

1 品種育成と家畜改良

表Ⅲ-10-(1)本県で最近育成した主な品種・系統（令和7年度（2025年度）末時点）

| 作物名 | 品種名 | 登録等の年度 | 概要 |
|------|-----------------|---------|-------------------------------|
| 稲 | くまさんの力 | H22年度登録 | 高温条件下でも白未熟粒が発生しにくい良質の中生品種 |
| | 華錦 | H28年度登録 | 耐倒伏性・収量及び醸造適性に優れる酒造好適米品種 |
| | くまさんの輝き | R1年度登録 | 高温登熟性に優れる極良食味の中生品種 |
| なす | ヒゴムラサキ2号 | H29年度登録 | ヒゴムラサキの着色性を改善した良食味品種 |
| いちご | 熊研い548（ひのしずく） | H17年度登録 | 草姿、果実の着色、食味の優れた品種 |
| | くまもとVS03（ゆうぺに） | H28年度登録 | 年内収量に優れ、果実の着色、食味の優れた品種 |
| 茶 | 熊本TC01 | R5年度登録 | 収量・水色及び遊離アミノ酸含有量に優れる品種 |
| いぐさ | 夕風 | H18年度登録 | 変色茎が少なく、硬くて丈夫な普及品用畳表向き品種 |
| | ひのはるか | H19年度登録 | 茎が長く、変色茎が少なく高品質で多収性の品種 |
| | 涼風 | H26年度登録 | 枯死株が少なく、製織効率に優れる多収性の品種 |
| かんきつ | 肥の豊 | H14年度登録 | 樹勢が強く早熟性で良食味の中晩柑品種 |
| | 肥のあかり | H16年度登録 | 高糖度・良食味の9月下旬収穫の温州みかん品種 |
| | 肥のあすか | H16年度登録 | 高糖度・良食味の11月上旬収穫の温州みかん品種 |
| | 肥のさやか | H16年度登録 | 高糖度・良食味の10月上旬収穫の温州みかん品種 |
| | 肥のみらい | H19年度登録 | 高糖度・良食味の12月上・中旬収穫の温州みかん品種 |
| | 熊本EC11 | H27年度登録 | 浮き皮が少なく高糖度の11月下旬収穫の温州みかん品種 |
| | 熊本EC12 | R1年度登録 | 外観良好・高糖度・良食味で年内に出荷可能な品種 |
| 花き | 熊本FC01（ホワイトトーチ） | H24年度登録 | 疫病に強く、冠婚葬祭等業務用に適した品種 |
| | 熊本FC02（ホワイトスワン） | H24年度登録 | 疫病に強く、アレンジや花束に適した品種 |
| | 熊本FC03 | R6年度登録 | 収量性や緑色発現に優れる品種 |
| 種雄牛 | 平茂幸、菊光浦 | H21年度選抜 | 肉質（脂肪交雑）・産肉能力に優れた種雄牛 |
| | 光晴重、春山都 | H22年度選抜 | |
| | 鶴重 | H23年度選抜 | |
| | 隆光重 | H24年度選抜 | |
| | 菊鶴ETI | H25年度選抜 | |
| | 幸泉、福久桜、他3頭 | H26年度選抜 | |
| | 光重球磨五、百合照茂 | H27年度選抜 | |
| | 弦球 | H28年度選抜 | |
| | 春山栄、春五月 | H29年度選抜 | |
| | 久茂国、重波泉、他2頭 | H30年度選抜 | |
| | 美津福重、光重球磨七、他3頭 | H31年度選抜 | |
| | 茂三、第二光晴 | R3年度選抜 | |
| | 幸勝平、忠平幸、菊幸 | R4年度選抜 | |
| | 美津福久、第一弦球、菊波泉ET | R5年度選抜 | |
| | 幸弦光 | R6年度選抜 | |
| 系統鶏 | 天草大王 | H13年度造成 | ラッシュンと熊本コーン種及びシャモを交配した地域特産肉用鶏 |

2 高品質生産技術開発

稼げる農業を実現できるように、美味しさ、外観、機能性などの品質を高める技術や、加工・業務用など多様な用途に対応する技術の開発を進め、農産物の販売単価の上昇及び安定生産をめざしている。また、販売量を増加させるために、生産性を高める技術の開発を進めている。

令和6年度（2024年度）は、高設栽培におけるイチゴ「ゆうべに」の頂花房の最適な着果数を明らかにし、近年の地球温暖化に伴い、阿蘇地域で栽培が難しくなった夏秋ホウレンソウを夏季高温時においても栽培を可能とする技術を開発した。（令和7年度公表）

第2 低コスト・省力化生産技術の開発

（低コスト・省力化生産技術の開発が進む）

燃油や資材などの高騰に対応し、コスト低減を図るため、施設園芸の燃油を削減する技術、効率的な施肥法、自給飼料利用による飼養管理技術など低コスト生産技術の開発を進めるとともに、高齢化や規模拡大に対応する省力・軽作業化技術の開発を進めている。

令和6年度（2024年度）は、冬春トマトの施設栽培におけるヒートポンプによる夜冷が収量等に及ぼす影響を明らかにした。また、鶏の雛の雌雄判別は専門技術を必要とするが、鶏種ごとのAIモデルを作成し、画像解析することで容易に雌雄判別を可能とする技術を開発した。（令和7年度公表）

第3 環境に配慮した生産技術の開発

（環境に優しい防除技術、土壌管理技術、家畜糞尿の適正施用による環境保全）

みどりの食料システム戦略に沿って、環境負荷軽減を図りつつ高い生産性を持続できる土壌管理法や循環型の農業を目指した家畜排せつ物、木質バイオマスなどの地域未利用資源の利用を促進する技術開発を進めている。

また、環境と調和した農業生産と効率的・効果的な病虫害防除を行うため、天敵や物理的・耕種的防除法を組み合わせた総合的病虫害管理（IPM）技術の開発を進めている。

令和6年度（2024年度）は、水稻「くまさんの輝き」における中干し期間拡大がメタンガス発生量並びに収量・品質に及ぼす影響や施設トマト有機栽培で発生する病害虫に対する有機JAS対応薬剤の防除効果を明らかにした。（令和7年度公表）

第4 新品種及び先端技術の普及定着

（農家への普及・定着）

農業研究センターで開発した新品種及び先端技術は、農業革新支援センターの農業革新支援専門員と地域の普及指導員が、農業研究センターと緊密に連携を行いながら、その普及・定着に向けた活動を行っている。

普及活動としては、各地域で栽培試験展示ほでの技術実証や現地検討会等を行い、産地の土壌や気象条件に対応した栽培マニュアルの作成等、地域の条件に適合した技術に体系化するとともに、市町村や農協、生産者等と連携しながら、新品種及び先端技術の迅速な普及・定着を図っている。

また、その後の普及状況を定期的に調査し、現地での問題点や課題を地域の普及指導員が農業研究センターへフィードバックすることで、更なる技術開発や技術改善に繋げている。

図Ⅲ-10-(1) 現地での普及が期待される技術



高設栽培イチゴ「ゆうべに」

高設栽培におけるイチゴ「ゆうべに」の頂花房の最適な着果数
(R7 公表：農業の新しい技術)



夏秋ホウレンソウ栽培における降温対策

夏秋ホウレンソウ「ジャスティス」の発芽と生育温度の閾値および遮光資材の利用法
(R7 公表：農業の新しい技術)



水稲「くまさんの輝き」

水稲「くまさんの輝き」における中干し期間拡大がメタンガス発生量並びに収量・品質に及ぼす影響
(R7 公表：農業の新しい技術)



水田におけるメタンガスの測定

表Ⅲ-10-(2) 主な県育成品種及び先端技術の普及状況

【主な県育成品種】

| 作物名 | 品種名 | 登録等の年度 | 概要 | 普及状況 |
|------|------------------|--------|---|------------------------------------|
| 米 | くまさんの力 | H22 年度 | 高温条件下でも白未熟粒の発生が少ない耐暑性品種。 | 作付面積 603 h a (R6 年産) |
| | 華錦 | H28 年度 | 耐倒伏性・収量及び醸造適性に優れる酒造好適米品種。 | 作付面積 15 h a (R6 年産) |
| | くまさんの輝き | R1 年度 | ツヤ・粘りがある極良食味品種。H28、H29 食味ランキングで最高ランク「特A」評価。 | 作付面積 3,441 h a (R6 年産) |
| いぐさ | 涼風 | H26 年度 | 枯死株が少なく、製織効率に優れる多収性の品種。 | 作付面積 172.3 h a (R6 年産) |
| いちご | 熊研い548 (ひのしずく) | H17 年度 | 大玉で甘く、香りが芳醇。低コスト栽培が可能な品種。 | 作付面積 5.4 h a (R6 年産) |
| | 熊本VSO3 (ゆうべに) | H28 年度 | 大玉で濃い赤色。甘さと酸味のバランスが良い。多収であり特に年内の収量が多い。 | 作付面積 96.9 h a (R6 年産) |
| なす | ヒゴムラサキ2号 | H29 年度 | ヒゴムラサキの着色性を改善した良食味品種。 | 作付面積 3.7 h a (R6 年産) |
| かんきつ | 肥の豊 | H14 年度 | 従来品種に比べ酸味が低くなる時期が早く食味良好で収量が多い品種。 | 作付面積 447 h a (R5 年産) |
| | 熊本EC11 | H27 年度 | 浮皮が少なく、高糖度の11月中旬収穫の温州みかん品種。 | 作付面積 4 h a (R5 年産) |
| | 熊本EC12 | R1 年度 | 12月に成熟し、高品質で食味が良く、栽培しやすい早生かんきつ。 | 作付面積 5 h a (R5 年産) |
| カラー | 熊本FCO1 (ホワイトトーチ) | H24 年度 | 疫病汚染ほ場で良好に生育する湿地性カラー。 | 作付面積 104.15 a (R6 年産) |
| | 熊本FCO2 (ホワイトスワン) | H24 年度 | | 作付面積 4.85 a (R6 年産) |
| 畜産 | 褐毛和種種雄牛「重波泉」 | H30 年度 | すべての産肉形質ついて高い能力をもち、特にロース芯面積と皮下脂肪の厚さに優れている。 | 凍結精液累計配布数 (～令和7年3月31日) 1501本 |
| | 黒毛和種種雄牛「美津福重」 | R1 年度 | すべての産肉形質について高い能力をもち、特に脂肪交雑とロース芯面積に優れている。 | 凍結精液累計配布数 (～令和7年3月31日) 741本 |

【革新的な生産技術】

| 技術名 | 概要 | 普及状況 |
|--------------------------------------|--|--|
| 高冷地におけるエゴマの省力安定生産技術 | 中山間地域では鳥獣害対策に苦慮している。しそ科のえごまは独特の成分などによりシカ、イノシシ、サルなどの被害を受けにくいとされているが、九州での栽培事例は少なく栽培技術の確立もできていない。そこで、高冷地に適するエゴマ品種の選定および播種適期の把握を行うとともに、機械化栽培技術を確立した。 | 上益城 : 0.2ha 阿蘇 : 0.4ha 菊池 : 3.93ha |
| カンキツ「不知火」のこはん症は夏秋期の土壌水分維持と9月施肥で軽減できる | 近年、「不知火」では、温暖化に伴う異常気象により、収穫前後や貯蔵中に発生する果皮障害こはん症の発生が問題となっている。そこで、「不知火」のこはん症の発生要因を解明し、発生軽減技術を確立した。 | 芦北 : 27.7ha 天草 : 9ha |

第5 農産物加工技術の開発と普及

(売れる加工食品の支援)

アグリシステム総合研究所では、フードバレーアグリビジネスセンターを通して生産者や消費者のニーズをくみ上げながら、商品開発（加工）から販売（流通）まで一貫した支援体制を整え、バリューチェーンを視野に入れた“売れる商品づくり”の支援を行っている。

具体的には、アグリビジネス支援室において、施設・機器を利用した試作、開発支援に取り組み、柑橘類、野菜類の乾燥、粉末、ペースト等サンプル作成による商品化支援、農業者等の加工技術習得を支援した。

また、HACCPに沿った衛生管理に対応するため、モデル2事業者に対し、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程及び作業環境も含めた危害要因分析を行い、助言・指導した。併せて、センター利用2事業者を対象に菌検査など基礎的衛生管理を指導した。

産業技術センターでは、県産農畜産物の付加価値を高め、商品力の高い魅力的な加工食品につながる研究開発並びに農業法人や食品関連企業等に対する農産物加工の技術支援を行っている。

研究開発においては、健康志向の市場ニーズに対応するため、麴原料として粟を用いることで、多様な味や風味を持つ新たな発酵食品素材の開発に向け取り組んでいる。また、地理的表示（GI）保護制度に登録されている「菊池水田ごぼう」について、貯蔵技術や他産地より優位となる特性の品質評価技術の確立に取り組んだ。

技術支援においては、6次産業化を目指す農林漁業者や農業法人、食品加工関連企業等を対象として、売れるものづくりを支援するため、商品の企画力、加工技術、品質や衛生管理技術等の向上に向けた研修会を開催した。また、食品加工に新規参入する事業者等に対して技術相談や試作支援を行うと共に、農商工及び農福連携を推進し新規事業の創出を支援した。

さらに、「農業アカデミー講座」では、農業大学校と連携し、農産加工を中心とした6次産業化について食品加工技術を基礎から学ぶ講座（野菜加工、事例紹介）を開催し技術支援を行った。また、過年度の受講生に対し、継続して技術支援を行うことで、起業化と商品開発を支援した。

第6 情報ネットワークなどを活用した新技術等の迅速な提供

(農業生産を支援する情報の提供)

本県農業の発展と意欲ある農業経営者を育成・確保するためには、生産現場の要請に即応した技術開発と併せて、農業経営に役立つ様々な情報を、迅速かつ的確に提供することが求められている。

農業研究センターが開発した品種や技術、最新の研究内容情報については、SNSや熊本県ホームページの活用、パンフレットの作成、季刊誌「農研NOW」の発行、イベントにおける試験研究の成果物や成果情報等の印刷物の出展などで発信し、病害虫の発生状況についてホームページ等により情報提供を行った。

(企業を支援する情報の提供)

産業技術センターでは、県内企業のために技術相談、設備開放、依頼試験・分析及び共同研究開発等を通じて技術支援を行っている。本センターが開発した技術や研究成果については、センターのホームページや定期刊行物等で発信を行うと共に、各種関連団体と連携した講習会・研修会の開催や研修生受け入れによる技術者養成等により普及を行っている。

第 1 1 節 農業生産基盤の整備

第 1 農業生産基盤の整備

(近年は、68ha/年(田)、5ha/年(畑)程度の整備面積で推移)

水田については、昭和40年代に区画の拡大を図るほ場整備事業が始まり、昭和60年代までに菊池川や白川、緑川、球磨川などの主要河川水系等に広がる平坦地域を中心に整備が完了している。平成以降は、平坦地に加え、整備が遅れていた中山間地においても、農業生産基盤や生活環境の整備に取り組んできた。

直近8か年では、年間68ha程度の整備を実施しており、令和6年度(2024年度)までの田の整備済面積は、約36,704haとなっている。

また、畑地については、畑地かんがいを中心に年間5ha程度の整備を実施しており、令和6年度(2024年度)までの畑の整備済面積は約7,440haとなっている。

表Ⅲ-11-(1) 整備済み農地(田)

| 項目 | 単位 | H29年度 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6※ | 平均 |
|-------------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|
| 各年度の整備面積 | ha | 9 | 69 | 57 | 128 | 51 | 78 | 83 | - | 67.9 |
| 整備済面積 | ha | 38,449 | 38,518 | 38,575 | 38,703 | 38,754 | 38,832 | 38,915 | 36,704 | |
| 農振農用地に占める整備済面積の割合 | % | 65.6% | 65.7% | 65.8% | 66.0% | 66.3% | 66.5% | 66.8% | 64.1% | |

表Ⅲ-11-(2) 整備済み農地(畑)

| 項目 | 単位 | H29年度 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6※ | 平均 |
|-------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 各年度の整備面積 | ha | 1 | 5 | 5 | 5 | 3 | 8 | 8 | - | 5.0 |
| 整備済面積 | ha | 8,846 | 8,851 | 8,856 | 8,861 | 8,864 | 8,872 | 8,880 | 7,440 | |
| 農振農用地に占める整備済面積の割合 | % | 25.1% | 25.1% | 25.2% | 25.2% | 25.6% | 25.7% | 25.9% | 22.7% | |

資料) 県農林水産部調べ

※令和6年度から面積算出方法

を変更

第2 田んぼダムの取組み

1 田んぼダムの取組み状況

(令和7年度までの取組み状況は775ha)

令和2年7月豪雨を受け、「緑の流域治水」の一環として取り組み始めた田んぼダムは、令和7年度時点で県内の775haの水田で取組みを実施している。

また、「くまもと新時代共創総合戦略」におけるKPIの目標値である770ha(令和9年度まで)を2年前倒しで達成した。

令和5年度以降は、県営事業で排水柵を整備する地区については、田んぼダム専用排水柵(機能分離型排水柵)を標準設置としている。

2 広報活動

(認知度向上及び普及拡大に向けた広報活動の実施)

田んぼダムの認知度向上及び普及拡大に向け、県内5か所で開催された「多面的機能支払交付金ブロック研修会」の中で、田んぼダムの効果や多面的機能支払交付金を活用した取り組み方法などについて説明を行った。

また、阿蘇中央高校と南稜高校で田んぼダムを題材とした出前講座を行った。特に阿蘇中央高校では、今年度から3年間で、田んぼダムの実証や検証、成果発表を行う予定であり、今年度は田んぼダムの概要説明と排水柵の設置実習を行った。

図Ⅲ-11-(1) 南稜高校出前講座



図Ⅲ-11-(2) 阿蘇中央高校排水柵設置実習



他にも、「農業フェア」や「田んぼの学校」などのイベントでは、子どもたちを中心に、動画や模型を活用した広報活動を実施している。

図Ⅲ-11-(3) 田んぼの学校



図Ⅲ-11-(4) 農業フェア



第4章 活力とうるおいのある農村の形成

第1節 快適で安全な農村の生活環境の整備

農村の多くは都市部に比べ生活関連施設の整備が遅れていることから、農業農村整備事業の実施によって、地域住民が快適に暮らせる生活環境作りとともに、農業経営の安定と地域住民の生命・財産の安全確保を図っている。

このために必要な海岸保全施設、農道、農業集落排水施等の整備を進めており、令和6年度(2024年度)末までの整備状況は、海岸保全施設については堤防延長約94km、一定要件農道については延長約880km、農業集落排水施設については整備済人口約63千人となっている。

表IV-2-(1) 中山間地域の指標の推移

| 指標 | 単位 | 年度 | 中山間地域 ^{注1)} | 県全体に占める割合 | 平坦地域 | 県全体 |
|------------------------------|----|-----|----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 人口 ^{注2)} | 人 | H17 | 391,961 | 21.3 | 1,450,272 | 1,842,233 |
| | | H22 | 354,149 | 19.5 | 1,463,277 | 1,817,426 |
| | | H27 | 337,732 | 18.9 | 1,443,628 | 1,786,170 |
| | | R2 | 443,426 | 25.5 | 1,294,875 | 1,738,301 |
| 経営耕地面積(販売農家) | ha | H17 | 31,082 | 37.7 | 51,301 | 82,382 |
| | | H22 | 28,663 | 38.8 | 45,173 | 73,836 |
| | | H27 | 25,833 | 37.5 | 42,954 | 68,842 |
| | | R2 | 27,513 | 35.4 | 50,102 | 77,670 |
| 耕作放棄地面積(販売農家) ^{注3)} | ha | H17 | 2,359 | 56.2 | 1,842 | 4,201 |
| | | H22 | 2,172 | 58.0 | 1,575 | 3,747 |
| | | H27 | 2,135 | 57.8 | 1,556 | 3,695 |
| | | R2 | — | — | — | — |
| 販売農家戸数 | 戸 | H17 | 23,361 | 43.0 | 30,937 | 54,298 |
| | | H22 | 20,629 | 44.4 | 25,851 | 46,480 |
| | | H27 | 17,469 | 43.6 | 22,634 | 40,103 |
| | | R2 | 14,367 | 44.2 | 18,162 | 32,529 |

第2節 中山間地域の農業の活性化

第1 中山間地域の指標の変化

(県農業を支える重要な地域)

本県の中山間地域は、令和5年(2023年)改定の農業地域類型では、40市町村が該当し(一部該当を含む)、令和2年(2020年)時点では、県全体に占める割合は販売農家戸数の44.2%、経営耕地面積の35.4%となっており、本県農業を支える重要な地域である。

しかし、地域の勾配が急で狭小な農地が多いなど、農業生産条件が不利であり、平成27年度(2015年度)における耕作放棄地のうち、57.8%が中山間地域に存在している。(表IV-2-(1))

※参考:中山間地域等における高齢化の進行

中山間地域をはじめとする条件不利地域では、就業機会が少ないことなどから、人口の流出と高齢化が進んでいる。地域振興5法指定地域における高齢化率は、平成7年(1995年)から令和2年(2020年)までの期間に、県全体が18.5%から31.1%に増加したのに対し、5法指定地域では22.2%から39.3%に増加しており、県全体より高齢化が著しく進行していることを示している。(図IV-2-(1))

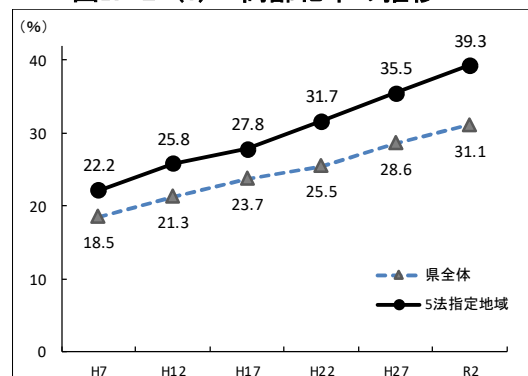
資料)総務省「国勢調査」、「農林業センサス」

注1)中山間地域は、農林統計の農業地域類型区分における「中間農業地域」と「山間農業地域」。

注2)人口のうち中山間地域のR2年値は、地域振興5法全指定(29市町村)人口の合計値のため、農業地域類型(平坦地)の人口を含む。

注3)販売農家の耕作放棄地面積は、R2年値は公表されていない。

図IV-2-(1) 高齢化率の推移



資料)総務省「国勢調査」

※地域振興5法指定地域

①特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律、②山村振興法、③過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(新過疎法)、④半島振興法、⑤離島振興法のいずれかの指定地域(一部地域含む)。本県では、中山間地域が存在する40の市町村のうち、その一部または全域が地域振興5法の指定地域に指定されている市町村が37市町村あり、これまで5法指定地域について高齢化率のデータ集計を行ってきた。今回もその推移を把握するため、令和2年度(2020年度)の国勢調査の5法指定地域の集計を行った。なお、令和元年(2019年)6月には、新たな地域振興立法として棚田地域振興法が制定された。

第2 鳥獣被害防止対策の推進

(野生鳥獣による農作物被害金額は大幅に増加。獣類による被害はかなり大きく増加し、鳥類による被害も大幅に増加。)

本県では、えづけSTOP!対策を基本として、野生鳥獣が生息しにくい環境整備と管理、農地への侵入・被害防止、有害鳥獣捕獲、ジビエ利活用の推進に取り組むとともに、各市町村が策定する鳥獣被害対策防止計画に基づく総合的な施策を実施している。

令和6年度(2024年度)における鳥獣による農作物被害額は、前年度から145百万円増加し(前年比127%)、6億8,249万円となっている。(図IV-2-(2))

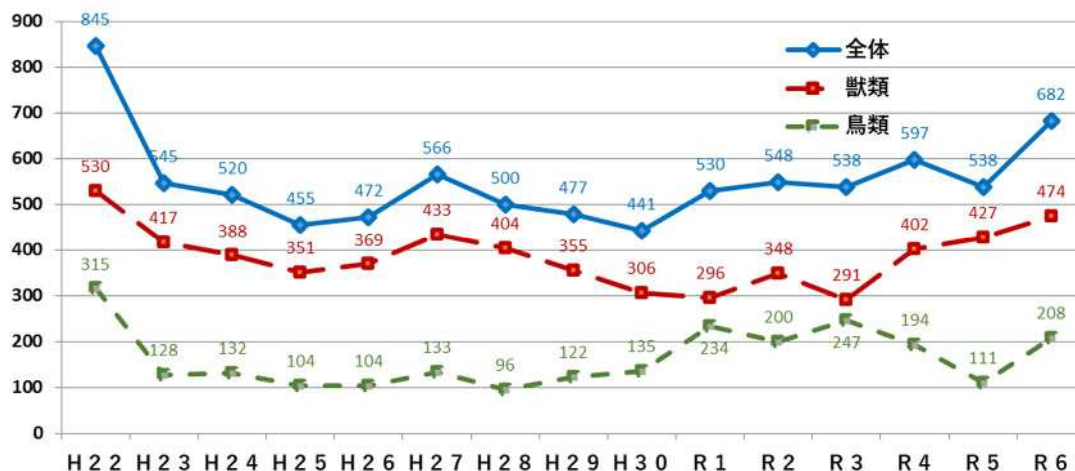
被害額の増減を主な鳥獣種類別に見ると、イノシシに加えカモ類、ヒヨドリなどの鳥類による被害額が大幅に増加した一方、シカ、サルなどの獣類による被害額がかなり大きく減少した。

イノシシは約57百万円増加(同119%)、カモ類は約9.3百万円増加(同115%)、ヒヨドリは約83百万円増加(同2,033%)となっている。

また、その他獣類などの中型獣類による被害も昨年度より増加している。

(図IV-2-(3))

図IV-2-(2) 野生鳥獣による農作物被害金額の推移 (単位:百万円)

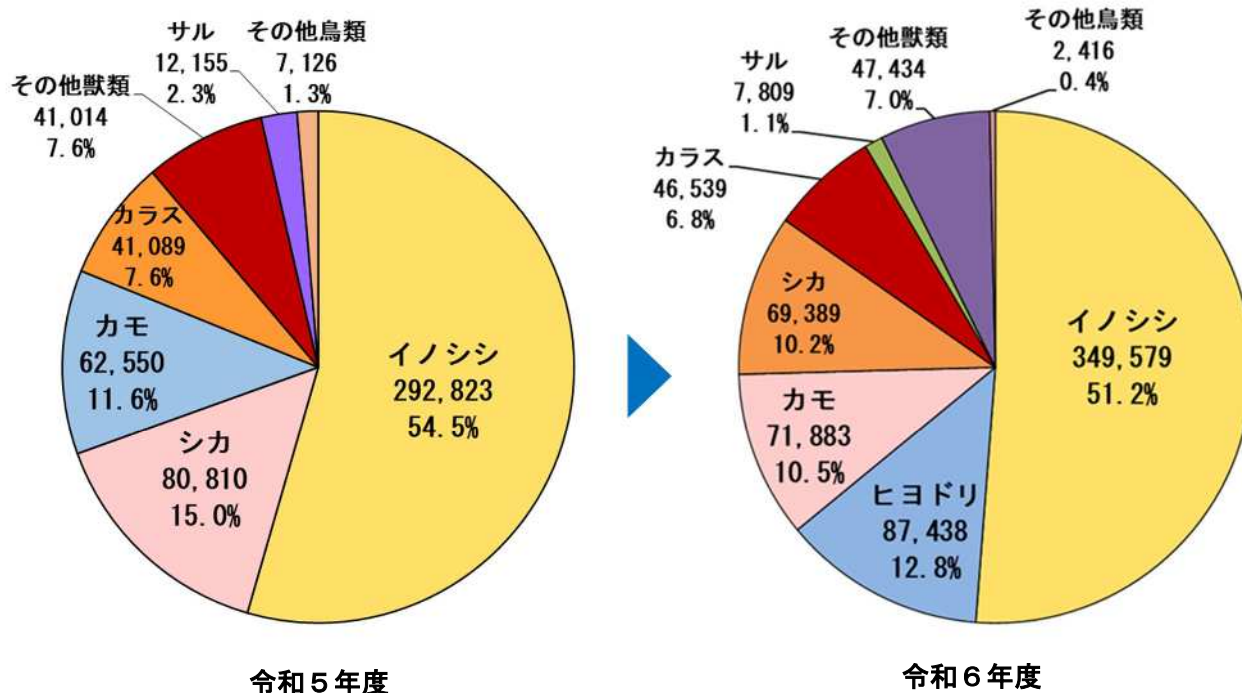


資料) 県農林水産部調べ

※各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、内訳は合計と一致しないことがある。

図IV-2-(3) 野生鳥獣による農作物被害金額（鳥獣別）

（単位：千円）



資料) 県農林水産部調べ

第3 捕獲鳥獣のジビエ活用

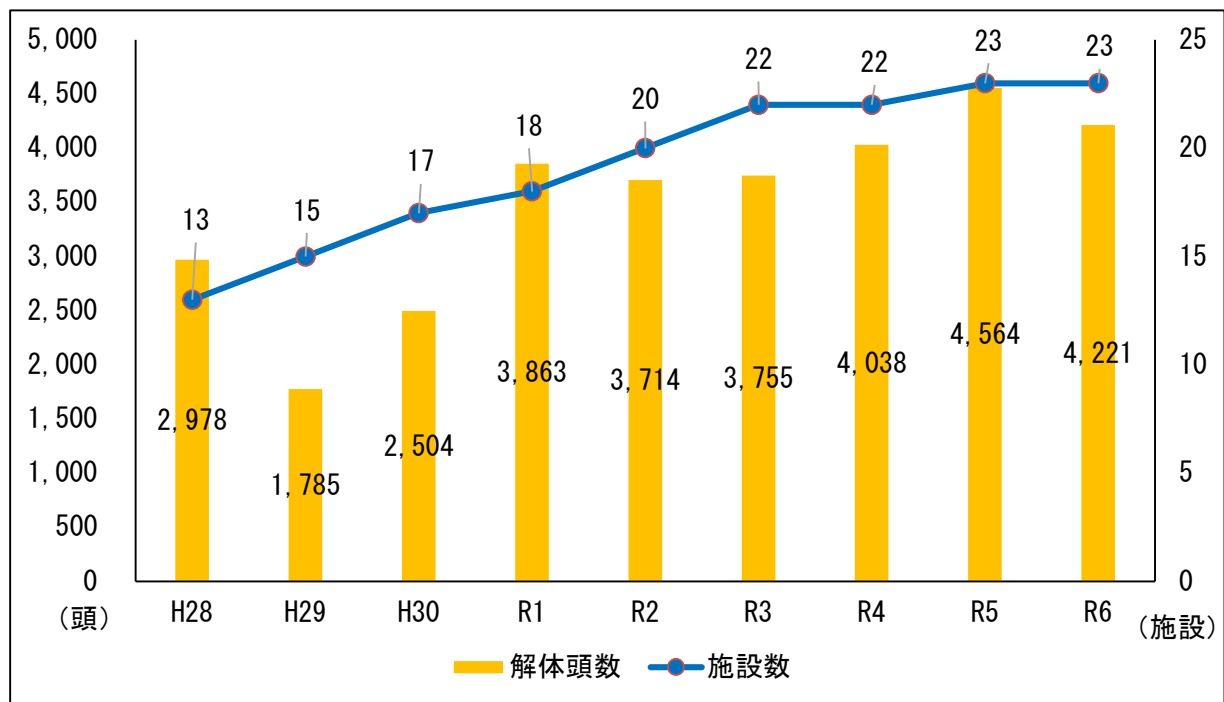
（ジビエ処理施設数は前年並み、解体頭数はかなりの程度減少）

本県では、捕獲者、処理加工施設、実需者（外食関係者）、民間企業（IT関係、流通関係）、農業団体、行政等を構成員として平成30年1月に設立した「くまもとジビエコンソーシアム」の活動を通じて、安定供給に向けた体制整備、ブランド化と販路の開拓に取り組み、ジビエ利活用を推進している。

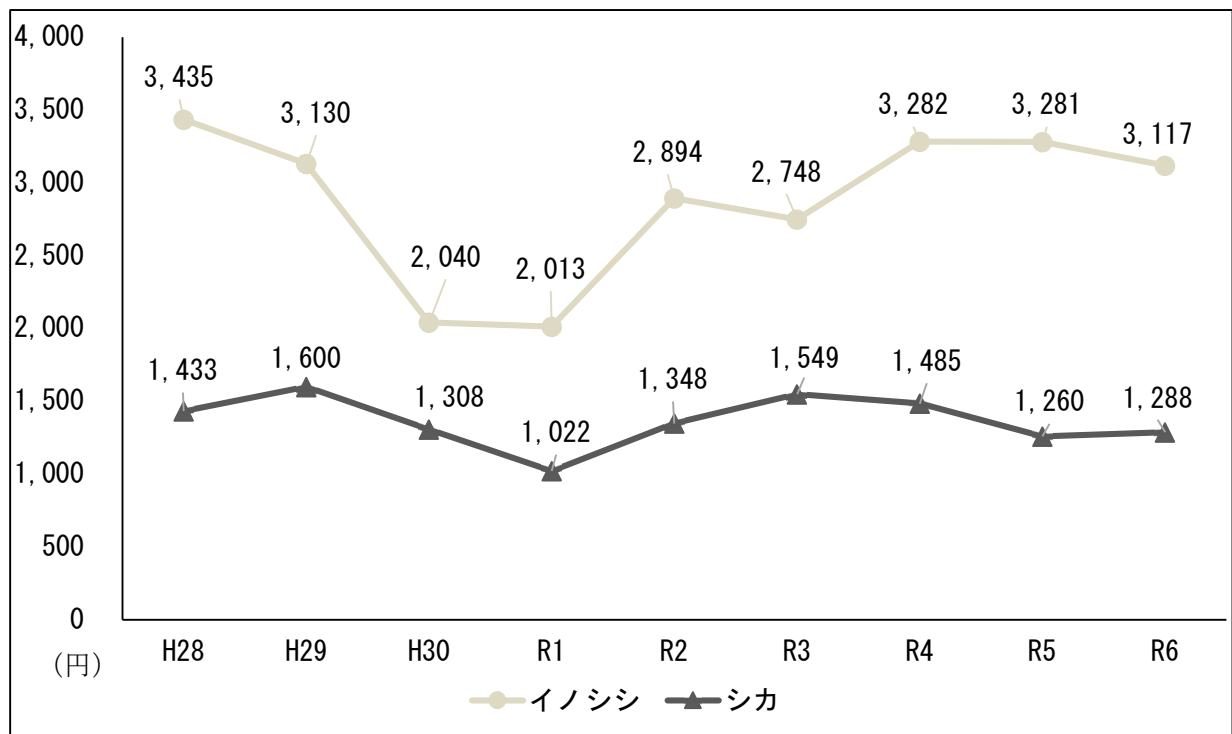
本県のジビエ処理施設は平成28年度（2016年度）以降増加し、令和6年度（2024年度）は23施設（前年比100%）となっている。施設数は横ばいとなったが、ジビエの解体頭数は4,221頭（同92%）と減少した。（図IV-2-(4)）

販売価格については、令和5年度（2023年度）イノシシ3,281円/kg、シカ1,260円/kgから、令和6年度（2024年度）イノシシ3,117円/kg（前年比95%）、シカ1,288円/kg（同102%）となっている。（図IV-2-(5)）

図IV-2-(4) ジビエ処理施設数と解体頭数の推移 (単位：頭・施設)



図IV-2-(5) 販売価格の推移 (イノシシ・シカ) (単位：円/kg)



第3節 日本型直接支払制度の実施状況

第1 多面的機能支払制度

(多面的機能支払制度実施面積はほぼ前年度並み)

農業・農村は食料を供給する機能のほかに、県土の保全、地下水の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能を有しており、その効果は地域住民や県民全体が享受している。これらの機能が適切かつ十分に発揮されていくためには、農業の持続的な発展とその基盤である農村の振興を図る必要がある。

しかしながら、近年、農村においては過疎化や高齢化、混住化等の進展に伴い、農地や農業用水等の農村資源の適切な保全管理が困難になるなど、農業・農村が持つ多面的機能の発揮に支障が生じてきている。

このため、地域の農業者だけでなく、地域住民なども一体となって、農村資源の適切な保全管理のための取り組みに対して支援を行う「農地・水・環境保全向上対策」が平成19年度（2007年度）からスタートした。なお、平成26年度（2014年度）からは「多面的機能支払交付金」と制度名称が変更され、農業者のみで取り組むことができるメニューが追加されるなど、より取り組みやすい制度となった。さらに、平成27年度（2015年度）からは、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が施行され法律に基づく恒久的な制度となった。

令和7年度（2025年度）は、農地維持活動において400の活動組織、69,349ha（前年比99.3%）の農地において、農地や農業用水等の保全管理（農地維持支払）が実施されている。

表IV-3-(1) 多面的機能支払交付金の取組実績

| 年度 | 単位 | H19 | H22 | H27 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 組織数 | 組織 | 690 | 733 | 722 | 449 | 452 | 439 | 400 |
| 交付対象面積 | ha | 44,388 | 46,071 | 67,745 | 69,979 | 70,347 | 69,834 | 69,349 |

資料) 県農林水産部調べ

注1) 平成19及び22年度は「農地・水保全管理支払（共同活動）」の取組実績

注2) 平成27年度からは「農地維持支払交付金」の取組実績

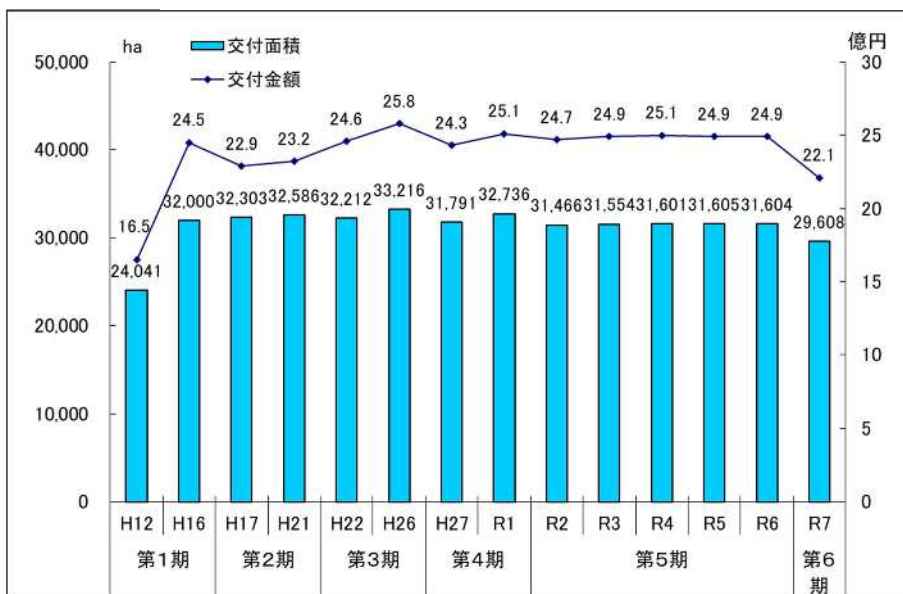
第2 中山間地域等直接支払制度

(中山間地域等直接支払制度実施面積が減少)

中山間地域の農業・農村が持つ多面的機能の維持を図るため、平成12年度（2000年度）から導入された中山間地域等直接支払制度は、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間の事業期間とする第6期対策が行われている。令和7年度（2025年度）は、36市町村において1,200（前年比91.0%）の集落協定等で実施され、前年度より118協定減少した。

また、交付面積は29,608ha（前年比93.7%）と前年度より1,996ha減少し、交付金額は約22億5百万円（前年比88.6%）と前年度より約2億83百万円減少した。（図IV-3-(1)）

図IV-3-(1) 交付面積及び交付金額の推移



資料) 県農林水産部調べ

注) 第1期対策から第4期対策までは、期間の初年度及び最終年度の実績値を抜粋。第5期対策は、毎年度の実績値。

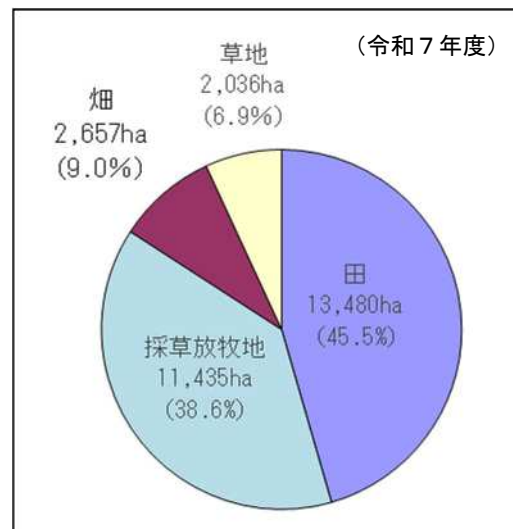
図IV-3-(2) 協定締結面積の地目別割合

地目別にみると、田が13,480ha（全交付面積のうち45.5%）、採草放牧地が11,435ha（同38.6%）、畑（樹園地を含む）が2,657ha（同9.0%）、草地在2,036ha（同6.9%）となっている。

(図IV-3-(2))

地域別には、阿蘇地域が、17,151ha（全体の57.9%）と大きな割合を占め、次いで、球磨地域（3,204ha、同10.8%）、上益城地域（2,247ha、同7.6%）となっている。

※各項目の計数は、表示単位未満を四捨五入したものであり、内訳は合計と一致しない。



資料) 県農林水産部調べ

第3 環境保全型農業直接支払制度

(環境保全型農業直接支払制度実施面積はわずかに増加)

農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を図るためには、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進することが必要である。

「環境保全型農業直接支払制度」とは、環境問題に対する関心が高まる中で、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全等に積極的に貢献していくため、化学肥料・農薬の使用を県の慣行レベルから5割以上低減する取組みと合わせて行う堆肥の施用や緑肥の施用等の環境保全に効果の高い営農活動（実施期間：5年間）に対して支援を行う制度である。

平成27年度（2015年度）から「農業の有する多面的機能の発揮に関する法律」に基づく制度となり、実施面積は増加傾向で、令和7年度（2025年度）は2,110ha（前年比101.4%）となった。

(表IV-3-(2))

表IV-3-(2) 環境保全型農業直接支払の取組実績

| 項目 | 単位 | H27 (年度) | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|------|----|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 市町村数 | — | 32 | 32 | 34 | 34 | 34 | 33 |
| 取組件数 | — | 255 | 174 | 173 | 173 | 183 | 167 |
| 実施面積 | ha | 1,765 | 1,907 | 1,965 | 1,953 | 2,081 | 2,110 |

資料) 県農林水産部調べ

第4節 農業団体の経営基盤と活動の充実強化

第1 農業協同組合

(県内のJA数は横ばい)

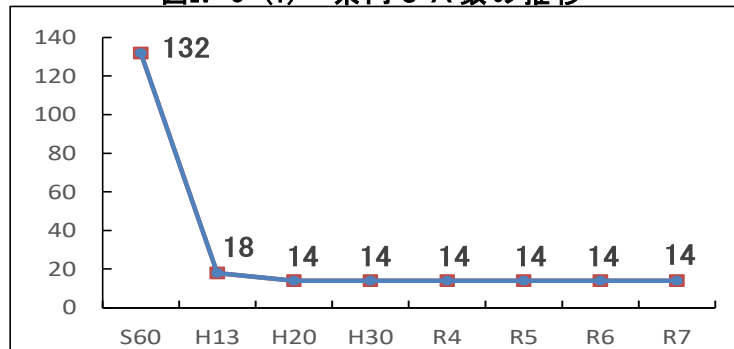
県内の農協（JA）は、昭和60年（1985年）に県農協中央会に「農協合併推進本部」が設置され、平成3年（1991年）のJA熊本県大会で、郡市単位での合併を行う「県下11JA構想」を決議し広域合併を推進してきた。

昭和60年（1985年）に132あった農協は、平成13年

（2001年）には18となり、その後の球磨地区、八代地区、上益城地区の合併の結果、平成20年（2008年）には現在の14となった。（図IV-3-(1)）

農協を取り巻く情勢が厳しくなる中、組合員・地域住民に十分なサービス提供を継続するため令和3年（2021年）12月のJA県大会で、県域JA構想（めざすJA像、規模、体制、時期等）の組織決定が行われ、「県域JA」の実現に向け、協議が進められていたが、合併参加を見送る農協が相次いで発生したことから、令和8年4月の合併を見送ることとされた。

図IV-3-(1) 県内JA数の推移



資料) 県農林水産部調べ

注1) 各年度は4月1日現在

注2) 信用事業を行わないJA大浜を含む

第2 農業共済組合

(収入保険加入経営体はかなりの程度増加)

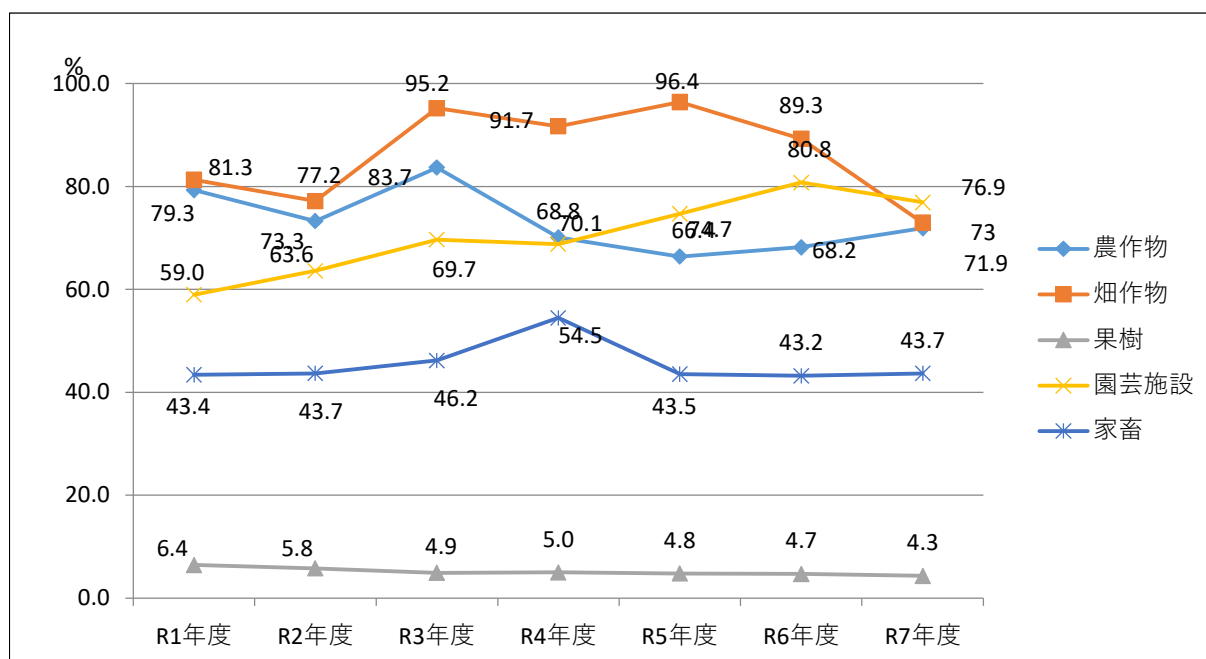
県内の農業共済組合は、昭和60年（1985年）4月までに、概ね郡市を単位とした合併により13組合となった。その後、平成12年（2000年）4月に13組合の合併が行われ、同年5月には連合会の機能も承継し、1県1組合の特定組合となった。

令和7年度（2025年度）の主な農業共済の加入状況を見ると、農作物共済が71.9%、畑作物共済が73.0%、果樹共済が4.3%、園芸施設共済が76.9%、家畜共済が43.7%という状況である。（図IV-3-(2)）

なお、平成31年（2019年）1月から、新たな農業保険制度である農業経営収入保険制度（以下「収入保険」という。）が開始されている。

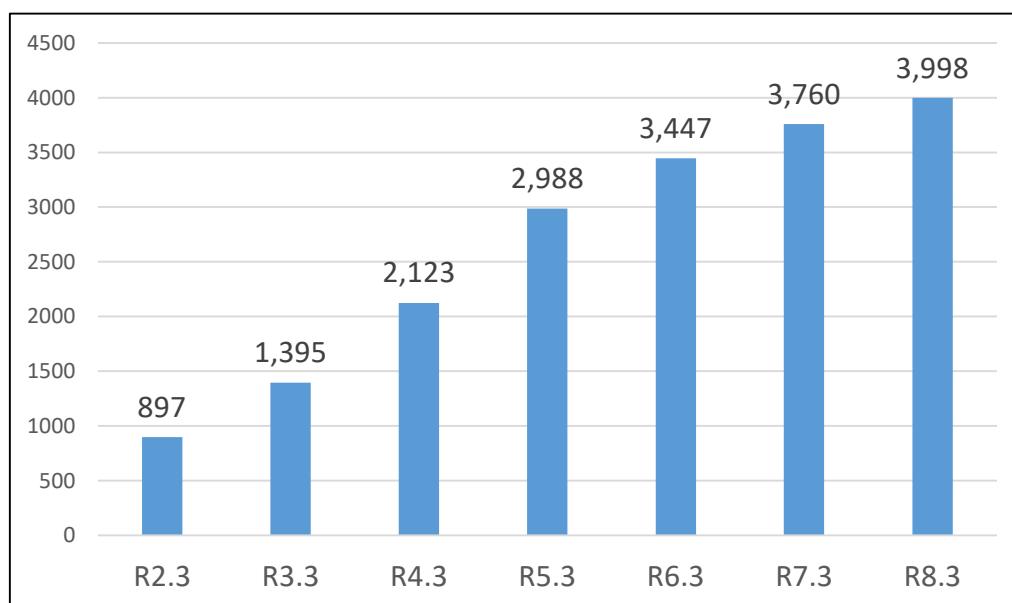
令和8年（2026年）3月時点の収入保険の加入経営体数は、3,998経営体（前年比106%）とかなりの程度増加した。（図IV-3-(3)）

図IV-3-(2) 農業共済加入率の推移



資料) 熊本県農業共済組合調べ

図IV-3-(3) 収入保険加入経営体数の推移



資料) 熊本県農業共済組合調べ

第5章 生産者と消費者との共生

第1節 都市と農村の交流

(都市農村交流施設の利用者数は回復基調)

農村部において都市住民との交流拠点である“都市農村交流施設”の利用者数については回復傾向が続いており、令和7年度(2025年度)(県内主要40ヶ所)における県内全体来訪者総数は6,537千人(1施設当たり平均163千人)であり、ほぼ前年度並みであるが、コロナ禍以前の水準に戻りつつある。(表V-1-(1))

表V-1-(1) 都市農村交流施設の1施設平均来訪者数

| 項目 | 単位 | H22 (年度) | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-------------|----|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 来訪者総数 | 千人 | 6,865 | 7,080 | 5,160 | 6,080 | 6,381 | 6,514 | 6,537 |
| 1施設当たりの来訪者数 | 千人 | 196 | 173 | 129 | 152 | 160 | 163 | 163 |

資料) 県農林水産部調べ

交流施設は、地元産農林水産物の販売拡大や雇用の創造による地域経済の活性化はもとより、農業・農村のもつ国土保全等の多面的機能や、食を育む農の大切さについて、都市住民への理解促進につながっていると考えられる。更なる顧客数の増加を図るためには、各施設が特色ある地域資源を活用した、より魅力ある商品づくり・地域づくりが重要である。

平成20年度(2008年度)には農林水産省・総務省・文部科学省連携による児童向け農山漁村宿泊体験「子ども農山漁村交流プロジェクト」が開始され、県内各地で児童・生徒向けの体験学習、農山村宿泊を含む交流が取り組まれている。コロナ禍の影響等で農山漁村における児童・生徒の教育旅行の受け入れ実績は一時的に減少した。令和6年度(2024年度)の受け入れ実績は2,777人で、前年から大幅に増加した。(表V-1-(2))

表V-1-(2) 農山漁村における児童・生徒の教育旅行の受け入れ実績

| 項目 | 単位 | H22 (年度) | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|------------|----|-------------|-------|----|-----|-----|-----|-------|
| 来訪した児童・生徒数 | 人 | 4,785 | 6,439 | 75 | 727 | 666 | 991 | 2,777 |
| 学校数 | 校 | 40 | 62 | 2 | 18 | 26 | 27 | 65 |

資料) 県農林水産部調べ

注1) 農山漁村への宿泊及び各種体験活動をおこなった実績

注2) 数値は気候、送り出し校・受け入れ地域の財源・サポート人員増減、感染症の影響等様々な要因で変動する。

近年、農業と観光や教育（体験学習等）との融合例として、農林漁家による民宿経営（農林漁家民宿）が注目されているが、コロナ禍の影響等で累計軒数が一時的に減少した。令和6年度（2023年度）までの軒数は回復傾向であったが、令和7年度（2025年度）の農林漁家宿軒数は、127軒で、ほぼ前年度並みであった。（表V-1-(3)）

また、県内一体となって農泊の魅力を高め、持続可能な「熊本の農泊」を実現する県域農泊ネットワーク「熊本県シン・農泊ネットワーク」を令和5年度（2023年度）に設立した。県では、本団体と連携し、研修会等の開催により、関係者の交流促進や農泊人材の確保・育成に取り組んでいる。

表V-1-(3) 農林漁家民宿の新規開業等軒数

| 項目 | 単位 | H22 (年度) | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|------|----|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 開業軒数 | 軒 | 22 | | 0 | 1 | 9 | 6 | 1 |
| 廃業軒数 | 軒 | | 1 | 3 | 30 | 3 | 2 | 4 |
| 累計 | 軒 | 89 | 137 | 150 | 120 | 126 | 130 | 127 |

資料) 県農林水産部調べ

注) 農林漁家が民宿（旅館業法に基づく簡易宿所営業）を開業したものを。

第2節 農業・農村への理解促進

(農業・農村に対する県民理解の推進)

本県農業・農村が持続的に発展するためには、都市と農村の交流等を通じて、農業・農村に対する県民理解の推進を図りながら、都市と農村が共生できる関係づくりが必要である。平成21年（2009年）3月に制定された「くまもと地産地消推進県民条例」では、県内農林水産物等に対する理解を深めるとともに、経済の循環や地域の活性化を促進し、県民の郷土愛を育むような取組みを「くまもと地産地消」と位置づけ、その促進を図ることとされている。

そのため、地域の特色を生かした直売所・物産館等、都市との交流施設や市民農園等において、生産者と消費者（農村と都市）の交流を促進するとともに、ホームページやSNSなどの広報媒体を活用し、農業・農村への理解促進を図った。

また、「くまもと食・農ネットワーク」や地産地消協力店における地産地消活動や、「くまもとふるさと食の名人」による食文化伝承・食育などの取組みを通じて、生産者と消費者との共生関係づくりを進めている。

第1 市民農園の設置状況等について

農業の振興を図るうえでは、都市部の住民が地域の農業と食べ物に対する関心を高め、農業・農村の持つ多面的機能等、地域農業に対する理解を深めることが重要となっている。

県内各地で都市住民が農業を体験できる市民農園の整備が進められており、令和7年（2025年）3月時点の市民農園設置数（市民農園整備促進法、特定農地貸付法に基づく設置数）は21ヶ所となっている。

また、児童・生徒が地域農業への理解を深めることができるよう、各地で農作業や農村生活を体験する活動が行われている。

第2 「くまもとふるさと食の名人」による食文化伝承活動の推進

くまもとふるさと食の名人は、郷土の伝統料理等について卓越した知識・経験・技術等を有し、県内の各地域で郷土料理の伝承活動等に取り組んでいる方を、平成13年度（2001年度）から県知事が認定するものである。その活動は、地域の学校や公民館を拠点として、食と農の講話や郷土料理教室等の活動を展開し、食文化の伝承はもちろんのこと、食の安全や農業に対する理解促進などの食育の推進にも大きな役割を果たしている。令和7年度（2025年度）は新たに4名が認定されたものの、活動者数は262名と前年度よりかなりの程度減少した。（表V-2-(1)）

また、令和7年度は総計で17,663人の県民等を対象に、832回の郷土料理伝承会等が実施された。

その活動は、「くまもとのアグリ&フード」ホームページ内の「地産地消サイト」や、テレビ、新聞等の民間広報媒体においても盛んに取り上げられており、食文化を通じた本県及び本県農林水産業の広報にも大きく寄与している。

表V-2-(1) くまもとふるさと食の名人の認定状況

| | 単位 | H17 | H22 | H27 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新規認定数 | 人 | 19 | 14 | 23 | 20 | 16 | 12 | 9 | 11 | 6 | 4 |
| 活動者数 | 人 | 198 | 268 | 315 | 333 | 328 | 320 | 284 | 294 | 275 | 262 |

資料) 県農林水産部調べ

第3 地産地消協力店の指定

生産者と消費者の橋渡しの役割を担っていただく販売店や飲食店を「地産地消協力店」として指定するものである。

指定数は486店舗（令和8年（2026年）3月末現在）となっている。（表V-2-(2)）

表V-2-(2) 地産地消協力店指定数

| | 単位 | H22 | H27 | R3 | R4 | R5 | R6※ | R7※ |
|-----|----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|
| 店舗数 | 店 | 570 | 682 | 888 | 1,002 | 1,008 | 449 | 486 |

資料) 県農林水産部調べ

※令和6年度（2024年度）から、指定を受けたが廃業した店舗などを除く。

第4 「熊本県地産地消サイト」及びSNSを活用した情報提供

食や農に関する総合情報サイトである「くまもとのアグリ&フード」内の「熊本県地産地消サイト」では、地産地消協力店、物産館・直売所、食の名人、イベント情報等を幅広く発信している。

また、若年層を中心に幅広い世代に対しての情報発信強化を図るため、LINE、インスタグラム、フェイスブック、Xのアカウントを運営しており、県内農林畜水産物生産者の紹介や、地産地消協力店の魅力発信やイベント情報を発信している（表V-2-(3)）。

ホームページアドレス

くまもとのアグリ&フード…<https://kumamoto-agribiz.jp/>

└─内地産地消サイト…<https://www.kumamoto-agribiz.jp/chisan/>

表V-2-(3) 熊本県地産地消サイトの年間総アクセス件数

| | 単位 | H29 | H30 | R1 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-------|----|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|
| アクセス数 | 件 | 355,723 | 349,518 | 356,668 | 537,600 | 81,004 | 84,745 | 58,369 | 78,413 |

資料) 県農林水産部調べ (R8.3月末現在)

※令和3年（2021年）、令和6年（2024年）にホームページリニューアル（アクセス件数のカウント方法変更）

第5 県民と一体的に行う地産地消推進の取組み

くまもと食・農ネットワークの運営委員を母体に、生産者・消費者・有識者等を構成員とする「食のみやこ熊本」地産地消応援団（以下、応援団）が令和7年4月に設立された。応援団は、本県の農林畜水産業を応援する県民が増加するよう、県民の地産地消に対する理解を深めるとともに、県民の行動促進につながる取組みを行っている。具体的には、県の地産地消の施策に対する意見・提言や、小学生を対象とした地産地消啓発イベント等の取組みを県と一体となって実施している。

第6 直売所の振興

地域の農林水産物等を“生産者の顔が見える”状態で購入できる直売所は、消費者の安全安心志向の高まりからも注目されており、売り上げはこれまで増加傾向にある。令和6年度（2024年度）の売り上げは約515億円となり、大幅に増加した。（表V-2-(4)）

これらの直売所は生産者と消費者の相互理解を醸成し、地産地消を進める上で中核的な役割を担っている。

県では、直売所を地域における地産地消推進の拠点として捉え、PRの実施や販路拡大に向けた取組みなど、その体制・機能強化に向けた支援を行っている。

表V-2-(4) 直売所数と農産物売上の推移

| | 単位 | H29 (年度) | H30 | R1 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-------|-----|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 直売所数 | 事業体 | 590 | 590 | 580 | 610 | 570 | 560 | 560 |
| 農産物売上 | 億円 | 380.5 | 371.3 | 341.1 | 374.8 | 429.1 | 437.5 | 515.1 |

資料) 農林水産省 6次産業化総合調査

※調査対象：農産物直売所を営む農業経営体及び農業協同組合等が運営する農産物直売所

第6章 令和7年8月豪雨への対応

本章では、令和7年度（2025年度）に本県農業に大きな影響を与えた令和7年8月豪雨への対応について報告する。

第1節 被害について

令和7年8月10日から11日にかけて線状降水帯が発生し、最大1時間降水量は令和2年7月豪雨を上回るなど、これまでに経験したことがないような大雨となった。短時間のうちに局地的かつ同時多発的に土砂災害等が発生し、死者4名、行方不明者1名、住家被害8,481棟、被害額約1,872億円と、甚大な被害をもたらした。農林畜水産業においても、県内広範囲にわたって被害が生じ、平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨に次ぐ、約861億円の被害額となり、そのうち、農業関係では、いぐさ原草や畳表の浸水、野菜苗の冠水、暖房機や農業用機械の水没、用排水施設の浸水といった被害が発生し、被害額は約680億円となった。

表VI-1-(1) 令和7年8月豪雨による農林水産業への被害額

| 項目 | 主な被害状況 | 被害額 |
|--------------------|--|--------------|
| 農作物等 | ・大豆の枯死、しょうがほ場への土砂流入、 いぐさ原草や畳表の浸水、野菜苗の冠水 、採卵鶏のへい死等 | 16億円 |
| 農業施設 (機械・園芸施設等) | ・ 暖房機、農業用機械（いぐさ専用機械等） の水没による破損、畜舎等への土砂流入による倒壊や損傷等 | 59億円 |
| 農地・農業用施設 | ・農地への土砂流入、畦畔崩壊、農道の法面崩壊、 用排水施設の浸水被害 等 | 605億円 |
| 林業 | ・林道施設の法面崩壊や山腹崩壊等 | 177億円 |
| 水産業 | ・漂流物防止フェンスの破損等 | 3億円 |
| | 合計 | 861億円 |

680億円



写真1 トマト苗の冠水



写真2 土砂崩れによる被害
(採卵鶏飼養農場)

第2節 発災初期における県の動き

第1 被害状況の把握

農林水産部では発災直後から庁内災害対策本部会議と連携し、対応すべき事項や対策等について整理するとともに、県庁各課や各広域本部・地域振興局、市町村等と連携した被害状況調査を開始し、被害の箇所や規模の情報収集を行った。農林水産業施設の被害調査及び災害復旧工法の検討等に市町村が人手を要することから、農地・農業用施設では延べ122名、林道施設では延べ101名の職員を導入して市町村支援を実施した。

その結果、発災から1週間後の8月18日には被害額（第1報）を災害対策本部会議で報告した。

表VI-2-(1) 発災直後の対応状況

| 月日 | 主な対応 |
|-----------------|--|
| 8月10日(日)～11日(月) | ➤ 令和7年8月豪雨 |
| 8月11日(月) | ➤ 被害状況調査開始 ※市町村が行う調査に県の技術職員が協力 ➤ 第1回災害対策本部会議 |
| 8月18日(月) | ➤ 被害額公表(第1報) ※以降、被害額確定(9/25)まで随時更新 |
| 8月28日(木) | ➤ 国への緊急要望(知事→総理) ➤ 農林水産省への要望調査 ※部独自に要望 |
| 9月2日(火) | ➤ 国から支援策の提示 |

第2 国への要望

農林水産関係の被害状況を把握するとともに、農林漁業者や関係団体等が国・県に求める事項をとりまとめ、豪雨発災から18日後(8月28日)には、国への要望活動を開始した。その後、9月2日に農林水産省から支援策が公表され、農林漁業者の経営再建など総合的な対策が講じられた。

また、令和7年8月豪雨は、「令和7年8月5日から9月21日までの間の豪雨及び暴風雨による災害」として、激甚災害の指定を受けた(閣議決定：令和7年11月11日、公布・施行：11月14日)。農地、農道や水路などの農業用施設及び林道の災害復旧事業に加え、治山施設や共同利用施設の災害復旧事業等について、国庫補助率が嵩上げされることとなった。

<主な要望事項>

- 被災農林漁業者の経営再建に向けた支援
- いぐさの専用機械をはじめとする農業用機械・設備、農業共同利用施設の復旧支援

<主な国の支援策>

- 被災した農地・農業用施設等の災害復旧支援の国庫補助率嵩上げ
- 災害復旧事業の早期実現と特別な財政措置

第3節 農畜産業者への支援

第1 金融支援

各農業協同組合に金融上の融通措置を依頼し、金融相談窓口を開設した。また、豪雨災害で被災した農林漁業者の資金繰りを支援するため、運転資金を円滑に融通できる新たな金融支援制度を創設した。本制度では、貸付けから5年間、県、市町村及び金融機関が合計4%を上限に利子を負担し、実質無利子で利用することができる。

表VI-3-(1) 農林漁業災害対策資金(令和7年8月豪雨分)

| 資金使途 | 運転資金 |
|----------|--------------------------------|
| 対象者 | 被災農林漁業者 |
| R7年度融資枠 | 5億円(農業:3億、林業:1億、漁業:1億) |
| 貸付限度額 | 1,000万円 |
| 基準金利 | 3.75%(R8.3.18時点)(農業近代化資金の基準金利) |
| 利子補給率 | 3.75%(利子補給は最大4%) |
| 末端金利 | 実質無利子 |
| 負担割合 | 県:市町村:融資機関=5:2:3 ※県の利子補給は2%まで |
| 償還期間(据置) | 10年(3年) ※償還は年1回 |
| 利子補給期間 | 5年 |
| 融資機関 | 農協、銀行、信用金庫等の融資機関 |
| 保証等 | 融資機関、保証機関等に相談 |
| 貸付条件 | ①市町村の罹災証明 ②収入保険等への加入(又は加入誓約) |

第2 農業者の営農支援

農林漁業者の痛みを最小化し、災害に負けず経営が継続できるよう、農業機械・施設の復旧などに対する支援策を確保した。

また、国や県の農林漁業者向け支援策を一覧化し、県庁HP等に掲載するとともに農林水産関係団体に対し周知を行った。

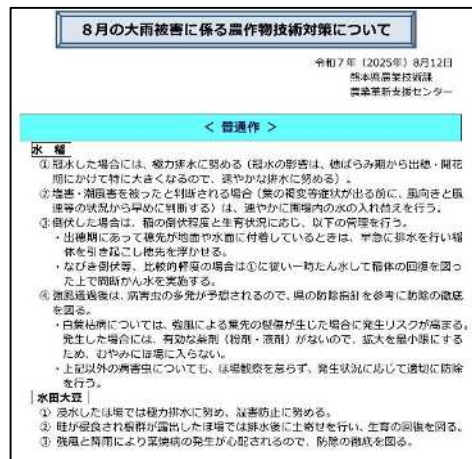
ほ場への浸水や冠水等の被害がみられたことから、排水や泥水等で汚れた作物の洗浄、病害の防除などの技術対策を取りまとめた情報を発災翌日に関係機関に提供し、現地で事後対策指導にあたった。更に、農業用燃料タンク等から油流出の懸念があったため、事故防止対策と事故発生時の初動対応について緊急情報を作成し、周知徹底を図った。

また、被災した農業者からの相談をワンストップで受ける「営農相談窓口」を広域本部・地域振興局の農業普及・振興課内に設け、本庁各課と連携しながら営農再開に向けた課題解決を図った。

図VI-3-(2) 被災農林漁業者向け支援策(県HP)



図VI-3-(3) 豪雨後の農作物管理緊急情報(抜粋)



第3 品目毎の支援

特に被害の大きかった主要品目について、それぞれプロジェクトチーム（PT）を編成し、市町村や関係団体と連携し支援策の検討・実施に取り組んだ。

1 野菜苗プロジェクトチーム

トマト・ミニトマトについては、PT 会議を通算7回開催し、被害状況や対応策について関係機関と情報共有を行った。また、県が創設したトマト苗緊急生産・確保支援事業を利用し、関係機関からなる一般社団法人熊本県野菜振興協会にてトマト苗を確保し、生産者の苗の再取得を支援した（生産者72名、約13.6万本を供給）。加えて国事業の利用（苗、殺菌剤等の生産資材の再取得等の支援）について、県から市町村及びJAへ情報提供を行い、事業の円滑な執行を支援した。その結果、前年並みの栽培面積の確保につながっている。



写真2 トマト苗の納品

また、イチゴについてはPT 会議を通算4回開催し、被害状況や対応策について関係機関と情報共有を行った。また、苗不足に対応するため、県内各産地と調整を行い、余剰苗の受け渡しを支援した。加えて国事業の利用（苗、殺菌剤等の生産資材の再取得や育苗高設ベンチの取得等の支援）について、県から市町村及びJAへ情報提供を行い、事業の円滑な執行を支援した。



写真3 イチゴ苗の被害状況

2 いぐさプロジェクトチーム

PT 会議を通算6回開催し、生産者の被害状況及び機械の修繕対応状況について随時関係機関と情報共有を行った。また、いぐさにおける国事業の利用（保管中の残さ撤去支援及び専用機械の修繕・再取得の支援）について、修繕業者の掘り起こしを行うとともに、県から市町及びJAへ情報提供を行い、事業の円滑な執行を支援した。



写真4 畳表浸水による被害状況

3 しょうがプロジェクトチーム

PT 会議を通算2回開催し、地域での被害状況や対応策について関係機関と情報共有を行うとともに、地域での被害状況のマッピング（見える化）や、今後の病害発生などの2次被害に備えた対応策について地域と協議・連携を行った。また、国事業の営農再開支援事業の利用（再定植の際に必要な種しょうがや土壌消毒剤の再取得等の支援）について、県から市町及びJAへ情報提供を行い、事業の円滑な執行を支援した。



写真5 しょうがほ場の被害状況

4 大豆プロジェクトチーム

連携会議を開催し、被害の状況や生育回復対策、経営所得安定対策等の交付事務への対応について関係者間で確認・共有を行った。また特に被害が大きかったほ場における次作に向けたすき込みの可否判断について、現地確認の手法を助言した。



写真6 大豆の被害状況確認の様子

第4 農業機械・施設等の復旧

国の事業を活用し、営農再開に必要な種子や苗、追加的な防除・消毒等の薬剤などの生産者の生産資材調達を支援。また、いぐさ等の保管中の農産物残さ等の撤去への支援を行った。

さらに、水没や土砂が流入した農業用機械や倒壊・損傷した施設・畜舎等の復旧に向け、関連事業を8月及び9月に予算化して支援した。また、被害の大きい市町村には受付事務などの人的支援にも取り組んだ。

第5 畜産業者の営農支援

1 営農再開に向けた支援

国の事業で支援対象とならない死廃した家畜等の搬出、輸送、化製処理・償却等に要する経費を対象とする事業（畜産経営復旧緊急支援事業）を創設し、迅速な家畜の搬出や経営再建を支援した。

2 家畜防疫に係る支援

豪雨被害を受けた畜産農家に対し、緊急的に家畜保健衛生所の備蓄品（消石灰や消毒薬等）を活用した畜舎消毒及び衛生害虫の発生予防対策を実施した。

特に甚大な被害となった採卵鶏飼養農場については、衛生的な飼養環境確保のため、死亡鶏の緊急的な処理受入について焼却施設（有明クリーンセンター）及び環境部局、町と調整を行った。また、死体の搬出・焼却処理のための県備蓄資材（密閉容器10,400個）を貸し出すとともに、公益社団法人中央畜産会の家畜疾病・自然災害緊急支援体制整備事業による備蓄資材（投光器、ポンプ等）の活用を調整した。

なお、過酷な作業環境での死亡鶏搬出作業については、委託可能な民間事業者（県との防疫協定締結業者）を紹介した。

第4節 農地・農業用施設の復旧等

第1 農地・農業用施設の復旧

1 排水機場

8月10日からの記録的な豪雨と大潮の満潮が重なったことにより沿岸部において、農地の湛水や家屋の浸水被害が多数発生した。

宇城市、玉名市及び上天草市の一部の排水機場では、設計雨量（排水能力）を大きく超える降雨により、電気設備などが浸水被害を受け機能が停止した。

これらの被害が甚大であったことから、県職員による特別チーム「排水機場復旧・強靱化チーム」を設置するとともに、必要に応じて被災市町村にリエゾン（LO）を派遣し、国や市町村、地元関係者、メーカー等と連携のもと、被災状況や要因の把握、応急復旧の検討・実施、再度災害防止に向けた強靱化対策等を実施した。

2 その他

防災重点農業用ため池や地すべり防止区域では、堤体法面や護岸の崩壊および附帯施設の破損といった被害が発生した。被害の拡大を防ぐため、被災状況に応じてシートによる被覆、土のうの設置、ため池の低水管理等などの緊急対策を実施した。

頭首工などの用水施設では、機器の破損や土砂埋塞が生じ、通水できない箇所が発生した。これらの未通水箇所では、国(MAFF-SAT)の支援等により用水を確保するためにポンプの設置や多面的機能支払等を活用し土砂撤去などの応急対策を行った。

農地では、土砂の埋没などにより営農に支障が生じた。このため、査定前着工制度や直営施工方式などを活用し、早期に土砂撤去を進めた。

第2 市町村支援

農地・農業用施設の被害は、農地8,516か所、農業用施設3,653か所、生活関連施設6か所の計12,175か所となっており、被害額は約605億円となっている。

特に被害が甚大な市町村については、市町村職員に代わり、被災直後から国、県、関係団体の技術職員が積極的に現地に入り、調査を行うなどの支援を実施し、緊急点検や被害調査を1か月内に完了した。

また、宇城地域振興局、上益城地域振興局および天草広域本部において農業土木職員を増員し、災害復旧に向けた総合調整や関係資料作成等の実務面での技術支援を実施した。

さらに、復旧に高度な技術等を要する地区（上天草市や宇城市の排水機場等）については、県が市町村の代わり、復旧を実施することとした。

加えて、現地調査を省略化した「熊本型簡素化査定」を導入し、市町村業務を省略するとともに、査定の年内完了を概ね実現できた。

利用にあたって

1 用語の説明

○農林業経営体：農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

(1) 経営耕地面積が30アール以上の規模の農業

(2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の基準以上の農業

①露地野菜作付面積 15 a

②施設野菜栽培面積 350 m²

③果樹栽培面積 10 a

④露地花き栽培面積 10 a

⑤施設花き栽培面積 250 m²

⑥搾乳牛飼養頭数 1 頭

⑦肥育牛飼養頭数 1 頭

⑧豚飼養頭数 15 頭

⑨採卵鶏飼養羽数 150 羽

⑩ブロイラー年間出荷羽数 1,000 羽

⑪その他 調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模

(3) 権原に基づいて育林又は伐採を行うことができる山林の面積が3ヘクタール以上の規模の林業

(4) 農作業の受託の事業

(5) 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業

○農業経営体：農林業経営体のうち、(1)、(2)又は(4)のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

○個人経営体：個人(世帯)で事業を行う経営体をいう。なお、法人化して事業を行う経営体は含まない。

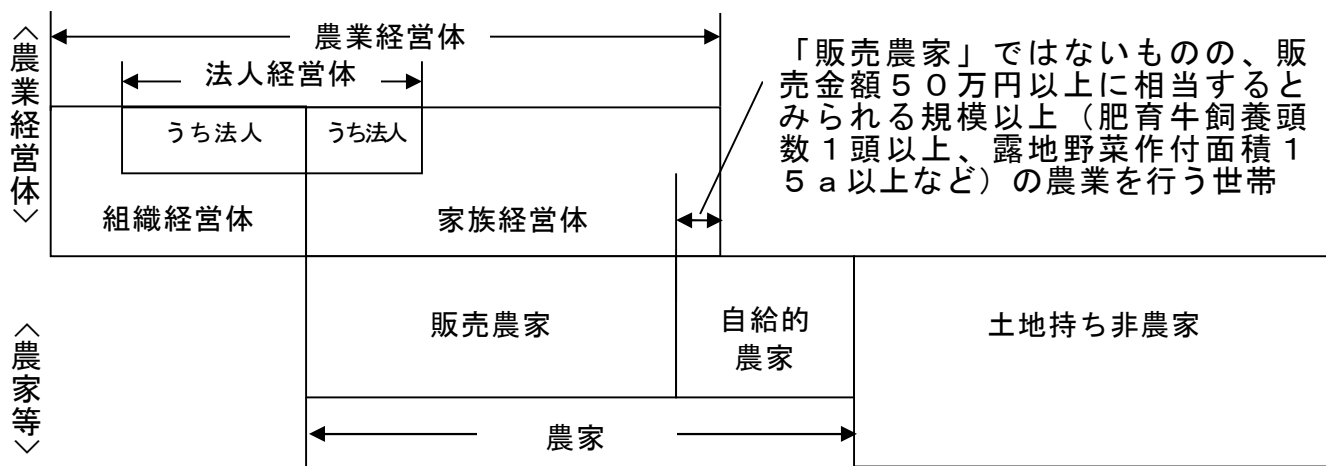
○団体経営体：個人経営体以外の経営体をいう。

○法人経営体：農林業経営体のうち、法人化して事業を行う者をいう。

○農家：経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても、1年間における農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。

○販売農家：経営耕地面積が30a以上又は1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

○自給的農家：経営耕地面積が30a未満かつ1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。



※2005年農林業センサスで農業経営体の概念が導入され、2015年農林業センサスまでは、家族経営体と組織経営体に区分。2020年農林業センサスでは、法人経営を一体的に捉えるとの考えのもと、法人化している家族経営体と組織経営体を統合し、非法人の組織経営体と併せて団体経営体とし、非法人の家族経営体を個人経営体とされた。

- 主業経営体：農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で、自営農業に年間60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。
- 準主業経営体：農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で、自営農業に年間60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいう。
- 副業的経営体：自営農業に年間60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体をいう。
- 農業専従者：個人経営体において、自営農業に年間150日以上従事した世帯員。
- 農業従事者：個人経営体において、15歳以上の世帯員のうち自営農業に従事した者。
- 基幹的農業従事者：個人経営体において、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者。
- 農業就業人口：15歳以上で自営農業のみに従事した者、又は農業とその他の仕事の両方に従事したが自営農業が主の者
- 農業後継者：5年以内に農業経営を引き継ぐ後継者（予定者を含む。）をいう。
- 農業産出額：品目別生産数量に品目別農家庭先販売価格を乗じて算出した額
平成12年（2000年）までは「農業粗生産額」として表した。
- 生産農業所得：農業産出額から物的経費（減価償却費及び間接税を含む。）を控除し、経常補助金等を加算したもの。
(生産農業所得＝農業産出額×所得率＋経常補助金等)
- 生産費：農産物（畜産物・繭を含む）の生産に要した肥料費・農薬費・労働費などの費用合計から副産物価格を控除したものをいい、費用の性格からいえば基礎原価的性格のものである。また、「支払利子・地代算入生産費」とは、生産費に、支払った利子・地代を加えたもので、「全

算入生産費」とは、さらに、自己資本利子・自作地地代を擬制的に計算して加えたものである。

| | | 仕事への従事状況 | | | | |
|----------|---------|---|--------------|----------|-------------|------------|
| | | 農業のみに従事 | 農業とその他の仕事に従事 | | その他の仕事のみに従事 | 仕事に従事しなかった |
| | | | 農業が主 | その他の仕事の主 | | |
| ふだんの主な状態 | 主に仕事 | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <div style="background-color: #00FF00; padding: 5px; display: inline-block;">基幹的農業従事者</div> <div style="background-color: #90EE90; padding: 5px; display: inline-block;">農業就業人口</div> <div style="margin-left: 100px;">農業従事者</div> </div> | | | | |
| | 主に家事や育児 | | | | | |
| | その他 | | | | | |

「生産費の内訳」

| | | | | | | 利潤 | | |
|-----|-------|------------------|------------------------|----------------------|--------|-------|-----|------------|
| 粗収益 | 主産物 | ↑ 全算入生産費 ↓ | ↑ 支払利子・地代算入生産費 ↓ | ↑ 副産物価格差引生産費 ↓ | 自作地地代 | 農業経営費 | | |
| | | | | | 自己資本利子 | | | |
| | | | | | 支払地代 | | | |
| | | | | | 支払利子 | | | |
| | | | | | 費用 | | 物財費 | 種苗費 |
| | | | | | | | | 肥料費 |
| | | | | | | | | 農業薬剤費 |
| | | | | | | | | 光熱動力費 |
| | | | | | | | | その他の諸材料費 |
| | | | | | | | | 土地改良及び水利費 |
| | | | | | | | | 賃貸料及び料金 |
| | | | | | | | | 物件税及び公課諸負担 |
| | | | | | | | | 建物費 |
| | | | | | | | | 農機具費 |
| | 生産管理費 | | | | | | | |
| 労働費 | 家族労働費 | | | | | | | |
| | 雇用労働費 | | | | | | | |
| 副産物 | | | | 販売費及び一般管理費 | | | | |

2 農業構造動態調査について

農林水産省「農業構造動態調査」については、5年ごとに行われる農（林）業センサスの中間年次における農業構造の年次変動を総合的に把握する目的で実施されているものであり、センサスと密接な関係を持つものであるが、センサスが全数調査であるのに対して農業構造動態調査は標本調査と調査方法が異なるため、両調査の結果は必ずしも連続しない。なお、平成18年（2006年）から、各都道府県別データは作成されないこととなった（統計部局の組織再編にともなう標本減少のため）。

3 地域の区分

センサスにおける地域の区分は下表のとおりである。

| 地域区分 | 市町村名 |
|------|--|
| 熊本 | 熊本市（旧植木町、旧城南町含む） |
| 宇城 | 宇土市、宇城市、下益城郡美里町 |
| 玉名 | 荒尾市、玉名市、玉名郡玉東町、玉名郡南関町、玉名郡長洲町、玉名郡和水町 |
| 鹿本 | 山鹿市 |
| 菊池 | 菊池市、合志市、菊池郡大津町、菊池郡菊陽町 |
| 阿蘇 | 阿蘇市、阿蘇郡南小国町、阿蘇郡小国町、阿蘇郡産山村、阿蘇郡高森町、阿蘇郡西原村、阿蘇郡南阿蘇村 |
| 上益城 | 上益城郡御船町、上益城郡嘉島町、上益城郡益城町、上益城郡甲佐町、上益城郡山都町 |
| 八代 | 八代市、八代郡氷川町 |
| 芦北 | 水俣市、芦北郡芦北町、芦北郡津奈木町 |
| 球磨 | 人吉市、球磨郡錦町、球磨郡多良木町、球磨郡湯前町、球磨郡水上村、球磨郡相良村、球磨郡五木村、球磨郡山江村、球磨郡球磨村、球磨郡あさぎり町 |
| 天草 | 上天草市、天草市、天草郡苓北町 |

付 属 資 料

目 次

第 1 章 農業経済及び農家経済の動向

(第 1 節 農業経済の動向)

| | |
|----------------------------------|-----|
| I-1-(1) 県経済に占める農業の地位の推移 | 146 |
| I-1-(2) 農業経済関係の主要指標の推移 | 146 |
| I-1-(3) 比較生産性の推移 | 147 |
| I-1-(4) 農家所得とその他産業（製造業）給与との格差の推移 | 147 |

(第 2 節 農家経済の動向)

| | |
|-----------------------|-----|
| I-2-(1) 農家経済関係主要指標の推移 | 148 |
|-----------------------|-----|

第 2 章 多彩な担い手の育成・確保（農業経営環境の変化）

(第 1 節 就業構造の変化)

| | |
|--|-----|
| II-1-(1) 農家人口の推移 | 149 |
| II-1-(2) 農業経営体数の推移 | 149 |
| II-1-(3) 農業従事者数の推移 | 149 |
| II-1-(4) 農業専従者数の推移 | 149 |
| II-1-(5) 基幹的農業従事者数の推移 | 149 |
| II-1-(6) 認定農業者数の推移 | 150 |
| II-1-(7) 農業法人の推移 | 150 |
| II-1-(8) 地域営農組織数の推移 | 150 |
| II-1-(9) 青年農業者数の推移 | 151 |
| II-1-(10) 新規学卒就農者数の推移 | 152 |
| II-1-(11) 家族経営協定締結農家数の推移 | 152 |
| II-1-(12) 外国人の雇用状況の推移 | 152 |
| II-1-(13) 地域（公共職業安定所）別外国人労働者（農業、林業）の推移 | 152 |

(第 2 節 経営構造の変化)

| | |
|--------------------------------|-----|
| II-2-(1) 専業業別農家戸数の推移 | 154 |
| II-2-(2) 経営耕地規模別経営体数の推移（農業経営体） | 154 |
| II-2-(3) 経営組織別農業経営体数の推移（農業経営体） | 155 |

(第 3 節 耕地及び地価の動向)

| | |
|------------------------------------|-----|
| II-3-(1) 耕地面積の推移 | 156 |
| II-3-(2) 作付面積及び耕地利用率の推移（田畑合計） | 156 |
| II-3-(3) 作付面積及び耕地利用率の推移（田） | 157 |
| II-3-(4) 作付面積及び耕地利用率の推移（畑） | 157 |
| II-3-(5) 耕作放棄地面積の推移 | 157 |
| II-3-(6) 耕地拡張面積の推移 | 158 |
| II-3-(7) 耕地かい廃面積の推移 | 158 |
| II-3-(8) 用途別農地転用実績の推移 | 158 |
| II-3-(9) 田畑売買価格の推移 | 159 |
| II-3-(10) 耕地目的の農地の権利移動の推移 | 159 |
| II-3-(11) 農業経営基盤強化促進法による農地の権利移動の推移 | 160 |
| II-3-(12) 期間別貸借権設定面積の推移 | 160 |

(第4節 農業投資及び金融の動向)

Ⅱ-4-(1) 農業制度資金貸付実績の推移 161

第3章 農産物の生産、流通及び価格の動向

(第1節 生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-1-(1) 農産物価格指数の推移 162
Ⅲ-1-(2) 農業産出額及び生産農業所得の推移 163

(第2節 気象の動向と農林水産業気象災害の発生状況)

Ⅲ-2-(1) 熊本地方の気象推移 164
Ⅲ-2-(2) 熊本地方の気温と降水量の年別推移 164
Ⅲ-2-(3) 熊本県の農林水産業気象災害発生状況 (H3～H13) 165
Ⅲ-2-(4) 熊本県の農林水産業気象災害発生状況 (H14～H24) 166
Ⅲ-2-(5) 熊本県の農林水産業気象災害発生状況 (H25～R7) 167

(第4節 水稻、麦、大豆の生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-4-(1) 米の生産の推移 168
Ⅲ-4-(2) 品種別水稻作付面積の推移 168
Ⅲ-4-(3) 県産米の食味ランキングの推移 169
Ⅲ-4-(4) 米粉・飼料用米作付面積の推移 169
Ⅲ-4-(5) 米粉・飼料用米生産集出荷数量の推移 169
Ⅲ-4-(6) 地域振興局別水稻生産の推移 170
Ⅲ-4-(7) 水稻主要品種の玄米上位等級比率の推移 171
Ⅲ-4-(8) 水稻生産費の推移(その1) 172
Ⅲ-4-(9) 水稻生産費の推移(その2) 173
Ⅲ-4-(10) 県産米の相対取引価格の推移 174
Ⅲ-4-(11) 令和6年産米の相対取引価格の推移 174
Ⅲ-4-(12) 麦関係主要指標の推移 175
Ⅲ-4-(13) 米麦大規模乾燥調製(貯蔵)施設数 175
Ⅲ-4-(14) 大豆共同乾燥調製施設数 175
Ⅲ-4-(15) 豆類関係主要指標の推移 176

(第5節 野菜、果樹、花きの生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-5-(1) 野菜作付面積の推移 177
Ⅲ-5-(2) 野菜収穫量の推移 178
Ⅲ-5-(3) ハウス設置面積の推移 179
Ⅲ-5-(4) 仕向先別野菜出荷割合 179
Ⅲ-5-(5) うんしゅうみかんの栽培面積及び収穫量の推移 180
Ⅲ-5-(6) 地域別うんしゅうみかんの栽培面積及び収穫量の推移 180
Ⅲ-5-(7) うんしゅうみかんの共販(生食向)実績の推移 181
Ⅲ-5-(8) 県産主要果実の市場単価の推移 181
Ⅲ-5-(9) 主要果実施設栽培の推移 182
Ⅲ-5-(10) その他果実の栽培面積及び収穫量の推移 183
Ⅲ-5-(11) 花き類作付面積の推移 184
Ⅲ-5-(12) 花き類生産量の推移 184
Ⅲ-5-(13) 花き類生産量の推移(総括表) 184
Ⅲ-5-(14) 花き類共販実績の推移 185
Ⅲ-5-(15) 花き類県内市場における価格の推移 185
Ⅲ-5-(16) 花き類県外市場における価格の推移 185

| | |
|-------------------------------|-----|
| (第6節 工芸作物の生産、流通及び価格の動向) | |
| Ⅲ-6-(1) いぐさ、い製品関係主要指標の推移 | 186 |
| Ⅲ-6-(2) 茶関係主要指標の推移 | 187 |
| Ⅲ-6-(3) 葉たばこ関係主要指標の推移 | 187 |
| (第7節 畜産物の生産、流通及び価格の動向) | |
| Ⅲ-7-(1) 乳用牛関係主要指標の推移(その1) | 188 |
| Ⅲ-7-(2) 乳用牛関係主要指標の推移(その2) | 188 |
| Ⅲ-7-(3) 牛乳生産費及び収益性の推移 | 189 |
| Ⅲ-7-(4) 肉用牛関係主要指標の推移 | 190 |
| Ⅲ-7-(5) 繁殖雌牛の育種価判明率の推移 | 190 |
| Ⅲ-7-(6) 子牛生産費及び収益性の推移 | 191 |
| Ⅲ-7-(7) 肥育牛生産費及び収益性の推移 | 192 |
| Ⅲ-7-(8) 乳用おす肥育牛生産費及び収益性の推移 | 193 |
| Ⅲ-7-(9) 豚関係主要指標の推移 | 194 |
| Ⅲ-7-(10) 肥育豚生産費及び収益性の推移 | 195 |
| Ⅲ-7-(11) 採卵鶏関係主要指標の推移 | 196 |
| Ⅲ-7-(12) ブロイラー関係主要指標の推移 | 196 |
| Ⅲ-7-(13) 天草大王出荷羽数の推移 | 196 |
| Ⅲ-7-(14) コントラクター作業(収穫)受託状況の推移 | 197 |
| Ⅲ-7-(15) 周年放牧の取組状況の推移 | 197 |
| Ⅲ-7-(16) 水田畑放牧の取組状況の推移 | 197 |
| Ⅲ-7-(17) 広域放牧の取組状況の推移 | 197 |
| Ⅲ-7-(18) 放牧取組の推移 | 197 |

第4章 活力とうるおいのある農村の形成

(第4節 農業団体の経営基盤と活動の充実強化)

| | |
|----------------------|-----|
| IV-4-(1) 農業共済加入実績の推移 | 198 |
|----------------------|-----|

| | |
|---------------------|-----|
| 付I 農政予算(一般会計決算額)の推移 | 199 |
|---------------------|-----|

付II 全国における熊本県農業の地位

| | |
|--------------------|-----|
| 付II-1 総括表(R5~R7年) | 200 |
| 付II-2 耕地面積 | 201 |
| 付II-3 基幹的農業従事者数 | 201 |
| 付II-4 農家戸数 | 202 |
| 付II-5 主業農家戸数 | 202 |
| 付II-6 認定農業者数 | 203 |
| 付II-7 農業産出額 | 203 |
| 付II-8 生産農業所得 | 204 |
| 付II-9 水稻収穫量 | 204 |
| 付II-10 小麦収穫量 | 205 |
| 付II-11 大豆収穫量 | 205 |
| 付II-12 うんしゅうみかん収穫量 | 206 |
| 付II-13 くり収穫量 | 206 |
| 付II-14 すいか収穫量 | 207 |
| 付II-15 メロン収穫量 | 207 |

| | | |
|-------|-------------|-----|
| 付Ⅱ-16 | トマト収穫量 | 208 |
| 付Ⅱ-17 | いちご収穫量 | 208 |
| 付Ⅱ-18 | なす収穫量 | 209 |
| 付Ⅱ-19 | 宿根カスミソウ出荷量 | 209 |
| 付Ⅱ-20 | トルコギキョウ出荷量 | 210 |
| 付Ⅱ-21 | い収穫量 | 210 |
| 付Ⅱ-22 | 葉たばこ生産量 | 211 |
| 付Ⅱ-23 | 収繭量 | 211 |
| 付Ⅱ-24 | 乳用牛飼養頭数 | 212 |
| 付Ⅱ-25 | 肉用牛飼養頭数 | 212 |
| 付Ⅱ-26 | 豚飼養頭数 | 213 |
| 付Ⅱ-27 | 農業産出額の年次別推移 | 214 |
| 付Ⅱ-28 | 市町村別農業産出額 | 216 |

第1章 農業経済及び農家経済の動向

(第1節 農業経済の動向)

I-1-(1) 県経済に占める農業の地位の推移

| 区分 | 単位 | H27 | R2 | R4 | R5 |
|--------------------|----|---------|---------|---------|---------|
| 県内総生産(実質) | 億円 | 58,225 | 61,026 | 66,040 | 67,237 |
| 農業の割合 | % | 2.6 | 2.6 | 2.1 | 2.3 |
| 土地面積 | ha | 740,935 | 740,946 | 740,939 | 740,918 |
| 農業の割合 | % | 15.4 | 14.7 | 14.3 | 14.1 |
| 就業者数 (農林水産業の割合) | % | 9.7 | 9.1 | 8.7 | 8.5 |
| 世帯数 | 戸 | 704,730 | 719,154 | 730,203 | 736,914 |
| 農業の割合 | % | 8.3 | 6.7 | - | - |
| 人口 | 千人 | 1,786 | 1,738 | 1,718 | 1,708 |
| 農業の割合 | % | 8.4 | 6.4 | - | - |

資料) 県企画振興部「県民経済計算報告書」、「熊本県推計人口調査」、農林水産省「作物統計」、
「農林業センサス」、「農業構造動態調査」、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」
※農業人口は、令和2年度以降、個人経営体の世帯員数の割合である。
就業者数は、農林水産業の就業者数。

I-1-(2) 農業経済関係の主要指標の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 農産物価格指数(全国) | R2年=100 | 82.2 | 83.7 | 90.1 | 100.0 | 102.2 | 108.6 | 117.3 |
| 農業産出額 | 億円 | 3,102 | 3,071 | 3,348 | 3,407 | 3,512 | 3,757 | 4,116 |
| 生産農業所得 | 〃 | 1,136 | 1,080 | 1,177 | 1,495 | 1,446 | 1,554 | 1,744 |
| 農家戸数 | 千戸 | 74.2 | 66.9 | 58.4 | 47.9 | - | - | - |
| 基幹的農業従事者数 | 千人 | 82.0 | 73.0 | 65.2 | 51.8 | 47.8 | 43.5 | 41.3 |
| 新規学卒就農者 | 人 | 121 | 80 | 63 | 47 | 42 | 41 | 22 |
| 耕地面積 | 千ha | 120.4 | 117.4 | 114.1 | 109.1 | 105.9 | 104.3 | 103.3 |
| 農作物作付(栽培) 延べ面積 | 〃 | 116.7 | 112.1 | 109.6 | 105.0 | 104.5 | 103.2 | 102.1 |

資料) 農林水産省「農業生産指数」、「農業物価統計調査」、「生産農業所得統計」、「農林業センサス」、
「農業構造動態調査」、「作物統計」、県農林水産部「青年農業者実態補完調査」

I-1-(3) 比較生産性の推移

| 区 分 | | 単位 | H27 | R2 | R4 | R5 |
|-------------------|-------------|----|------|------|------|------|
| 労働 生産 性 | 全 産 業 | 万円 | 481 | 490 | 512 | 520 |
| | 農 林 水 産 業 | 〃 | 150 | 162 | 149 | 168 |
| | そ の 他 産 業 | 〃 | 516 | 523 | 546 | 553 |
| | 製 造 業 | 〃 | 592 | 664 | 774 | 718 |
| 比生 産 較 性 | 農林水産業／その他産業 | % | 29.1 | 31.1 | 27.3 | 30.4 |
| | 農林水産業／製造業 | 〃 | 25.4 | 24.5 | 19.3 | 23.4 |

資料) 県企画振興部「県民経済計算報告書」

注) 労働生産性は、就業者1人当たりの純生産である。

I-1-(4) 農家所得とその他産業（製造業）給与との格差の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 農家所得(A) | 千円/戸・年 | 2,780 | 3,084 | 3,771 | 1,874 | 2,465 | 2,538 | 3,461 |
| その他産業給与(B) | 千円/戸・年 | — | — | 3,343 | 3,309 | 3,381 | 3,434 | 3,584 |
| 製造業給与(C) | 千円/戸・年 | 4,251 | 4,208 | 3,883 | 3,938 | 4,041 | 4,311 | 4,769 |
| 所得 格差 | A/B | % | — | — | 113 | 57 | 73 | 97 |
| | A/C | 〃 | 65 | 73 | 97 | 48 | 61 | 73 |

資料) 農林水産省「農業経営統計調査（営農類型別経営統計）」、県企画振興部統計調査課「熊本県の賃金・労働時間及び雇用の動き」

注) —は令和7年度時点で非公表箇所。

(第2節 農家経済の動向)

I-2-(1) 農家経済関係主要指標の推移

| 区 分 | | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------------------|---------|----------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 農業粗収益 | 計 (A) | 一戸当り・千円 | 5,183 | 6,761 | 7,947 | 10,291 | 14,951 | 15,238 | 16,501 |
| | 稲 作 | 〃 | 741 | 718 | 977 | 598 | 704 | 945 | 1,298 |
| | 野 菜 | 〃 | 1,284 | 1,661 | 2,243 | 2,777 | 4,331 | 4,287 | 4,854 |
| | 果 樹 | 〃 | 707 | 1,074 | 998 | 1,076 | 1,961 | 1,919 | 1,874 |
| | 工 芸 作 物 | 〃 | 433 | 102 | 221 | 432 | 593 | 586 | 474 |
| | 畜 産 | 〃 | 1,052 | 1,722 | 2,205 | 3,207 | 4,257 | 4,206 | 4,626 |
| 農業経営費 | 計 | 〃 | 3,590 | 4,794 | 5,712 | 8,580 | 12,738 | 13,030 | 13,804 |
| | 肥 料 | 〃 | 240 | 283 | 349 | 438 | 650 | 729 | 673 |
| | 飼 料 | 〃 | 453 | 859 | 887 | 1,223 | 1,964 | 2,033 | 2,192 |
| | 農 業 薬 剤 | 〃 | 238 | 304 | 365 | 473 | 621 | 667 | 762 |
| | 農 機 具 | 〃 | 410 | 564 | 654 | 114 | 131 | 133 | 125 |
| 農業所得 (B) | | 〃 | 1,593 | 1,967 | 2,235 | 1,711 | 2,213 | 2,208 | 2,697 |
| 農外所得 (C) | | 〃 | 1,187 | 1,117 | 1,536 | 160 | 248 | 295 | -718 |
| 農家所得 (D)=(B)+(C) | | 〃 | 2,780 | 3,084 | 3,771 | 1,871 | 2,461 | 2,503 | 1,979 |
| 租税公課諸負担 (G) | | 〃 | 562 | 596 | 697 | 251 | 363 | 365 | 389 |
| 農業依存度 (B) / (D) | | % | 57 | 64 | 59 | 91 | 90 | 88 | 136 |
| 農業所得率 (B) / (A) | | 〃 | 31 | 29 | 28 | 17 | 15 | 14 | 16 |
| 農業固定資産 | | 一戸当たり・千円 | 5,437 | 5,062 | 5,179 | 6,290 | 7,586 | 7,588 | 13,157 |
| 経営耕地面積 | | 一戸当り・a | 188 | 216 | 246 | 256 | 307 | 332 | 312 |
| 生産性 | 労 働 | 円 | 687 | 813 | 946 | 860 | 844 | 877 | 952 |
| | 土 地 | 千円 | 98 | 104 | 106 | 99 | 109 | 104 | 128 |
| | 資 本 | 円 | 338 | 443 | 500 | 404 | 440 | 456 | 524 |

資料) 農林水産省「農業経営統計調査」

注) ①農業粗収益、農業経営費の内訳は主要項目のみである。

②労働生産性は自営農業労働1時間当たり、土地生産性は耕地10a当たり、資本生産性は農業固定資産1,000円当たりの農業純生産。

③H29からの数値は、九州平均値(調査対象の見直しにより、県別データは公表されなくなった。)

④R1以降は個人経営体の数値。R4以降は個人経営体(青色申告を行っている経営体)の数値。

第2章 多彩な担い手の育成・確保（農業経営環境の変化）

（第1節 就業構造の変化）

II-1-(1) 農家人口の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 |
|-----------|----|-------|-------|-------|-------|
| 総 農 家 | 千人 | — | — | — | — |
| 販 売 農 家 | 〃 | 236.5 | 189.0 | 149.8 | 112.3 |
| 14 歳 以 下 | 〃 | 28.1 | 19.3 | 12.8 | 9.2 |
| 15 ～ 29 歳 | 〃 | 35.0 | 24.6 | 16.6 | 10.0 |
| 30 ～ 59 歳 | 〃 | 82.8 | 63.7 | 47.5 | 32.9 |
| 60 歳 以 上 | 〃 | 90.6 | 81.3 | 72.9 | 60.1 |
| 65歳以上 | 〃 | 75.3 | 66.1 | 58.4 | 49.8 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」 R7からデータなし

II-1-(2) 農業経営体数の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R7 (確) |
|---------|------|------|------|------|------|--------|
| 農業経営体数 | 千経営体 | 55.4 | 47.9 | 41.5 | 33.9 | 27.6 |
| うち個人経営体 | 千経営体 | 54.4 | 46.6 | 40.2 | 33.6 | 26.2 |
| うち法人経営体 | 千経営体 | 0.4 | 0.5 | 0.9 | 1.1 | 1.39 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」

注) 農業経営体のうち法人経営体には、農協等の団体経営体は含まれていない。

II-1-(3) 農業従事者数の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 |
|-------------|----|-------|-------|-------|------|
| 農業従事者（販売農家） | 千人 | 154.0 | 128.4 | 102.5 | 79.3 |
| う ち 男 性 | 〃 | 82.5 | 68.9 | 56.2 | 44.2 |
| 女 性 | 〃 | 71.5 | 59.5 | 46.3 | 35.1 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」 R7 からデータなし

II-1-(4) 農業専従者数の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 |
|-------------|----|------|------|------|------|
| 農業専従者（販売農家） | 千人 | 68.4 | 60.5 | 52.6 | 45.8 |
| う ち 男 性 | 〃 | 37.7 | 34.5 | 30.6 | 27.8 |
| 女 性 | 〃 | 30.6 | 26.0 | 22.0 | 17.9 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」 R7からデータなし

注) 農業専従者とは、農業従事者のうち農業従事日数が年間150日以上の方。

II-1-(5) 基幹的農業従事者数の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R7 (確) | |
|---------|-------------|------|------|------|------|--------|------|
| 販 売 農 家 | 千人 | 82.0 | 73.0 | 65.2 | 51.8 | 40.0 | |
| う ち 男 性 | 〃 | 44.7 | 41.0 | 37.2 | 30.4 | 24.9 | |
| 女 性 | 〃 | 37.3 | 32.0 | 28.0 | 21.4 | 15.1 | |
| 年 齢 別 | 2 9 歳 以 下 | 〃 | 2.4 | 1.8 | 1.5 | 1.0 | 0.8 |
| | 3 0 ～ 5 9 歳 | 〃 | 31.5 | 24.0 | 18.1 | 13.2 | 10.2 |
| | 6 0 歳 以 上 | 〃 | 48.1 | 47.3 | 45.6 | 37.6 | 29.0 |
| | 65歳以上 | 〃 | 37.8 | 37.4 | 36.7 | 31.8 | 25.0 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」

II-1-(6) 認定農業者数の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|---------|-----|--------|--------|--------|--------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|
| | | 総数 | 総数 | 総数 | 総数 | うち 県認定 | 総数 | うち 県認定 | 総数 | うち 県認定 | 総数 | うち 県認定 |
| 認定農業者数 | 経営体 | 10,298 | 11,057 | 11,131 | 10,334 | 189 | 9,906 | 487 | 9,913 | 569 | 9,709 | 643 |
| うち農業法人数 | 〃 | 276 | 476 | 736 | 1,057 | 43 | 1,098 | 106 | 1,119 | 124 | 1,146 | 142 |

資料) 県農林水産部調べ(データは年度末の数値)

注) 認定農業者数は再認定を受けていないものを含まない

注) 令和2年度から広域認定制度が開始

II-1-(7) 農業法人の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | |
|------------------|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 農事組合法人 | 法人 | 137 | 149 | 158 | 205 | 206 | 207 | 214 | 216 | |
| 株式会社 (特例有限会社) | 〃 | 337 | 389 | 388 | 382 | 369 | 371 | 374 | 373 | |
| 合資会社 | 〃 | 8 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | |
| 株式会社 | 〃 | 23 | 162 | 356 | 634 | 646 | 677 | 706 | 723 | |
| 合名会社 | 〃 | | | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | |
| 合同会社 | 〃 | | 7 | 21 | 49 | 55 | 61 | 70 | 75 | |
| 一般社団法人 | 〃 | | | 1 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | |
| 計 | 農業法人 | 〃 | 505 | 714 | 933 | 1,284 | 1,290 | 1,329 | 1,377 | 1,401 |

農業法人(「法人形態」によって農業を営む法人の総称)

資料) 県農林水産部調べ(データは、年度末の数値)

II-1-(8) 地域営農組織数の推移

| 区 分 | 単位 | H17年度 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------------------|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地域営農組織 (法人) | | 12 | 34 | 72 | 140 | 142 | 148 | 143 |
| 地域営農組織 (任意組織) | | 18 | 318 | 296 | 255 | 244 | 218 | 214 |
| 計 | 〃 | 30 | 352 | 368 | 395 | 386 | 366 | 357 |

資料) 県農林水産部調べ(データは、年度末の数値)

平成30年度調査から共同利用組織及び受託組織を除外

Ⅱ-1-(9) 青年農業者数の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 県 | 男 | 人 | 676 | 550 | 449 | 372 | 376 | 350 | 315 | 283 |
| | 女 | 〃 | 39 | 27 | 32 | 48 | 63 | 55 | 48 | 43 |
| | 計 | 〃 | 715 | 577 | 481 | 420 | 439 | 405 | 363 | 326 |
| 熊本 | 男 | 〃 | 93 | 128 | 102 | 58 | 56 | 51 | 47 | 34 |
| | 女 | 〃 | 1 | 1 | 4 | 4 | 6 | 4 | 3 | 3 |
| | 計 | 〃 | 94 | 129 | 106 | 62 | 62 | 55 | 50 | 37 |
| 宇城 | 男 | 〃 | 85 | 47 | 32 | 25 | 16 | 17 | 15 | 12 |
| | 女 | 〃 | 4 | 3 | 2 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 |
| | 計 | 〃 | 89 | 50 | 34 | 29 | 20 | 21 | 19 | 15 |
| 上益城 | 男 | 〃 | 42 | 41 | 27 | 24 | 22 | 21 | 18 | 13 |
| | 女 | 〃 | 2 | 4 | 1 | 0 | 4 | 4 | 3 | 2 |
| | 計 | 〃 | 44 | 45 | 28 | 24 | 26 | 25 | 21 | 15 |
| 菊池 | 男 | 〃 | 62 | 43 | 40 | 66 | 64 | 56 | 49 | 40 |
| | 女 | 〃 | 0 | 2 | 1 | 10 | 14 | 12 | 13 | 14 |
| | 計 | 〃 | 62 | 45 | 41 | 76 | 78 | 68 | 62 | 54 |
| 玉名 | 男 | 〃 | 62 | 54 | 40 | 43 | 38 | 33 | 32 | 33 |
| | 女 | 〃 | 12 | 2 | 2 | 6 | 9 | 7 | 7 | 6 |
| | 計 | 〃 | 74 | 56 | 42 | 49 | 47 | 40 | 39 | 39 |
| 鹿本 | 男 | 〃 | 51 | 13 | 25 | 14 | 14 | 15 | 14 | 18 |
| | 女 | 〃 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 |
| | 計 | 〃 | 52 | 13 | 27 | 14 | 14 | 17 | 16 | 18 |
| 阿蘇 | 男 | 〃 | 25 | 28 | 27 | 28 | 26 | 28 | 26 | 22 |
| | 女 | 〃 | 1 | 1 | 5 | 7 | 11 | 10 | 7 | 8 |
| | 計 | 〃 | 26 | 29 | 32 | 35 | 37 | 38 | 33 | 30 |
| 八代 | 男 | 〃 | 162 | 130 | 110 | 76 | 88 | 81 | 70 | 68 |
| | 女 | 〃 | 11 | 6 | 9 | 11 | 8 | 7 | 4 | 3 |
| | 計 | 〃 | 173 | 136 | 119 | 87 | 96 | 88 | 74 | 71 |
| 芦北 | 男 | 〃 | 4 | 5 | 8 | 3 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| | 女 | 〃 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 〃 | 4 | 5 | 10 | 4 | 5 | 2 | 2 | 2 |
| 球磨 | 男 | 〃 | 60 | 38 | 27 | 22 | 31 | 30 | 27 | 24 |
| | 女 | 〃 | 6 | 6 | 3 | 4 | 6 | 5 | 5 | 3 |
| | 計 | 〃 | 66 | 44 | 30 | 26 | 37 | 35 | 32 | 27 |
| 天草 | 男 | 〃 | 30 | 23 | 11 | 13 | 17 | 16 | 15 | 17 |
| | 女 | 〃 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 計 | 〃 | 31 | 25 | 12 | 14 | 17 | 16 | 15 | 18 |

資料) 県農林水産部、県農業会議「青年農業者・新規就農者実態補完調査」

注) 青年農業者とは16歳から25歳までの者で、年間農業従事日数150日以上の者をいう。

II-1-(10) 新規学卒就農者数の推移

| 区 分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|-------------|-------------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 合 計 | | 人 | 121 | 80 | 63 | 47 | 42 | 41 | 22 | 43 | |
| 男 女 別 | 男 | 〃 | 117 | 77 | 63 | 44 | 40 | 38 | 21 | 41 | |
| | 女 | 〃 | 4 | 3 | 0 | 3 | 2 | 3 | 1 | 2 | |
| 内 訳 | 大 学 | 農学系 | 〃 | 9 | 0 | 11 | 4 | 4 | 8 | 3 | 4 |
| | | その他 | 〃 | 7 | 3 | | | | | | |
| | 短 大 卒 | 農学系 | 〃 | 6 | 2 | 2 | 1 | 3 | 3 | 2 | 4 |
| | | その他 | 〃 | 1 | | | | | | | |
| | 県立農業大学校 | | 〃 | 31 | 29 | 19 | 18 | 22 | 10 | 8 | 22 |
| | 高 校 | 農業系 | 〃 | 27 | 12 | 9 | 8 | 4 | 6 | 5 | 4 |
| | | その他 | 〃 | 23 | 19 | 11 | 11 | 8 | 9 | 4 | 7 |
| | 研修所等 | | 〃 | 9 | 10 | 6 | 4 | 1 | 5 | 0 | 1 |
| | その他 | | 〃 | 8 | 5 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |

(参考)

| | | | | | | | | | |
|----------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新規就農者数 | 人 | 277 | 403 | 525 | 431 | 426 | 402 | 376 | 384 |
| 新規学卒就農者 | 〃 | 121 | 80 | 63 | 47 | 42 | 41 | 22 | 43 |
| Uターン就農者数 | 〃 | 135 | 164 | 124 | 120 | 95 | 93 | 89 | 86 |
| 新規参入者 | 〃 | 21 | 59 | 124 | 84 | 77 | 86 | 92 | 97 |
| 雇用就農者 | 〃 | — | 100 | 214 | 180 | 212 | 182 | 173 | 158 |

資料) 県農林水産部、県農業会議「青年農業者数実態補完調査」

注) Uターン就農者、新規参入者数は、7年は40歳以下、12年以降は64歳以下である。

注) H30以降のデータ(新規学卒・Uターン・新規参入)は実態に即して分類の精査・調整をR4年に実施

II-1-(11) 家族経営協定締結農家数の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総締結数 | 戸 | 2,387 | 3,117 | 3,703 | 3,891 | 3,991 | 3,992 | 3,878 | 3,562 | 3,578 |

資料) 農林水産省「家族経営協定締結農家数」

II-1-(12) 外国人の雇用状況の推移

| 区分 | 単位 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|------------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 外国人労働者数 | 人 | 5,159 | 6,422 | 7,743 | 10,155 | 12,345 | 12,928 | 13,013 | 14,522 | 18,226 | 21,437 | 24,076 | |
| うち技能実習生 | 人 | 2,746 | 3,456 | 4,527 | 6,295 | 7,980 | 8,500 | 7,734 | 7,846 | 9,489 | 10,758 | 11,134 | |
| うち特定技能(農業) | 人 | — | — | — | — | 10 | 102 | 283 | 658 | 848 | 1,325 | 1,381 | |
| うち農業、林業 | 人 | 1,538 | 1,951 | 2,384 | 2,966 | 3,424 | 3,585 | 3,465 | 3,828 | 4,616 | 5,167 | 5,471 | |
| (国籍別の内訳) | 中国 | 人 | 724 | 730 | 688 | 747 | 718 | 701 | 590 | 479 | 412 | 307 | 257 |
| | ベトナム | 人 | 528 | 854 | 1,153 | 1,455 | 1,692 | 1,809 | 1,668 | 1,637 | 1,570 | 1,505 | 1,406 |
| | フィリピン | 人 | 203 | 231 | 336 | 483 | 598 | 615 | 609 | 713 | 1,019 | 1,258 | 1,412 |
| | インドネシア | 人 | — | — | — | 5 | 28 | 50 | 98 | 271 | 564 | 816 | 1,056 |
| | 韓国 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| | ブラジル | 人 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 |
| | その他 | 人 | 81 | 135 | 206 | 275 | 386 | 408 | 498 | 724 | 1,048 | 1,278 | 1,339 |

資料) 熊本労働局「外国人雇用状況」の届出状況集計結果 毎年10月末時点

II-1-(13) 地域(公共職業安定所)別外国人労働者(農業、林業)の推移

| 区分 | 単位 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 熊本県計 | 人 | 1,538 | 1,951 | 2,384 | 2,966 | 3,424 | 3,585 | 3,465 | 3,828 | 4,616 | 5,167 | 5,471 |
| 熊本 ※上益城含 | 人 | 99 | 103 | 136 | 199 | 232 | 250 | 260 | 286 | 349 | 422 | 438 |
| 八代 | 人 | 796 | 994 | 1,146 | 1,510 | 1,676 | 1,706 | 1,693 | 1,822 | 2,302 | 2,607 | 2,789 |
| 菊池 ※鹿本含 | 人 | 93 | 124 | 136 | 158 | 209 | 215 | 217 | 251 | 348 | 417 | 492 |
| 玉名 | 人 | 298 | 408 | 528 | 614 | 737 | 836 | 719 | 803 | 859 | 918 | 892 |
| 天草 | 人 | 0 | 2 | 5 | 14 | 12 | 10 | 16 | 22 | 37 | 37 | 39 |
| 球磨 | 人 | 11 | 13 | 15 | 16 | 14 | 11 | 16 | 23 | 30 | 23 | 29 |
| 宇城 | 人 | 120 | 172 | 239 | 251 | 275 | 310 | 288 | 334 | 392 | 416 | 431 |
| 阿蘇 | 人 | 121 | 135 | 177 | 202 | 267 | 245 | 256 | 285 | 297 | 325 | 357 |
| 水俣 | 人 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 2 | 4 |
| (参考) うち技能実習生 | 人 | 1,490 | 1,911 | 2,344 | 2,918 | 3,359 | 3,428 | 3,090 | 3,131 | 3,615 | 3,878 | 3,892 |
| (参考)うち 特定技能(農業) | 人 | — | — | — | — | 10 | 102 | 283 | 658 | 848 | 1,325 | 1,381 |

資料) 熊本労働局「外国人雇用状況」の届出状況集計結果 毎年10月末時点

(第2節 経営構造の変化)

II-2-(1) 専兼業別農家戸数の推移

| 区 分 | H17 | H22 | H27 | R2 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 総農家戸数 | 74,240 | 66,869 | 58,414 | 47,879 |
| 販売農家 | 54,298 | 46,480 | 40,103 | 32,529 |
| 専業農家 | 17,662 | 17,620 | 16,927 | - |
| 兼業農家 | 36,636 | 28,860 | 23,176 | - |
| 第1種兼業 | 10,608 | 7,779 | 6,277 | - |
| 第2種兼業 | 26,028 | 21,081 | 16,899 | - |
| 自給的農家 | 19,942 | 20,389 | 18,311 | 15,350 |

(参考)

| 区 分 | H17 | H22 | H27 | R2 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 総農家戸数 | 74,240 | 66,869 | 58,414 | 47,966 |
| 販売農家 | 54,298 | 46,480 | 40,103 | 32,616 |
| 主業農家 | 19,869 | 16,293 | 13,836 | 10,812 |
| 準主業農家 | 10,443 | 9,281 | 6,721 | 3,731 |
| 副業的農家 | 23,986 | 20,906 | 19,546 | 18,073 |
| 自給的農家 | 19,942 | 20,389 | 18,311 | 15,350 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」 R7からデータなし

II-2-(2) 経営耕地規模別経営体数の推移 (農業経営体)

| 項目 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R7(確定値) |
|----------|-----|--------|--------|--------|--------|---------|
| 農業経営体 | 経営体 | 55,423 | 47,854 | 41,482 | 33,952 | 27,619 |
| 1ha未満 | 〃 | 26,022 | 22,433 | 18,474 | 15,013 | 11,404 |
| 1～3ha | 〃 | 23,392 | 19,568 | 17,051 | 13,243 | 10,865 |
| 3～5ha | 〃 | 4,172 | 3,676 | 3,517 | 3,071 | 2,649 |
| 5～10ha | 〃 | 1,538 | 1,600 | 1,753 | 1,790 | 1,744 |
| 10～20ha | 〃 | 208 | 368 | 438 | 539 | 634 |
| 20～30ha | 〃 | 40 | 98 | 121 | 126 | 159 |
| 30～50ha | 〃 | 17 | 66 | 73 | 90 | 99 |
| 50～100ha | 〃 | 24 | 32 | 40 | 55 | 45 |
| 100ha以上 | 〃 | 10 | 13 | 15 | 25 | 20 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」

Ⅱ-2-(3) 経営組織別農業経営体数の推移（農業経営体）

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R7 |
|---------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経営体数 | 経営体 | 48,552 | 43,184 | 37,928 | 31,483 | 25,906 |
| 単一経営農家 | " | 33,973 | 30,871 | 28,073 | 24,413 | 20,064 |
| 稲 | 作 | 16,673 | 14,923 | 12,603 | 10,706 | 8,822 |
| 工芸作物 | " | 1,360 | 986 | 717 | 555 | 335 |
| 施設野菜 | " | 4,998 | 4,548 | 4,351 | 3,919 | 3,296 |
| 露地野菜 | " | 1,341 | 1,600 | 1,596 | 1,525 | 1,068 |
| 花き・花木 | " | 921 | 799 | 703 | 595 | 488 |
| 果樹類 | " | 5,696 | 5,197 | 5,010 | 4,369 | 3,804 |
| 畜産 | " | 2,150 | 2,040 | 1,934 | 1,799 | 1,366 |
| 養蚕 | " | 5 | 1 | 1 | - | - |
| その他 | " | 829 | 777 | 1,158 | 945 | 885 |
| 複合経営農家 | " | 14,579 | 12,313 | 9,855 | 7,070 | 5,842 |
| 準単一経営農家 | " | 11,107 | 2,786 | 2,054 | 5,208 | 4,287 |

資料) 農林水産省「農林業センサス」

注) 単一経営農家とは農産物の販売収入1位の部門の販売額が総販売額の80%以上を占めるもの、複合経営農家とは、同割合が80%未満であるものをいう。

準単一複合経営農家とは複合経営のうち、同割合が60~80%を占めるものをいう。

(第3節 耕地及び地価の動向)

II-3-(1) 耕地面積の推移

| 区 分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | | |
|--------|-----------------|------------|--------------------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 中 田 | 都市計画法 未線引市町村 | 農用地区域内 | 10 ^a 当り 万円 | 126.5 | 114.3 | 101.2 | 84.8 | 80.6 | 79.2 | 76.5 | 75.7 | |
| | 都市計画法 線引市町村 | 農用地 区域内 | 市街化 調整区域 | " | 354.3 | 300.2 | 193.3 | 181.3 | 171.0 | 166.6 | 136.7 | 122.3 |
| | | | 市街化 調整区域 | " | 429.1 | 432.0 | 273.6 | 266.8 | 245.9 | 239.1 | 201.8 | 179.9 |
| | | 農用地 区域外 | 市街化 区 域 | " | 1843.1 | 1,680.0 | 1,129.1 | 1,114.9 | 1,110.4 | 1,110.3 | 1,110.3 | 1,182.7 |
| 中 畑 | 都市計画法 未線引市町村 | 農用地区域内 | " | 83.0 | 72.0 | 63.0 | 54.8 | 51.9 | 51.1 | 49.9 | 49.7 | |
| | 都市計画法 線引市町村 | 農用地 区域内 | 市街化 調整区域 | " | 349.3 | 311.7 | 196.0 | 187.4 | 178.5 | 174.0 | 134.0 | 112.3 |
| | | | 市街化 調整区域 | " | 418.3 | 441.4 | 283.8 | 271.0 | 261.1 | 256.3 | 198.2 | 165.1 |
| | | 農用地 区域外 | 市街化 区 域 | " | 1,668.9 | 1,601.4 | 975.5 | 969.0 | 969.0 | 968.8 | 968.5 | 956.2 |

資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

II-3-(2) 作付面積及び耕地利用率の推移 (田畑合計)

| 区分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 作 付 面 積 | 計 | 千ha | 116.7 | 112.1 | 109.6 | 105.0 | 104.5 | 103.2 | 102.1 |
| | 稲 | " | 42.7 | 39.5 | 35.6 | 33.3 | 31.3 | 30.0 | 29.7 |
| | 麦類 | " | 6.7 | 6.3 | 6.7 | 7.2 | 7.9 | 8.3 | 8.5 |
| | 大豆 | " | — | — | — | 2.4 | 2.7 | 2.7 | 2.6 |
| | そば | " | — | — | — | 0.7 | 0.7 | 0.6 | 0.7 |
| | なたね | " | — | — | — | 0.04 | 0.37 | 0.04 | 0.03 |
| | その他 | " | 67.3 | 66.4 | 67.2 | 61.4 | 61.9 | 61.6 | 60.7 |
| 耕地面積 | " | 120.4 | 117.4 | 114.1 | 109.1 | 105.9 | 104.3 | 103.3 | |
| 耕地利用率 | % | 96.9 | 95.5 | 96.1 | 96.2 | 98.7 | 98.9 | 98.8 | |

資料) 農林水産省「農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率」、「耕地面積(7月15日現在)」

注1) H28までの「その他作物」は、雑穀・豆類(そば及びそれ以外の雑穀、大豆、小豆、いんげん、らっかせい及びそれ以外の豆類の乾燥子実用を含む)、野菜(とうもろこし、えんどう、そらまめ、大豆、いんげん等の未成熟用、ばれいしょを含む。)、かんしょ、果樹、工芸作物、飼肥料作物、桑、花き、花木、種苗等。H28までの品目は主なものを記載しているため、合計値は一致しない。III-1-(2)(果樹を除く)、(3)も同じ。

注2) R1からの「稲」は水稲、「その他作物」は、陸稲、かんしょ、小豆、いんげん、らっかせい、果樹、茶、野菜、花き、飼料作物等。

Ⅱ-3-(3) 作付面積及び耕地利用率の推移（田）

| 区分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 作付面積 | 計 | 千ha | 77.1 | 74.7 | 75.5 | 73.4 | 74.0 | 73.6 | 73.0 |
| | 稲 | 〃 | 42.6 | 39.5 | 35.6 | 33.3 | 31.3 | 30.0 | 29.7 |
| | 麦類 | 〃 | 6.4 | 6.0 | 6.3 | 6.8 | 7.6 | 7.9 | 8.1 |
| | 大豆 | 〃 | — | — | — | 2.1 | 2.3 | 2.4 | 2.3 |
| | そば | 〃 | — | — | — | 0.4 | 0.4 | 0.4 | 0.4 |
| | その他 | 〃 | 28.1 | 29.2 | 33.6 | 30.8 | 32.4 | 33.0 | 32.5 |
| 耕地（田）面積 | | 〃 | 72.3 | 71.1 | 70.0 | 67.1 | 64.9 | 64.0 | 63.8 |
| 耕地利用率 | | % | 106.6 | 105.1 | 107.9 | 109.4 | 114.0 | 115.0 | 114.4 |

資料）農林水産省「農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率」、「耕地面積（7月15日現在）」
注）果樹を除く。果樹は畑作として計上。

Ⅱ-3-(4) 作付面積及び耕地利用率の推移（畑）

| 区分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 作付面積 | 計 | 千ha | 39.6 | 37.5 | 34.1 | 31.6 | 30.5 | 29.6 | 29.1 |
| | 稲 | 〃 | 0.1 | 0.05 | 0.04 | — | — | — | — |
| | 麦類 | 〃 | 0.3 | 0.3 | x | x | 0.4 | 0.4 | 0.4 |
| | 大豆 | 〃 | — | — | — | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |
| | そば | 〃 | — | — | — | 0.2 | 0.3 | 0.2 | 0.2 |
| | その他 | 〃 | 38.0 | 36.1 | 32.6 | 30.6 | 29.6 | 28.7 | 28.1 |
| 耕地（畑）面積 | | 〃 | 48.1 | 46.3 | 44.1 | 42.0 | 41.0 | 40.3 | 39.5 |
| 耕地利用率 | | % | 82.3 | 81.0 | 77.3 | 75.2 | 74.4 | 73.4 | 73.7 |

資料）農林水産省「農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率」、「耕地面積（7月15日現在）」
注）H27、R2の麦類については、秘匿措置が講じられている。

Ⅱ-3-(5) 耕作放棄地面積の推移

| 区分 | 単位 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|-------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 再生利用が可能な荒廃農地 | ha | 4,560 | 3,635 | 3,755 | 3,402 | 3,532 | 3,561 | 3,172 | 3,849 | 4,039 | 3,949 |
| 再生利用が困難と見込まれる荒廃農地 | ha | 5,037 | 5,672 | 5,581 | 5,602 | 5,892 | 5,999 | 6,106 | 8,072 | 8,031 | 7,576 |
| 計 | ha | 9,598 | 9,307 | 9,337 | 9,003 | 9,424 | 9,559 | 9,278 | 11,921 | 12,070 | 11,525 |

資料）農林水産省「（遊休農地に関する措置の状況に関する調査）」
注）四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

II-3-(6) 耕地拡張面積の推移

| 区 分 | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 田 | ha | - | - | 10 | 218 | 285 | 241 | 242 | 235 |
| 畑 | ha | 15 | 14 | 20 | 122 | 207 | 403 | 188 | 642 |
| 合 計 | ha | 15 | 14 | 30 | 289 | 396 | 538 | 413 | 551 |

資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注) 「令和7年耕作面積(7月15日現在)」(農林水産省)

※田畑計には、田畑転換の数値は計上していない。これは、田畑転換が耕地内の田から畑、畑から田への転換であるため、田畑計の実質的な拡張及びかい廃面積とはならないからである。

II-3-(7) 耕地かい廃面積の推移

| 区 分 | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田 | ha | 241 | 139 | 267 | 1,280 | 1,540 | 1,060 | 242 | 874 |
| 畑 | ha | 499 | 267 | 613 | 667 | 571 | 1,120 | 1,010 | 663 |
| 合 計 | ha | 740 | 406 | 880 | 1,947 | 2,111 | 2,180 | 1,460 | 1,210 |

資料) 農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注) 「令和7年耕作面積(7月15日現在)」(農林水産省)

II-3-(8) 用途別農地転用実績の推移

| 区 分 | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|---------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 住 宅 用 地 | ha | 104.1 | 86.1 | 64.1 | 69.5 | 89.4 | 89.9 | 96.4 |
| 工 鉱 業 用 地 | 〃 | 6.5 | 5.0 | 2.8 | 3.6 | 24.5 | 8.3 | 32.1 |
| 学 校 用 地 | 〃 | 3.7 | 1.5 | 4.5 | 0.6 | 3.4 | 2.9 | 0.7 |
| 公 園 ・ 運 動 場 用 地 | 〃 | 2.7 | 1.0 | 1.0 | 1.2 | 0.8 | 0.1 | 1.0 |
| 道 水 路 鉄 道 用 地 | 〃 | 15.4 | 10.6 | 0.2 | 0.2 | 0.7 | 0.4 | 0.2 |
| そ の 他 の 建 物 施 設 用 地 | 〃 | 158.1 | 102.2 | 125.4 | 121.4 | 133.6 | 125.1 | 158.7 |
| 植 林 | 〃 | 52.9 | 33.4 | 27.6 | 19.1 | 22.9 | 21.6 | 18.1 |
| そ の 他 ・ 不 明 | 〃 | 14.9 | 1.5 | 3.4 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 |
| 合 計 | 〃 | 358.3 | 236.5 | 229.0 | 215.7 | 275.4 | 248.3 | 307.2 |

資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

II-3-(9) 田畑売買価格の推移

| 区 分 | | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | | |
|-----|-----------------|------------|-------------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 中 田 | 都市計画法 未線引市町村 | 農用地区域内 | 10a当り 万円 | 126.5 | 114.3 | 101.2 | 84.8 | 80.6 | 79.2 | 76.5 | 75.7 | |
| | | 農用地 区域内 | 市街化 調整区域 | " | 354.3 | 300.2 | 193.3 | 181.3 | 171.0 | 166.6 | 136.7 | 122.3 |
| | 都市計画法 線引市町村 | 農用地 区域外 | 市街化 調整区域 | " | 429.1 | 432.0 | 273.6 | 266.8 | 245.9 | 239.1 | 201.8 | 179.9 |
| | | | 市街化 区 域 | " | 1843.1 | 1,680.0 | 1,129.1 | 1,114.9 | 1,110.4 | 1,110.3 | 1,110.3 | 1,182.7 |
| 中 畑 | 都市計画法 未線引市町村 | 農用地区域内 | " | 83.0 | 72.0 | 63.0 | 54.8 | 51.9 | 51.1 | 49.9 | 49.7 | |
| | | 農用地 区域内 | 市街化 調整区域 | " | 349.3 | 311.7 | 196.0 | 187.4 | 178.5 | 174.0 | 134.0 | 112.3 |
| | 都市計画法 線引市町村 | 農用地 区域外 | 市街化 調整区域 | " | 418.3 | 441.4 | 283.8 | 271.0 | 261.1 | 256.3 | 198.2 | 165.1 |
| | | | 市街化 区 域 | " | 1,668.9 | 1,601.4 | 975.5 | 969.0 | 969.0 | 968.8 | 968.5 | 956.2 |

資料) 県農業会議「田・畑売買価格等に関する調査」

注) 自作地を自作地として売買される場合の価格である。

II-3-(10) 耕地目的の農地の権利移動の推移

| 区 分 | | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | | |
|-----------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 農 地 法 | 所有権移転 | 自作地 | 有 償 | ha | 318 | 213 | 155 | 222 | 240 | 212 |
| | | | 無 償 | " | 371 | 451 | 379 | 242 | 190 | 246 |
| | | 小作地 | " | 1 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 | |
| | 賃借権 | 設定 | 移 転 | " | 67 | 119 | 79 | 86 | 0 | 39 |
| | | | 移 転 | " | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 使用貸借による権利 | 設定 | 移 転 | " | 603 | 452 | 279 | 152 | 55 | 53 |
| | | | 移 転 | " | 6 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| | そ の 他 | | " | 1 | 2 | 1 | 4 | 2 | 3 | |
| | 合 計 | | " | 1,367 | 1,239 | 899 | 708 | 595 | 555 | |
| | 基 盤 強 化 促 進 法 | 所有権移転 | 自作地 | 有 償 | " | 177 | 178 | 169 | 284 | 258 |
| 無 償 | | | | " | 1 | 0 | 10 | 5 | 2 | 10 |
| 小作地 | | | " | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 賃借権 | | 設定 | 移 転 | " | 1,384 | 1,883 | 3,695 | 3,905 | 2,552 | 2,666 |
| | | | 移 転 | " | 16 | 23 | 14 | 11 | 0 | 2 |
| 使用貸借による権利 | | 設定 | 移 転 | " | 272 | 587 | 848 | 1,285 | 671 | 682 |
| | | | 移 転 | " | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| そ の 他 | | " | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 合 計 | | " | 1,852 | 2,676 | 4,741 | 5,489 | 5,052 | 3,713 | | |
| 合 計 | | 所有権移転 | 自作地 | 有 償 | " | 494 | 391 | 325 | 506 | 498 |
| | 無 償 | | | " | 371 | 452 | 389 | 247 | 192 | 256 |
| | 小作地 | | " | 3 | 2 | 3 | 0 | 1 | 1 | |
| | 賃借権 | 設定 | 移 転 | " | 1,451 | 2,002 | 3,774 | 3,991 | 2,552 | 2,705 |
| | | | 移 転 | " | 17 | 23 | 14 | 11 | 0 | 2 |
| | 使用貸借による権利 | 設定 | 移 転 | " | 875 | 1,040 | 1,127 | 1,436 | 726 | 734 |
| | | | 移 転 | " | 7 | 1 | 6 | 2 | 0 | 0 |
| | そ の 他 | | " | 1 | 2 | 1 | 4 | 2 | 3 | |
| | 合 計 | | " | 3,220 | 3,915 | 5,640 | 6,197 | 5,647 | 4,268 | |

資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

注) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

II-3-(11) 農業経営基盤強化促進法による農地の権利移動の推移

| 項 目 | | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | |
|------------------|-----|-----|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 所有権移転 (自作地有償) | 件 数 | 件 | 484 | 486 | 485 | 787 | 814 | 948 | |
| | 面積 | 田 | ha | 127 | 101 | 124 | 167 | 187 | 255 |
| | | 畑 | 〃 | 49 | 77 | 46 | 117 | 71 | 98 |
| | | 計 | 〃 | 177 | 178 | 169 | 284 | 258 | 353 |
| 賃借権設定 | 件 数 | 件 | 4,233 | 5,554 | 8,925 | 10,408 | 7,108 | 7,107 | |
| | 面積 | 田 | ha | 1,088 | 1,469 | 3,074 | 2,721 | 2,039 | 2,179 |
| | | 畑 | 〃 | 296 | 386 | 622 | 1,184 | 512 | 487 |
| | | 計 | 〃 | 1,384 | 1,855 | 3,695 | 3,905 | 2,552 | 2,666 |
| 使用貸借による 権利設定 | 件 数 | 件 | 528 | 1,099 | 1,454 | 2,136 | 1,222 | 1,181 | |
| | 面積 | 田 | ha | 163 | 344 | 561 | 882 | 477 | 456 |
| | | 畑 | 〃 | 109 | 243 | 287 | 402 | 194 | 226 |
| | | 計 | 〃 | 272 | 587 | 848 | 1,285 | 671 | 682 |
| 合 計 | 件 数 | 件 | 5,245 | 7,139 | 10,864 | 13,331 | 9,144 | 9,236 | |
| | 面 積 | ha | 1,833 | 2,620 | 4,713 | 5,473 | 3,481 | 3,701 | |

資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

注) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

II-3-(12) 期間別賃借権設定面積の推移

| 設定期間 | 単 位 | 実 数 (ha) | | | | | | 構 成 比 (%) | | | | | |
|-------|-----|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|------|------|------|------|
| | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 |
| 1年未満 | ha | 3 | 90 | 11 | 22 | 8 | 11 | 0.2 | 6.5 | 0.3 | 0.6 | 0.3 | 0.4 |
| 1～3 | 〃 | 43 | 339 | 122 | 150 | 97 | 84 | 3.1 | 24.5 | 3.3 | 3.8 | 3.8 | 3.2 |
| 3～6 | 〃 | 875 | 894 | 1,879 | 2,154 | 1,439 | 1,532 | 63.2 | 64.6 | 50.8 | 55.2 | 56.4 | 57.5 |
| 6～10 | 〃 | 132 | 463 | 83 | 159 | 60 | 83 | 9.5 | 33.5 | 2.2 | 4.1 | 2.4 | 3.1 |
| 10年以上 | 〃 | 331 | 97 | 1,601 | 1,420 | 947 | 956 | 23.9 | 7.0 | 43.3 | 36.4 | 37.1 | 35.8 |
| 計 | 〃 | 1,384 | 1,883 | 3,695 | 3,905 | 2,552 | 2,666 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

資料) 県農林水産部「農地権利移動・借賃等調査」

注) 農業経営基盤強化促進法による賃借権設定。四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。

(第4節 農業投資及び金融の動向)

II-4-(1) 農業制度資金貸付実績の推移

(単位:百万円)

| 種類 | 年度 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 農業近代化資金 | | 2,270 | 2,156 | 2,241 | 4,311 | 3,733 | 2,859 | 3,021 | 4,155 |
| 農業改良資金 | | 120 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 就農支援資金 | | 255 | 154 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 負債整理資金 | | 218 | 1,233 | 185 | 610 | 75 | 0 | 54 | 122 |
| 農業経営負担軽減支援資金 | | 156 | 460 | 26 | 24 | 12 | 0 | 54 | 0 |
| 大家畜・養豚特別支援資金 | | 62 | 0 | 77 | 60 | 45 | 0 | 0 | 61 |
| 酪農・肉用牛担い手緊急支援資金 | | - | - | - | - | - | - | - | 61 |
| 畜産経営体質強化支援資金 | | - | - | - | 526 | 18 | 0 | 0 | 0 |
| 畜産経営改善緊急支援資金 | | - | - | 82 | - | - | - | - | - |
| 畜産経営維持緊急資金 | | - | 773 | - | - | - | - | - | - |
| 災害等対策資金 | | 0 | 527 | 224 | 1,881 | 710 | 0 | 0 | 259 |
| その他資金 | | 76 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 2,939 | 4,070 | 2,650 | 6,802 | 4,518 | 2,859 | 3,075 | 4,536 |

資料) 県農林水産部調べ

- 注) 1 農業改良資金は、H22年10月から公庫に移管。
 2 就農支援資金は、H26年10月から公庫に移管(青年等就農資金)。
 3 農業負担軽減資金は、H12年度までは農家負担軽減支援特別資金という名称。
 4 大家畜・養豚特別資金は、H9年度までは大家畜経営改善支援資金、H12年度までは大家畜経営活性化資金という名称。
 5 災害等対策資金は、家畜疾病緊急資金(H22年度)、平成24年7月大水害対策資金(H24年度)、鳥インフルエンザ対策経営安定資金(H26年度)、豚流行性下痢対策経営安定資金(H26-27年度)、みかん価格下落対策経営安定資金(H26-27年度)、阿蘇火山活動等降灰対策資金(H26-27年度)、平成27年台風被害対策資金(H27年度)、新型コロナウイルス対策緊急支援資金、新型コロナウイルスSN資金、令和2年7月豪雨被害対策緊急支援資金、農林漁業災害対策資金。
 6 災害等対策資金は、既存資金への上乗せ資金も計上。
 7 その他資金は、中山間地域活性化資金及び地産地消農産加工等推進資金。
 8 百万円未満は端数調整のため、合計が一致しない場合がある。

第3章 農産物の生産、流通及び価格の動向

(第1節 生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-1-(1) 農産物価格指数の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 農産物総合 | R2年 = 100 | 82.2 | 83.7 | 90.1 | 100.0 | 102.2 | 108.6 | 117.3 |
| 米 | | 93.2 | 87.6 | 77.6 | 100.0 | 82.0 | 90.2 | 114.5 |
| 野菜 | | 79.6 | 91.6 | 101.1 | 100.0 | 106.2 | 113.3 | 127.7 |
| 果 菜 | | 75.3 | 83.2 | 95.0 | 100.0 | 98.4 | 106.6 | 120.4 |
| 葉 茎 菜 | | 88.8 | 102.4 | 109.1 | 100.0 | 115.5 | 118.4 | 135.9 |
| 根 菜 | | 75.1 | 92.6 | 100.5 | 100.0 | 105.3 | 118.3 | 128.2 |
| 果 実 | | 59.7 | 71.3 | 75.1 | 100.0 | 101.4 | 105.3 | 124.9 |
| 花 き 類 | | 97.5 | 96.0 | 98.9 | 100.0 | 117.2 | 119.1 | 126.1 |
| 工 芸 作 物 | | 128.4 | 107.2 | 105.3 | 100.0 | 113.1 | 111.7 | 115.4 |
| 畜 産 | | 77.5 | 77.3 | 98.0 | 100.0 | 105.3 | 113.4 | 110.6 |
| 鶏 卵 | | 100.1 | 99.1 | 123.0 | 100.0 | 128.7 | 178.9 | 139.2 |
| 生 乳 | | 76.3 | 83.2 | 94.3 | 100.0 | 99.9 | 109.9 | 117.0 |
| 肉 畜 | | 83.8 | 80.4 | 103.0 | 100.0 | 106.7 | 108.6 | 111.9 |
| 子 畜 | | 63.6 | 55.6 | 92.5 | 100.0 | 88.7 | 75.8 | 75.3 |

資料) 農林水産省「農業物価指数」

注1) 主要作目のみ掲載した。

注2) R2年の数値を100とした。

Ⅲ-1-(2) 農業産出額及び生産農業所得の推移

| 区 分 | | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|-----------------------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 農 業 産 出 額 | 耕 | 米 | 百万円 | 44,800 | 35,100 | 36,000 | 36,100 | 27,700 | 32,800 | 54,500 |
| | | 麦 類 | " | 3,000 | 600 | 600 | 700 | 900 | 800 | 400 |
| | | 雑穀・豆類 | " | 1,000 | 800 | 600 | 700 | 700 | 700 | 400 |
| | | い も 類 | " | 5,000 | 5,400 | 5,500 | 5,600 | 6,200 | 6,100 | 6,600 |
| | | 野 菜 | " | 96,100 | 111,300 | 127,300 | 121,100 | 124,800 | 136,500 | 150,800 |
| | | 果 実 | " | 31,800 | 32,300 | 26,300 | 33,800 | 36,200 | 39,100 | 41,900 |
| | | 花 き 類 | " | 10,400 | 9,800 | 10,600 | 8,600 | 10,700 | 11,700 | 12,300 |
| | 種 | 工 芸 作 物 | " | 17,100 | 11,500 | 9,600 | 7,900 | 7,300 | 7,600 | 6,700 |
| | | い | " | 5,300 | 2,800 | 2,500 | 1,700 | 1,800 | 2,000 | 1,700 |
| | | 茶（生葉） | " | 2,000 | 1,400 | 800 | 700 | 700 | 800 | 800 |
| | | 葉たばこ | " | 9,800 | 7,200 | 6,100 | 5,000 | 4,300 | 4,200 | 3,900 |
| | | そ の 他 | " | 4,000 | 3,700 | 4,000 | 4,100 | 2,500 | 1,500 | 1,600 |
| | 計 | " | 213,200 | 210,500 | 220,500 | 218,600 | 217,000 | 236,800 | 275,200 | |
| | 畜 産 | 肉 用 牛 | " | 30,000 | 30,700 | 37,600 | 40,000 | 45,200 | 43,500 | 42,000 |
| | | 乳 用 牛 | " | 27,800 | 26,100 | 30,000 | 33,900 | 33,200 | 35,200 | 37,100 |
| | | 豚 | " | 17,800 | 16,600 | 20,900 | 22,700 | 26,500 | 26,500 | 29,400 |
| | | 鶏 | " | 14,100 | 16,700 | 19,600 | 19,600 | 23,800 | 28,500 | 23,200 |
| そ の 他 | | " | 2,400 | 3,400 | 3,400 | 3,000 | 3,600 | 3,400 | 3,000 | |
| 計 | " | 92,100 | 93,500 | 111,500 | 119,200 | 132,300 | 137,100 | 134,700 | | |
| 額 | 加 工 農 産 物 | " | 4,900 | 3,100 | 2,800 | 2,900 | 1,900 | 1,800 | 1,800 | |
| | 量 表 | " | 5,000 | 2,700 | 2,300 | 2,500 | 1,500 | 1,300 | 1,300 | |
| 合 計 | " | 310,200 | 307,100 | 334,800 | 340,700 | 351,200 | 375,700 | 411,600 | | |
| 生 産 農 業 所 得 | " | 113,600 | 108,000 | 117,700 | 149,500 | 144,600 | 155,400 | 174,400 | | |
| 生 産 農 業 所 得 率 | % | 36.6 | 35.2 | 35.2 | 43.9 | 41.2 | 41.4 | 42.4 | | |

資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

注1) 平成13年の生産農業所得から農林水産省の公表単位は億円単位。

注2) 平成19年から水田・畑作経営所得安定対策の導入により、これまで麦類、大豆等の産出額に含まれていた交付金の一部は過去の生産実績に対する交付金として生産農業所得に計上することになった。

(第2節 気象の動向と農林水産業気象災害の発生状況)

Ⅲ-2-(1) 熊本地方の気象推移

(温度:℃、降水量:mm、日照時間:時間)

| | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 平均・計 |
|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| 平均気温 | H17 | 5.4 | 6.1 | 9.2 | 16.6 | 20.9 | 25.5 | 27.7 | 28.3 | 26.8 | 20.8 | 13.6 | 4.7 | 17.1 |
| | H22 | 5.8 | 9.5 | 11.3 | 14.8 | 20 | 23.8 | 27.3 | 29.6 | 26.2 | 20 | 12.5 | 8 | 17.4 |
| | H27 | 6.6 | 6.8 | 10.9 | 17.1 | 21.2 | 22.4 | 26.2 | 27.4 | 23.9 | 18.7 | 16 | 9.5 | 17.2 |
| | R2 | 8.8 | 8.9 | 12.2 | 14.1 | 21.3 | 24.9 | 25.8 | 29.7 | 24.7 | 19.3 | 14.5 | 6.9 | 17.6 |
| | R4 | 6.1 | 5.6 | 12.6 | 17.1 | 20.7 | 24.6 | 28.4 | 29.1 | 26.4 | 19.6 | 15.8 | 6.4 | 17.7 |
| | R5 | 6.2 | 8.5 | 13.6 | 17 | 20.8 | 24.2 | 28.2 | 29.3 | 27.2 | 19.1 | 14.1 | 8.8 | 18.1 |
| | R6 | 7.3 | 10.5 | 11.8 | 18.5 | 20.9 | 24.1 | 28.9 | 30.6 | 29 | 22.4 | 15.6 | 7.7 | 18.9 |
| | R7 | 5.8 | 5.2 | 12 | 16.2 | 20.1 | 25.2 | 29.7 | 29.2 | 28 | 23 | 13.9 | 9.2 | 18.1 |
| | 平年 | 6 | 7.4 | 10.9 | 15.8 | 20.5 | 23.7 | 27.5 | 28.4 | 25.2 | 19.6 | 13.5 | 8 | 17.2 |
| | 降水量 | H17 | 48 | 99.5 | 128 | 92 | 135 | 92.5 | 365 | 73 | 147 | 41 | 72.5 | 31 |
| H22 | | 47.5 | 192 | 176.5 | 225.5 | 284.5 | 401 | 362 | 58 | 118 | 85 | 29 | 93.5 | 2,072.5 |
| H27 | | 99.5 | 33.5 | 186 | 10.5 | 131 | 628 | 135.5 | 61 | 64.5 | 45.5 | 515.5 | 32 | 2,292.0 |
| R2 | | 77.5 | 135.5 | 104.5 | 64 | 230 | 516 | 847.5 | 103.5 | 211 | 79 | 77.5 | 21.5 | 2,467.5 |
| R4 | | 58 | 17.5 | 139.5 | 220 | 105.5 | 237.5 | 283.5 | 195.5 | 144.5 | 40.5 | 32.5 | 27.5 | 1,502.0 |
| R5 | | 91.5 | 72 | 122 | 236 | 194 | 262.5 | 507.5 | 143.5 | 49.5 | 23.5 | 51 | 48.5 | 1,801.5 |
| R6 | | 20 | 181.5 | 310 | 204.5 | 266 | 429.5 | 300.5 | 282 | 139.5 | 143 | 144.5 | 6 | 2,427.0 |
| R7 | | 18.5 | 29.0 | 124.0 | 68.5 | 320.5 | 432.0 | 108.5 | 704.5 | 112.0 | 30.5 | 23.5 | 26.5 | 1,998.0 |
| 平年 | | 57.2 | 83.2 | 124.8 | 144.9 | 160.9 | 448.5 | 386.8 | 195.4 | 172.6 | 87.1 | 84.4 | 61.2 | 2,007.0 |
| 日照時間 | | H17 | 100.2 | 100 | 158 | 216.8 | 229 | 203.1 | 152.3 | 195.5 | 200.9 | 192.9 | 168 | 140.7 |
| | H22 | 132.2 | 131.9 | 131.9 | 156.8 | 208.2 | 121.2 | 154.8 | 208.6 | 185.1 | 134.3 | 193.6 | 127.5 | 1,886.1 |
| | H27 | 143 | 120.5 | 182.1 | 144 | 199.5 | 82.6 | 134.6 | 186.3 | 180.5 | 236.8 | 110.1 | 147.3 | 1,867.3 |
| | R2 | 108.1 | 156.5 | 170.1 | 230.7 | 208.6 | 143.4 | 108.5 | 263.2 | 148.8 | 233.3 | 170.1 | 189.3 | 2,130.6 |
| | R4 | 175.6 | 144.8 | 167.6 | 212.4 | 182.2 | 181.4 | 165.4 | 222.6 | 160 | 221.1 | 182.7 | 139 | 2,154.8 |
| | R5 | 146.1 | 136.2 | 195.1 | 195.7 | 207.1 | 122.5 | 157.8 | 189.6 | 194.5 | 229.2 | 192.6 | 134.2 | 2,100.6 |
| | R6 | 161 | 121.3 | 188.1 | 119.6 | 201.9 | 135.1 | 201.9 | 265 | 229.7 | 131.3 | 156 | 160.9 | 2,071.8 |
| | R7 | 159.8 | 155.8 | 142.1 | 207.6 | 178.7 | 139 | 260.3 | 221.6 | 173.8 | 198 | 168.9 | 178.8 | 2,184.4 |
| | 平年 | 133 | 141.1 | 169.6 | 184 | 194.3 | 130.8 | 176.7 | 206 | 176.4 | 187.1 | 153.7 | 143.4 | 1,996.1 |

資料) 気象庁気象統計情報

Ⅲ-2-(2) 熊本地方の気温と降水量の年別推移

(温度:℃、降水量:mm)

| | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | 平年 |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 平均気温 | 17.1 | 17.4 | 17.2 | 17.6 | 17.7 | 18.1 | 18.9 | 18.1 | 17.2 |
| 降水量 | 1,324.5 | 2,072.5 | 2,292.0 | 2,467.5 | 1,502.0 | 1,801.5 | 2,427.0 | 1,998.0 | 2,007.0 |

資料) 気象庁気象統計情報

Ⅲ-2-(3) 熊本県の農林水産業気象災害発生状況 (H3~H13)

| 年 | 災害名 | 時期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|---|---------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 3 | 霧 照 | 5.1~7.18 | 5,549,622 | | | | 5,549,622 |
| | 梅 雨 | 6.1~7.19 | 124,545 | 2,379,049 | 1,923,734 | 60,000 | 4,487,328 |
| | 台風 9 号 | 7.28~30 | 287,519 | 30,722 | | 2,190 | 320,431 |
| | 台風 17 号 | 9.13~14 | 12,688,200 | 15,484 | 21,467 | 17,556 | 12,742,707 |
| | 台風 19 号 | 9.27 | 47,375,396 | 1,495,656 | 16,617,724 | 5,503,566 | 70,992,342 |
| 計 | | 66,025,282 | 3,920,911 | 18,562,925 | 5,583,312 | 94,092,430 | |

| | | | | | | | |
|---|---------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|
| 4 | 晩 霜 | 4.13 | 21,502 | | | | 21,502 |
| | 降 霰 | 5.23 | 198,771 | | | | 198,771 |
| | 降 灰 | 6.30~7.1 | 9,485 | | | | 9,485 |
| | 梅 雨 | 6.7~7.20 | | 228,464 | 992,906 | | 1,221,370 |
| | 豪 雨 | 8.1~2 | | 128,723 | | | 128,723 |
| | 台風 10 号 | 8.8 | 5,466,750 | 1,208,568 | 955,452 | 3,360 | 7,634,130 |
| | 豪 雨 | 8.12~13 | | 173,162 | 225,000 | | 398,162 |
| 計 | | 5,696,508 | 1,738,917 | 2,173,358 | 3,360 | 9,612,143 | |

| | | | | | | | |
|---|---------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 5 | 強 風 | 3.24 | 22,301 | 189 | | | 22,490 |
| | 晩 霜 | 4.1 | 674,756 | | | | 674,756 |
| | 豪 雨 | 4.28~29 | | | 414,135 | | 414,135 |
| | 梅 雨 | 6.2~7.26 | 383,774 | 7,523,658 | 5,216,288 | | 13,123,720 |
| | 台風 6 号 | 7.29~30 | 485,254 | 1,201 | | 950 | 487,405 |
| | 豪 雨 | 7.31~8.2 | 476,141 | 1,759,039 | 2,917,311 | 2,180 | 5,154,671 |
| | 台風 7 号 | 8.9~10 | 2,695,591 | 1,950 | 98,059 | 74,100 | 2,869,700 |
| | 豪 雨 | 8.16~20 | | 352,132 | 131,695 | | 483,827 |
| | 台風 13 号 | 9.3 | 6,170,780 | 2,532,419 | 20,323,528 | 1,150,206 | 30,176,933 |
| 計 | | 10,908,597 | 12,170,588 | 29,101,016 | 1,227,436 | 53,407,637 | |

| | | | | | | | |
|---|----------|-------------|-------------------------|---------|---------|------------|-------------------------|
| 6 | 梅 雨 | 6.11~14 | | | 174,000 | | 174,000 |
| | 突風・雹・落雷 | 7.17 | 14,932 | 5,000 | | | 19,932 |
| | 落 雷 | 7.29~30 | | 30,000 | | | 30,000 |
| | 豪 雨 | 8.27 | | 2,000 | | | 2,000 |
| | 豪 雨 | 8.29 | | 5,000 | | | 5,000 |
| | 干ばつ 雨 | 6月以降 12月 | 10,995,835 1,406,237 | | | | 10,995,835 1,406,237 |
| 計 | | 12,417,004 | 42,000 | 174,000 | | 12,633,004 | |

| | | | | | | | |
|---|----------|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|
| 7 | 突 風 | 3.9 | 7,521 | | | | 7,521 |
| | 豪 雨 | 4.22~23 | 134,688 | | | | 134,688 |
| | 豪 雨 | 6.2~4 | | | 1,579 | | 1,579 |
| | 豪 雨 | 梅雨期 | 146,079 | 5,339,000 | 30,261 | | 5,515,340 |
| | 落 雷 | 7.11~9.3 | | 21,000 | | | 21,000 |
| | 干天(熱射病死) | 8月 | 2,375 | | | | 2,375 |
| | 豪 雨 | 9.2~4 | 162,385 | 755,000 | | | 917,385 |
| | 台風 14 号 | 9.23~24 | 927,926 | | 57,650 | | 985,576 |
| | 突 風 | 11.7 | 92,001 | | | | 92,001 |
| 計 | | 1,472,975 | 6,115,000 | 89,490 | | 7,677,465 | |

| | | | | | | | |
|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 8 | 突 風 | 3.15 | 1,058,850 | | | | 1,058,850 |
| | 梅 雨 | 梅雨期 | 365,889 | | 2,627,332 | | 2,993,221 |
| | 台風 6 号 | 7.19 | 1,293,752 | 2,835,000 | 116,727 | | 4,245,479 |
| | 暑 熱 | 7~8月 | 3,808 | | | | 3,808 |
| | 台風 12 号 | 8.14 | 1,522,498 | 329,000 | 228,405 | | 2,079,903 |
| | 豪 雨 | 9.7~11 | | | 2,071 | | 2,071 |
| 降 霰 | 10.3 | 65,972 | | | | 65,972 | |
| 計 | | 4,310,769 | 3,164,000 | 2,974,535 | | 10,449,304 | |

| | | | | | | | |
|-----|---------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 9 | 豪 雨 | 4.3 | | 3,000 | | | 3,000 |
| | 豪 雨 | 5.14 | 14,111 | 317,000 | 37,000 | | 368,111 |
| | 梅雨前期 | 6.8~9 | | 59,000 | 87,864 | | 146,864 |
| | 台風 8 号 | 6.28 | 5,890 | 58,000 | 85,280 | | 149,170 |
| | 梅雨後期 | 7.6~13 | 467,542 | 7,131,000 | 4,985,632 | 943,530 | 13,527,704 |
| | 落 雷 | 8.1 | | 4,000 | | | 4,000 |
| | 豪 雨 | 8.5~6 | | | 57,480 | | 57,480 |
| | 豪 雨 | 8.18 | 18,993 | | 334,082 | | 353,075 |
| | 落 雷 | 9.3 | | 4,000 | | | 4,000 |
| | 豪 雨 | 9.6 | | 343,000 | 81,517 | | 424,517 |
| | 台風 19 号 | 9.16 | 390,170 | 469,000 | 294,417 | 34,800 | 1,188,387 |
| | 霜 | 10.31~11.1 | | | 89,740 | | 89,740 |
| 豪 雨 | 11.25 | 1,367,772 | | | | 1,367,772 | |
| 計 | | 2,264,478 | 8,388,000 | 6,053,012 | 978,330 | 17,683,820 | |

| 年 | 災害名 | 時期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|-------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 10 | 突 風 | 1.14 | 818 | | | | 818 |
| | 大 雪 | 1.23 | 287,799 | | | | 287,799 |
| | 暴 風 | 3.19 | 15,473 | | | | 15,473 |
| | 突 風 | 4.1 | 1,277 | | | | 1,277 |
| | 豪 雨 | 4.23 | 5,426 | | | | 5,426 |
| | 豪 雨 | 5.11~13 | | | | 71,100 | 71,100 |
| | 豪 雨 | 6.2 | | | | 73,899 | 73,899 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.18~24 | 57,700 | 1,452,000 | 1,049,822 | | 2,559,522 |
| | 豪 雨 | 7.25 | | | 22,000 | | 22,000 |
| | 台風 7 号 | 9.22 | | 4,000 | | | 4,000 |
| | 秋雨前線豪雨 | 9.24~27 | | | 55,000 | | 55,000 |
| | 台風 10 号 | 10.18 | | 690 | 429,000 | 118,829 | 548,519 |
| 少 雨 等 | 7月から | | 1,076,733 | | | 1,076,733 | |
| 計 | | 1,388,216 | 1,940,000 | 1,335,650 | | 4,663,866 | |

| | | | | | | | |
|----|---------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|
| 11 | 突 風 | 4.10 | 97,439 | | | | 97,439 |
| | 晩 霜 | 4.30 | 22,055 | | | | 22,055 |
| | 暴 風 | 6.6~7 | 364 | 175,000 | 176,100 | | 351,464 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.22~29 | 1,654 | 1,872,000 | 1,459,619 | | 3,333,273 |
| | 台風 5 号 | 7.27 | 42,648 | | | | 42,648 |
| | 豪 雨 | 8.11~12 | | | 22,890 | | 22,890 |
| | 豪 雨 | 8.26~8.28 | | 384,000 | 8,802 | | 392,802 |
| | 突 風 | 8.31 | 404 | | | | 404 |
| | 豪 雨 | 9.1 | | 6,000 | | | 6,000 |
| | 豪 雨 | 9.10~12 | 220,281 | 1,967,000 | 314,879 | | 2,502,160 |
| | 台風 18 号 | 9.24 | 53,528,000 | 7,317,000 | 12,633,066 | 6,563,877 | 80,041,943 |
| | 計 | | 53,912,845 | 11,721,000 | 14,615,356 | 6,563,877 | 86,813,078 |

| | | | | | | | |
|-----|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 12 | 豪 雨 | 6.2~3 | | 28,000 | 92,094 | | 120,094 |
| | 豪 雨 | 6.8~9 | | | 5,940 | | 5,940 |
| | 梅 雨 | 6.16~18 | | 128,000 | 340,433 | | 468,433 |
| | 梅 雨 | 6.23~24 | | 29,000 | | | 326,015 |
| | 豪 雨 | 6.27~28 | | 66,000 | 297,015 | | 66,000 |
| | 突風・降雷 | 7.3~5 | 303,222 | | | | 303,222 |
| | 豪 雨 | 7.11~12 | | 123,000 | 276,322 | | 399,322 |
| | 高 温 | 7.20 | 360 | | | | 360 |
| | 豪 雨 | 7.24~26 | | | 200,000 | | 200,000 |
| | 豪 雨 | 8.17~18 | 14,036 | 1,044,000 | 1,063,373 | | 2,121,409 |
| | 豪 雨 | 9.13~14 | | 31,000 | 40,583 | | 71,583 |
| | 台風 14 号 | 9.15 | 1,844 | | | | 1,844 |
| 豪 雨 | 9.30~10.1 | | 10,000 | | | 10,000 | |
| 豪 雨 | 11.1~2 | | 24,000 | 41,024 | | 65,024 | |
| 計 | | 319,462 | 1,483,000 | 2,356,784 | | 4,159,246 | |

| | | | | | | | |
|-----|------------|-----------|-----------|-----------|--|-----------|-----------|
| 13 | 突 風 | 1.7 | | 4,509 | | | 4,509 |
| | 積雪・低温 | 1.14~1.15 | 8,076 | 4,850 | | | 12,926 |
| | 突 風 | 3.4 | 2,213 | 85,840 | | | 88,053 |
| | 梅雨・強風 | 6.19~6.20 | | 279,286 | | | 7,414,990 |
| | 梅 雨 | 6.28~6.29 | 29,098 | 1,131,500 | | | 987 |
| | 竜 巻 | 7.6 | | 987 | | | 987 |
| | 梅 雨 | 7.6~7.7 | | 341,000 | | | 537,170 |
| | 雷 害 | 7.9 | 10,456 | | | 196,170 | 10,456 |
| | 梅 雨 | 7.11~7.12 | | 432,000 | | | 432,000 |
| | 豪 雨 | 7.17 | | | | 72,606 | 72,606 |
| | 暑熱(畜産) | 7~9月 | 44,747 | | | | 44,747 |
| | なしヤケ果(ミツ症) | 7~8月 | 371,433 | | | | 371,433 |
| 豪 雨 | 9.30 | | 47,000 | 14,404 | | 61,404 | |
| 計 | | 466,023 | 2,326,972 | 6,258,286 | | 9,051,281 | |

Ⅲ-2-(4) 熊本県の農林水産業気象災害発生状況 (H14~H24)

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|--------|--------|-----------|----------|-----------|---------|-----------|---------|
| 14 | 大雨 | 5.15 | 234 | | 86,200 | | 86,434 |
| | 降雹・突風 | 6.2 | 2,164 | | | | 2,164 |
| | 梅雨 | 6.29~7.1 | | 111,000 | 205,364 | | 316,364 |
| | 台風第5号 | 7.6 | | 25,000 | 91,000 | | 116,000 |
| | 梅雨 | 7.18 | | 18,000 | | | 18,000 |
| | 台風第9号 | 7.25~7.26 | 96,007 | 33,485 | 2,000 | | 131,492 |
| | 大雨 | 8.24~8.25 | 5,902 | 164,000 | 545,382 | | 715,284 |
| | 台風第15号 | 8.30~8.31 | 72,482 | 31,763 | 73,224 | 17,400 | 194,869 |
| | 大雨 | 9.16 | | 126,000 | 11,385 | | 137,385 |
| 暑熱(畜産) | 7~9月 | 71,851 | | | | 71,851 | |
| 計 | | 248,640 | 509,248 | 1,014,555 | 17,400 | 1,789,843 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|-------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 20 | 豪雨 | 1.11~12 | 17,525 | 14,000 | | | 31,525 |
| | 積雪 | 2.2~3 | | 83 | | | 83 |
| | 梅雨前線豪雨 | 5.28~29 | | 140,000 | 61,782 | | 201,782 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.10~12 | 6,184 | 121,000 | 135,716 | | 262,900 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.19~22 | 21,077 | 560,051 | 1,051,119 | | 1,632,247 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.1~2 | | 25,200 | | | 25,200 |
| | 豪雨 | 7.17~18 | | 29,200 | | | 29,200 |
| | 降雹 | 7.30 | 180 | | | | 180 |
| | 蒸雷 | 7.30 | | 3,000 | | | 3,000 |
| | 突風・降雹 | 7.31 | 170 | 2,160 | | | 2,330 |
| | 豪雨 | 8.16~20 | | 41,500 | 58,500 | | 100,000 |
| | 豪雨 | 8.22~23 | | | 28,147 | | 28,147 |
| 豪雨 | 9.15~16 | | 26,500 | | | 26,500 | |
| 台風15号 | 9.30~10.1 | | 193,100 | 31,089 | | 224,189 | |
| 計 | | 45,136 | 1,155,794 | 1,364,353 | | 2,565,283 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|----|--------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 15 | 強風 | 4.25 | 1,446 | 6,715 | | | 8,161 |
| | 強風 | 5.25~29 | 179,683 | 57,954 | | | 237,637 |
| | 台風6号 | 6.17~19 | 206,044 | 88,539 | | | 294,583 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.23~7.1 | | 112,000 | 4,900 | | 116,900 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.3~5 | | | 3,000 | | 3,000 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.11~13 | 873 | 646,156 | 309,800 | | 956,829 |
| | 県南集中豪雨 | 7.19~21 | 16,449 | 2,519,134 | 4,188,848 | | 6,724,431 |
| | 豪雨 | 7.29~30 | | | 34,105 | | 34,105 |
| | 蒸雷 | 8.5 | | 7,000 | | | 7,000 |
| | 台風10号 | 8.7~8 | | 123,000 | 299,200 | | 422,200 |
| | 豪雨 | 8.25~26 | | 284,000 | | | 284,000 |
| | 豪雨 | 8.28~29 | | 2,000 | | | 2,000 |
| | 豪雨 | 10.11~12 | | 4,000 | | | 4,000 |
| | 豪雨 | 11.5~6 | | 12,000 | | | 12,000 |
| 計 | | 404,495 | 3,862,498 | 4,839,853 | | 9,106,846 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|----|--------|-----------|----------|----------|-----------|----|-----------|
| 21 | 降雹 | 5.5 | 1,190 | | | | 1,190 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.22 | | 2,000 | | | 2,000 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.27~7.2 | 2,972 | 435,350 | 1,873,238 | | 2,311,560 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.10~7.12 | | 11,300 | 236,288 | | 247,588 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.20~7.22 | 5,828 | 46,500 | 41,800 | | 94,128 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.24~7.26 | 1,051 | 184,050 | 100,061 | | 285,162 |
| | 梅雨前線豪雨 | 8.3 | | | 49,900 | | 49,900 |
| | 豪雨 | 8.10 | | 8,300 | 21,000 | | 29,300 |
| | 突風 | 9.12 | 2,336 | | | | 2,336 |
| | 秋雨前線豪雨 | 10.1~3 | 11,360 | 182,740 | 12,000 | | 206,100 |
| | 計 | | 24,737 | 870,240 | 2,334,287 | | 3,229,264 |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|----|--------|------------|------------|-----------|-----------|------------|------------|
| 16 | 大雪 | 1.16~1.17 | 146,279 | | 4,706 | | 150,985 |
| | 降雹・強風 | 4.26~4.27 | 779 | | 4,350 | | 5,129 |
| | 豪雨 | 5.13 | | | 2,400 | | 2,400 |
| | 豪雨 | 5.15~5.17 | 13,722 | 213,000 | | | 226,722 |
| | 梅雨前線豪雨 | 5.31~6.1 | | 55,000 | 4,500 | | 59,500 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.26~6.27 | | 50,000 | 25,000 | | 75,000 |
| | 台風15号 | 8.19 | 9,907 | | 86,067 | | 95,974 |
| | 台風16号 | 8.3 | 1,429,880 | 1,209,000 | 3,884,199 | 49,235 | 6,572,314 |
| | 台風18号 | 9.7 | 15,100,117 | 870,000 | 4,740,567 | 1,746,681 | 22,457,365 |
| | 蒸雷 | 9.14 | | 4,000 | | | 4,000 |
| | 台風21号 | 9.29 | 1,369,191 | 43,000 | | | 1,412,191 |
| | 台風23号 | 10.20 | 117,601 | 23,000 | 251,072 | 164,848 | 556,521 |
| | 豪雨 | 12.4 | | 29,000 | 202,032 | 17,759 | 248,791 |
| 計 | | 18,187,476 | 2,496,000 | 9,204,893 | 1,978,523 | 31,866,892 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|----|-----------|---------|----------|-----------|---------|-----------|---------|
| 22 | 豪雨 | 2.25~26 | | | 322,100 | | 322,100 |
| | 晩霜 | 3.27 | 676,866 | | | | 676,866 |
| | 豪雨 | 4.19~23 | 8,000 | | 3,000 | | 11,000 |
| | 豪雨 | 5.22~25 | 1,251 | 103,900 | 151,154 | 160 | 256,465 |
| | 降雹 | 6.1 | 216,478 | | | | 216,478 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.20~21 | | 640 | 2,000 | | 2,640 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.28~30 | 6,987 | 119,000 | 534,437 | | 660,424 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.2~4 | | | 56,578 | | 56,578 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.8~17 | | 160,900 | 268,238 | | 429,138 |
| | 豪雨 | 7.19~20 | | 4,100 | | | 4,100 |
| | 豪雨及び落雷 | 8.18 | | 15,600 | 186,000 | | 201,600 |
| | 落雷 | 8.22 | | 7,000 | | | 7,000 |
| | 落雷 | 9.22 | | 3,000 | | | 3,000 |
| | 大雪 | 12.26 | 21,143 | | | | 21,143 |
| 突風 | 12.28 | 1,250 | | | | 1,250 | |
| 大雪 | 12.30~1.4 | 60,450 | | | | 60,450 | |
| 計 | | 992,425 | 414,140 | 1,523,507 | 160 | 2,930,232 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|----|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 17 | 豪雨 | 5.1~5.6 | 7,296 | 18,000 | 20,039 | | 45,335 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.4~7.10 | 91,124 | 1,572,000 | 3,673,480 | | 5,336,604 |
| | 豪雨 | 7.30~7.31 | | 19,000 | | | 19,000 |
| | 台風14号 | 9.6 | 1,030,508 | 1,488,000 | 4,515,968 | 184,745 | 7,219,221 |
| | 豪雨 | 11.5~11.6 | | 17,000 | | | 17,000 |
| 大雪 | 12.21~12.22 | 217,217 | | | | 217,217 | |
| 計 | | 1,346,145 | 3,114,000 | 8,208,487 | 184,745 | 12,854,377 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|-------|------------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 23 | 晩霜 | 3.27~28 | 3,759 | | | | 3,759 |
| | 火山方丈 | 5月上旬~中旬 | 52 | | | | 52 |
| | 台風2号 | 5.29 | 4,613 | | | | 4,613 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.10~21 | 218,042 | 1,564,262 | 1,849,676 | | 3,631,980 |
| | 梅雨前線豪雨及び落雷 | 7.4~7 | | 174,870 | 402,164 | | 577,034 |
| | 降雹 | 7.11 | 18,978 | | | | 18,978 |
| | 落雷 | 7.25 | | 2,300 | | | 2,300 |
| | 豪雨 | 8.14~16 | | 71,100 | 81,751 | | 152,851 |
| | 豪雨 | 8.20~22 | | 53,150 | 8,175 | | 61,325 |
| | 豪雨 | 8.26 | | 16,500 | | | 16,500 |
| 台風15号 | 9.17~20 | | 55,500 | 11,614 | 400 | 67,514 | |
| 計 | | 245,444 | 1,937,682 | 2,353,380 | 400 | 4,536,906 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|-------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 18 | 強風 | 5.26 | 1,930 | | | | 1,930 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.14~15 | | | 329,917 | | 329,917 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.24~7.7 | 124,673 | 5,913,000 | 2,255,634 | | 8,293,307 |
| | 蒸雷 | 7.14 | | 8,000 | | | 8,000 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.19~7.24 | 121,504 | 2,439,000 | 3,919,072 | 48,300 | 6,527,876 |
| | 蒸雷 | 8.2 | | 4,000 | | | 4,000 |
| | 台風10号 | 8.18 | 1,475 | 83,000 | | | 84,475 |
| | 蒸雷 | 8.23 | | 5,000 | | | 5,000 |
| 蒸雷 | 8.26 | | 24,000 | | | 24,000 | |
| 台風13号 | 9.17~18 | 1,980,260 | | 5,764 | 228,765 | 2,214,789 | |
| 計 | | 2,229,842 | 8,476,000 | 6,510,387 | 277,065 | 17,493,294 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|----|---------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 24 | 低温 | 2.2~3 | 223,242 | | | | 223,242 |
| | 豪雨 | 3.23 | | 4,000 | | | 4,000 |
| | 強風 | 4.3 | 12,627 | | | | 12,627 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.15~17 | 21,285 | 224,000 | 134,533 | | 379,818 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.21~22 | | 22,000 | | | 22,000 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.23~25 | 5,462 | 329,000 | 580,646 | | 915,108 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.30~7.2 | | 23,500 | 548,916 | | 572,416 |
| | 熊本広域大水害 | 7.12 | 2,051,566 | 16,619,300 | 26,844,110 | 153,541 | 45,668,517 |
| | 台風15号 | 8.27 | | 3,000 | 5,000 | | 8,000 |
| | 落雷 | 9.8 | | 1,800 | | | 1,800 |
| | 台風16号 | 9.17 | 6,293 | | | | 6,293 |
| 計 | | 2,320,475 | 17,226,600 | 28,113,205 | 167,804 | 47,828,084 | |

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハウス等 | 農地・農業用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|----|--------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 19 | 晩霜 | 4.4~5 | 130,688 | | | | 130,688 |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.17~18 | | 34,000 | 2,000 | | 36,000 |
| | 梅雨前線豪雨 | 7.6~11 | 184,067 | 3,326,000 | 4,310,622 | 4,020 | 7,824,709 |
| | 台風4号 | 7.14 | 18,551 | 12,000 | | | 30,551 |
| | 台風5号 | 8.4 | 80,232 | 47,000 | 142,025 | 1,000 | 270,257 |
| 計 | | 413,538 | 3,419,000 | 4,454,647 | 5,020 | 8,292,205 | |

Ⅲ-2-(5) 熊本県の農林水産業気象災害発生状況 (H25～R7)

| 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハ ウス等 | 農地・農業 用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) | 年 | 災害名 | 時 期 | 農作物・ハ ウス等 | 農地・農業 用施設 | 林業 | 水産 | 計(千円) |
|-------|-----------|------------|--------------|--------------|------------|-----------|-------------|-----------|------------|------------|--------------|--------------|-------------|-------------|---------|
| 25 | 梅雨前線豪雨 | 7.3~6 | | 51,000 | 53,600 | | 104,600 | 30 | 降雪・低温 | 1.10~12 | 291,547 | | | | 291,547 |
| | 豪雨 | 7.25~27 | 4,676 | 136,200 | 19,030 | | 159,906 | | 強風 | 2.28~3.1 | 11,112 | | | 6,970 | 18,082 |
| | 豪雨 | 8.4~5 | | 77,500 | 54,630 | | 132,130 | | 低温 | 4.8 | 1,666 | | | | 1,666 |
| | 豪雨 | 8.24~26 | 1,803 | 92,100 | 60 | | 93,963 | | 大雨 | 4.25~26 | | | 21,000 | | 21,000 |
| | 台風15号及び豪雨 | 8.30~9.2 | 8,446 | 77,800 | 38,390 | | 124,636 | | 大雨 | 5.2 | | | 15,000 | | 15,000 |
| | 降雪 | 12.18 | 14,326 | | | | 14,326 | | 大雨・強風 | 5.6~7 | 43 | 20,000 | 19,035 | | 39,078 |
| 計 | | | 29,251 | 434,600 | 165,710 | | 629,561 | 大雨・強風 | 6.19~20 | 2,031 | 273,100 | 255,875 | | 531,006 | |
| 26 | 大雪 | 2.13~19 | 655,064 | | 30,457 | 600 | 686,121 | 台風7号 | 7.3 | 14,083 | 8,000 | 150,000 | | 172,083 | |
| | 強風 | 6.3~4 | 35,952 | | | | 35,952 | 落雷 | 7.3 | | 3,000 | | | 3,000 | |
| | 豪雨 | 6.21~22 | 149 | 41,700 | 71,071 | | 112,920 | 大雨 | 7.6~8 | 11,005 | 2,021,120 | 3,449,589 | | 5,481,714 | |
| | 豪雨 | 7.2~3 | | 90,400 | 18,700 | | 109,100 | 地震 | 7.25 | | 228,300 | | | 228,300 | |
| | 豪雨 | 7.6~7 | 830 | 386,700 | 568,710 | | 956,240 | 落雷 | 8.16 | | 3,000 | | | 3,000 | |
| | 落雷 | 7.7 | | 2,000 | | | 2,000 | 台風19号 | 8.21~23 | 1,072 | 2,000 | 20,810 | | 23,882 | |
| | 台風8号 | 7.10 | 1,826 | 2,200 | 1,800 | | 5,826 | 大雨 | 9.8~9 | | 6,100 | | | 6,100 | |
| | 火山ガス | 7月中旬 | 3,878 | | | | 3,878 | 大雨 | 9.20~21 | 2,023 | 179,500 | 38,870 | | 220,393 | |
| | 台風12号 | 8.1~3 | | 12,600 | 14,200 | | 26,800 | 台風24号 | 9.30 | 61,058 | 69,900 | 86,769 | 28,097 | 245,824 | |
| | 豪雨 | 8.5 | | | 23,000 | | 23,000 | 台風25号 | 10.5~6 | 2,121 | | | 1,523 | 3,644 | |
| | 台風11号 | 8.8~10 | 474 | | | | 474 | なしのみつ症 | 7月~10月 | 188,821 | | | | 188,821 | |
| | 豪雨 | 8.18~19 | | 22,700 | | | 22,700 | 計 | | 586,582 | 2,814,020 | 4,056,948 | 36,590 | 7,494,140 | |
| | 豪雨 | 8.22~23 | | 3,500 | | | 3,500 | 地震 | 1.3 | 5,488 | 5,400 | | | 10,888 | |
| | 豪雨 | 9.3~4 | | | 11,300 | | 11,300 | 突風 | 3.12~13 | 3,460 | | | | 3,460 | |
| 豪雨 | 9.7 | | | 52,900 | | 52,900 | 強風 | 5.17~19 | 7,911 | | | | 7,911 | | |
| 台風19号 | 10.13 | 450 | | | | 450 | 強風・大雨 | 6.7 | 1,444 | 6,000 | 6,666 | | 14,110 | | |
| 計 | | | 698,623 | 561,800 | 792,138 | 600 | 2,053,161 | 大雨 | 6.29 | 31,023 | 1,287,350 | 1,141,450 | 5,540 | 2,465,363 | |
| 27 | 豪雨 | 4.5 | | 3,000 | | | 3,000 | 大雨 | 7.13 | | 168,240 | 120,175 | | 288,415 | |
| | 豪雨 | 6.2~3 | | 74,700 | 250,418 | | 325,118 | 大雨 | 7.20 | | 501,820 | 680,127 | | 1,181,947 | |
| | 豪雨 | 6.8~9 | | | 7,604 | | 7,604 | 台風8号 | 8.6 | 11,884 | | | 1,975 | 13,859 | |
| | 豪雨 | 6.10~11 | 33,336 | 1,791,800 | 817,423 | 200,000 | 2,842,559 | 台風10号 | 8.15 | | 6,500 | 63,226 | | 69,726 | |
| | 梅雨前線豪雨 | 6.17~18 | | | 4,300 | | 4,300 | 大雨 | 8.27 | | | 133,156 | | 133,156 | |
| | 豪雨 | 6.30~7.1 | | 308,200 | 147,671 | | 455,871 | 落雷 | 9.8 | | 3,000 | | | 3,000 | |
| | 豪雨 | 7.8 | | 2,500 | 20,983 | | 23,483 | 台風17号 | 9.22 | 495,549 | 70,000 | 190,378 | 13,274 | 769,201 | |
| | 豪雨 | 7.13~14 | | 5,900 | 11,800 | | 17,700 | 計 | | 556,759 | 2,048,310 | 2,335,178 | 20,789 | 4,961,036 | |
| | 豪雨 | 7.21~23 | | 28,800 | 28,370 | | 57,170 | 強風 | 1.8 | 1,280 | | | | 1,280 | |
| | 豪雨 | 8.8 | | 1,000 | | | 1,000 | 強風 | 1.27 | 713,070 | 30,000 | | | 743,070 | |
| | 台風第15号 | 8.25 | 5,141,584 | 278,500 | 3,014,486 | 324,662 | 8,759,232 | 大雨 | 5.15~18 | | 229,937 | 46,350 | | 276,287 | |
| | 豪雨 | 8.31 | | 8,000 | | | 8,000 | 大雨 | 6.11~14 | | 615,875 | 6,763 | | 622,638 | |
| 豪雨 | 9.6 | | 7,000 | | | 7,000 | 大雨 | 6.18~19 | | 358,305 | 3,282 | | 361,587 | | |
| 豪雨 | 10.1 | | 2,100 | | | 2,100 | 大雨 | 6.26~27 | | 61,300 | 15,000 | | 76,300 | | |
| 豪雨 | 11.18 | | 2,500 | 64,000 | | 66,500 | 令和2年7月豪雨 | 7.4~31 | 10,574,785 | 40,551,928 | 50,468,470 | 349,592 | 101,944,775 | | |
| 計 | | | 5,174,920 | 2,514,000 | 4,367,055 | 524,662 | 12,580,637 | 落雷 | 8.21 | | 18,500 | | | 18,500 | |
| 28 | 大雪・低温 | 1.23~25 | 1,329,845 | | | 725 | 1,330,570 | 台風9号 | 9.2~3 | 9,720 | | | 177,012 | 186,732 | |
| | 強風 | 4.7 | 24,287 | | | 8,401 | 32,688 | 台風10号 | 9.6~7 | 303,456 | 150,230 | 14,580 | 87,531 | 555,797 | |
| | 平成28年熊本地震 | 4.14, 4.16 | 65,164,797 | 70,146,700 | 43,932,399 | 3,379,696 | 182,623,592 | 大雨 | 9.25 | | 5,200 | | | 5,200 | |
| | 大雨 | 6.19~7.17 | 491,979 | 24,561,700 | 14,655,106 | 321,363 | 40,030,148 | 計 | | 11,602,311 | 42,021,275 | 50,554,445 | 614,135 | 104,792,166 | |
| | なしのみつ症 | 8~9月 | 217,123 | | | | 217,123 | 大雨 | 5.16~17 | 33,619 | 1,720,050 | 149,300 | | 1,902,969 | |
| | 台風12号 | 9.3~5 | | 6,000 | 46,218 | | 52,218 | 大雨 | 5.20~21 | 43,330 | | 234,619 | | 277,949 | |
| 台風16号 | 9.19~20 | 1,998 | 101,300 | | | 103,298 | 大雨 | 5.26 | | | 137,000 | | 137,000 | | |
| 大雨 | 10.8~9 | | 27,900 | | | 27,900 | 大雨 | 7.10 | | 138,050 | 364,198 | | 502,248 | | |
| 阿蘇山噴火 | 10.8 | 35,145 | | 750 | | 35,895 | 大雨 | 7.31 | | | 45,000 | | 45,000 | | |
| 突風 | 11.19 | 2,555 | | | 1,250 | 3,805 | 大雨 | 8.11~18 | 77,915 | 2,756,210 | 2,390,048 | | 5,224,485 | | |
| 計 | | | 67,267,729 | 94,843,600 | 58,634,473 | 3,711,435 | 224,457,237 | 台風14号 | 9.17 | 9,385 | | | 10,082 | 19,467 | |
| 29 | 強風 | 4.10 | 2,766 | | | | 2,766 | 計 | | 164,249 | 4,614,310 | 3,320,165 | 10,394 | 8,109,118 | |
| | 強風 | 4.17 | 540 | | | | 540 | 強風 | 3.25~26 | 11,837 | | | | 11,837 | |
| | 大雨 | 5.12 | | 5,000 | 24,327 | | 29,327 | 晩霜 | 4.5 | 66,599 | | | | 66,599 | |
| | 大雨 | 6.24~25 | 210 | 118,600 | 592,796 | | 711,606 | 大雨 | 4.26~27 | 503 | | 33,500 | | 34,003 | |
| | 地震 | 7.2 | | 50,000 | | | 50,000 | 台風4号 | 7.5 | | 5,000 | | 1,500 | 6,500 | |
| | 台風3号 | 7.4 | 2,532,192 | 123,100 | 28,000 | 42,323 | 2,725,615 | 大雨 | 7.9 | | 223,000 | 182,402 | | 405,402 | |
| | 大雨 | 7.5~6 | 19,851 | 1,292,200 | 851,567 | 1,050 | 2,164,668 | 大雨 | 7.14~20 | 375 | 673,000 | 231,311 | | 904,686 | |
| | 台風5号 | 8.6 | | 87,900 | | | 87,900 | 台風11号 | 9.6 | 7,836 | | | 300 | 8,136 | |
| | 大雨 | 8.14~16 | | 210,000 | 9,400 | | 219,400 | 台風14号 | 9.18~19 | 274,798 | 3,217,219 | 5,744,739 | 65,680 | 9,302,436 | |
| | 台風18号 | 9.17 | 8,682 | 224,000 | 293,200 | 1,850 | 527,732 | 大雪 | 12.22~24 | 857 | | | | 857 | |
| 大雨 | 9.27~28 | | 61,900 | 78,000 | | 139,900 | 計 | | 362,805 | 4,118,219 | 6,191,952 | 67,480 | 10,740,456 | | |
| 台風21号 | 10.22 | 18,530 | | | 8,665 | 27,195 | 大雪・低温 | 1.24~1.25 | 13,469 | | | | 436,588 | 450,057 | |
| 台風22号 | 10.29 | 1,216 | | | 80,000 | 81,216 | 大雨 | 5.5 | | | 14,800 | | 14,800 | | |
| 計 | | | 2,583,987 | 2,084,800 | 1,965,190 | 133,888 | 6,767,865 | 大雨 | 6.28~7.3 | 206,590 | 8,201,506 | 1,556,959 | 19,650 | 9,984,705 | |
| 30 | 大雨 | 3.23~3.26 | | | | | | 台風6号 | 8.9~8.10 | 18,436 | 940,700 | 166,500 | 2,460 | 1,128,096 | |
| | 大雨 | 6.20~7.1 | | | | | | 計 | | 238,495 | 9,142,206 | 1,738,259 | 458,698 | 11,577,658 | |
| | 大雨・突風 | 7.11~7.15 | | | | | | 大雨 | 3.23~3.26 | 50,592 | 109,820 | 15,200 | 6,980 | 182,592 | |
| | 台風10号 | 8.28~8.29 | | | | | | 大雨 | 6.20~7.1 | 2,127,881 | 642,987 | | | 2,770,868 | |
| 計 | | | 154,566 | 3,061,148 | 2,743,439 | 84,559 | 6,043,712 | 大雨 | 7.11~7.15 | 9,956 | 157,897 | 224,000 | | 391,853 | |
| 31 | 大雨 | 6.10~6.11 | | | | | | 大雨 | 8.28~8.29 | 94,018 | 665,550 | 1,861,252 | 77,579 | 2,698,399 | |
| | 大雨 | 6.22~6.25 | | | | | | 計 | | 154,566 | 3,061,148 | 2,743,439 | 84,559 | 6,043,712 | |
| | 令和7年8月豪雨 | 8.10 | 7,555,019 | 60,460,669 | 17,735,116 | 338,666 | 86,089,470 | 大雨 | 6.10~6.11 | | 97,227 | 30,300 | | 30,300 | |
| 大雨 | 9.10 | 2,632 | | | 335 | 2,967 | 計 | | 7,557,651 | 60,557,896 | 17,765,416 | 339,001 | 86,219,964 | | |

資料) 県農林水産部調べ

(第4節 水稻、麦、大豆の生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-4-(1) 米の生産の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|--------|-----------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 水 稲 | 作付面積 | 千ha | 42.6 | 39.5 | 35.6 | 33.3 | 31.3 | 30.0 | 29.7 | 32.2 |
| | 10a当り収量 | kg | 479 | 512 | 500 | 470 | 501 | 518 | 516 | 525 |
| | 収穫量 | 千t | 204.1 | 202.2 | 178.0 | 156.5 | 156.8 | 155.4 | 153.3 | 169.1 |
| | 作況指数 | 平年=100 | 93 | 99 | 97 | 89 | 96 | 104 | 102 | - |
| | 作況単収指数 | 直近5中3平均=100 | - | - | - | - | - | - | - | 107 |
| | 10a当り平年収量 | kg | 515 | 515 | 515 | 513 | 513 | 513 | 513 | 513 |
| 陸 稲 | 作付面積 | ha | 19 | 6 | 0 | - | - | - | - | - |
| | 10a当り収量 | kg | 142 | 150 | 143 | - | - | - | - | - |
| | 収穫量 | t | 27 | 9 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 平均収量対比 | 平年=100 | 78 | 102 | 99 | - | - | - | - | - |
| | 10a当り平年収量 | kg | 182 | 147 | 145 | - | - | - | - | - |
| 計 | 作付面積 | 千ha | 42.7 | 39.5 | 35.6 | 33.3 | 31.3 | 30 | 29.7 | 32.2 |
| | 収穫量 | 千t | 204.1 | 202.2 | 178.0 | 156.5 | 156.8 | 155.4 | 153.3 | |

資料) 農林水産省「作物統計」

注) 本県の陸稲作付面積及び収穫量はH30年より公表なし

作況指数(平年=100)はR6までの公表、R7は作況単収指数(直近5中3平均=100)での公表

Ⅲ-4-(2) 品種別水稻作付面積の推移

(単位: ha、%)

| 品 種 名 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | 品種構成 | | |
|--------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|------|
| 水 稲 | コシヒカリ | 5,786 | 4,749 | 3,788 | 3,413 | 3,372 | 3,179 | 3,003 | 3,224 | 10.0 | |
| | にじのきらめき | - | - | - | - | - | - | - | 497 | 1.5 | |
| | あきげしき | 1,685 | 1,408 | 1,273 | 1,068 | 945 | 916 | 870 | 949 | 2.9 | |
| | ヒノヒカリ | 20,844 | 19,626 | 17,735 | 17,144 | 14,413 | 12,810 | 12,190 | 13,294 | 41.2 | |
| | 森のくまさん | 6,295 | 4,662 | 4,434 | 4,448 | 4,124 | 3,679 | 3,788 | 4,257 | 13.2 | |
| | う | くまさんの力 | - | 1,234 | 1,077 | 878 | 778 | 682 | 603 | 644 | 2.0 |
| | | くまさんの輝き | - | - | - | 436 | 1,355 | 2,910 | 3,441 | 4,048 | 12.6 |
| | る ち | あきまさり | 31 | 1,818 | 1,398 | 650 | 542 | 472 | 469 | 523 | 1.6 |
| | | やまだわら | - | - | - | 407 | 197 | 205 | 180 | 141 | 0.4 |
| | | その他 | 3,438 | 1,968 | 1,990 | 1,689 | 2,284 | 1,903 | 1,914 | 2,292 | 7.1 |
| 小計 | 38,892 | 36,406 | 32,652 | 31,061 | 28,948 | 27,663 | 27,355 | 29,868 | 92.6 | | |
| 水稻もち小計 | 3,747 | 3,153 | 3,079 | 2,209 | 2,338 | 2,338 | 2,322 | 2,382 | 7.4 | | |
| 合計 | 42,600 | 39,500 | 35,643 | 33,270 | 31,286 | 30,001 | 29,677 | 32,250 | 100.0 | | |

資料) H17まで: 九州農政局調査の品種別作付比率と水稻作付面積から算出

H18から: 九州農政局調査の水稻作付面積と県調査の品種別比率から算出

ラウンドの関係で合計が一致しない

Ⅲ-4-(3) 県産米の食味ランキングの推移

| 産地 | 品種名 | 年産 | | | | | | | |
|------------|---------|------|-----|-----------|------------|----|----|----|----|
| | | H17年 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
| 県北 (城北) | ヒノヒカリ | 特A | 特A | 特A | A | A | A | A | A' |
| 県南 (城南) | ヒノヒカリ | A | A | A' | A' | | | | |
| 県北 (城東) | コシヒカリ | — | A' | A | A | A | A' | | |
| 県北 (城北) | 森のくまさん | A' | 特A | A (全県) | A | A | 特A | A | A' |
| 県南 (城南) | | A' | A' | | | | | | |
| | くまさんの力 | | | A (全県) | 特A (県南) | | | | |
| 県北 | くまさんの輝き | | | | | A | A | A | A |
| 県南 | | | | | | A | A | A | A |

資料) 一般財団法人 日本穀物検定協会発表

注) ※H28 年産より地区区分を変更：県北は宇城市、美里町、山都町以北、県南は八代市、氷川町、上天草市以南、区分なしは県北と県南の等分混合

旧地区区分：城北；城東地区を除く熊本市以北、城南；城東地区を除く上益城地域以南の地域、城東；阿蘇及び上益城地域の一部。

森のくまさんは H23 年までは城北及び城南、H24 年～27 年は全県、H28 年以降は県北の評価。

くまさんの力は H24 年～27 年は全県、H28 年は県北、H29 年以降は県南の評価。

くまさんの輝きは H28、29 年は参考品種としての評価。H30～R2 年産は要件を満たしていないため出品なし。R3 年産は産地区区分なしで出品。

Ⅲ-4-(4) 米粉・飼料用米作付面積の推移

| | 単位 | H22年産 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | 前年比 (%) |
|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------------|
| 飼料用米 | ha | 654 | 1,296 | 1,135 | 1,672 | 1,646 | 1,392 | 564 | 41 |
| 米粉用米 | ha | 109 | 164 | 222 | 359 | 309 | 160 | 59 | 37 |
| 全国(飼料) | 千ha | 14.9 | 79.8 | 70.9 | 142.0 | 133.9 | 98.7 | 46.0 | 47 |
| 全国(米粉) | 千ha | 5.0 | 4.2 | 6.3 | 8.4 | 7.6 | 6.3 | 3.5 | 55 |

資料) 農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」より。ただし R7 年産は「新規需要米の取組計画届出状況(9月15日時点)」より。

Ⅲ-4-(5) 米粉・飼料用米生産集出荷数量の推移

| | 単位 | H22年産 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | 前年比 (%) |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 飼料用米 | t | 3,204 | 6,748 | 5,958 | 9,194 | 9,179 | 6,959 | 3,016 | 43 |
| 米粉用米 | t | 603 | 983 | 1,109 | 2,070 | 1,686 | 871 | 325 | 37 |
| 全国(飼料) | 千t | 68.0 | 440.1 | 380.5 | 803.4 | 744.9 | 522.6 | 252.2 | 48 |
| 全国(米粉) | 千t | 24.6 | 23.0 | 33.4 | 45.9 | 40.3 | 31.7 | 18.5 | 58 |

資料) 農林水産省「新規需要米の生産集出荷数量」

Ⅲ-4-(6) 地域振興局別水稻生産の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|-----|----------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 熊本 | 作付面積 | ha | 3,180 | 4,750 | 4,310 | 4,200 | 4,110 | 3,990 | 3,910 | 4,190 |
| | 10a当たり収量 | kg | 505 | 547 | 536 | 495 | 526 | 542 | 538 | 546 |
| | 収穫量 | t | 16,100 | 26,000 | 23,100 | 20,800 | 21,600 | 21,600 | 21,100 | 22,900 |
| 宇城 | 作付面積 | ha | 4,617 | 3,048 | 2,937 | 2,799 | 2,619 | 2,407 | 2,465 | 2,845 |
| | 10a当たり収量 | kg | 502 | 511 | 504 | 477 | 506 | 527 | 520 | 528 |
| | 収穫量 | t | 23,160 | 15,580 | 14,800 | 13,550 | 13,240 | 12,690 | 12,830 | 15,030 |
| 玉名 | 作付面積 | ha | 4,680 | 4,650 | 4,478 | 4,258 | 4,031 | 3,891 | 3,852 | 4,083 |
| | 10a当たり収量 | kg | 462 | 521 | 510 | 477 | 505 | 530 | 522 | 530 |
| | 収穫量 | t | 21,600 | 24,200 | 22,860 | 20,656 | 20,370 | 20,610 | 20,115 | 21,650 |
| 鹿本 | 作付面積 | ha | 3,260 | 2,240 | 2,100 | 2,260 | 2,170 | 2,110 | 2,070 | 2,300 |
| | 10a当たり収量 | kg | 489 | 525 | 514 | 485 | 516 | 536 | 531 | 539 |
| | 収穫量 | t | 16,000 | 11,800 | 10,800 | 10,900 | 11,200 | 11,300 | 11,000 | 12,400 |
| 菊池 | 作付面積 | ha | 3,610 | 3,130 | 2,486 | 2,117 | 1,974 | 1,895 | 1,846 | 2,105 |
| | 10a当たり収量 | kg | 479 | 529 | 519 | 493 | 510 | 533 | 526 | 535 |
| | 収穫量 | t | 17,300 | 16,600 | 12,893 | 10,214 | 10,077 | 10,094 | 9,710 | 11,259 |
| 阿蘇 | 作付面積 | ha | 5,540 | 5,220 | 4,526 | 4,066 | 3,855 | 3,760 | 3,600 | 3,841 |
| | 10a当たり収量 | kg | 470 | 505 | 485 | 451 | 485 | 500 | 505 | 514 |
| | 収穫量 | t | 26,100 | 26,300 | 21,973 | 19,104 | 18,712 | 18,517 | 18,193 | 19,749 |
| 上益城 | 作付面積 | ha | 4,120 | 3,860 | 3,705 | 3,304 | 3,177 | 2,993 | 2,902 | 3,064 |
| | 10a当たり収量 | kg | 502 | 527 | 509 | 491 | 509 | 524 | 533 | 537 |
| | 収穫量 | t | 20,600 | 20,300 | 18,850 | 15,890 | 16,180 | 15,690 | 15,480 | 16,440 |
| 八代 | 作付面積 | ha | 5,540 | 5,080 | 4,745 | 4,547 | 4,207 | 4,165 | 4,280 | 4,698 |
| | 10a当たり収量 | kg | 465 | 505 | 498 | 507 | 492 | 523 | 521 | 526 |
| | 収穫量 | t | 25,800 | 25,700 | 23,630 | 22,840 | 20,690 | 21,630 | 22,280 | 24,700 |
| 芦北 | 作付面積 | ha | 822 | 781 | 732 | 676 | 604 | 567 | 554 | 573 |
| | 10a当たり収量 | kg | 455 | 482 | 456 | 392 | 463 | 475 | 473 | 493 |
| | 収穫量 | t | 3,740 | 3,760 | 3,336 | 2,574 | 2,798 | 2,693 | 2,619 | 2,824 |
| 球磨 | 作付面積 | ha | 4,870 | 4,520 | 3,658 | 3,470 | 3,102 | 2,974 | 2,962 | 3,235 |
| | 10a当たり収量 | kg | 478 | 509 | 479 | 389 | 496 | 493 | 488 | 501 |
| | 収穫量 | t | 23,300 | 23,000 | 17,536 | 13,978 | 15,377 | 14,659 | 14,441 | 16,194 |
| 天草 | 作付面積 | ha | 2,400 | 2,250 | 1,966 | 1,573 | 1,437 | 1,333 | 1,236 | 1,316 |
| | 10a当たり収量 | kg | 437 | 392 | 419 | 392 | 444 | 447 | 437 | 453 |
| | 収穫量 | t | 10,500 | 8,820 | 8,238 | 6,057 | 6,386 | 5,962 | 5,406 | 5,960 |
| 県計 | 作付面積 | ha | 42,600 | 39,500 | 35,600 | 33,300 | 31,300 | 30,000 | 29,700 | 32,200 |
| | 10a当たり収量 | kg | 479 | 512 | 500 | 470 | 501 | 518 | 516 | 525 |
| | 収穫量 | t | 204,100 | 202,200 | 178,000 | 156,500 | 156,800 | 155,400 | 153,300 | 169,100 |

資料) 農林水産省「作物統計」

注) H22年産は熊本市の広域合併により面積が増減。

各地域の面積及び収穫量は、市町村別統計を農産園芸課で集計。

各地域の10a当たり収量は収穫量/作付面積により算出。

ラウンドの関係で合計が一致しない。

Ⅲ-4-(7) 水稻主要品種の玄米上位等級比率の推移

| 品種 | 単位 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---------|----|------|------|------|------|------|
| コシヒカリ | % | 68.6 | 62.5 | 50.8 | 60.6 | 66.1 |
| ヒノヒカリ | % | 23.8 | 27.7 | 30.1 | 18.6 | 21.7 |
| 森のくまさん | % | 7.7 | 6.6 | 7.1 | 4.5 | 5.2 |
| くまさんの力 | % | 57.7 | 53.7 | 63.7 | 41.8 | 49.3 |
| くまさんの輝き | % | 67.7 | 29.2 | 48.3 | 44.7 | 38.7 |
| 全うるち玄米 | % | 28.6 | 28.5 | 32.2 | 25.5 | 27.9 |

資料) 農林水産省「米の検査結果」より。ただし、R7年産米はR8年3月時点の速報値。

Ⅲ-4-(8) 水稻生産費の推移（その1）

（単位：円、時間／10a 当たり）

| 区 分 | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|----------------------------|------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 費 用 | 種 苗 費 | 2,139 | 2,116 | 2,584 | 2,882 | 2,678 | 2,903 | 2,854 | |
| | 肥 料 費 | 9,058 | 9,579 | 9,036 | 9,624 | 9,098 | 11,766 | 11,268 | |
| | 農 業 薬 剤 費 | 9,311 | 9,179 | 8,682 | 10,361 | 9,063 | 8,830 | 9,286 | |
| | 光 熱 動 力 費 | 3,848 | 3,542 | 4,034 | 3,645 | 3,934 | 4,431 | 4,510 | |
| | そ の 他 諸 材 料 費 | 1,248 | 1,792 | 1,857 | 1,399 | 1,511 | 1,380 | 1,649 | |
| | 土 地 改 良 及 び 水 利 費 | 2,071 | 2,102 | 1,887 | 2,462 | 1,454 | 1,715 | 1,423 | |
| | 貸 借 料 及 び 料 金 | 13,421 | 16,291 | 13,941 | 17,288 | 16,147 | 14,915 | 16,685 | |
| | 物 件 税 及 び 公 課 諸 負 担 | 1,810 | 1,638 | 1,165 | 1,889 | 1,756 | 1,342 | 1,470 | |
| | 建 物 費 | 3,203 | 3,476 | 2,814 | 2,313 | 1,868 | 1,246 | 1,035 | |
| | 農 機 具 費 | 27,731 | 29,839 | 20,860 | 26,651 | 19,441 | 17,655 | 17,735 | |
| | | 内 償 却 | 21,938 | 22,948 | 13,737 | 19,690 | 11,852 | 11,503 | 11,987 |
| | 生 産 管 理 費 | 228 | 168 | 253 | 219 | 199 | 249 | 255 | |
| | 労 働 費 | 50,582 | 40,158 | 32,206 | 34,917 | 30,007 | 31,292 | 29,396 | |
| | | 内 家 族 | 47,841 | 36,949 | 29,975 | 32,471 | 25,526 | 26,339 | 25,850 |
| 費 用 合 計 | | 124,650 | 119,880 | 99,319 | 113,650 | 97,156 | 97,724 | 97,566 | |
| 副 産 物 価 額 | | 2,858 | 3,406 | 1,895 | 3,534 | 4,191 | 3,822 | 5,515 | |
| 生 産 費 | | 121,792 | 116,474 | 97,424 | 110,116 | 92,965 | 93,902 | 92,051 | |
| 支 払 利 子 | | 68 | 171 | 136 | 61 | 3 | - | 12 | |
| 支 払 地 代 | | 3,319 | 3,092 | 4,041 | 3,567 | 3,915 | 4,369 | 5,081 | |
| 支 払 利 子 ・ 地 代 算 入 生 産 費 | | 125,179 | 119,737 | 101,601 | 113,744 | 96,883 | 98,271 | 97,144 | |
| 自 己 資 本 利 子 | | 7,592 | 5,503 | 4,315 | 4,998 | 3,343 | 3,610 | 3,514 | |
| 自 作 地 地 代 | | 16,810 | 11,894 | 9,851 | 10,552 | 8,015 | 7,621 | 8,319 | |
| 全 算 入 生 産 費 | | 149,581 | 137,134 | 115,767 | 129,294 | 108,241 | 109,502 | 108,977 | |
| 労 働 時 間 | 家 族 | 36.4 | 28.1 | 22.2 | 23.4 | 18.6 | 21.7 | 20.2 | |
| | 雇 用 | 2.3 | 3.1 | 2.2 | 2.5 | 2.7 | 18.7 | 17.9 | |
| | 計 | 38.7 | 31.2 | 24.3 | 25.9 | 21.2 | 3.0 | 2.3 | |

資料）農林水産省「米生産費調査」（販売農家）

Ⅲ-4-(9) 水稻生産費の推移（その2）

（単位：円、時間／10a 当たり）

| | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 収 益 性 | 収量 | 10 a 当り | 453 | 466 | 462 | 453 | 450 | 452 | 440 |
| | | kg | | | | | | | |
| | 粗収益 | 10 a 当り円 | 98,721 | 86,192 | 97,236 | 103,743 | 97,082 | 102,341 | 168,964 |
| | | ① | | | | | | | |
| | 総生産費用 | 〃 | 152,439 | 140,540 | 117,662 | 132,828 | 112,432 | 113,324 | 114,492 |
| | | ② | | | | | | | |
| | 利潤 | 〃 | △ 53,718 | △ 54,348 | △ 20,426 | △ 29,085 | △ 15,350 | △ 10,983 | 54,472 |
| | | ③=①-② | | | | | | | |
| | 家族労働費 | 〃 | 47,841 | 36,949 | 29,975 | 32,471 | 26,722 | 27,590 | 26,468 |
| | | ④ | | | | | | | |
| 家族労働報酬 | 10 a 当り円 | △ 5,877 | △ 17,399 | 9,549 | 3,386 | 11,372 | 16,607 | 80,940 | |
| | ⑤=③+④ | | | | | | | | |
| 家族労働時間 | 10 a 当り時 | 36.4 | 28.1 | 22.2 | 23.4 | 18.6 | 18.7 | 17.9 | |
| | ⑥ | | | | | | | | |
| 1時間当り 家族労働報酬 | 円 | - | △ 620 | 431 | 145 | 611 | 887 | 4,517 | |
| | ⑦=⑤÷⑥ | | | | | | | | |
| 1日当り 家族労働報酬 | 円 | - | △ 4,957 | 3,444 | 1,157 | 4,891 | 7,097 | 36,134 | |
| | ⑧=⑦×8 | | | | | | | | |
| 所得 | 10 a 当り | 18,525 | △ 2 | 23,715 | 18,936 | 22,730 | 27,838 | 92,773 | |
| | 円 | | | | | | | | |
| 所得率 | % | 18.8 | △ 0.0 | 24.4 | 18.3 | 23.4 | 27.2 | 54.9 | |

資料）農林水産省「米生産費調査」（販売農家）

Ⅲ-4-(10) 県産米の相対取引価格の推移

(単位：円)

| | H22年産 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | 前年比 (R7/R6) |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 全銘柄平均 | 12,711 | 13,175 | 14,529 | 13,894 | 15,315 | 25,179 | 36,031 | 143 |
| コシヒカリ | 13,101 | 14,534 | 16,257 | 13,791 | 15,242 | 24,406 | 35,373 | 145 |
| ヒノヒカリ | 12,090 | 13,608 | 15,410 | 12,822 | 14,821 | 25,821 | 36,385 | 141 |
| 森のくまさん | 11,863 | 14,330 | 15,056 | 12,465 | 14,442 | 23,519 | - | - |

資料) 農林水産省公表資料

注1) 価格には、運賃、包装代、消費税相当額を含む。

注2) 出回りから翌年10月までの加重平均価格 (R7年産は出回りからR8年3月までの平均価格) 月

注3) コメ価格センターの廃止 (H23年3月) に伴い、H20年産から相対取引価格を指標価格として利用。

Ⅲ-4-(11) 令和6年産米の相対取引価格の推移

(単位：円)

| R6年 | 全銘柄平均 | | コシヒカリ | | ヒノヒカリ | | 森のくまさん | |
|-----|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|------|
| | 相対取引 価格 | 前年対比 | 相対取引 価格 | 前年対比 | 相対取引 価格 | 前年対比 | 相対取引 価格 | 前年対比 |
| 9月 | 22,700 | 7,409 | 23,311 | 8,453 | - | - | - | - |
| 10月 | 23,820 | 8,639 | 23,857 | 8,703 | 24,890 | 10,469 | - | - |
| 11月 | 23,961 | 8,721 | 23,898 | 8,888 | 24,469 | 9,960 | - | - |
| 12月 | 24,665 | 9,275 | 24,735 | 9,334 | 24,559 | 9,857 | - | - |
| 1月 | 25,927 | 10,569 | 24,553 | 9,099 | 24,751 | 9,981 | - | - |
| 2月 | 26,485 | 11,182 | 24,892 | 9,577 | 26,247 | 11,263 | - | - |
| 3月 | 25,876 | 10,448 | 24,882 | 9,510 | 26,453 | 11,511 | - | - |
| 4月 | 27,102 | 11,576 | 24,140 | 8,915 | 27,202 | 12,203 | - | - |
| 5月 | 27,649 | 12,052 | 24,766 | - | 27,423 | 12,672 | - | - |
| 6月 | 27,613 | 11,748 | 25,523 | 10,064 | 27,367 | 12,511 | - | - |
| 7月 | 26,918 | 11,292 | 25,435 | - | 26,589 | 11,641 | - | - |
| 8月 | 27,179 | 11,046 | 25,435 | - | 26,589 | 11,775 | - | - |

資料) 農林水産省「令和6年産米の相対取引価格 (出荷業者) (速報)」より作成

注1) 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の取引数量が100トン未満で価格の公表を行わないもの。

Ⅲ-4-(12) 麦関係主要指標の推移

| 区 分 | 単 位 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|--------|---------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小麦 | 作 付 面 積 | ha | 3,520 | 5,110 | 4,620 | 4,900 | 5,010 | 5,210 | 5,330 | 5,440 | 5,310 |
| | 収 穫 量 | t | 14,900 | 18,200 | 9,290 | 13,600 | 16,500 | 20,600 | 19,100 | 12,600 | 17,500 |
| | 10a 当 り 収 量 | kg | 422 | 357 | 201 | 278 | 329 | 396 | 359 | 232 | 330 |
| | 10a 当 り 平 均 収 量 対 比 | | 146 | 105 | 57 | 94 | 108 | 125 | 106 | 66 | 93 |
| 大麦 | 作 付 面 積 | ha | 1,600 | 1,570 | 1,650 | 1,730 | 2,000 | 2,600 | 2,840 | 2,940 | 2,800 |
| | 収 穫 量 | t | 6,510 | 4,320 | 3,100 | 4,290 | 6,300 | 9,410 | 8,240 | 5,470 | 8,640 |
| | 10a 当 り 収 量 | kg | 407 | 275 | 188 | 248 | 315 | 362 | 290 | 186 | 309 |
| | 10a 当 り 平 均 収 量 対 比 | | 131 | 89 | 62 | 95 | 118 | 130 | 98 | 61 | 104 |
| 裸麦 | 作 付 面 積 | ha | 61 | 17 | 47 | 73 | 146 | 103 | 101 | 109 | 138 |
| | 収 穫 量 | t | 211 | 49 | 55 | 108 | 288 | 279 | 225 | 128 | 368 |
| | 10a 当 り 収 量 | kg | 346 | 288 | 117 | 148 | 197 | 271 | 223 | 117 | 297 |
| 合 計 | 作 付 面 積 | ha | 5,180 | 6,700 | 6,320 | 6,710 | 7,170 | 7,930 | 8,280 | 8,500 | 8,250 |
| | 収 穫 量 | t | 21,600 | 22,600 | 12,400 | 18,000 | 23,100 | 30,300 | 27,600 | 18,200 | 26,500 |
| 政府買入価格 | 小 麦 | 円/60kg | 9,424 | 7,197 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 大 麦 | 円/50kg | 6,084 | 5,060 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 裸 麦 | 円/60kg | 8,826 | 7,473 | - | - | - | - | - | - | - |

資料) 農林水産省「作物統計」

「10a 当たり平均収量対比」とは、10a 当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a 当たり収量の比率

注1) 政府買入価格：平成16年産までは、小麦Ⅰ類、大麦Ⅲ類、裸麦Ⅲ類の各一等の価格。
平成17年産以降は1等価格。
平成19年産からは買入価格の設定なし

Ⅲ-4-(13) 米麦大規模乾燥調製（貯蔵）施設数

| 区 分 | H17 | H22 | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|-------------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| カントリーエレベーター | 26 | 26 | 26 | 23 | 22 | 22 | 22 | 22 |
| ライスセンター | 36 | 36 | 36 | 31 | 28 | 28 | 28 | 28 |
| 計 | 62 | 62 | 62 | 54 | 50 | 50 | 50 | 50 |

資料) 農林水産部調べ

注) サブセンターも計上

Ⅲ-4-(14) 大豆共同乾燥調製施設数

| 区 分 | H17 | H22 | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|----------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 共同乾燥調製施設 | 8 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 | 9 |
| 調製施設 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | 9 | 11 | 11 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |

資料) 農林水産部調べ

Ⅲ-4-(15) 豆類関係主要指標の推移

| 区分 | | 単位 | H12 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大豆 | 作付面積 | ha | 3,220 | 3,100 | 2,550 | 2,090 | 2,420 | 2,660 | 2,730 | 2,600 | 2,150 |
| | 収穫量 | t | 6,630 | 3,820 | 4,590 | 2,590 | 3,750 | 2,950 | 4,530 | 2,600 | 2,370 |
| 小豆 | 作付面積 | ha | 293 | 226 | 181 | 146 | ... | ... | ... | 82 | ... |
| | 収穫量 | t | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 落花生 | 作付面積 | ha | 50 | 27 | 25 | 24 | ... | ... | ... | 17 | ... |
| | 収穫量 | t | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

資料) 農林水産省「作物統計」

(第5節 野菜、果樹、花きの生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-5-(1) 野菜作付面積の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|--------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総作付面積 | ha | 14,417 | 13,729 | 13,046 | 12,330 | 12,759 | 12,661 | 12,444 |
| きゅうり | 〃 | 359 | 314 | 293 | 279 | 279 | 270 | 263 |
| トマト | 〃 | 1,130 | 1,150 | 1,250 | 1,260 | 1,250 | 1,230 | 1,210 |
| キャベツ | 〃 | 1,240 | 1,240 | 1,390 | 1,370 | 1,330 | 1,320 | 1,320 |
| はくさい | 〃 | 463 | 404 | 458 | 404 | 384 | 372 | 367 |
| なす | 〃 | 452 | 408 | 408 | 418 | 403 | 397 | 393 |
| すいか | 〃 | 1,790 | 1,610 | 1,490 | 1,290 | 1,260 | 1,240 | 1,190 |
| だいこん | 〃 | 1,130 | 938 | 869 | 832 | 796 | 783 | 770 |
| アスパラガス | 〃 | 65 | 93 | 107 | 99 | 100 | 100 | 96 |
| ブロッコリー | 〃 | 133 | 172 | 311 | 492 | 900 | 920 | 924 |
| しょうが | 〃 | 184 | 205 | 182 | 170 | 167 | 151 | 139 |
| にんじん | 〃 | 492 | 540 | 618 | 590 | 715 | 728 | 734 |
| ピーマン | 〃 | 114 | 110 | 94 | 88 | 87 | 85 | 81 |
| レタス | 〃 | 456 | 523 | 617 | 605 | 605 | 605 | 587 |
| メロン類 | 〃 | 1,420 | 1,230 | 998 | 862 | 832 | 810 | 793 |
| かぼちゃ | 〃 | 128 | 117 | - | 147 | 153 | - | - |
| ごぼう | 〃 | 261 | 300 | - | 258 | 262 | 266 | 261 |
| れんこん | 〃 | 157 | 159 | 156 | 174 | 195 | 195 | 190 |
| さといも | 〃 | 634 | 603 | 543 | 467 | 463 | 450 | 429 |
| いちご | 〃 | 427 | 379 | 324 | 305 | 293 | 287 | 284 |
| たまねぎ | 〃 | 316 | 315 | 332 | 318 | 316 | 305 | 298 |
| ほうれんそう | 〃 | 448 | 429 | 484 | 466 | 503 | 508 | 507 |
| かんしょ | 〃 | 1,250 | 1,210 | 1,070 | 824 | 815 | 822 | 810 |
| ばれいしょ | 〃 | 645 | 613 | 614 | 578 | 627 | 651 | 655 |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」「作物統計(かんしょ)」農林水産部調べ

注) 主要野菜のみ掲載しているため、総作付面積とは一致しない。

注) かぼちゃはH26～29、R5年統計値の公表無し。

注) ごぼうはH26～H28年統計値の公表無し。

Ⅲ-5-(2) 野菜収穫量の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-----------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総収穫量 | t | 437,047 | 443,842 | 460,337 | 461,073 | 472,116 | 477,542 | 444,925 |
| きゅうり | 〃 | 15,000 | 12,800 | 14,000 | 13,500 | 15,300 | 14,200 | 13,600 |
| トマト | 〃 | 85,300 | 98,900 | 126,000 | 135,300 | 130,300 | 132,600 | 129,400 |
| キャベツ | 〃 | 35,200 | 36,200 | 42,100 | 41,200 | 44,800 | 46,000 | 43,500 |
| はくさい | 〃 | 14,780 | 13,900 | 15,800 | 17,500 | 15,800 | 15,400 | 13,500 |
| なす | 〃 | 32,600 | 30,600 | 31,700 | 34,200 | 33,400 | 36,300 | 33,600 |
| すいか | 〃 | 60,700 | 59,900 | 52,000 | 49,900 | 48,000 | 46,500 | 42,100 |
| だいこん | 〃 | 33,800 | 29,900 | 27,300 | 23,600 | 23,300 | 23,300 | 22,800 |
| アスパラガス | 〃 | 948 | 1,800 | 2,120 | 2,200 | 2,320 | 2,270 | 1,900 |
| ブロッコリー | 〃 | 2,310 | 2,770 | 3,510 | 4,970 | 8,440 | 9,380 | 8,010 |
| しょうが | 〃 | 5,260 | 6,520 | 4,970 | 4,850 | 5,260 | 4,890 | 4,030 |
| にんじん | 〃 | 10,910 | 15,200 | 19,800 | 17,300 | 22,700 | 23,500 | 22,900 |
| ピーマン | 〃 | 3,730 | 3,270 | 3,510 | 3,250 | 3,330 | 3,250 | 3,100 |
| レタス | 〃 | 9,949 | 12,500 | 16,000 | 16,000 | 17,600 | 18,500 | 16,200 |
| メロン類 | 〃 | 32,200 | 28,800 | 22,500 | 24,400 | 24,400 | 24,100 | 20,900 |
| (うちアールス系) | 〃 | (8,955) | (4,837) | (2,874) | (2,238) | (2,177) | (2,198) | |
| かぼちゃ | 〃 | 2,610 | 2,310 | - | 1,880 | 2,140 | - | - |
| ごぼう | 〃 | 4,060 | 3,900 | - | 3,350 | 3,010 | 2,930 | 2,350 |
| れんこん | 〃 | 2,260 | 2,270 | 2,000 | 2,000 | 2,240 | 2,150 | 1,940 |
| さといも | 〃 | 6,980 | 6,690 | 5,860 | 4,860 | 4,820 | 4,590 | 4,200 |
| いちご | 〃 | 13,200 | 12,900 | 10,900 | 12,200 | 11,700 | 11,700 | 11,100 |
| たまねぎ | 〃 | 9,610 | 10,500 | 11,300 | 12,900 | 12,500 | 11,700 | 10,400 |
| ほうれんそう | 〃 | 4,620 | 5,060 | 6,000 | 5,030 | 5,080 | 5,380 | 5,320 |
| かんしょ | 〃 | 29,300 | 27,000 | 23,800 | 17,300 | 19,000 | 18,400 | 18,200 |
| ばれいしょ | 〃 | 12,400 | 11,400 | 12,500 | 11,000 | 14,800 | 16,300 | 13,300 |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」「作物統計(かんしょ)」農林水産部調べ

注) 主要野菜のみ掲載しているため、総収穫量とは一致しない。

注) メロン類のうちアールス系は共販出荷量。

注) かぼちゃはH27～29年の統計値の公表無し。

注) ごぼうはH26～H28年の統計値の公表無し。

Ⅲ-5-(3) ハウス設置面積の推移

| | 種別 | 単位 | H13 | H15 | H17 | H24 | H26 | H28 | H30 | R2 | R4 | R6 |
|-----------|-----|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| ハウス | 野菜 | ha | 4,601 | 4,478 | 4,058 | 3,742 | 3,712 | 3,578 | 3,404 | 3,179 | 2,740 | 2,695 |
| | 花き | 〃 | 456 | 457 | 421 | 365 | 328 | 296 | 273 | 231 | 229 | 224 |
| | 果樹 | 〃 | 370 | 359 | 380 | 469 | 447 | 408 | 382 | 350 | 305 | 289 |
| | 県計 | 〃 | 5,426 | 5,294 | 4,859 | 4,576 | 4,487 | 4,282 | 4,060 | 3,760 | 3,274 | 3,207 |
| | 全国計 | 〃 | 50,913 | 50,011 | 49,947 | 44,560 | 43,232 | 43,220 | 42,164 | 40,615 | 37,894 | 37,278 |
| 加温設備のあるもの | 野菜 | 〃 | 1,881 | 2,124 | 2,024 | 1,722 | 1,911 | 1,928 | 1,732 | 1,665 | 1,644 | 1,626 |
| | 花き | 〃 | 302 | 271 | 278 | 165 | 211 | 203 | 160 | 136 | 157 | 165 |
| | 果樹 | 〃 | 175 | 154 | 147 | 117 | 89 | 94 | 89 | 73 | 64 | 69 |
| | 県計 | 〃 | 2,358 | 2,549 | 2,449 | 2,004 | 2,211 | 2,225 | 1,981 | 1,875 | 1,865 | 1,860 |
| | 全国計 | 〃 | 20,780 | 20,804 | 20,731 | 18,233 | 17,406 | 17,308 | 17,388 | 16,936 | 16,647 | 16,162 |

資料) 農林水産省「園芸用施設及び農業用廃プラスチックに関する調査」

注) ハウス設置面積にはガラス室を含む (H24年以前は含まない)

Ⅲ-5-(4) 仕向先別野菜出荷割合

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------|----|------|------|------|------|------|------|-------|
| 総出荷量 | % | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 北海道 | 〃 | 1.5 | 1.3 | 1.2 | 1.2 | 1.7 | 1.7 | 1.59 |
| 東北 | 〃 | 1.1 | 1.2 | 1.5 | 1.7 | 1.6 | 1.5 | 1.58 |
| 北陸 | 〃 | 0.8 | 1.0 | 0.7 | 0.9 | 1.4 | 1.5 | 1.55 |
| 関東 | 〃 | 17.4 | 20.9 | 24.1 | 25.5 | 26.4 | 26.4 | 25.36 |
| 東海 | 〃 | 4.7 | 4.6 | 5.8 | 5.5 | 11.7 | 12.2 | 12.51 |
| 近畿 | 〃 | 15.1 | 14.1 | 15.5 | 14.6 | 22.2 | 22.0 | 21.01 |
| 中国 | 〃 | 7.7 | 7.7 | 6.4 | 5.3 | 6.2 | 6.8 | 7.62 |
| 四国 | 〃 | 1.9 | 1.3 | 1.0 | 0.8 | 1.9 | 1.8 | 1.63 |
| 九州 | 〃 | 49.8 | 47.9 | 43.8 | 44.5 | 26.8 | 26.0 | 27.17 |

資料) 農林水産省「青果物卸売市場調査報告」

注) H9年～19年までは1・2類都市の市場のみ対象、H20年以降は主要都市の市場のみ対象、R4年以降は中央卸売市場のみ対象。

Ⅲ-5-(5) うんしゅうみかんの栽培面積及び収穫量の推移

| 区 分 | | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|------|-----|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 栽培面積 | 極早生 | 未結果樹面積 | ha | 255 | 43 | 13 | 18 | 17 | 16 | 18 |
| | | 結果樹面積 | " | 1,006 | 1,017 | 783 | 661 | 628 | 611 | 593 |
| | | 計 | " | 1,261 | 1,060 | 796 | 679 | 645 | 627 | 611 |
| | 早生 | 未結果樹面積 | ha | 96 | 77 | 70 | 80 | 81 | 79 | 78 |
| | | 結果樹面積 | " | 1,791 | 1,679 | 1,456 | 1,334 | 1,288 | 1,274 | 1,262 |
| | | 計 | " | 1,887 | 1,756 | 1,526 | 1,414 | 1,369 | 1,353 | 1,340 |
| | 普通 | 未結果樹面積 | " | 44 | 60 | 44 | 58 | 64 | 67 | 66 |
| | | 結果樹面積 | " | 1,524 | 1,293 | 1,116 | 1,051 | 1,008 | 994 | 985 |
| | | 計 | " | 1,568 | 1,353 | 1,160 | 1,109 | 1,072 | 1,061 | 1,051 |
| | 合計 | 未結果樹面積 | " | 395 | 180 | 127 | 156 | 162 | 162 | 162 |
| | | 結果樹面積 | " | 4,321 | 3,989 | 3,355 | 3,046 | 2,924 | 2,879 | 2,840 |
| | | 計 | " | 4,716 | 4,169 | 3,482 | 3,202 | 3,086 | 3,041 | 3,002 |
| 収穫量 | 極早生 | t | 26,641 | 22,964 | 24,464 | 19,472 | 18,626 | 19,311 | 14,242 | |
| | 早 生 | " | 46,143 | 37,458 | 31,503 | 36,797 | 32,822 | 38,131 | 28,399 | |
| | 普 通 | " | 28,216 | 21,278 | 18,833 | 26,845 | 25,737 | 28,165 | 21,194 | |
| | 合 計 | " | 101,000 | 81,700 | 74,800 | 83,114 | 77,185 | 85,607 | 63,835 | |

資料) 県農林水産部「熊本県果樹振興実績書」

Ⅲ-5-(6) 地域別うんしゅうみかんの栽培面積及び収穫量の推移

| 区 分 | | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------|-------|-----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 栽培面積 | 熊 本 | ha | *1,118 | 1,196 | 1,100 | 998 | 947 | 933 | 924 |
| | 宇 城 | " | *941 | 860 | 483 | 420 | 401 | 391 | 389 |
| | 玉 名 | " | 1,749 | 1,667 | 1,580 | 1,541 | 1,526 | 1,520 | 1,497 |
| | 鹿 本 | " | *341 | 109 | 99 | 73 | 69 | 66 | 66 |
| | 菊 池 | " | - | - | - | - | - | 0 | 0 |
| | 阿 蘇 | " | - | - | - | - | - | - | - |
| | 上 益 城 | " | 23 | 12 | 13 | 11 | 7 | 6 | 6 |
| | 八 代 | " | 75 | 66 | 47 | 46 | 39 | 33 | 29 |
| | 芦 北 | " | 29 | 31 | 16 | 6 | 3 | 2 | 2 |
| | 球 磨 | " | - | - | - | - | - | - | - |
| | 天 草 | " | 440 | 228 | 144 | 107 | 94 | 90 | 89 |
| 収穫量 | 熊 本 | t | *27,826 | 26,143 | 28,062 | 29,887 | 28,547 | 29,867 | 22,159 |
| | 宇 城 | " | *19,747 | 17,707 | 9,853 | 12,120 | 10,467 | 11,705 | 7,813 |
| | 玉 名 | " | 40,295 | 33,203 | 33,301 | 38,552 | 36,007 | 41,867 | 32,240 |
| | 鹿 本 | " | *6,831 | 1,629 | 1,578 | 1,085 | 1,059 | 1,021 | 938 |
| | 菊 池 | " | - | - | - | - | - | 0 | 0 |
| | 阿 蘇 | " | - | - | - | - | - | - | - |
| | 上 益 城 | " | 240 | 168 | 145 | 127 | 101 | 93 | 70 |
| | 八 代 | " | 1,074 | 585 | 530 | 419 | 284 | 299 | 136 |
| | 芦 北 | " | 368 | 324 | 285 | 147 | 81 | 82 | 56 |
| | 球 磨 | " | - | - | - | - | - | - | - |
| | 天 草 | " | 4,671 | 4,619 | 1,941 | 1,046 | 859 | 673 | 423 |

資料) 県農林水産部「熊本県果樹振興実績書」

注) *: 平成 20 年産まで旧植木町分は鹿本地域、旧城南町分は宇城地域に含まれる。

Ⅲ-5-(7) うんしゅうみかんの共販（生食向）実績の推移

| 区 分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | | |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 共販数量 | t | 50,772 | 32,114 | 30,853 | 30,768 | 25,684 | 28,692 | 19,680 | | |
| 単価 | kg当り・円 | 133 | 227 | 216 | 233 | 255 | 289 | 372 | | |
| 販売金額 | 百万円 | 6,750 | 7,276 | 6,664 | 7,166 | 6,536 | 8,303 | 7,316 | | |
| 市場別 | 京 浜 | 数量 | t | 18,674 | 12,196 | 11,562 | 13,512 | 11,247 | 13,607 | 10,157 |
| | | 単価 | kg当り・円 | 132 | 223 | 229 | 236 | 264 | 300 | 391 |
| | 名 古屋 | 数量 | t | 1,887 | 1,127 | 1,224 | 1,827 | 1,462 | 2,013 | 905 |
| | | 単価 | kg当り・円 | 125 | 219 | 198 | 230 | 236 | 268 | 339 |
| | 京 阪 神 | 数量 | t | 4,995 | 2,717 | 2,502 | 3,090 | 1,818 | 2,095 | 1,342 |
| | | 単価 | kg当り・円 | 120 | 211 | 205 | 216 | 240 | 270 | 339 |
| 月別単価 | 9月 | kg当り・円 | 171 | 290 | 225 | 289 | 279 | 281 | 330 | |
| | 10月 | 〃 | 131 | 207 | 196 | 227 | 240 | 281 | 328 | |
| | 11月 | 〃 | 112 | 216 | 212 | 241 | 260 | 276 | 357 | |
| | 12月 | 〃 | 127 | 233 | 237 | 221 | 245 | 296 | 395 | |
| | 1月 | 〃 | 157 | 280 | 265 | 201 | 303 | 347 | 515 | |
| | 2月 | 〃 | 151 | 292 | 311 | 259 | 299 | 377 | 541 | |
| | 3月 | 〃 | 139 | 326 | 410 | 420 | 424 | 469 | 529 | |

資料) J A熊本果実連（単価は税込み）

注) ハウスみかんを除く

Ⅲ-5-(8) 県産主要果実の市場単価の推移

(単位：円/kg 税込み)

| 区 分 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| うんしゅうみかん | 133 | 227 | 216 | 233 | 255 | 289 | 372 |
| 不知火類(テコホソ) | 467 | 491 | 523 | 497 | 542 | 554 | 670 |
| なつみかん | 183 | 198 | 212 | 217 | 213 | 216 | 249 |
| ネーブル | 210 | 291 | 327 | 303 | 378 | 404 | 462 |
| ポンカン | 348 | 279 | 272 | 279 | 319 | 322 | 417 |
| 晩白柚 | 181 | 375 | 462 | 440 | 443 | 477 | 576 |
| 大 橘 | 171 | 235 | 235 | 244 | 279 | 292 | 350 |
| 河内晩柑 | 211 | 208 | 222 | 203 | 218 | 235 | 273 |
| 清 見 | 467 | 276 | 273 | 282 | 285 | 308 | 343 |
| び わ | 949 | 1,015 | 1,480 | 1,446 | 1,349 | 2,105 | 1,680 |
| な し | 254 | 357 | 389 | 481 | 488 | 487 | 606 |
| ぶ ど う | 795 | 867 | 1,003 | 1,318 | 1,483 | 1,523 | 1,750 |
| も も | 583 | 650 | 761 | 1,040 | 1,095 | 1,145 | 1,396 |
| く り | 699 | 471 | 826 | 717 | 1,236 | 1,221 | 1,211 |
| か き | 288 | 538 | 473 | 569 | 544 | 605 | 661 |
| す も も | 622 | 861 | 740 | 1,053 | 1,077 | 1,048 | 1,234 |

資料) J A熊本果実連

Ⅲ-5-(9) 主要果実施設栽培の推移

(単位：a、t)

| 区 分 | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|-----|----|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 面 | かん | うんしゅうみかん | 3,393 | 1,750 | 1,023 | 851 | 771 | 841 | 811 |
| | かん | 不知火類 | 17,424 | 20,143 | 19,210 | 20,201 | 19,784 | 19,346 | 18,969 |
| | き | 晩白柚 | 1,699 | 1,699 | 1,710 | 1,685 | 1,635 | 1,624 | 1,614 |
| | つ | その他 | 1,621 | 1,027 | 1,055 | 848 | 782 | 770 | 781 |
| | 類 | 小計 | 24,137 | 24,619 | 22,998 | 23,585 | 22,972 | 22,581 | 22,175 |
| 積 | 落 | ぶどう | 16,879 | 16,082 | 14,726 | 12,772 | 13,145 | 13,121 | 13,246 |
| | 葉 | なし | 6,429 | 5,019 | 3,630 | 1,964 | 1,757 | 1,551 | 1,386 |
| | 果 | もも | 2,503 | 2,274 | 1,690 | 1,177 | 1,069 | 1,061 | 1,011 |
| | 樹 | その他 | 2,627 | 3,485 | 2,691 | 1,946 | 1,885 | 1,878 | 1,719 |
| | | 小計 | 28,438 | 26,860 | 22,737 | 17,859 | 17,856 | 17,611 | 17,362 |
| 合計 | | 52,575 | 51,479 | 45,735 | 41,444 | 40,828 | 40,192 | 39,537 | |
| 生 | かん | うんしゅうみかん | 1,618 | 872 | 635 | 447 | 410 | 423 | 364 |
| | かん | 不知火類 | 4,924 | 5,961 | 5,476 | 5,962 | 5,037 | 5,689 | 4,776 |
| | き | 晩白柚 | 513 | 526 | 390 | 399 | 433 | 420 | 418 |
| | つ | その他 | 352 | 164 | 175 | 131 | 118 | 120 | 107 |
| | 類 | 小計 | 7,407 | 7,523 | 6,676 | 6,939 | 5,998 | 6,652 | 5,665 |
| 産 | 落 | ぶどう | 1,615 | 1,594 | 1,245 | 1,161 | 1,137 | 1,128 | 1,105 |
| | 葉 | なし | 1,330 | 936 | 587 | 382 | 342 | 280 | 242 |
| | 果 | もも | 290 | 261 | 174 | 119 | 105 | 108 | 96 |
| | 樹 | その他 | 483 | 502 | 339 | 233 | 246 | 233 | 233 |
| | | 小計 | 3,718 | 3,293 | 2,345 | 1,895 | 1,830 | 1,749 | 1,676 |
| 合計 | | 11,125 | 10,816 | 9,021 | 9,021 | 7,828 | 8,401 | 7,341 | |

資料) 県農林水産部「熊本県果樹振興実績書」

注) ネット栽培も施設栽培に含む。

Ⅲ-5-(10) その他果実の栽培面積及び収穫量の推移

| 区 分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-------|------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 不知火類 | 栽培面積 | ha | 1,273 | 1,274 | 1,155 | 1,101 | 1,059 | 1,021 | 1,003 |
| | 収穫量 | t | 15,460 | 16,269 | 15,493 | 19,551 | 16,201 | 17,717 | 12,706 |
| なつみかん | 栽培面積 | ha | 593 | 468 | 377 | 266 | 236 | 220 | 207 |
| | 収穫量 | t | 12,120 | 9,324 | 7,916 | 6,198 | 4,664 | 5,593 | 4,078 |
| ポンカン | 栽培面積 | ha | 231 | 139 | 113 | 87 | 81 | 77 | 74 |
| | 収穫量 | t | 2,994 | 1,925 | 1,453 | 1,269 | 923 | 995 | 934 |
| くり | 栽培面積 | ha | 3,358 | 2,869 | 2,438 | 2,199 | 2,182 | 2,188 | 2,198 |
| | 収穫量 | t | 1,878 | 3,063 | 1,099 | 2,367 | 2,362 | 2,197 | 1,854 |
| なし | 栽培面積 | ha | 595 | 518 | 434 | 357 | 351 | 344 | 335 |
| | 収穫量 | t | 11,617 | 7,155 | 6,080 | 6,192 | 6,198 | 5,930 | 4,165 |
| かき | 栽培面積 | ha | 334 | 341 | 309 | 266 | 254 | 245 | 247 |
| | 収穫量 | t | 1,410 | 760 | 564 | 980 | 1,070 | 989 | 890 |
| ぶどう | 栽培面積 | ha | 249 | 212 | 169 | 148 | 140 | 136 | 137 |
| | 収穫量 | t | 2,336 | 1,988 | 1,516 | 1,375 | 1,352 | 1,339 | 1,322 |

資料) 県農林水産部「熊本県果樹振興実績書」

Ⅲ-5-(11) 花き類作付面積の推移

(単位：ha)

| 区分 | 単位 | H17 (年) | H22 | H30 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|--------|---------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 切花類 | ha | 549.0 | 445.5 | 369.3 | 357.5 | 344.3 | 310.7 | 305.1 | |
| 主な品目 | キク | ha | 120.6 | 97.2 | 75.1 | 69.9 | 61.7 | 58.9 | 59.4 |
| | カーネーション | ha | 11.5 | 8.6 | 6.4 | 6.4 | 5.4 | 4.9 | 4.3 |
| | バラ | ha | 11.3 | 8.3 | 5.0 | 3.8 | 3.3 | 3.3 | 3.4 |
| | 宿根カスミソウ | ha | 102.1 | 97.5 | 77.6 | 77.6 | 77.5 | 76.9 | 76.5 |
| | スターチス類 | ha | 16.7 | 8.3 | 3.0 | 3.2 | 3.0 | 3.6 | 4.1 |
| | トルコギキョウ | ha | 40.9 | 42.2 | 43.1 | 42.6 | 43.4 | 41.6 | 37.8 |
| | ガーベラ | ha | 4.4 | 3.7 | 2.2 | 1.5 | 2.0 | 2.7 | 2.2 |
| | ユリ類 | ha | 23.1 | 21.1 | 11.4 | 10.9 | 11.2 | 10.9 | 9.6 |
| | 枝物 | ha | 70.8 | 58.4 | 55.3 | 56.6 | 54.2 | 47.5 | 50.7 |
| | リンドウ | ha | 8.7 | 8.4 | 5.0 | 4.4 | 3.4 | 3.3 | 2.8 |
| | カラー | ha | 11.6 | 11.0 | 8.3 | 7.5 | 4.3 | 4.4 | 4.3 |
| 宿根アスター | ha | 40.6 | 15.3 | 18.6 | 18.3 | 18.4 | 3.7 | 2.6 | |
| 鉢物類 | ha | 26.8 | 26.2 | 19.6 | 20.2 | 19.3 | 17.9 | 19.3 | |
| 花壇用苗物 | ha | 24.6 | 21.8 | 17.6 | 19.7 | 15.6 | 15.9 | 14.8 | |
| 球根養成 | ha | 4.1 | 1.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 芝・地被類 | ha | 206.2 | 279.6 | 179.5 | 172.7 | 204.3 | 193.0 | 192.6 | |
| 合計 | ha | 810.7 | 774.8 | 585.9 | 569.9 | 583.5 | 537.5 | 531.8 | |

資料) 県農林水産部調べ ※ラウンドの関係で合計は一致しない。

Ⅲ-5-(12) 花き類生産量の推移

(単位：千本、千鉢、千球、千㎡)

| 区分 | 単位 | H17 (年) | H22 | H30 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|--------|---------|------------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|--------|
| 切花類 | 千本 | 149,227 | 122,718 | 98,586 | 90,297 | 86,092 | 80,441 | 73,476 | |
| 主な品目 | キク | 千本 | 29,788 | 25,426 | 25,824 | 23,792 | 21,339 | 20,906 | 20,592 |
| | カーネーション | 千本 | 11,025 | 7,594 | 4,661 | 4,157 | 4,115 | 3,819 | 3,601 |
| | バラ | 千本 | 9,579 | 5,544 | 3,516 | 2,781 | 2,238 | 2,138 | 1,980 |
| | 宿根カスミソウ | 千本 | 19,489 | 20,934 | 17,850 | 17,524 | 16,316 | 18,090 | 16,264 |
| | スターチス類 | 千本 | 5,293 | 2,389 | 963 | 1,032 | 1,045 | 1,161 | 1,896 |
| | トルコギキョウ | 千本 | 11,518 | 9,943 | 9,663 | 8,608 | 8,775 | 8,035 | 7,343 |
| | ガーベラ | 千本 | 4,496 | 3,876 | 3,507 | 3,386 | 3,471 | 5,555 | 3,928 |
| | ユリ類 | 千本 | 6,416 | 4,025 | 1,937 | 1,650 | 1,459 | 1,507 | 1,393 |
| | 枝物 | 千本 | 9,000 | 7,029 | 1,413 | 5,663 | 5,644 | 4,593 | 2,760 |
| | リンドウ | 千本 | 2,812 | 1,049 | 521 | 362 | 291 | 255 | 207 |
| | カラー | 千本 | 4,937 | 3,240 | 1,825 | 1,715 | 1,181 | 1,305 | 1,028 |
| 宿根アスター | 千本 | 12,144 | 10,615 | 7,013 | 6,890 | 7,066 | 1,306 | 964 | |
| 鉢物類 | 千鉢 | 3,727 | 3,560 | 1,413 | 1,495 | 1,553 | 1,543 | 1,553 | |
| 花壇用苗物 | 千鉢 | 14,095 | 12,338 | 9,367 | 8,620 | 8,398 | 8,593 | 8,371 | |
| 球根養成 | 千球 | 2,799 | 763 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 芝・地被類 | 千㎡ | 1,664 | 2,404 | 11,713 | 1,183 | 1,225 | 1,267 | 1,188 | |
| 合計 | | 171,512.0 | 141,782.0 | 121,079.0 | 101,595.0 | 97,268.0 | 91,844.0 | 84,588.0 | |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-5-(13) 花き類生産量の推移(総括表)

| 区分 | 単位 | H17 (年) | H22 | H30 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-------|----|------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 切花類 | 千本 | 149,227 | 122,718 | 98,589 | 90,297 | 86,092 | 80,441 | 73,476 |
| 鉢物類 | 千鉢 | 3,727 | 3,560 | 1,413 | 1,495 | 1,553 | 1,543 | 1,553 |
| 花壇用苗物 | 千鉢 | 14,095 | 12,338 | 9,367 | 8,620 | 8,398 | 8,593 | 8,371 |
| 球根養成 | 千球 | 2,799 | 763 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 芝・地被類 | 千㎡ | 1,664 | 2,404 | 1,171 | 1,183 | 1,225 | 1,267 | 1,188 |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-5-(14) 花き類共販実績の推移

| 区 分 | 単 位 | H17 (年) | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-----|----------|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 数 量 | 万本 | 4,416 | 4,595 | 4,051 | 3,268 | 3,201 | 3,188 | 2,840 |
| 指 数 | H17年=100 | 100 | 104 | 92 | 74 | 72 | 72 | 64 |
| 金 額 | 万円 | 332,020 | 406,755 | 388,920 | 295,676 | 366,450 | 367,278 | 342,707 |
| 指 数 | H17年=100 | 100 | 123 | 117 | 89 | 110 | 111 | 103 |
| 単 価 | 円/本 | 75 | 89 | 96 | 90 | 114 | 115 | 121 |
| 指 数 | H17年=100 | 100 | 119 | 128 | 120 | 152 | 153 | 161 |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-5-(15) 花き類県内市場における価格の推移

| 区 分 | 単 位 | H17 (年) | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------|----------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| キ ク | 円/本 | 43 | 47 | 50 | 47 | 54 | 56 | 57 |
| バ ラ | 円/本 | 48 | 53 | 68 | 61 | 80 | 83 | 89 |
| カーネーション | 円/本 | 39 | 40 | 46 | 46 | 56 | 59 | 61 |
| 宿根カスミソウ | 円/本 | 48 | 55 | 55 | 55 | 78 | 72 | 74 |
| トルコギキョウ | 円/本 | 55 | 62 | 78 | 85 | 101 | 108 | 101 |
| 鉢 物 | 円/鉢 | 157 | 151 | 138 | 364 | 427 | 452 | 466 |
| 花壇用苗物 | 円/鉢 | 32 | 39 | 40 | 43 | 45 | 47 | 48 |
| 花き類全体平均 | 単価 | 50 | 54 | 60 | 61 | 71 | 74 | 76 |
| 指 数 | H17年=100 | 100 | 108 | 120 | 123 | 142 | 148 | 152 |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-5-(16) 花き類県外市場における価格の推移

| 区 分 | 単 位 | H17 (年) | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|--------------|----------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| キ ク | 円/本 | 60 | 67 | 65 | 66 | 72 | 75 | 80 |
| バ ラ | 円/本 | 218 | 93 | 102 | 96 | 119 | 126 | 121 |
| カーネーション | 円/本 | 44 | 46 | 38 | 42 | 64 | 54 | 45 |
| 宿根カスミソウ | 円/本 | 78 | 86 | 78 | 75 | 100 | 94 | 102 |
| トルコギキョウ | 円/本 | 104 | 128 | 150 | 161 | 195 | 202 | 206 |
| 鉢物・ 花壇用苗物 | 円/鉢 | 111 | 180 | 278 | 172 | 230 | 268 | 286 |
| 花き類全体平均 | 単価 | 75 | 89 | 96 | 90 | 114 | 115 | 121 |
| 指 数 | H17年=100 | 100 | 117 | 127 | 120 | 151 | 153 | 161 |

資料) 県農林水産部調べ

(第6節 工芸作物の生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-6-(1) いぐさ、い製品関係主要指標の推移

| 項 目 | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|-----------|-----------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| い | 作付面積 | ha | 1,630 | 882 | 687 | 420 | 380 | 351 | 319 | 242 |
| | うち「ひのみどり」 | ha | 599 | 490 | 392 | 168 | 112 | 97 | 76 | 64 |
| | 10a当たり収量 | kg | 1,280 | 1,280 | 1,110 | 1,490 | 1,530 | 1,550 | 1,560 | 1,500 |
| | 収 穫 量 | t | 20,900 | 11,300 | 7,630 | 6,260 | 5,810 | 5,440 | 4,980 | 3,630 |
| | 栽培農家数 | 戸 | 1,110 | 679 | 536 | 357 | 319 | 296 | 266 | 223 |
| うち「ひのみどり」 | 戸 | — | 450 | 351 | 182 | 130 | 116 | 92 | 84 | |
| いぐさ価格 | 円/kg | 255 | 276 | 292 | 301 | 396 | 364 | 333 | — | |
| 畳表生産枚数 | 千枚 | 7,410 | 3,890 | 2,740 | 2,240 | 1,650 | 1,540 | 1,410 | 1,030 | |
| 「ひのさらさ」 | 千枚 | 9 | 7 | 14 | 10 | 8 | 8 | 9 | — | |
| 「ひのさくら」 | 千枚 | 64 | 46 | 39 | 35 | 24 | 25 | 24 | — | |
| 「ひのさやか」 | 千枚 | 343 | 964 | 582 | 420 | 367 | 331 | 293 | — | |
| 「ひのみどり」 | 千枚 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 畳表価格 | 円/枚 | 1,276 | 1,537 | 1,874 | 2,014 | 2,221 | 2,212 | 2,176 | — | |
| 「ひのさらさ」 | 円/枚 | 4,572 | 4,216 | 5,126 | 5,463 | 5,895 | 5,972 | 6,411 | — | |
| 「ひのさくら」 | 円/枚 | 2,475 | 2,630 | 3,052 | 3,113 | 3,425 | 3,474 | 3,522 | — | |
| 「ひのさやか」 | 円/枚 | 1,849 | 1,618 | 1,990 | 2,027 | 2,250 | 2,190 | 2,113 | — | |
| 「ひのみどり」 | 円/枚 | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 畳表上位等級率 | % | 73.3 | 77.9 | 71.9 | 76.6 | 77.6 | 77.3 | 76.2 | — | |
| 作付面積 | 八代 | ha | 1,560 | — | — | — | — | — | — | — |
| | 宇城 | ha | 55 | — | — | — | — | — | — | — |
| | 球磨 | ha | 17 | — | — | — | — | — | — | — |
| | その他 | ha | 0 | — | — | — | — | — | — | — |
| 収 穫 量 | 八代 | t | 20,000 | — | — | — | — | — | — | — |
| | 宇城 | t | 702 | — | — | — | — | — | — | — |
| | 球磨 | t | 192 | — | — | — | — | — | — | — |
| | その他 | t | 0 | — | — | — | — | — | — | — |

資料) 農林水産省「作物統計」、JA熊本経済連、JAやつしろ、熊本県い業協同組合調べ

Ⅲ-6-(2) 茶関係主要指標の推移

| 区 分 | 単 位 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|
| 栽培面積 | ha | 1,610 | 1,420 | 1,170 | 1,100 | 1,050 | 961 | 908 | |
| 摘採面積 | 〃 | 1,320 | 1,140 | 950 | 900 | 870 | 799 | 755 | |
| 生葉収穫量 | t | 6,830 | 5,590 | 5,400 | 6,230 | 6,380 | 5740 | 5410 | |
| 荒茶生産量 | 〃 | 1,380 | 1,140 | 1,120 | 1,290 | 1,320 | 1200 | 1140 | |
| 共 販 実 績 | 販売数量 | t | 693 | 534 | 569 | 675 | 701 | 639 | 637 |
| | 販売金額 | 百万円 | 778 | 546 | 572 | 635 | 665 | 625 | 747 |
| | 単価 | 円/kg | 1,229 | 1,023 | 1,004 | 940 | 948 | 977 | 1174 |

資料) 農林水産省「作物統計」、JA熊本経済連

Ⅲ-6-(3) 葉たばこ関係主要指標の推移

| 区 分 | 単 位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 耕作者数 | 人 | 1,119 | 967 | 600 | 495 | 336 | 332 | 326 | 310 |
| 作付面積 | ha | 1,982 | 1,741 | 1,192 | 937 | 660 | 664 | 643 | 599 |
| 生産量 | t | 5,088 | 3,594 | 2,823 | 2,161 | 1,869 | 1,974 | 1,836 | 1,794 |
| 葉たばこ 販売代金 | 百万円 | 9,801 | 6,866 | 5,672 | 4,537 | 3,875 | 3,818 | 3,507 | 3,385 |
| 10a当たり収量 | kg | 257 | 206 | 237 | 231 | 283 | 297 | 286 | 300 |
| 10a当たり代金 | 千円 | 494 | 394 | 476 | 484 | 587 | 575 | 545 | 565 |
| kg当たり代金 | 円 | 1,926 | 1,910 | 2,009 | 2,099 | 2,073 | 1,934 | 1,910 | 1,886 |
| 1人当たり面積 | a | 177 | 180 | 199 | 189 | 196 | 200 | 197 | 193 |
| 1人当たり代金 | 千円 | 8,759 | 7,100 | 9,453 | 9,165 | 11,530 | 11,500 | 10,757 | 10,918 |

資料) 中九州たばこ耕作組合

注) 平成17年度から販売代金に消費税を加えて生産者へ支払われる(販売代金等は消費税抜き)

(第7節 畜産物の生産、流通及び価格の動向)

Ⅲ-7-(1) 乳用牛関係主要指標の推移(その1)

| 区分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|-----------|---------------|------|---------|------------------|-------------------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 飼養戸数 | | 戸 | 958 | 729 | 631 | 519 | 494 | 467 | 457 | 438 |
| 飼養頭数 | | 頭 | 50,100 | 42,500 | 44,500 | 44,400 | 43,600 | 43,800 | 43,000 | 41,900 |
| | うち経産牛 | 〃 | 34,700 | 30,000 | 30,200 | 30,200 | 30,400 | 29,700 | 30,200 | 29,700 |
| 1戸当たり飼養頭数 | | 〃 | 52.3 | 58.3 | 70.5 | 85.5 | 88.3 | 93.8 | 94.1 | 95.7 |
| 生乳生産量 | | t | 276,412 | 241,911 | 252,647 | 259,179 | 266,013 | 256,330 | 256,782 | - |
| 生乳移出量 | | 〃 | 211,475 | 118,127 | 106,137 | 90,442 | 94,633 | 86,301 | 89,711 | - |
| 生乳移入量 | | 〃 | 108,412 | 37,806 | 28,550 | 23,375 | 24,119 | 15,855 | 22,616 | - |
| 県内処理量計 | | 〃 | 173,349 | 161,590 | 175,060 | 192,112 | 195,499 | 185,884 | 189,687 | - |
| | 牛乳等向 | 〃 | 97,751 | 94,599 | 105,037 | 125,957 | 132,811 | 131,150 | 127,775 | - |
| | うち学校給食向 | 〃 | - | 7,785 | 7,639 | 6,885 | 7,657 | 7,801 | - | - |
| | 乳製品向 | 〃 | 72,763 | 65,082 | 69,250 | 65,392 | 61,936 | 54,009 | 61,187 | - |
| | その他向 | 〃 | 2,835 | 1,909 | 773 | 763 | 752 | 725 | 725 | - |
| 牛乳価格 | プール価格 | 円/kg | 89.92 | 99.98 | 110.08 | 114.36 | 117.96 | 130.76 | 134.05 | - |
| | 基準取引価格 | 〃 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 保証価格 | 〃 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 加工原料乳生産者補給金単価 | 〃 | 10.40 | 11.85 | (脱・バ等向け) 12.90 | 10.85 | 10.85 | 11.34 | 11.67 | 11.82 |
| | 〃 | | | (チーズ向け) 15.53 | | | | | | |
| 乳用牛産出額 | | 億円 | 278 | 261 | 300 | 339 | 332 | 352 | 371 | - |
| | 生乳産出額 | 億円 | 250 | 235 | 260 | 290 | 299 | 317 | 332 | - |

資料) 農林水産省「畜産統計」「牛乳・乳製品統計」「生産農業所得統計」、県農林水産部調べ
注1) 「脱・バ等」は「脱脂粉乳・バター等」のこと。

注2) 加工原料乳生産者補給金単価は、平成29年度から脱脂粉乳・バター等(脱・バ)等向け、チーズ向け、生クリーム向けを一本化。

Ⅲ-7-(2) 乳用牛関係主要指標の推移(その2)

| 区分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|------------------|-----------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 搾乳牛1頭当たり労働時間 | | 時間 | 143.03 | 140.79 | 116.95 | 111.55 | 111.41 | 105.20 | 103.91 |
| 酪農ヘルパーによる定休日確保農家 | | 戸 | 509 | 433 | 423 | 461 | 408 | 392 | 370 |
| | 酪農家に占める割合 | % | 53 | 59 | 67 | 89 | 80 | 79 | 79 |

資料) 県農林水産部調べ

注1) 搾乳牛1頭当たり労働時間は、農林水産省「牛乳生産費(熊本)」

Ⅲ-7-(3) 牛乳生産費及び収益性の推移

| 区分 | | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|----|--------------------------------|-------------------------|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 生 | 種付料 | 搾乳牛1頭 当たり・円 | 12,921 | 13,073 | 16,909 | 16,777 | 17,975 | 20,306 | 21,385 |
| | 飼料費 | 〃 | 290,130 | 331,724 | 345,510 | 422,646 | 538,592 | 570,831 | 563,537 |
| | 敷料費 | 〃 | 5,925 | 8,099 | 9,062 | 12,019 | 13,780 | 13,486 | 13,819 |
| | 光熱水料 動力費 | 〃 | 19,791 | 24,253 | 24,213 | 27,296 | 37,189 | 36,872 | 37,812 |
| | その他諸材料費 | 〃 | 1,387 | 2,145 | 855 | 1,786 | 1,957 | 2,250 | 2,157 |
| | 獣医師料 医薬品費 | 〃 | 28,723 | 34,105 | 28,682 | 30,726 | 32,303 | 33,590 | 34,349 |
| | 賃借料料金 | 〃 | 12,311 | 12,588 | 9,976 | 17,384 | 17,523 | 17,172 | 17,572 |
| | 物件税 公課諸負担 | 〃 | 9,709 | 12,145 | 8,021 | 11,025 | 12,268 | 12,308 | 12,082 |
| | 乳牛償却費 | 〃 | 92,944 | 106,012 | 122,885 | 174,711 | 164,675 | 143,622 | 125,493 |
| | 建物費 | 〃 | 14,462 | 32,262 | 18,435 | 22,894 | 25,266 | 23,949 | 25,333 |
| 産 | 自動車費 | 〃 | 6,196 | 7,259 | 7,255 | 4,685 | 4,313 | 4,439 | 4,396 |
| | 農機具費 | 〃 | 28,719 | 41,721 | 28,703 | 38,365 | 46,064 | 47,350 | 48,485 |
| | 生産管理費 | 〃 | 3,502 | 4,363 | 3,798 | 2,268 | 2,211 | 2,251 | 2,280 |
| | 労働費 | 〃 | 189,755 | 193,883 | 163,301 | 165,952 | 164,380 | 164,241 | 167,226 |
| | 費用合計 | 〃 | 716,475 | 823,632 | 787,605 | 948,534 | 1,078,496 | 1,092,667 | 1,075,926 |
| | 副産物価額 | 〃 | 37,434 | 46,134 | 55,575 | 165,208 | 114,755 | 101,528 | 108,510 |
| | 生産費 (副産物価額差引) | 〃 | 679,041 | 777,498 | 732,030 | 783,326 | 963,741 | 991,139 | 967,416 |
| | 支払利子 | 〃 | 4,339 | 7,701 | 2,226 | 2,809 | 2,368 | 2,486 | 2,463 |
| | 支払地代 | 〃 | 7,795 | 7,118 | 10,784 | 4,355 | 4,224 | 4,183 | 4,565 |
| | 支払利子・ 地代算入生産費 | 〃 | 691,175 | 792,317 | 745,040 | 790,490 | 970,333 | 997,808 | 974,444 |
| 費 | 自己資本利子 | 〃 | 23,540 | 15,075 | 19,857 | 24,856 | 26,552 | 23,217 | 22,479 |
| | 自作地地代 | 〃 | 6,624 | 5,518 | 6,596 | 12,861 | 12,017 | 11,523 | 11,836 |
| | 資本利子・地代 全額算入生産費 (全算入生産費) | 〃 | 721,339 | 812,910 | 771,493 | 828,207 | 1,008,902 | 1,032,548 | 1,008,759 |
| | 生産物 生産数量 | 搾乳牛1頭 当たり・kg(乳 量) | 8,040 | 8,730 | 8,067 | 8,745 | 9,126 | 8,909 | |
| | 粗収益 | 〃・円 | 756,753 | 904,386 | 917,343 | 1,085,852 | 1,068,236 | 1,127,285 | |
| | 所得 | 〃・円 | 207,794 | 229,690 | 257,633 | 261,994 | 106,546 | 151,146 | |
| 性 | 所得率 | 〃・% | 27.5 | 25.4 | 28.1 | 24.1 | 10.0 | 13.4 | |

資料) 農林水産省「牛乳生産費(熊本)」

注1) 平成17年度以前は、既に公表された『平成18年牛乳生産費』以前のデータ

注2) 税制改正に伴い、平成19年度は減価償却計算が見直しされている。

注3) 全国を設定単位とした標本調査の中から熊本県分を抜き出し集計した事例結果のため、利用にあたっては留意。

注4) 平成29年度以降は都道府県データが公表されないため全国平均値

Ⅲ-7-(4) 肉用牛関係主要指標の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | |
|-----------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 飼養戸数 | 戸 | 4,440 | 3,520 | 2,750 | 2,350 | 2,170 | 2,090 | 2,020 | 1,900 | |
| 飼養頭数 | 頭 | 149,200 | 149,800 | 125,000 | 132,300 | 133,600 | 139,100 | 134,000 | 133,200 | |
| うち子取り用めす | 〃 | 27,700 | 33,500 | 34,200 | 39,600 | 42,000 | 43,700 | 44,100 | 43,200 | |
| うち乳用種 | 〃 | 61,100 | 52,100 | 36,100 | 27,600 | 28,700 | 27,300 | 22,800 | 22,100 | |
| 1戸当たり飼養頭数 | 〃 | 33.6 | 42.6 | 45.5 | 56.3 | 61.6 | 66.6 | 66.3 | 70.1 | |
| 肉用子牛 | 出荷頭数 | 〃 | 20,567 | 20,996 | 18,345 | 20,782 | 22,170 | 22,968 | 22,592 | 20,659 |
| | うち褐毛和種 | 〃 | 6,948 | 4,011 | 3,765 | 3,844 | 3,859 | 3,871 | 3,739 | 4,096 |
| | うち黒毛和種 | 〃 | 13,619 | 16,985 | 14,580 | 16,938 | 18,311 | 19,097 | 18,853 | 16,563 |
| 流通 | 褐毛和種子牛価格 | 円 | 369,121 | 296,199 | 558,080 | 603,613 | 591,279 | 558,701 | 643,485 | |
| | 黒毛和種子牛価格 | 円 | 495,765 | 365,360 | 642,529 | 671,284 | 678,747 | 580,920 | 538,893 | |
| 肉牛流通 | 出荷頭数 | 頭 | 71,901 | - | - | 45,440 | 44,324 | 44,568 | - | - |
| | うち県内向け | 〃 | 41,440 | - | - | 23,912 | 24,823 | 24,363 | - | - |
| | うち県外向け | 〃 | 30,461 | - | - | 21,528 | 19,501 | 20,205 | - | - |
| | うち乳用雄肥育 | 〃 | 26,741 | - | - | 2,810 | 1,596 | 923 | - | - |
| | うち乳雌牛 | 〃 | 15,289 | - | - | 6,218 | 6,120 | 5,993 | - | - |
| 肉用牛産出額 | 億円 | 300 | 307 | 376 | 440 | 452 | 435 | 420 | - | |

資料) 農林水産省「畜産統計」「食肉流通統計」「生産農業所得統計」
 (独) 農畜産業振興機構「肉用子牛取引情報」、県農林水産部調べ

Ⅲ-7-(5) 繁殖雌牛の育種価判明率の推移

| 区分 | 単位 | H17年 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|------|-------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 褐毛和種 | 現存牛頭数 | 頭 | 10,467 | 7,485 | 6,600 | 6,909 | 7,453 | 7,346 | 7,185 |
| | 判明頭数 | 頭 | 6,382 | 6,524 | 4,338 | 3,199 | 3,266 | 3,400 | 3,618 |
| | 判明率 | % | 61.0 | 87.2 | 65.7 | 46.3 | 43.8 | 46.3 | 50.4 |
| 黒毛和種 | 現存牛頭数 | 頭 | 18,174 | 27,551 | 27,621 | 32,361 | 33,867 | 33,722 | 32,772 |
| | 判明頭数 | 頭 | 7,014 | 14,374 | 14,053 | 12,661 | 12,630 | 13,475 | 14,008 |
| | 判明率 | % | 38.6 | 52.2 | 50.9 | 39.1 | 37.3 | 40.0 | 42.7 |

資料) 褐毛和種現存牛：(一社)日本あか牛登録協会 黒毛和種現存牛：(公社)全国和牛登録協会

注1) 育種価評価は当該年で計算したもの

注2) 現存牛：

(黒毛) R5.1時点の現存繁殖牛頭数。

(褐毛) R4.12.31時点で現存している繁殖登録牛。

Ⅲ-7-(6) 子牛生産費及び収益性の推移

| 区分 | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | |
|----|--------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 生 | 種付料 | 17,520 | 22,643 | 22,095 | 22,775 | 21,711 | 22,112 | 22,190 | |
| | 飼料費 | 131,904 | 160,187 | 212,586 | 237,993 | 319,557 | 348,485 | 334,687 | |
| | 敷料費 | 9,056 | 7,171 | 7,623 | 9,141 | 9,262 | 10,548 | 12,215 | |
| | 光熱水料 動力費 | 7,534 | 6,492 | 8,531 | 10,854 | 15,445 | 16,646 | 17,024 | |
| | その他の諸材料 費 | 401 | 1,497 | 1,270 | 898 | 1,220 | 1,094 | 1,159 | |
| | 獣医師料 医薬品費 | 15,559 | 19,534 | 18,168 | 21,879 | 25,108 | 31,462 | 32,548 | |
| | 賃借料 料金 | 8,066 | 12,715 | 10,690 | 14,312 | 15,362 | 14,852 | 14,945 | |
| | 物件税 公課諸負担 | 6,113 | 7,797 | 10,208 | 8,756 | 10,161 | 10,893 | 9,701 | |
| | 繁殖めず和牛 償却費 | 31,487 | 59,561 | 38,409 | 52,091 | 66,902 | 68,523 | 73,557 | |
| | 建物費 | 8,981 | 15,008 | 3,771 | 17,551 | 22,157 | 22,998 | 23,648 | |
| 産 | 自動車費 | 6,070 | 7,474 | 7,443 | 9,124 | 8,700 | 8,765 | 8,180 | |
| | 農機具費 | 6,341 | 12,782 | 19,028 | 15,131 | 16,927 | 18,045 | 18,442 | |
| | 生産管理費 | 1,159 | 1,332 | 1,251 | 1,819 | 2,507 | 2,661 | 2,757 | |
| | 労働費 | 170,854 | 196,710 | 241,760 | 183,863 | 203,588 | 214,785 | 215,143 | |
| | 費用合計 | 421,045 | 530,903 | 602,833 | 606,187 | 738,607 | 791,869 | 786,196 | |
| | 副産物価額 | 28,549 | 22,813 | 35,998 | 24,383 | 31,300 | 34,098 | 32,285 | |
| | 生産費 (副産物価額差引) | 392,496 | 508,090 | 566,835 | 581,804 | 707,307 | 757,771 | 753,911 | |
| | 支払利子 | 318 | 487 | 357 | 1,342 | 1,157 | 1,321 | 1,454 | |
| | 支払地代 | 3,416 | 5,966 | 10,341 | 9,384 | 7,938 | 8,175 | 8,482 | |
| | 支払利子・地代 算入生産費 | 396,237 | 514,543 | 577,533 | 592,530 | 716,402 | 767,267 | 763,847 | |
| 費 | 自己資本利子 | 49,910 | 58,960 | 40,193 | 61,381 | 84,816 | 85,492 | 77,595 | |
| | 自作地地代 | 12,903 | 14,586 | 20,338 | 10,115 | 11,327 | 11,265 | 10,903 | |
| | 資本利子・地代 全額算入生産費 (全算入生産費) | 459,043 | 588,089 | 638,064 | 664,026 | 812,545 | 864,024 | 852,345 | |
| | 生産物 生産数量 | 12.1 | 17.9 | 14.6 | 13.4 | 13.5 | 13.6 | 14.7 | |
| | 収 | 粗収益 | 424,947 | 364,948 | 689,670 | 686,251 | 665,899 | 580,652 | 556,509 |
| | | 所得 | 169,499 | 29,941 | 314,181 | 243,981 | 107,460 | △ 24,810 | △ 41,946 |
| 益 | 所得率 | 39.9 | 8.2 | 45.6 | 35.6 | 16.1 | △ 4.3 | △ 7.5 | |

資料) 農林水産省「子牛生産費(熊本)」

注1) 平成17年度以前は、既に公表された『平成18年牛子牛生産費』以前のデータ

注2) 税制改正に伴い、平成19年度は減価償却計算が見直しされている。

注3) 全国を設定単位とした標本調査の中から熊本県分を抜き出し集計した事例結果のため、利用にあたっては留意。

注4) 平成29年度以降は都道府県データが公表されないため全国平均値

Ⅲ-7-(7) 肥育牛生産費及び収益性の推移

| 区分 | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|----|--------------------------------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 生 | もと畜費 | 405,044 | 374,644 | 562,502 | 830,447 | 780,980 | 800,608 | 713,400 |
| | 飼料費 | 205,897 | 235,471 | 290,195 | 334,711 | 452,649 | 488,726 | 479,085 |
| | 敷料費 | 10,201 | 12,235 | 11,543 | 13,731 | 13,584 | 12,229 | 12,370 |
| | 光熱水料 動力費 | 5,881 | 6,475 | 7,161 | 12,663 | 15,874 | 16,129 | 17,462 |
| | その他諸材料費 | 163 | 178 | 80 | 381 | 609 | 582 | 668 |
| | 獣医師料 医薬品費 | 2,797 | 2,679 | 6,225 | 10,910 | 10,921 | 12,201 | 11,808 |
| | 賃借料料金 | 2,563 | 1,414 | 2,801 | 6,618 | 6,326 | 6,961 | 7,049 |
| | 物件税 公課諸負担 | 3,782 | 3,793 | 3,916 | 5,120 | 5,711 | 5,582 | 5,161 |
| | 建物費 | 6,112 | 7,637 | 7,601 | 12,966 | 12,288 | 11,307 | 10,083 |
| | 自動車費 | 4,592 | 6,471 | 4,523 | 6,551 | 6,834 | 6,216 | 7,167 |
| 産 | 農機具費 | 6,685 | 6,128 | 8,626 | 10,801 | 11,143 | 10,982 | 12,256 |
| | 生産管理費 | 1,041 | 1,594 | 1,908 | 1,452 | 1,793 | 2,213 | 2,235 |
| | 労働費 | 52,442 | 66,921 | 64,222 | 81,525 | 85,036 | 88,781 | 93,883 |
| | 費用合計 | 707,200 | 725,640 | 971,303 | 1,327,876 | 1,403,748 | 1,462,517 | 1,372,627 |
| | 副産物価額 | 8,317 | 7,853 | 10,926 | 10,168 | 11,036 | 11,297 | 13,913 |
| | 生産費 (副産物価額差引) | 698,883 | 717,787 | 960,377 | 1,317,708 | 1,392,712 | 1,451,220 | 1,358,714 |
| | 支払利子 | 6,277 | 8,345 | 11,731 | 8,492 | 6,211 | 6,461 | 6,922 |
| | 支払地代 | 385 | 46 | 174 | 435 | 398 | 402 | 338 |
| | 支払利子・地代 算入生産費 | 705,545 | 726,178 | 972,282 | 1,326,635 | 1,399,321 | 1,458,083 | 1,365,974 |
| | 自己資本利子 | 6,604 | 5,654 | 6,441 | 7,578 | 7,904 | 8,033 | 7,420 |
| 費 | 自作地地代 | 2,215 | 1,969 | 2,133 | 2,169 | 2,416 | 1,947 | 1,870 |
| | 資本利子・地代 全額算入生産費 (全算入生産費) | 714,364 | 733,801 | 980,856 | 1,336,382 | 1,409,641 | 1,468,063 | 1,375,264 |
| | 生産物 生産数量 | 723.8 | 735.4 | 757.1 | 809.6 | 808.3 | 810.6 | 812.4 |
| | 粗収益 | 822,610 | 704,105 | 1,126,852 | 1,215,713 | 1,346,848 | 1,313,374 | 1,303,146 |
| | 所得 | 155,881 | 32,349 | 206,674 | △ 49,813 | 7,451 | △ 82,579 | △ 590 |
| | 所得率 | 18.9 | 4.6 | 18.3 | △ 4.1 | 0.6 | △ 6.3 | △ 0.0 |

資料) 農林水産省「去勢若齢肥育牛生産費(熊本)」

注1) 平成17年度以前は、既に公表された『平成18年去勢若齢肥育牛生産費』以前のデータ

注2) 税制改正に伴い、平成19年度は減価償却計算が見直しされている。

注3) 全国を設定単位とした標本調査の中から熊本県分を抜き出し集計した事例結果のため、利用にあたっては留意。

注4) 平成29年度以降は都道府県データが公表されないため全国平均値

Ⅲ-7-(8) 乳用おす肥育牛生産費及び収益性の推移

| 区分 | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|----|--|---------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|
| 生 | も と 畜 費 | 73,208 | 115,711 | 172,057 | 264,912 | 266,883 | 229,570 | 198,478 |
| | 飼 料 費 | 193,358 | 220,657 | 226,087 | 216,993 | 286,722 | 303,780 | 290,221 |
| | 敷 料 費 | 6,210 | 5,525 | 5,409 | 11,444 | 15,911 | 18,670 | 18,913 |
| | 光 熱 水 料 費 動 力 費 | 6,259 | 5,272 | 6,750 | 7,980 | 9,794 | 10,899 | 11,329 |
| | その他の諸材料 費 | 284 | 37 | 5 | 138 | 80 | 82 | 92 |
| | 獣 医 師 料 費 医 薬 品 費 | 2,219 | 802 | 441 | 2,620 | 3,428 | 3,629 | 3,387 |
| | 賃 借 料 料 金 | 1,255 | 2,218 | 1,975 | 2,888 | 2,044 | 1,398 | 1,485 |
| | 物 件 税 担 公 課 諸 負 担 | 1,171 | 1,754 | 1,867 | 2,081 | 2,248 | 1,876 | 1,742 |
| | 建 物 費 | 4,260 | 7,006 | 3,264 | 5,071 | 4,018 | 3,457 | 3,816 |
| | 自 動 車 費 | 1,453 | 3,560 | 2,469 | 1,997 | 1,071 | 985 | 1,307 |
| 産 | 農 機 具 費 | 3,319 | 4,839 | 4,211 | 4,532 | 4,314 | 4,767 | 3,991 |
| | 生 産 管 理 費 | 547 | 276 | 874 | 431 | 258 | 255 | 283 |
| | 労 働 費 | 21,806 | 24,138 | 26,140 | 22,936 | 22,094 | 19,990 | 20,520 |
| | 費 用 合 計 | 315,349 | 391,795 | 451,549 | 544,023 | 618,865 | 599,358 | 555,564 |
| | 副 産 物 価 額 | 2,589 | 4,378 | 3,196 | 5,847 | 6,190 | 6,152 | 6,284 |
| | 生 産 費 (副産物価額差引) | 312,760 | 387,417 | 448,353 | 538,176 | 612,675 | 593,206 | 549,280 |
| | 支 払 利 子 | 4,833 | 3,802 | 7,271 | 1,455 | 1,582 | 1,488 | 720 |
| | 支 払 地 代 | 4 | - | - | 178 | 155 | 245 | 249 |
| | 支払利子・地代 算入生産費 | 317,597 | 391,219 | 455,624 | 539,809 | 614,412 | 594,939 | 550,249 |
| | 自 己 資 本 利 子 | 1,601 | 4,278 | 668 | 4,521 | 3,050 | 2,470 | 2,394 |
| 費 | 自 作 地 地 代 | 663 | 1,115 | 672 | 1,098 | 1,436 | 1,232 | 1,204 |
| | 資 本 利 子 ・ 地 代 全 額 算 入 生 産 費 (全算入生産費) | 319,861 | 396,612 | 456,964 | 545,428 | 618,898 | 598,641 | 553,847 |
| | 收 入 | | | | | | | |
| | 生 産 物 量 | 730.9 | 742.1 | 731.0 | 791.9 | 780.6 | 767.7 | 757 |
| | 生 産 数 | | | | | | | |
| | 粗 収 益 | 383,099 | 342,733 | 484,297 | 503,558 | 502,193 | 512,496 | 492,024 |
| | 所 得 | 81,973 | △ 30,686 | 49,808 | △ 22,421 | △ 99,577 | △ 72,721 | △ 48,418 |
| | 所 得 率 | 21.4 | -9.0 | 10.3 | △ 4.5 | △ 19.8 | △ 14 | △ 10 |

資料) 農林水産省「畜産物生産費」

注1) 平成17年度は、既に公表された『平成16～18年乳用おす肥育牛生産費(熊本)』のデータ

注2) 税制改正に伴い、平成19年度は減価償却計算が見直しされている。

注3) 平成28年度までは「乳用おす肥育牛生産費(熊本)」、平成29年度以降は、都道府県データが公表されないため全国平均値

Ⅲ-7-(9) 豚関係主要指標の推移

| 区分 | | 単位 | H17 | H23 | H28 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|------------------|-----------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 飼 | 養 戸 数 | 戸 | 326 | 250 | 209 | 156 | 146 | 143 | 126 |
| 飼 | 養 頭 数 | 頭 | 295,800 | 287,700 | 282,300 | 349,500 | 339,400 | 338,000 | 347,900 |
| | うち子取りめす | 〃 | 27,600 | 25,300 | 25,500 | 29,400 | 27,000 | 28,000 | 28,600 |
| | 1戸当たり飼養頭数 | 〃 | 907.4 | 1,150.8 | 1,350.7 | 2,240.4 | 2,324.7 | 2,363.6 | 2,761.1 |
| 流 子 通 豚 | 出 荷 頭 数 | 〃 | 10,871 | 1,835 | — | — | — | — | — |
| | 子豚平均価格 | 円 | 18,621 | 15,150 | — | — | — | — | — |
| 肉 豚 流 通 | 出 荷 頭 数 | 頭 | 510,918 | — | — | — | — | — | — |
| | うち県内向け | 〃 | 161,963 | — | — | — | — | — | — |
| | うち県外向け | 〃 | 348,955 | — | — | — | — | — | — |
| | 県内と畜頭数 | 〃 | 168,743 | 187,640 | 173,306 | 179,451 | 172,827 | 166,273 | — |
| 豚 | 産 出 額 | 億円 | 178 | 173 | 191 | 227 | 265 | 265 | — |

資料) 農林水産省「畜産統計」「食肉流通統計」「生産農業所得統計」、県農林水産部調べ

注) 平成 22、27 年・令和 2、7 年は、センサス実施により、農林水産省「畜産統計」のうち豚については統計が実施されていない。

流通子豚のうち、平成 26 年は 2 月以降の取引が中止されたことから、1 月の取引値のみ。

Ⅲ-7-(10) 肥育豚生産費及び収益性の推移

| 区分 | | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|--------------------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 生 産 費 | 種付料 | 164 | 171 | 221 | 164 | 198 | 195 | 225 |
| | もと畜費 | 142 | - | - | 24 | 18 | 76 | 60 |
| | 飼料費 | 17,527 | 19,642 | 22,713 | 20,292 | 29,315 | 30,869 | 30,072 |
| | 敷料費 | 165 | 86 | 66 | 142 | 159 | 143 | 119 |
| | 光熱水料 動力費 | 1,254 | 1,207 | 1,271 | 1,752 | 2,081 | 2,031 | 2,044 |
| | その他の 諸材料費 | 40 | 121 | 32 | 111 | 98 | 96 | 94 |
| | 獣医師料 医薬品費 | 1,356 | 1,546 | 2,116 | 2,143 | 2,260 | 2,393 | 2,401 |
| | 賃借料料金 | 290 | 72 | 94 | 345 | 363 | 320 | 348 |
| | 物件税 公課諸負担 | 138 | 108 | 131 | 228 | 250 | 236 | 266 |
| | 繁殖めす豚費 | 440 | 924 | 836 | 803 | 846 | 914 | 946 |
| | 種おす豚費 | 210 | 93 | 134 | 121 | 132 | 130 | 119 |
| | 建物費 | 967 | 993 | 1,622 | 1,630 | 1,462 | 1,569 | 1,633 |
| | 自動車費 | 151 | 158 | 246 | 319 | 346 | 376 | 325 |
| | 農機具費 | 589 | 810 | 936 | 895 | 865 | 962 | 943 |
| | 生産管理費 | 72 | 60 | 72 | 147 | 158 | 151 | 151 |
| | 労働費 | 3,714 | 2,689 | 2,917 | 4,761 | 5,071 | 5,422 | 6,061 |
| | 費用合計 | 27,219 | 28,680 | 33,407 | 33,877 | 43,622 | 45,883 | 45,807 |
| | 副産物価額 | 522 | 492 | 649 | 993 | 936 | 938 | 1,016 |
| | 生産費 (副産物価額差引) | 26,697 | 28,188 | 32,758 | 32,884 | 42,686 | 44,945 | 44,791 |
| | 支払利子 | 312 | 141 | 134 | 77 | 65 | 56 | 101 |
| 支払地代 | 4 | 10 | 11 | 7 | 30 | 22 | 19 | |
| 支払利子・地代 算入生産費 | 27,013 | 28,339 | 32,903 | 32,968 | 42,781 | 45,023 | 44,911 | |
| 自己資本利子 | 586 | 496 | 832 | 565 | 669 | 717 | 728 | |
| 自作地地代 | 55 | 187 | 67 | 89 | 90 | 76 | 76 | |
| 資本利子・地代 全額算入生産費 (全算入生産費) | 27,654 | 29,022 | 33,802 | 33,622 | 43,540 | 45,816 | 45,715 | |
| 収 益 性 | 生産物 生産数量 | 109.0 | 112.0 | 113.3 | 114.5 | 115.0 | 116.6 | 116 |
| | 粗収益 | 31,042 | 33,639 | 39,677 | 39,716 | 41,138 | 43,752 | 46,953 |
| | 所得 | 6,544 | 7,046 | 8,332 | 9,712 | 1,160 | 1,807 | 5,675 |
| | 所得率 | 21.1 | 20.9 | 21.0 | 24.5 | 2.8 | 4.1 | 12.1 |

資料) 農林水産省「畜産物生産費」

注1) 平成17年度は、既に公表された『平成8～18年肥育豚生産費(熊本)』のデータ

注2) 税制改正に伴い、平成19年度は減価償却計算が見直しされている。

注3) 平成28年度までは「肥育豚生産費(熊本)」、平成29年度以降は、都道府県データが公表されないため全国平均値

Ⅲ-7-(11) 採卵鶏関係主要指標の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H23 | H28 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|---------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 飼 養 戸 数 | 戸 | 94 | 65 | 53 | - | 39 | 38 | 35 | 38 |
| 飼 養 羽 数 | 千羽 | 2,884 | 2,305 | 1,852 | - | 1,844 | 2,521 | 2,586 | 2,481 |
| うち成鶏めす | 〃 | 2,438 | 1,900 | 1,609 | - | 1,624 | 2,125 | 2,068 | 2,015 |
| 1戸当たり成鶏めす飼養羽数 | 千羽 | 25.7 | 29.2 | 30.4 | - | 41.6 | 55.9 | 59.1 | 53.0 |
| 鶏 卵 生 産 量 | t | 42,635 | 43,399 | 43,975 | 44,424 | 44,499 | 42,904 | 43,490 | - |
| 出 荷 量 | t | 41,038 | 39,939 | - | - | - | - | - | - |
| うち県内向 | 〃 | 22,476 | 28,851 | - | - | - | - | - | - |
| うち県外向 | 〃 | 18,562 | 11,088 | - | - | - | - | - | - |
| 鶏 産 出 額 | 億円 | 142 | 188 | 186 | 196 | 236 | 238 | 285 | - |
| うち鶏卵 | 億円 | 78 | 77 | 82 | 81 | 100 | 100 | 146 | - |

資料) 農林水産省「畜産統計」「鶏卵食鳥流通統計」「生産農業所得統計」

注) 平成 22、27、令和 2、7 年は、センサス実施により、農林水産省「畜産統計」のうち採卵鶏については統計が実施されていない。

Ⅲ-7-(12) ブロイラー関係主要指標の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H21 | H28 | R1 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 飼 養 戸 数 | 戸 | 82 | 88 | 70 | 70 | 68 | 67 | 63 | 56 |
| 飼 養 羽 数 | 千羽 | 3,121 | | | 3,235 | 4,217 | 3,848 | 3,969 | 3,746 |
| 1戸当たり飼養羽数 | 千羽 | 38.1 | 37.2 | 45.7 | 46.2 | 62.0 | 57.4 | 63.0 | 66.9 |
| 出 荷 量 | t | 41,709 | 44,419 | - | - | - | - | - | - |
| | 千羽 | 14,297 | - | 14,291 | 15,308 | 18,341 | 19,160 | 19,852 | 17,922 |
| うち県内向 | t | 29,940 | 26,328 | - | - | - | - | - | - |
| うち県外向 | 〃 | 11,679 | 18,091 | - | - | - | - | - | - |
| 県内ブロイラー処理量 | t | 43,972 | 52,988 | - | - | - | - | - | - |
| 鶏 産 出 額 | 億円 | 49 | 68 | 78 | 95 | 107 | 114 | 112 | - |
| うちブロイラー | | | | | | | | | |

資料) 農林水産省「畜産統計」「鶏卵食鳥流通統計」「生産農業所得統計」

注) 平成 22、H27、令和 2、7 年は、センサス実施により、農林水産省「畜産統計」のうちブロイラーについては統計が実施されていない。

注) 平成 22 年以降、飼養戸数及び飼養羽数は熊本県畜産統計による。

Ⅲ-7-(13) 天草大王出荷羽数の推移

| 区分 | 単位 | H17 (年度) | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|---------|----|-------------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|
| 出 荷 羽 数 | 羽 | 80,000 | 111,890 | 140,050 | 71,550 | 93,050 | 116,888 | 111,790 | 119,940 |

資料) 県農林水産部調べ

注) 天草大王の出荷は、平成 16 年度から開始されている。

Ⅲ-7-(14) コントラクター作業（収穫）受託状況の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 組 織 数 | 組合 | 10 | 18 | 20 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 作業受託面積 | ha | 1,513 | 2,243 | 2,925 | 2,844 | 2,547 | 3,018 | 3,235 |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-7-(15) 周年放牧の取組状況の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------|----|-----|-----|-------|-----|-------|-------|-------|
| 牧 野 数 | 箇所 | 20 | 22 | 24 | 24 | 32 | 30 | 33 |
| 放 牧 頭 数 | 頭 | 581 | 783 | 1,107 | 938 | 1,334 | 1,359 | 1,272 |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-7-(16) 水田畑放牧の取組状況の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 面 積 | ha | 209 | 363 | 285 | 302 | 244 | 349 | 280 |
| 放 牧 頭 数 | 頭 | 1,341 | 2,414 | 2,468 | 1,821 | 1,045 | 1,097 | 918 |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-7-(17) 広域放牧の取組状況の推移

| 区分 | 単位 | H18 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|-----------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 受 入 牧 野 数 | 組合 | 6 | 7 | 23 | 9 | 8 | 7 | 8 |
| 農 家 戸 数 | 戸 | 37 | 40 | 70 | 72 | 65 | 51 | 43 |
| 放 牧 頭 数 | 頭 | 319 | 373 | 725 | 824 | 718 | 490 | 418 |

資料) 県農林水産部調べ

Ⅲ-7-(18) 放牧取組の推移

| 区分 | 単位 | H18 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|---------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 面 積 | ha | 17,236 | 21,802 | 18,154 | 18,650 | 18,337 | 18,093 | 17,528 |
| 放 牧 頭 数 | 頭 | 9,850 | 8,527 | 11,168 | 10,507 | 7,777 | 7,462 | 6,475 |

資料) 県農林水産部調べ

第4章 活力とうるおいのある農村の形成

(第4節 農業団体の経営基盤と活動の充実強化)

IV-4-(1) 農業共済加入実績の推移

| 項 目 | | 単位 | 17年度 | 22 | 27 | R2 | R4 | R5 | R6 | R7 | | |
|------|-----------------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 農作物 | 水稻 | ha | 39,288 | 37,384 | 33,735 | 25,227 | 17,881 | 16,235 | 15,409 | 15,776 | | |
| | 陸稲 | 〃 | 12 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 麦 | 〃 | 5,050 | 6,032 | 6,779 | 5,457 | 4,078 | 4,071 | 3,876 | 3,143 | | |
| | 計 | 〃 | 44,350 | 43,809 | 40,514 | 30,684 | 21,959 | 20,306 | 19,285 | 18,919 | | |
| 畑作物 | 大豆 | ha | 1,492 | 1,914 | 1,808 | 1,769 | 1,468 | 1,468 | 1,210 | 988 | | |
| | ばれいしょ | 〃 | 19 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 小計 | 〃 | 1,511 | 1,920 | 1,808 | 1,769 | 1,468 | 1,468 | 1,210 | 988 | | |
| | 蚕繭 | 箱 | 10 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 果樹 | うんしゅうみかん | ha | 1,741 | 914 | 396 | 48 | 28 | 26 | 17 | 11 | | |
| | なつみかん | 〃 | 202 | 104 | 58 | 10 | 9 | 9 | 8 | 7 | | |
| | 指定かんきつ | 〃 | 511 | 398 | 225 | 54 | 41 | 38 | 35 | 30 | | |
| | なし | 〃 | 190 | 129 | 118 | 67 | 21 | 17 | 17 | 15 | | |
| | くり | 〃 | 370 | 304 | 247 | 223 | 158 | 166 | 161 | 150 | | |
| | 計 | 〃 | 3,014 | 1,849 | 1,044 | 402 | 257 | 256 | 238 | 214 | | |
| 園芸施設 | | 棟 | 37,059 | 30,128 | 24,026 | 22,531 | 21,593 | 21,468 | 21,356 | 20,835 | | |
| 家畜 | 農業災害補償法に基づく引受頭数 | 乳用牛 | 頭 | 53,779 | 49,342 | 47,912 | - | - | - | - | - | |
| | | 肉用牛 | 〃 | 108,571 | 121,867 | 103,395 | - | - | - | - | - | |
| | | 馬 | 〃 | 299 | 226 | 281 | - | - | - | - | - | |
| | | 種豚 | 〃 | 1,185 | 871 | 284 | - | - | - | - | - | |
| | | 肉豚 | 〃 | 9,390 | 12,615 | 0 | - | - | - | - | - | |
| | 農業保険法に基づく引受頭数 | 死廃共済 | 搾乳牛 | 頭 | - | - | - | 35,699 | 35,629 | 35,809 | 34,436 | 32,926 |
| | | | 育成乳牛 | 〃 | - | - | - | 19,338 | 18,606 | 16,181 | 15,158 | 14,235 |
| | | | 繁殖用雌牛 | 〃 | - | - | - | 34,057 | 36,849 | 35,854 | 34,601 | 32,239 |
| | | | 育成・肥育牛 | 〃 | - | - | - | 98,260 | 107,230 | 108,336 | 105,311 | 103,876 |
| | | | 繁殖用雌馬 | 〃 | - | - | - | 178 | 159 | 168 | 177 | 141 |
| | | | 育成・肥育馬 | 〃 | - | - | - | 172 | 88 | 96 | 82 | 58 |
| | | | 種豚 | 〃 | - | - | - | 526 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 肉豚 | 〃 | - | - | - | 1,512 | 9,489 | 5,072 | 2,665 | 2,836 |
| | | | 個別 | 〃 | - | - | - | 33 | 37 | 34 | 39 | 42 |
| | | 計 | | - | - | - | 189,775 | 208,087 | 201,550 | 192,469 | 186,353 | |
| | | 疾病傷害共済 | 乳用牛 | 頭 | - | - | - | 36,236 | 37,034 | 35,609 | 34,329 | 32,539 |
| | | | 肉用牛 | 〃 | - | - | - | 74,589 | 79,562 | 76,543 | 75,988 | 72,601 |
| | | | 一般馬 | 〃 | - | - | - | 204 | 78 | 77 | 75 | 85 |
| | | | 種豚 | 〃 | - | - | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 個別 | 〃 | - | - | - | 33 | 31 | 31 | 32 | 31 |
| 計 | 〃 | | - | - | - | 111,062 | 116,705 | 112,260 | 110,424 | 105,256 | | |
| 計 | | | 173,224 | 184,921 | 151,872 | 300,837 | 324,792 | 313,810 | 302,893 | 291,609 | | |

資料) 熊本県農業共済組合調べ

注) 1 家畜共済は、平成31年1月から死廃共済と疾病傷害共済を分離。

2 指定かんきつとは、ぼんかん、ネーブル、はっさく、不知火、清見、河内晩柑等の総称。

付 I 農政予算（一般会計決算額）の推移

| 区分 | 単位 | H17 | H22 | H27 | R2 | R4 | R5 | R6 |
|----------|----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 歳出総額（A） | 億円 | 7,204 | 8,032 | 7,546 | 9,267 | 10,043 | 9,276 | 8,929 |
| うち農林水産業費 | 〃 | 782 | 688 | 562 | 664 | 666 | 671 | 715 |
| 農業費 | 〃 | 165 | 140 | 158 | 147 | 140 | 147 | 158 |
| 畜産業費 | 〃 | 38 | 72 | 34 | 33 | 37 | 27 | 28 |
| 農地費 | 〃 | 314 | 224 | 171 | 246 | 244 | 270 | 262 |
| （小計）（B） | 〃 | 517 | 436 | 363 | 426 | 421 | 443 | 448 |
| うち災害復旧費 | 〃 | 74 | 12 | 38 | 404 | 489 | 446 | 293 |
| うち農林水産業 | 〃 | 28 | 3 | 9 | 59 | 104 | 92 | 91 |
| B/A | % | 7% | 5% | 5% | 5% | 4% | 5% | 5% |

資料) 熊本県歳入歳出決算書 一般会計歳入歳出決算 支出済額

付Ⅱ 全国における熊本県農業の地位

付Ⅱ-1 総括表 (R5~7年)

| 区 分 | 単 位 | 全 国 | 九 州 | 熊 本 県 | 熊本県の全国に占める | | | |
|--|--------------------------------------|-----------------------|--------|---------|------------|---------|------|-------|
| | | | | | 順 位 | 割 合 (%) | | |
| 農 業 経 営 体 数 (R7年) | 千経営体 | 836.1 | 131.4 | 27.6 | 7 | 3.3 | | |
| 認 定 農 業 者 数 (R7.3月末) | 千人 | 212.1 | 41.9 | 9.7 | 3 | 4.6 | | |
| 基 幹 的 農 業 従 事 者 数 (R7年) | 千人 | 1,036.2 | 171.5 | 40.0 | 4 | 3.9 | | |
| 耕 地 面 積 (R6年) | 千ha | 4,272.0 | 502.4 | 103.3 | 14 | 2.4 | | |
| 田 面 積 (R6年) | 千ha | 2,319.0 | 293.9 | 63.8 | 13 | 2.8 | | |
| 畑 面 積 (R6年) | 千ha | 1,952.0 | 208.5 | 39.5 | 9 | 2.0 | | |
| 樹 園 地 (R6年) | 千ha | 248.6 | 48.3 | 12.3 | 6 | 4.9 | | |
| 牧 草 地 (R6年) | 千ha | 585.9 | 11.8 | 4.6 | 6 | 0.8 | | |
| 農 業 産 出 額 (R6年) | 億円 | 108,200 | 20,445 | 4,116 | 6 | 3.8 | | |
| 生 産 農 業 所 得 (R6年) | 億円 | 40,932 | 7,605 | 1,744 | 3 | 4.3 | | |
| 主 要 農 畜 産 物 の 収 穫 量 | 野 菜 | ト マ ト (R6年) | 千 t | 663.6 | 190.4 | 129.4 | 1 | 19.5 |
| | | す い か (R6年) | 千 t | 299.0 | … | 42.1 | 1 | 14.1 |
| | | な す (R6年) | 千 t | 280.2 | … | 33.6 | 2 | 12.0 |
| | | メ ロ ン (R6年) | 千 t | 137.5 | … | 20.9 | 2 | 15.2 |
| | | カ リ フ ラ ワ ー (R6年) | 千 t | 19.4 | … | 2.0 | 3 | 10.5 |
| | | し ょ う が (R6年) | 千 t | 40.9 | … | 4.0 | 3 | 9.9 |
| | | ア ス パ ラ ガ ス (R6年) | 千 t | 22.3 | … | 1.9 | 3 | 8.5 |
| | | い ち ご (R6年) | 千 t | 156.6 | … | 11.1 | 3 | 7.1 |
| | 果 樹 | 不知火類 (デコポン) (R5年) | 千 t | 43.0 | … | 17.7 | 1 | 41.1 |
| | | く り (R6年) | 千 t | 14.0 | … | 1.6 | 2 | 11.7 |
| | | な つ み か ん (R5年) | 千 t | 29.6 | … | 5.6 | 2 | 18.9 |
| | | う ん し ゅ う み か ん (R6年) | 千 t | 559.6 | … | 63.8 | 4 | 11.4 |
| | 花 き | 宿 根 カ ス ミ ソ ウ (R6年) | 千本 | 47,600 | … | 17,900 | 1 | 37.6 |
| | | ト ル コ ギ キ ョ ウ (R6年) | 千本 | 78,300 | … | 9,510 | 2 | 12.1 |
| | 土 地 利 用 型 ・ 特 産 | 葉 た ば こ (販 売 量) (R6年) | 千 t | 8.3 | 4.4 | 1.8 | 1 | 22.0 |
| | | い ぐ さ (R7年) | 千 t | 3.6 | … | 3.6 | 1 | 100.0 |
| | | 水 稻 (R7年) | 千 t | 7,790.0 | 786.1 | 169.1 | 16 | 2.2 |
| | | か ん し ょ (R6年) | 千 t | 717.0 | … | 18.2 | 6 | 2.5 |
| | 量 | 乳 用 牛 (飼 養 頭 数) (R7年) | 千頭 | 1,293 | 94.2 | 42 | 3 | 3.2% |
| | | 肉 用 牛 (飼 養 頭 数) (R7年) | 千頭 | 2,595 | 956.3 | 133.2 | 4 | 5.1 |
| うち 褐 毛 和 種 (あ か 牛) | | 千頭 | 23.1 | 17.5 | 16.9 | 1 | 73.2 | |

資料) 農林水産省「2020年農林業センサス」、「作物統計」、「生産農業所得統計」、

「農家経済統計調査」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「花き生産出荷統計」他

注) 主要農産物の生産量の欄の「…」は主産地県のみ調査されている作物。(順位は主産地県中の順位。)

付Ⅱ-2 耕地面積

| 順位 | H12 | | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha | 単位 | 千ha |
| 1 | 北海道 | 1,185.0 | 北海道 | 1,169.0 | 北海道 | 1,156.0 | 北海道 | 1,147.0 | 北海道 | 1,143.0 | 北海道 | 1,141.0 | 北海道 | 1,141.0 | 北海道 | 1,138.0 | 北海道 | 1,133.0 |
| 2 | 茨城 | 182.2 | 茨城 | 177.2 | 茨城 | 175.2 | 新潟 | 172.0 | 新潟 | 169.0 | 新潟 | 167.7 | 新潟 | 167.2 | 新潟 | 166.5 | 新潟 | 166.0 |
| 3 | 新潟 | 181.5 | 新潟 | 177.1 | 新潟 | 174.4 | 茨城 | 170.9 | 茨城 | 163.6 | 茨城 | 160.7 | 茨城 | 159.4 | 茨城 | 158.3 | 茨城 | 156.4 |
| 4 | 青森 | 162.8 | 青森 | 159.2 | 青森 | 156.8 | 青森 | 153.3 | 青森 | 149.8 | 青森 | 149.3 | 青森 | 148.4 | 青森 | 147.3 | 青森 | 145.9 |
| 5 | 岩手 | 162.3 | 岩手 | 156.5 | 岩手 | 153.9 | 岩手 | 151.1 | 岩手 | 149.5 | 岩手 | 148.7 | 岩手 | 147.1 | 岩手 | 146.0 | 秋田 | 145.2 |
| 6 | 福島 | 158.5 | 福島 | 153.2 | 秋田 | 150.7 | 秋田 | 149.5 | 秋田 | 146.7 | 秋田 | 146.3 | 秋田 | 146.0 | 秋田 | 145.6 | 岩手 | 144.8 |
| 7 | 秋田 | 154.6 | 秋田 | 152.2 | 福島 | 149.9 | 福島 | 144.0 | 福島 | 138.4 | 福島 | 136.1 | 福島 | 134.5 | 福島 | 133.7 | 福島 | 132.9 |
| 8 | 宮城 | 141.8 | 宮城 | 138.0 | 宮城 | 136.3 | 宮城 | 129.4 | 宮城 | 125.8 | 宮城 | 125.3 | 宮城 | 124.4 | 宮城 | 123.9 | 宮城 | 123.3 |
| 9 | 千葉 | 138.0 | 千葉 | 133.3 | 千葉 | 128.8 | 千葉 | 126.8 | 千葉 | 123.5 | 千葉 | 121.4 | 栃木 | 120.7 | 栃木 | 120.4 | 栃木 | 120.2 |
| 10 | 栃木 | 132.7 | 栃木 | 130.0 | 栃木 | 127.2 | 栃木 | 124.5 | 栃木 | 122.0 | 栃木 | 121.5 | 千葉 | 120.3 | 千葉 | 119.5 | 千葉 | 119.3 |
| | ⑬ 熊本 | 125.4 | ⑬ 熊本 | 120.4 | ⑬ 熊本 | 117.4 | ⑬ 熊本 | 114.1 | ⑬ 熊本 | 109.1 | ⑬ 熊本 | 105.9 | ⑬ 熊本 | 104.3 | ⑬ 熊本 | 103.3 | ⑬ 熊本 | 102.6 |
| 九州 | 596.6 | | 573.6 | | 558.9 | | 545.9 | | 520.4 | | 511.1 | | 506.3 | | 502.4 | | 498.0 | |
| 全国 | 4,830.0 | | 4,692.0 | | 4,593.0 | | 4,496.0 | | 4,372.0 | | 4,325.0 | | 4,297.0 | | 4,272.0 | | 4,212.3 | |

資料) 農林水産省「作物統計」

付Ⅱ-3 基幹的農業従事者数

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R7 (確定値) | |
|----|---------|-------|---------|-------|---------|------|---------|------|----------|------|
| | 単位 | 千人 | 単位 | 千人 | 単位 | 千人 | 単位 | 千人 | 単位 | 千人 |
| 1 | 北海道 | 115.3 | 北海道 | 101.2 | 北海道 | 89.2 | 北海道 | 70.6 | 北海道 | 57.7 |
| 2 | 茨城 | 107.2 | 茨城 | 91.6 | 茨城 | 76.8 | 茨城 | 57.5 | 長野 | 44.9 |
| 3 | 福島 | 89.4 | 長野 | 83.3 | 長野 | 73.5 | 長野 | 55.5 | 茨城 | 43.1 |
| 4 | 長野 | 88.7 | 福島 | 81.8 | 熊本 | 65.2 | 熊本 | 51.8 | 熊本 | 40.0 |
| 5 | 千葉 | 88.2 | 千葉 | 78.9 | 千葉 | 65.1 | 福島 | 51.5 | 福島 | 39.7 |
| 6 | 熊本 | 82.0 | 新潟 | 74.8 | 福島 | 65.1 | 千葉 | 50.3 | 青森 | 38.1 |
| 7 | 静岡 | 77.9 | 熊本 | 73.0 | 新潟 | 62.4 | 青森 | 48.1 | 千葉 | 37.3 |
| 8 | 新潟 | 74.0 | 青森 | 68.6 | 岩手 | 59.2 | 新潟 | 46.1 | 新潟 | 34.5 |
| 9 | 愛知 | 73.2 | 愛知 | 66.9 | 青森 | 58.2 | 岩手 | 44.5 | 栃木 | 33.6 |
| 10 | 鹿児島 | 72.7 | 岩手 | 66.8 | 愛知 | 55.3 | 栃木 | 42.9 | 岩手 | 32.7 |
| 九州 | 379.5 | | 338.6 | | 291.2 | | 224.7 | | 171.5 | |
| 全国 | 2,240.7 | | 2,052.1 | | 1,753.8 | | 1,362.9 | | 1,036.2 | |

資料) 農林水産省「農林業センサス」

注) 農業に主として従事した世帯員(農業就業人口)のうち、ふだんの主な状態が「仕事に従事していた者」をいう。

付Ⅱ-4 農家戸数

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R7 (確定値) | |
|----|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|------|----------|------|
| | 単位 | 千戸 | 単位 | 千戸 | 単位 | 千戸 | 単位 | 千戸 | 単位 | 千戸 |
| 1 | 長野 | 126.9 | 長野 | 117.3 | 長野 | 104.8 | 長野 | 89.8 | 長野 | 82.5 |
| 2 | 茨城 | 114.7 | 茨城 | 103.2 | 茨城 | 87.7 | 茨城 | 71.7 | 茨城 | 56.2 |
| 3 | 新潟 | 106.5 | 福島 | 96.6 | 兵庫 | 81.4 | 兵庫 | 67.1 | 兵庫 | 53.5 |
| 4 | 兵庫 | 105.0 | 兵庫 | 95.5 | 新潟 | 78.5 | 福島 | 62.6 | 愛知 | 52.0 |
| 5 | 福島 | 104.4 | 新潟 | 92.3 | 福島 | 75.3 | 新潟 | 62.6 | 福島 | 50.6 |
| 6 | 愛知 | 91.7 | 愛知 | 84.1 | 愛知 | 73.8 | 愛知 | 61.1 | 新潟 | 49.4 |
| 7 | 鹿児島 | 88.8 | 鹿児島 | 78.1 | 岩手 | 66.1 | 岩手 | 52.7 | 岩手 | 41.5 |
| 8 | 岩手 | 86.0 | 岩手 | 76.4 | 埼玉 | 64.2 | 千葉 | 50.8 | 岡山 | 39.8 |
| 9 | 千葉 | 82.0 | 岡山 | 73.5 | 鹿児島 | 63.9 | 静岡 | 50.7 | 岐阜 | 39.7 |
| 10 | 岡山 | 81.8 | 千葉 | 73.7 | 千葉 | 62.6 | 岡山 | 50.7 | 静岡 | 39.3 |
| | ⑩熊本 | 74.2 | ⑭熊本 | 66.9 | ⑬熊本 | 58.4 | ⑬熊本 | 47.8 | ⑫熊本 | 38.1 |
| 九州 | 421.1 | | 385.0 | | 308.8 | | 247.4 | | 191.2 | |
| 全国 | 2,848.2 | | 2,528.6 | | 2,155.1 | | 1,747.0 | | 1,394.1 | |

資料) 農林水産省「農林業センサス」

付Ⅱ-5 主業農家戸数

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R7 (確定値) | |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------|------|
| | 単位 | 千戸 | 単位 | 千戸 | 単位 | 千戸 | 単位 | 千戸 | 単位 | 千人 |
| 1 | 北海道 | 38.2 | 北海道 | 31.8 | 北海道 | 27.8 | 北海道 | 21.9 | 北海道 | 18.1 |
| 2 | 熊本 | 19.9 | 熊本 | 16.3 | 熊本 | 13.8 | 青森 | 11.6 | 青森 | 9.6 |
| 3 | 青森 | 19.1 | 青森 | 16.3 | 青森 | 13.4 | 熊本 | 10.8 | 熊本 | 9.0 |
| 4 | 茨城 | 18.6 | 千葉 | 15.5 | 茨城 | 12.2 | 茨城 | 9.7 | 茨城 | 8.0 |
| 5 | 千葉 | 17.7 | 茨城 | 14.9 | 千葉 | 11.7 | 千葉 | 9.1 | 長野 | 7.9 |
| 6 | 鹿児島 | 15.7 | 鹿児島 | 13.2 | 鹿児島 | 11.4 | 鹿児島 | 8.8 | 千葉 | 7.1 |
| 7 | 福島 | 14.3 | 福島 | 12.7 | 長野 | 9.8 | 長野 | 8.5 | 鹿児島 | 6.5 |
| 8 | 長野 | 14.2 | 長野 | 11.5 | 山形 | 9.1 | 山形 | 7.7 | 栃木 | 6.2 |
| 9 | 山形 | 14.0 | 山形 | 11.0 | 福島 | 9.0 | 栃木 | 7.4 | 山形 | 6.1 |
| 10 | 静岡 | 13.9 | 栃木 | 11.0 | 宮崎 | 8.9 | 福島 | 7.3 | 福岡 | 6.0 |
| 九州 | 84.6 | | 69.7 | | 58.4 | | 46.1 | | 37.5 | |
| 全国 | 428.5 | | 359.9 | | 293.9 | | 230.8 | | 190.1 | |

資料) 農林水産省「農林業センサス」

付Ⅱ-6 認定農業者数

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | 単位 | 戸 | 単位 | 戸 | 単位 | 戸 | 単位 | 戸 | 単位 | 戸 | 単位 | 戸 | 単位 | 戸 |
| 1 | 北海道 | 29,763 | 北海道 | 32,304 | 北海道 | 31,056 | 北海道 | 28,369 | 北海道 | 27,499 | 北海道 | 26,973 | 北海道 | 26,296 |
| 2 | 熊本県 | 10,298 | 新潟県 | 13,786 | 新潟県 | 15,061 | 新潟県 | 13,260 | 新潟県 | 12,490 | 新潟県 | 12,126 | 新潟県 | 11,791 |
| 3 | 新潟県 | 9,817 | 熊本県 | 11,057 | 熊本県 | 11,131 | 熊本県 | 10,334 | 熊本県 | 9,906 | 熊本県 | 9,913 | 熊本県 | 9,709 |
| 4 | 秋田県 | 8,183 | 秋田県 | 10,122 | 秋田県 | 10,625 | 秋田県 | 9,246 | 青森県 | 9,029 | 青森県 | 9,057 | 青森県 | 8,968 |
| 5 | 鹿児島県 | 7,545 | 青森県 | 9,344 | 青森県 | 10,504 | 青森県 | 9,065 | 秋田県 | 8,494 | 秋田県 | 8,290 | 茨城県 | 7,992 |
| 6 | 宮崎県 | 7,457 | 宮崎県 | 8,968 | 山形県 | 10,183 | 山形県 | 8,792 | 山形県 | 8,473 | 山形県 | 8,269 | 秋田県 | 7,923 |
| 7 | 山形県 | 7,302 | 鹿児島県 | 8,950 | 茨城県 | 8,481 | 茨城県 | 8,231 | 茨城県 | 8,108 | 茨城県 | 8,167 | 山形県 | 7,820 |
| 8 | 岩手県 | 6,906 | 山形県 | 8,550 | 鹿児島県 | 8,413 | 鹿児島県 | 7,846 | 栃木県 | 7,632 | 栃木県 | 7,644 | 栃木県 | 7,450 |
| 9 | 茨城県 | 6,634 | 岩手県 | 8,078 | 宮崎県 | 8,267 | 宮崎県 | 7,690 | 鹿児島県 | 7,527 | 鹿児島県 | 7,438 | 鹿児島県 | 7,238 |
| 10 | 栃木県 | 6,150 | 茨城県 | 8,030 | 栃木県 | 8,045 | 栃木県 | 7,672 | 宮崎県 | 7,381 | 宮崎県 | 7,256 | 宮崎県 | 7,133 |
| 九州 | 45,240 | | 50,776 | | 48,222 | | 44,789 | | 43,115 | | 42,655 | | 41,722 | |
| 全国 | 200,842 | | 246,475 | | 246,085 | | 227,444 | | 219,846 | | 216,227 | | 211,474 | |

資料) 農林水産省経営局調べ(数値は各年度末の実数)

注) 農業経営基盤強化促進法に基づき、農業経営改善計画を作成し、市町村及び都道府県が認定した農家をいう

注) R2年度以降のデータは市町村及び都道府県認定の合計値(国認定は含まない)

付Ⅱ-7 農業産出額

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 |
| 1 | 北海道 | 10,663 | 北海道 | 9,946 | 北海道 | 11,852 | 北海道 | 12,667 | 北海道 | 12,919 | 北海道 | 13,478 | 北海道 | 14,817 |
| 2 | 鹿児島 | 4,168 | 茨城 | 4,306 | 茨城 | 4,549 | 鹿児島 | 4,772 | 鹿児島 | 5,114 | 鹿児島 | 5,438 | 鹿児島 | 5,689 |
| 3 | 茨城 | 4,162 | 千葉 | 4,048 | 鹿児島 | 4,435 | 茨城 | 4,417 | 茨城 | 4,409 | 茨城 | 4,571 | 茨城 | 5,494 |
| 4 | 千葉 | 4,161 | 鹿児島 | 4,011 | 千葉 | 4,405 | 千葉 | 3,853 | 千葉 | 3,676 | 千葉 | 4,029 | 千葉 | 4,533 |
| 5 | 愛知 | 3,275 | 熊本 | 3,071 | 宮崎 | 3,424 | 熊本 | 3,407 | 熊本 | 3,512 | 熊本 | 3,757 | 青森 | 4,119 |
| 6 | 宮崎 | 3,206 | 愛知 | 2,962 | 熊本 | 3,348 | 宮崎 | 3,348 | 宮崎 | 3,505 | 宮崎 | 3,720 | 熊本 | 4,116 |
| 7 | 熊本 | 3,102 | 宮崎 | 2,960 | 青森 | 3,068 | 青森 | 3,262 | 青森 | 3,168 | 青森 | 3,466 | 宮崎 | 3,725 |
| 8 | 新潟 | 3,044 | 青森 | 2,751 | 愛知 | 3,063 | 愛知 | 2,893 | 愛知 | 3,114 | 愛知 | 3,207 | 愛知 | 3,551 |
| 9 | 青森 | 2,797 | 新潟 | 2,563 | 栃木 | 2,723 | 栃木 | 2,875 | 栃木 | 2,718 | 岩手 | 2,975 | 栃木 | 3,448 |
| 10 | 栃木 | 2,741 | 栃木 | 2,552 | 群馬 | 2,550 | 岩手 | 2,741 | 長野 | 2,708 | 栃木 | 2,959 | 岩手 | 3,269 |
| 九州 | 16,808 | | 16,126 | | 17,541 | | 17,422 | | 18,208 | | 19,226 | | 20,445 | |
| 全国 | 85,119 | | 81,214 | | 87,979 | | 89,369 | | 89,984 | | 95,470 | | 108,200 | |

資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

付Ⅱ-8 生産農業所得

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 | 単位 | 億円 |
| 1 | 北海道 | 3,969 | 北海道 | 3,612 | 北海道 | 4,840 | 北海道 | 4,985 | 北海道 | 4,742 | 北海道 | 5,167 | 北海道 | 6,242 |
| 2 | 茨城 | 1,884 | 茨城 | 1,716 | 千葉 | 1,691 | 茨城 | 1,606 | 茨城 | 1,517 | 熊本 | 1,554 | 茨城 | 2,002 |
| 3 | 千葉 | 1,599 | 千葉 | 1,258 | 茨城 | 1,604 | 熊本 | 1,495 | 鹿児島 | 1,493 | 茨城 | 1,539 | 熊本 | 1,744 |
| 4 | 鹿児島 | 1,289 | 新潟 | 1,097 | 鹿児島 | 1,367 | 鹿児島 | 1,415 | 熊本 | 1,446 | 鹿児島 | 1,534 | 鹿児島 | 1,623 |
| 5 | 新潟 | 1,277 | 熊本 | 1,080 | 青森 | 1,338 | 千葉 | 1,293 | 千葉 | 1,220 | 千葉 | 1,262 | 千葉 | 1,537 |
| 6 | 愛知 | 1,247 | 福島 | 1,047 | 熊本 | 1,177 | 青森 | 1,211 | 宮崎 | 1,194 | 青森 | 1,226 | 青森 | 1,515 |
| 7 | 青森 | 1,185 | 鹿児島 | 1,028 | 栃木 | 1,060 | 栃木 | 1,120 | 愛知 | 1,173 | 宮崎 | 1,219 | 愛知 | 1,347 |
| 8 | 熊本 | 1,136 | 栃木 | 1,005 | 山形 | 1,018 | 宮崎 | 1,112 | 青森 | 1,148 | 愛知 | 1,157 | 栃木 | 1,323 |
| 9 | 栃木 | 1,100 | 青森 | 989 | 愛知 | 993 | 愛知 | 1,112 | 栃木 | 1,059 | 長野 | 1,093 | 長野 | 1,316 |
| 10 | 静岡 | 1,072 | 愛知 | 910 | 新潟 | 966 | 長野 | 1,063 | 長野 | 998 | 栃木 | 1,086 | 宮崎 | 1,235 |
| 九州 | 5,652 | | 5,193 | | 5,842 | | 6,692 | | 6,702 | | 6,952 | | 7,605 | |
| 全国 | 32,030 | | 28,395 | | 32,892 | | 33,433 | | 31,044 | | 33,408 | | 40,932 | |

資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

付Ⅱ-9 水稻収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t |
| 1 | 北海道 | 682.6 | 新潟 | 617.8 | 新潟 | 619.2 | 新潟 | 666.8 | 新潟 | 631.0 | 新潟 | 591.7 | 新潟 | 622.8 | 新潟 | 637.9 |
| 2 | 新潟 | 652.2 | 北海道 | 601.7 | 北海道 | 602.6 | 北海道 | 594.4 | 北海道 | 553.2 | 北海道 | 540.2 | 北海道 | 562.4 | 北海道 | 578.0 |
| 3 | 秋田 | 544.0 | 秋田 | 488.5 | 秋田 | 522.4 | 秋田 | 527.4 | 秋田 | 456.5 | 秋田 | 458.2 | 秋田 | 490.0 | 秋田 | 513.9 |
| 4 | 福島 | 449.1 | 福島 | 445.7 | 山形 | 400.9 | 山形 | 402.4 | 山形 | 365.3 | 山形 | 359.3 | 宮城 | 366.1 | 福島 | 387.6 |
| 5 | 山形 | 429.5 | 山形 | 406.5 | 福島 | 365.4 | 宮城 | 377.0 | 宮城 | 326.5 | 宮城 | 344.7 | 福島 | 356.8 | 山形 | 381.3 |
| 6 | 宮城 | 423.7 | 茨城 | 402.2 | 宮城 | 364.8 | 福島 | 367.0 | 茨城 | 319.2 | 福島 | 327.6 | 山形 | 354.5 | 宮城 | 378.1 |
| 7 | 茨城 | 416.6 | 宮城 | 400.0 | 茨城 | 355.0 | 茨城 | 360.0 | 福島 | 317.3 | 茨城 | 316.4 | 茨城 | 338.8 | 茨城 | 364.0 |
| 8 | 栃木 | 373.1 | 栃木 | 341.9 | 栃木 | 309.6 | 栃木 | 318.5 | 栃木 | 270.3 | 栃木 | 284.2 | 千葉 | 287.9 | 栃木 | 327.0 |
| 9 | 千葉 | 339.0 | 千葉 | 332.8 | 千葉 | 307.2 | 千葉 | 297.5 | 千葉 | 259.5 | 千葉 | 265.7 | 栃木 | 286.2 | 千葉 | 305.2 |
| 10 | 岩手 | 326.0 | 岩手 | 312.5 | 岩手 | 287.8 | 青森 | 283.9 | 岩手 | 247.6 | 岩手 | 249.1 | 青森 | 264.2 | 青森 | 274.2 |
| | ⑮熊本 | 204.1 | ⑭熊本 | 202.2 | ⑮熊本 | 178.0 | ⑰熊本 | 156.5 | ⑱熊本 | 156.8 | ⑲熊本 | 155.4 | ⑳熊本 | 153.3 | ㉑熊本 | 169.1 |
| 九州 | 959.5 | | 933.0 | | 826.8 | | 698.5 | | 741.3 | | 722.0 | | 703.0 | | 703.0 | |
| 全国 | 9,062.0 | | 8,478.0 | | 7,986.0 | | 7,763.0 | | 7,269.0 | | 7,165.0 | | 7,345.0 | | 7,345.0 | |

資料) 農林水産省「作物統計」

付Ⅱ-10 小麦収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t |
| 1 | 北 海 道 | 540.1 | 北 海 道 | 349.4 | 北 海 道 | 731.7 | 北 海 道 | 625.2 | 北 海 道 | 614.2 | 北 海 道 | 719.4 | 北 海 道 | 714.2 | 北 海 道 | 671.9 |
| 2 | 福 岡 | 67.4 | 福 岡 | 44.5 | 福 岡 | 46.7 | 福 岡 | 56.7 | 福 岡 | 75.4 | 福 岡 | 70.0 | 福 岡 | 52.8 | 福 岡 | 64.5 |
| 3 | 佐 賀 | 49.1 | 佐 賀 | 28.1 | 佐 賀 | 29.8 | 佐 賀 | 39.4 | 佐 賀 | 56.6 | 佐 賀 | 50.8 | 佐 賀 | 36.2 | 佐 賀 | 45.5 |
| 4 | 群 馬 | 32.0 | 群 馬 | 20.1 | 群 馬 | 23.5 | 愛 知 | 29.8 | 愛 知 | 30.0 | 愛 知 | 34.3 | 愛 知 | 28.9 | 愛 知 | 35.0 |
| 5 | 埼 玉 | 25.1 | 埼 玉 | 15.0 | 埼 玉 | 21.2 | 三 重 | 23.1 | 三 重 | 25.0 | 三 重 | 26.6 | 群 馬 | 23.3 | 三 重 | 25.2 |
| 6 | 茨 城 | 23.8 | 滋 賀 | 14.9 | 愛 知 | 21.2 | 群 馬 | 22.2 | 滋 賀 | 24.1 | 滋 賀 | 24.2 | 埼 玉 | 21.9 | 滋 賀 | 23.9 |
| 7 | 愛 知 | 20.3 | 愛 知 | 12.4 | 滋 賀 | 17.8 | 滋 賀 | 20.1 | 群 馬 | 22.7 | 群 馬 | 22.4 | 滋 賀 | 21.8 | 群 馬 | 23.2 |
| 8 | 熊 本 | 18.2 | 三 重 | 10.6 | 三 重 | 16.9 | 埼 玉 | 18.8 | 熊 本 | 20.6 | 埼 玉 | 22.0 | 三 重 | 18.8 | 埼 玉 | 20.9 |
| 9 | 滋 賀 | 17.2 | 茨 城 | 9.9 | 茨 城 | 15.4 | 熊 本 | 16.5 | 埼 玉 | 19.1 | 熊 本 | 19.6 | 茨 城 | 15.2 | 熊 本 | 17.5 |
| 10 | 三 重 | 13.7 | 熊 本 | 9.3 | 熊 本 | 13.6 | 茨 城 | 12.3 | 岐 阜 | 12.5 | 茨 城 | 15.4 | 熊 本 | 12.6 | 茨 城 | 13.9 |
| 九州 | 147.6 | | 88.9 | | 96.7 | | 122.4 | | 166.1 | | 152.8 | | 109.5 | | 137.1 | |
| 全国 | 877.4 | | 571.3 | | 1,004 | | 943 | | 994 | | 1,097 | | 1,029 | | 1,031 | |

資料) 農林水産省「作物統計」

付Ⅱ-11 大豆収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t | 単 位 | 千t |
| 1 | 北 海 道 | 52.4 | 北 海 道 | 57.8 | 北 海 道 | 84.8 | 北 海 道 | 93.0 | 北 海 道 | 108.9 | 北 海 道 | 114.6 | 北 海 道 | 132.4 | 北 海 道 | 136.2 |
| 2 | 福 岡 | 15.2 | 佐 賀 | 18.1 | 宮 城 | 18.2 | 宮 城 | 18.8 | 宮 城 | 15.8 | 宮 城 | 19.4 | 宮 城 | 18.9 | 宮 城 | 17.2 |
| 3 | 宮 城 | 15.1 | 宮 城 | 17.9 | 佐 賀 | 14.9 | 福 岡 | 10.3 | 秋 田 | 11.5 | 佐 賀 | 15.5 | 秋 田 | 11.3 | 秋 田 | 9.8 |
| 4 | 佐 賀 | 14.2 | 福 岡 | 16.7 | 福 岡 | 12.1 | 佐 賀 | 10.1 | 滋 賀 | 10.6 | 福 岡 | 15.0 | 佐 賀 | 9.1 | 佐 賀 | 9.8 |
| 5 | 秋 田 | 12.8 | 新 潟 | 9.7 | 秋 田 | 11.6 | 秋 田 | 8.7 | 福 岡 | 9.8 | 滋 賀 | 9.9 | 福 岡 | 8.9 | 福 岡 | 9.7 |
| 6 | 栃 木 | 10.0 | 秋 田 | 8.6 | 新 潟 | 10.2 | 滋 賀 | 8.1 | 佐 賀 | 8.9 | 青 森 | 9.6 | 福 岡 | 7.7 | 滋 賀 | 8.7 |
| 7 | 新 潟 | 9.7 | 滋 賀 | 8.5 | 富 山 | 10.0 | 青 森 | 6.1 | 新 潟 | 7.1 | 新 潟 | 7.1 | 新 潟 | 6.9 | 青 森 | 7.5 |
| 8 | 山 形 | 8.7 | 山 形 | 7.9 | 滋 賀 | 9.8 | 新 潟 | 5.9 | 山 形 | 6.9 | 秋 田 | 7.0 | 山 形 | 6.4 | 山 形 | 6.9 |
| 9 | 茨 城 | 8.1 | 富 山 | 6.9 | 山 形 | 7.1 | 岩 手 | 5.7 | 愛 知 | 6.1 | 山 形 | 6.6 | 岩 手 | 5.3 | 新 潟 | 6.4 |
| 10 | 富 山 | 7.9 | 愛 知 | 6.8 | 青 森 | 6.3 | 山 形 | 5.6 | 岩 手 | 5.9 | 富 山 | 5.6 | 滋 賀 | 5.2 | 愛 知 | 5.9 |
| | ⑩ 熊 本 | 3.8 | ⑩ 熊 本 | 4.6 | ⑪ 熊 本 | 2.7 | ⑭ 熊 本 | 3.8 | ⑩ 熊 本 | 3.0 | ⑬ 熊 本 | 4.5 | ⑰ 熊 本 | 2.6 | ⑩ 熊 本 | 2.4 |
| 九州 | 38.3 | | 43.8 | | 32.2 | | 26.2 | | 23.7 | | 37.7 | | 21.9 | | 21.9 | |
| 全国 | 226.4 | | 222.5 | | 242.4 | | 218.9 | | 242.8 | | 259.8 | | 252.4 | | 252.4 | |

資料) 農林水産省「作物統計」

付Ⅱ-12 うんしゅうみかん収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|-------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t | 単位 | 千t |
| 1 | 和歌山 | 195.0 | 和歌山 | 152.3 | 和歌山 | 160.2 | 和歌山 | 167.1 | 和歌山 | 152.5 | 和歌山 | 143.9 | 和歌山 | 141.7 |
| 2 | 愛媛 | 189.0 | 愛媛 | 115.6 | 愛媛 | 120.6 | 静岡 | 119.8 | 愛媛 | 109.3 | 愛媛 | 111.1 | 静岡 | 88.5 |
| 3 | 静岡 | 141.3 | 静岡 | 106.1 | 静岡 | 101.2 | 愛媛 | 112.5 | 静岡 | 103.0 | 静岡 | 99.8 | 愛媛 | 76.1 |
| 4 | 熊本 | 101.0 | 熊本 | 81.7 | 熊本 | 74.8 | 熊本 | 82.5 | 熊本 | 75.0 | 熊本 | 80.6 | 熊本 | 63.8 |
| 5 | 長崎 | 83.7 | 長崎 | 54.2 | 長崎 | 53.5 | 長崎 | 47.6 | 長崎 | 40.4 | 長崎 | 43.6 | 佐賀 | 29.4 |
| 6 | 佐賀 | 77.2 | 佐賀 | 45.1 | 佐賀 | 45.1 | 佐賀 | 44.9 | 佐賀 | 38.9 | 佐賀 | 40.4 | 長崎 | 29.1 |
| 7 | 広島 | 53.0 | 福岡 | 28.3 | 広島 | 31.7 | 愛知 | 28.3 | 愛知 | 24.2 | 愛知 | 21.8 | 愛知 | 19.6 |
| 8 | 福岡 | 40.3 | 神奈川 | 26.4 | 愛知 | 26.3 | 広島 | 20.8 | 福岡 | 17.6 | 福岡 | 16.5 | 福岡 | 13.4 |
| 9 | 愛知 | 36.3 | 広島 | 26.1 | 神奈川 | 22.9 | 福岡 | 20.1 | 広島 | 16.4 | 三重 | 16.3 | 三重 | 12.2 |
| 10 | 神奈川 | 28.4 | 愛知 | 25.0 | 福岡 | 22.5 | 三重 | 19.0 | 三重 | 15.3 | 広島 | 15.6 | 広島 | 11.1 |
| 全国 | 1,132 | | 786 | | 777 | | 766 | | 682 | | 681 | | 560 | |

資料) 農林水産省「果樹生産出荷統計」

付Ⅱ-13 くり収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t |
| 1 | 茨城 | 6,210 | 茨城 | 6,650 | 茨城 | 4,690 | 茨城 | 3,790 | 茨城 | 3,670 | 茨城 | 3,870 | 茨城 | 3,780 |
| 2 | 熊本 | 1,820 | 熊本 | 3,320 | 愛媛 | 1,360 | 熊本 | 2,430 | 熊本 | 2,280 | 熊本 | 1,820 | 熊本 | 1,640 |
| 3 | 愛媛 | 1,640 | 愛媛 | 1,870 | 熊本 | 1,350 | 愛媛 | 1,540 | 愛媛 | 1,200 | 愛媛 | 1,570 | 愛媛 | 1,350 |
| 4 | 岐阜 | 1,050 | 宮崎 | 797 | 岐阜 | 895 | 岐阜 | 814 | 岐阜 | 748 | 岐阜 | 774 | 岐阜 | 658 |
| 5 | 埼玉 | 870 | 岐阜 | 794 | 埼玉 | 725 | 長野 | 583 | 長野 | 631 | 栃木 | 540 | 栃木 | 475 |
| 6 | 千葉 | 786 | 埼玉 | 723 | 栃木 | 526 | 埼玉 | 579 | 埼玉 | 528 | 埼玉 | 500 | 埼玉 | 455 |
| 7 | 東京 | 656 | 千葉 | 658 | 長野 | 522 | 宮崎 | 559 | 栃木 | 501 | 兵庫 | 416 | 長野 | 440 |
| 8 | 栃木 | 607 | 栃木 | 541 | 宮崎 | 423 | 山口 | 551 | 宮崎 | 434 | 長野 | 390 | 兵庫 | 348 |
| 9 | 神奈川 | 567 | 長野 | 495 | 千葉 | 396 | 兵庫 | 456 | 兵庫 | 400 | 神奈川 | 362 | 神奈川 | 336 |
| 10 | 長野 | 567 | 兵庫 | 454 | 兵庫 | 369 | 栃木 | 396 | 山口 | 368 | 宮崎 | 325 | 宮崎 | 334 |
| 全国 | 21,800 | | 23,500 | | 16,300 | | 16,900 | | 15,600 | | 15,000 | | 14,000 | |

資料) 農林水産省「果樹生産出荷統計」

付Ⅱ-14 すいか収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t |
| 1 | 千葉 | 68.0 | 熊本 | 59.9 | 熊本 | 52.0 | 熊本 | 49.9 | 熊本 | 48.0 | 熊本 | 46.5 | 熊本 | 42.1 |
| 2 | 熊本 | 60.7 | 千葉 | 45.9 | 千葉 | 39.7 | 千葉 | 37.8 | 千葉 | 36.8 | 千葉 | 37.5 | 千葉 | 37.1 |
| 3 | 山形 | 36.6 | 山形 | 38.0 | 山形 | 33.5 | 山形 | 28.5 | 山形 | 31.4 | 山形 | 28.6 | 山形 | 29.6 |
| 4 | 茨城 | 25.1 | 鳥取 | 20.1 | 新潟 | 21.1 | 鳥取 | 18.1 | 新潟 | 19.0 | 鳥取 | 18.4 | 鳥取 | 18.9 |
| 5 | 鳥取 | 24.5 | 長野 | 18.8 | 鳥取 | 19.9 | 新潟 | 17.6 | 鳥取 | 19.0 | 茨城 | 16.7 | 北海道 | 18.5 |
| 6 | 新潟 | 23.2 | 新潟 | 18.6 | 茨城 | 16.7 | 愛知 | 15.6 | 愛知 | 16.8 | 北海道 | 16.2 | 新潟 | 16.2 |
| 7 | 長野 | 22.4 | 茨城 | 16.6 | 長野 | 16.6 | 茨城 | 15.0 | 長野 | 15.6 | 愛知 | 15.6 | 長野 | 16.0 |
| 8 | 愛知 | 20.5 | 愛知 | 15.5 | 北海道 | 14.7 | 長野 | 15.0 | 茨城 | 15.3 | 新潟 | 15.2 | 茨城 | 15.8 |
| 9 | 北海道 | 19.3 | 北海道 | 15.3 | 愛知 | 13.6 | 石川 | 12.8 | 石川 | 12.9 | 長野 | 14.8 | 愛知 | 15.1 |
| 10 | 石川 | 18.7 | 石川 | 14.2 | 石川 | 13.4 | 北海道 | 12.6 | 北海道 | 12.7 | 石川 | 12.2 | 石川 | 12.7 |
| 全国 | 450.2 | | 369.2 | | 339.8 | | 310.9 | | 315.9 | | 303.7 | | 299.0 | |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」

付Ⅱ-15 メロン収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t |
| 1 | 茨城 | 55.7 | 茨城 | 43.6 | 茨城 | 37.1 | 茨城 | 33.5 | 茨城 | 33.7 | 茨城 | 37.5 | 茨城 | 36.9 |
| 2 | 北海道 | 35.7 | 北海道 | 31.4 | 北海道 | 25.4 | 熊本 | 24.4 | 熊本 | 24.4 | 熊本 | 24.1 | 熊本 | 20.9 |
| 3 | 熊本 | 32.2 | 熊本 | 28.8 | 熊本 | 22.5 | 北海道 | 21.8 | 北海道 | 19.9 | 北海道 | 19.4 | 北海道 | 19.0 |
| 4 | 山形 | 15.6 | 山形 | 13.6 | 山形 | 12.6 | 山形 | 10.6 | 愛知 | 9.9 | 山形 | 9.8 | 山形 | 9.0 |
| 5 | 愛知 | 15.6 | 青森 | 10.8 | 青森 | 10.1 | 青森 | 10.4 | 山形 | 9.6 | 愛知 | 8.9 | 愛知 | 8.6 |
| 6 | 静岡 | 15.5 | 静岡 | 10.7 | 愛知 | 8.5 | 愛知 | 9.2 | 青森 | 8.0 | 千葉 | 8.1 | 千葉 | 8.1 |
| 7 | 青森 | 14.0 | 愛知 | 9.9 | 静岡 | 8.2 | 千葉 | 7.5 | 千葉 | 7.5 | 青森 | 7.8 | 青森 | 6.8 |
| 8 | 千葉 | 12.3 | 千葉 | 8.3 | 鳥取 | 1.1 | 静岡 | 6.6 | 静岡 | 6.1 | 静岡 | 5.8 | 静岡 | 5.3 |
| 9 | 宮崎 | 7.4 | 高知 | 3.5 | 福井 | 0.9 | 秋田 | 3.3 | 新潟 | 3.4 | 秋田 | 3.3 | 秋田 | 3.2 |
| 10 | | | 秋田 | 3.4 | 石川 | 0.4 | 鳥取 | 1.2 | 秋田 | 3.1 | 鳥取 | 1.1 | 鳥取 | 1.1 |
| 全国 | 241.8 | | 188.1 | | 158.0 | | 147.9 | | 142.4 | | 145.2 | | 137.5 | |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」

付Ⅱ-16 トマト収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t |
| 1 | 熊本 | 85.3 | 熊本 | 98.9 | 熊本 | 126.0 | 熊本 | 135.3 | 熊本 | 130.3 | 熊本 | 132.6 | 熊本 | 129.4 |
| 2 | 千葉 | 53.5 | 北海道 | 48.9 | 北海道 | 61.7 | 北海道 | 66.2 | 北海道 | 62.9 | 北海道 | 59.3 | 北海道 | 59.2 |
| 3 | 北海道 | 52.7 | 愛知 | 45.4 | 茨城 | 47.3 | 愛知 | 43.3 | 愛知 | 47.7 | 愛知 | 44.5 | 愛知 | 44.7 |
| 4 | 茨城 | 50.2 | 茨城 | 44.8 | 千葉 | 43.4 | 茨城 | 41.7 | 茨城 | 46.3 | 茨城 | 41.0 | 茨城 | 41.6 |
| 5 | 愛知 | 47.7 | 千葉 | 44.1 | 愛知 | 40.6 | 栃木 | 31.5 | 栃木 | 32.0 | 栃木 | 31.0 | 栃木 | 29.0 |
| 6 | 栃木 | 38.1 | 栃木 | 34.4 | 栃木 | 35.7 | 千葉 | 30.0 | 千葉 | 31.7 | 千葉 | 28.9 | 岐阜 | 27.5 |
| 7 | 群馬 | 33.9 | 福島 | 28.8 | 岐阜 | 25.3 | 岐阜 | 23.6 | 岐阜 | 27.2 | 岐阜 | 28.4 | 千葉 | 26.4 |
| 8 | 福島 | 31.7 | 群馬 | 24.4 | 福島 | 24.6 | 福島 | 23.2 | 福島 | 22.0 | 福島 | 21.0 | 福島 | 21.4 |
| 9 | 岐阜 | 30.0 | 岐阜 | 24.1 | 群馬 | 21.9 | 群馬 | 20.4 | 群馬 | 21.6 | 群馬 | 20.9 | 群馬 | 19.8 |
| 10 | 長野 | 25.9 | 長野 | 22.2 | 長野 | 20.6 | 福岡 | 19.2 | 福岡 | 18.9 | 福岡 | 17.6 | 青森 | 19.0 |
| 全国 | 759.2 | | 690.9 | | 727.0 | | 706.0 | | 707.9 | | 681.4 | | 663.6 | |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」

付Ⅱ-17 いちご収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t |
| 1 | 栃木 | 30.8 | 栃木 | 27.9 | 栃木 | 24.8 | 栃木 | 22.7 | 栃木 | 24.4 | 栃木 | 24.6 | 栃木 | 25.7 |
| 2 | 福岡 | 18.6 | 福岡 | 18.1 | 福岡 | 16.0 | 福岡 | 16.4 | 福岡 | 16.8 | 福岡 | 16.0 | 福岡 | 14.4 |
| 3 | 熊本 | 13.2 | 熊本 | 12.9 | 熊本 | 10.9 | 熊本 | 12.2 | 熊本 | 11.7 | 熊本 | 11.7 | 熊本 | 11.1 |
| 4 | 静岡 | 12.8 | 長崎 | 11.3 | 静岡 | 10.4 | 長崎 | 10.5 | 愛知 | 10.6 | 愛知 | 11.1 | 愛知 | 10.5 |
| 5 | 愛知 | 12.1 | 静岡 | 11.1 | 長崎 | 10.2 | 静岡 | 10.4 | 静岡 | 10.4 | 静岡 | 10.6 | 静岡 | 10.1 |
| 6 | 長崎 | 11.9 | 佐賀 | 10.7 | 愛知 | 9.5 | 愛知 | 10.4 | 長崎 | 10.3 | 長崎 | 10.1 | 茨城 | 10.0 |
| 7 | 佐賀 | 11.8 | 愛知 | 10.5 | 茨城 | 8.9 | 茨城 | 8.8 | 茨城 | 9.3 | 茨城 | 9.8 | 長崎 | 9.6 |
| 8 | 茨城 | 8.8 | 茨城 | 9.3 | 佐賀 | 8.6 | 佐賀 | 7.6 | 千葉 | 7.3 | 千葉 | 6.8 | 千葉 | 6.6 |
| 9 | 千葉 | 6.7 | 千葉 | 6.4 | 千葉 | 7.0 | 千葉 | 6.3 | 佐賀 | 6.7 | 佐賀 | 6.6 | 佐賀 | 5.8 |
| 10 | 宮城 | 6.5 | 宮城 | 5.9 | 宮城 | 4.1 | 宮城 | 4.6 | 宮城 | 4.9 | 宮城 | 4.9 | 宮城 | 5.2 |
| 全国 | 196.2 | | 177.5 | | 158.7 | | 159.2 | | 161.1 | | 161.8 | | 156.6 | |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」

付Ⅱ-18 なす収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t | 単位 | 千 t |
| 1 | 高知 | 39.1 | 熊本 | 30.6 | 高知 | 38.2 | 高知 | 39.3 | 高知 | 40.6 | 高知 | 40.3 | 高知 | 38.5 |
| 2 | 熊本 | 32.6 | 高知 | 29.9 | 熊本 | 31.7 | 熊本 | 34.2 | 熊本 | 33.4 | 熊本 | 36.3 | 熊本 | 33.6 |
| 3 | 福岡 | 28.8 | 福岡 | 23.2 | 群馬 | 21.7 | 群馬 | 27.7 | 群馬 | 28.5 | 群馬 | 27.5 | 群馬 | 28.1 |
| 4 | 群馬 | 24.4 | 群馬 | 22.7 | 福岡 | 18.7 | 茨城 | 17.9 | 茨城 | 17.9 | 福岡 | 17.5 | 福岡 | 17.6 |
| 5 | 茨城 | 20.2 | 茨城 | 18.4 | 茨城 | 17.5 | 福岡 | 16.7 | 福岡 | 17.5 | 茨城 | 16.6 | 茨城 | 17.4 |
| 6 | 愛知 | 18.8 | 栃木 | 16.4 | 栃木 | 14.6 | 栃木 | 13.3 | 愛知 | 13.9 | 愛知 | 13.8 | 愛知 | 12.5 |
| 7 | 栃木 | 18.7 | 愛知 | 14.3 | 愛知 | 13.1 | 愛知 | 12.5 | 栃木 | 11.5 | 栃木 | 11.3 | 栃木 | 10.4 |
| 8 | 千葉 | 13.6 | 京都 | 10.5 | 京都 | 9.4 | 埼玉 | 9.3 | 埼玉 | 8.5 | 埼玉 | 8.8 | 新潟 | 8.8 |
| 9 | 徳島 | 12.5 | 埼玉 | 10.4 | 埼玉 | 9.2 | 京都 | 7.5 | 京都 | 7.1 | 千葉 | 6.6 | 埼玉 | 8.1 |
| 10 | 埼玉 | 11.7 | 千葉 | 10.2 | 千葉 | 9.1 | 徳島 | 7.0 | 千葉 | 6.6 | 徳島 | 6.1 | 千葉 | 6.2 |
| 全国 | 395.7 | | 330.1 | | 308.9 | | 297.0 | | 294.6 | | 288.8 | | 280.2 | |

資料) 農林水産省「野菜生産出荷統計」

付Ⅱ-19 宿根カスミソウ出荷量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|--------|--------|--------|--------|-------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 単位 | 千本 | 単位 | 千本 | 単位 | 千本 | 単位 | 千本 | 単位 | 千本 | 単位 | 千本 | 単位 | 千本 |
| 1 | 熊本 | 21,300 | 熊本 | 24,400 | | | 熊本 | 17,600 | 熊本 | 17,800 | 熊本 | 18,600 | 熊本 | 17,900 |
| 2 | 和歌山 | 17,800 | 和歌山 | 14,200 | | | 和歌山 | 10,100 | 和歌山 | 9,030 | 和歌山 | 9,600 | 福島 | 9,670 |
| 3 | 福島 | 8,020 | 福島 | 5,200 | 調査対象外 | | 福島 | 7,990 | 福島 | 8,090 | 福島 | 8,630 | 和歌山 | 9,540 |
| 4 | 北海道 | 4,400 | 愛知 | 3,480 | | | 北海道 | 3,020 | 北海道 | 3,140 | 北海道 | 2,390 | 北海道 | 2,390 |
| 5 | 高知 | 3,570 | 北海道 | 3,270 | | | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 6 | 愛知 | 1,790 | 高知 | 2,590 | | | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 7 | 大分 | 1,500 | 長野 | 1,300 | | | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 8 | 長野 | 1,490 | 大分 | 1,280 | | | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 9 | 千葉 | 1,390 | 千葉 | 1,240 | | | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 10 | 静岡 | 1,040 | 静岡 | 877 | | | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 九州 | ... | | 26,971 | | ... | | ... | | ... | | ... | | ... | |
| 全国 | 67,500 | | 61,300 | | ... | | 46,600 | | 45,800 | | 47,200 | | 47,600 | |

資料) 農林水産省「花き生産出荷統計」 ※H27 は調査対象外

付Ⅱ-20 トルコギキョウ出荷量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|---------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 単 位 | 千本 | 単 位 | 千本 | 単 位 | 千本 | 単 位 | 千本 | 単 位 | 千本 | 単 位 | 千本 | 単 位 | 千本 |
| 1 | 長野 | 15,500 | 長野 | 13,300 | 長野 | 12,300 | 熊本 | 10,500 | 長野 | 13,200 | 長野 | 12,700 | 長野 | 11,200 |
| 2 | 熊本 | 12,200 | 熊本 | 11,400 | 熊本 | 11,300 | 福岡 | 7,660 | 熊本 | 10,000 | 熊本 | 10,300 | 熊本 | 9,510 |
| 3 | 福岡 | 8,390 | 福岡 | 9,170 | 福岡 | 10,000 | 静岡 | 4,820 | 福岡 | 7,100 | 福岡 | 7,500 | 福岡 | 7,500 |
| 4 | 静岡 | 7,510 | 北海道 | 6,450 | 北海道 | 5,330 | 山形 | 4,100 | 静岡 | 3,860 | 静岡 | 3,960 | 静岡 | 3,610 |
| 5 | 北海道 | 7,170 | 福島 | 6,330 | 静岡 | 4,960 | 北海道 | 3,750 | 山形 | 3,660 | 高知 | 3,630 | 高知 | 3,310 |
| 6 | 福島 | 6,910 | 静岡 | 5,980 | 愛知 | 4,860 | 高知 | 3,600 | 福島 | 3,640 | 山形 | 3,350 | 山形 | 3,050 |
| 7 | 山形 | 5,940 | 山形 | 5,600 | 山形 | 4,730 | 福島 | 3,430 | 高知 | 3,540 | 福島 | 3,240 | 栃木 | 2,900 |
| 8 | 大分 | 5,690 | 高知 | 4,580 | 福島 | 4,570 | 秋田 | 3,220 | 愛知 | 3,360 | 千葉 | 3,050 | 千葉 | 2,840 |
| 9 | 愛知 | 5,580 | 愛知 | 4,540 | 千葉 | 3,990 | 千葉 | 3,180 | 千葉 | 3,060 | 栃木 | 2,940 | 福島 | 2,820 |
| 10 | 高知 | 4,940 | 千葉 | 4,080 | 高知 | 3,860 | | | 北海道 | 3,050 | 愛知 | 2,900 | 愛知 | 2,770 |
| 九州 | ... | | 30,886 | | ... | | ... | | ... | | ... | | ... | |
| 全国 | 119,600 | | 106,700 | | 98,100 | | 88,000 | | 84,500 | | 84,300 | | 78,300 | |

資料) 農林水産省「花き生産出荷統計」

付Ⅱ-21 い収穫量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|--------|--------|------|--------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 単 位 | t | 単 位 | t | 単 位 | t | 単 位 | t | 単 位 | t | 単 位 | t | 単 位 | t | 単 位 | t |
| 1 | 熊本 | 20,900 | 熊本 | 11,300 | 熊本 | 7,630 | 熊本 | 6,260 | 熊本 | 5,810 | 熊本 | 5,440 | 熊本 | 4,980 | 熊本 | 3,630 |
| 2 | 福岡 | 893 | 福岡 | 198 | 福岡 | 165 | 福岡 | 44 | | | | | | | | |
| 3 | 広島 | 303 | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | 岡山 | 81 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 沖縄 | 54 | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | 石川 | 35 | | | | | | | | | | | | | | |
| 7 | 佐賀 | 24 | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | 高知 | 8 | | | | | | | | | | | | | | |
| 9 | 島根 | 6 | | | | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 九州 | 21,871 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 22,304 | | 主産県計 | | 主産県計 | | 主産県計 | | 熊本県のみ | | 熊本県のみ | | 熊本県のみ | | 熊本県のみ | |

資料) 農林水産省「作物統計」

注1) H22以降は主産県(熊本県・福岡県)のみ、R4以降は熊本県のみ公表

注2) H17の主産県以外は全い連調査

付Ⅱ-22 葉たばこ生産量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t |
| 1 | 宮崎 | 6,350 | 熊本 | 3,594 | 熊本 | 2,823 | 熊本 | 2,161 | 熊本 | 1,869 | 熊本 | 1,974 | 熊本 | 1,836 | 熊本 | 1,794 |
| 2 | 熊本 | 5,088 | 宮崎 | 3,121 | 青森 | 2,580 | 沖繩 | 1,685 | 岩手 | 1,143 | 岩手 | 1,089 | 沖繩 | 1,039 | 沖繩 | 1,086 |
| 3 | 鹿児島 | 4,223 | 青森 | 2,876 | 岩手 | 2,341 | 岩手 | 1,652 | 長崎 | 1,099 | 長崎 | 964 | 岩手 | 1,035 | 岩手 | 987 |
| 4 | 岩手 | 3,895 | 岩手 | 2,828 | 宮崎 | 1,452 | 青森 | 1,486 | 沖繩 | 800 | 沖繩 | 930 | 長崎 | 942 | 長崎 | 932 |
| 5 | 青森 | 3,601 | 沖繩 | 2,249 | 沖繩 | 1,415 | 長崎 | 1,235 | 青森 | 797 | 青森 | 782 | 青森 | 770 | 青森 | 728 |
| 6 | 福島 | 3,151 | 鹿児島 | 2,019 | 長崎 | 1,404 | 宮崎 | 1,130 | 宮崎 | 684 | 宮崎 | 687 | 宮崎 | 594 | 宮崎 | 636 |
| 7 | 長崎 | 2,669 | 福島 | 1,768 | 鹿児島 | 897 | 鹿児島 | 798 | 鹿児島 | 484 | 鹿児島 | 526 | 鹿児島 | 453 | 鹿児島 | 495 |
| 8 | 大分 | 2,106 | 長崎 | 1,686 | 福島 | 868 | 福島 | 481 | 佐賀 | 384 | 佐賀 | 345 | 佐賀 | 353 | 佐賀 | 363 |
| 9 | 茨城 | 1,959 | 新潟 | 1,235 | 秋田 | 745 | 佐賀 | 451 | 福島 | 275 | 福島 | 282 | 福島 | 247 | 福島 | 228 |
| 10 | 新潟 | 1,881 | 茨城 | 1,185 | 新潟 | 635 | 新潟 | 444 | 新潟 | 262 | 大分 | 254 | 大分 | 216 | 新潟 | 220 |
| 九州 | 23,400 | | 14,453 | | 9,117 | | 7,891 | | 5,569 | | 5,701 | | 5,451 | | 5,538 | |
| 全国 | 46,800 | | 29,297 | | 18,687 | | 13,748 | | 8,782 | | 8,722 | | 8,336 | | 8,306 | |

資料) 全国たばこ耕作組合中央会「葉たばこ販売実績」

注) 九州の値には、沖縄県も含む

付Ⅱ-23 収繭量

| 順位 | H17 | | H22 | | H27 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t | 単位 | t |
| 1 | 群馬 | 278 | 群馬 | 111 | 群馬 | 47 | 群馬 | 28 | 群馬 | 18 | 群馬 | 18 | 群馬 | 15 |
| 2 | 福島 | 75 | 福島 | 41 | 福島 | 21 | 栃木 | 14 | 栃木 | 10 | 栃木 | 8 | 栃木 | 7 |
| 3 | 埼玉 | 55 | 栃木 | 31 | 栃木 | 21 | 福島 | 14 | 福島 | 9 | 福島 | 7 | 福島 | 7 |
| 4 | 栃木 | 49 | 埼玉 | 21 | 埼玉 | 9 | 埼玉 | 5 | 埼玉 | 3 | 埼玉 | 3 | 愛媛 | 2 |
| 5 | 茨城 | 26 | 茨城 | 10 | 宮城 | 6 | 愛媛 | 3 | 愛媛 | 2 | 愛媛 | 2 | 埼玉 | 2 |
| 6 | 長野 | 20 | 宮城 | 8 | 茨城 | 5 | 宮城 | 3 | 宮城 | 2 | 宮城 | 2 | 宮城 | 1 |
| 7 | 宮城 | 20 | 岩手 | 8 | 岩手 | 5 | 長野 | 2 | 長野 | 1 | 千葉 | 1 | 山形 | 1 |
| 8 | 岩手 | 17 | 長野 | 8 | 山梨 | 4 | 岩手 | 2 | 岩手 | 1 | 長野 | 1 | 千葉 | 1 |
| 9 | 山梨 | 15 | 山梨 | 8 | 長野 | 4 | 山梨 | 2 | 千葉 | 1 | 岩手 | 1 | 岩手 | 1 |
| 10 | 山形 | 12 | 愛媛 | 5 | 山形 | 4 | 茨城 | 2 | 茨城 | 1 | 山形 | 1 | 茨城 | 0.5 |
| | ⑮熊本 | 3 | ⑮熊本 | 0.8 | ⑳熊本 | 0.1 | ⑮熊本 | 0.1 | ⑱熊本 | 0.2 | ⑭熊本 | 0.2 | ⑭熊本 | 0.2 |
| 九州 | 14 | | 1 | | 1 | | 0.5 | | 0.4 | | 0.3 | | 0.3 | |
| 全国 | 626 | | 265 | | 135 | | 80 | | 51 | | 45 | | 38 | |

資料) (財) 大日本蚕糸会調査

付Ⅱ-24 乳用牛飼養頭数

| 順位 | H18 | | 23 | | H28 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 |
| 1 | 北海道 | 856.1 | 北海道 | 827.9 | 北海道 | 785.7 | 北海道 | 820.9 | 北海道 | 846.1 | 北海道 | 842.7 | 北海道 | 821.5 | 北海道 | 816.8 |
| 2 | 栃木 | 58.4 | 栃木 | 53.0 | 栃木 | 52.8 | 栃木 | 52.1 | 栃木 | 54.8 | 栃木 | 54.0 | 栃木 | 52.8 | 栃木 | 51.4 |
| 3 | 岩手 | 55.6 | 岩手 | 46.9 | 岩手 | 43.6 | 熊本 | 44.4 | 熊本 | 43.6 | 熊本 | 43.8 | 熊本 | 43.0 | 熊本 | 41.9 |
| 4 | 熊本 | 50.3 | 熊本 | 43.6 | 熊本 | 43.4 | 岩手 | 41.6 | 岩手 | 40.1 | 岩手 | 40.2 | 岩手 | 38.7 | 岩手 | 37.6 |
| 5 | 千葉 | 47.0 | 群馬 | 39.2 | 群馬 | 36.1 | 群馬 | 33.9 | 群馬 | 33.6 | 群馬 | 32.9 | 群馬 | 31.9 | 群馬 | 31.0 |
| 6 | 群馬 | 45.7 | 千葉 | 38.4 | 千葉 | 32.1 | 千葉 | 28.6 | 千葉 | 27.8 | 千葉 | 26.5 | 千葉 | 25.7 | 千葉 | 25.2 |
| 7 | 愛知 | 38.5 | 愛知 | 31.1 | 愛知 | 26.2 | 茨城 | 24.3 | 茨城 | 24.0 | 茨城 | 24.4 | 茨城 | 23.2 | 茨城 | 22.9 |
| 8 | 茨城 | 33.5 | 茨城 | 29.6 | 茨城 | 24.2 | 愛知 | 22.6 | 愛知 | 21.1 | 愛知 | 19.6 | 愛知 | 18.5 | 愛知 | 17.8 |
| 9 | 宮城 | 28.3 | 宮城 | 23.5 | 宮城 | 19.8 | 宮城 | 18.5 | 宮城 | 17.8 | 宮城 | 17.1 | 宮城 | 15.8 | 岡山 | 15.1 |
| 10 | 兵庫 | 25.2 | 長野 | 19.5 | 長野 | 16.3 | 岡山 | 16.8 | 岡山 | 16.8 | 岡山 | 16.0 | 岡山 | 15.4 | 宮城 | 14.9 |
| 九州 | 148.5 | | 119.1 | | 110.2 | | 105.5 | | 103.1 | | 102.1 | | 97.8 | | 94.2 | |
| 全国 | 1,635.0 | | 1,467.0 | | 1,345.0 | | 1,352.0 | | 1,371.0 | | 1,356.0 | | 1,313.0 | | 1,293.0 | |

資料) 農林水産省「畜産統計(2月1日現在)」

付Ⅱ-25 肉用牛飼養頭数

| 順位 | H18 | | 23 | | H28 | | R2 | | R4 | | R5 | | R6 | | R7 | |
|----|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 | 単位 | 千頭 |
| 1 | 北海道 | 467.0 | 北海道 | 535.9 | 北海道 | 512.5 | 北海道 | 524.7 | 北海道 | 553.3 | 北海道 | 566.4 | 北海道 | 558.5 | 北海道 | 544.7 |
| 2 | 鹿児島 | 352.8 | 鹿児島 | 360.7 | 鹿児島 | 319.1 | 鹿児島 | 341.0 | 鹿児島 | 337.8 | 鹿児島 | 357.8 | 鹿児島 | 362.7 | 鹿児島 | 360.4 |
| 3 | 宮崎 | 270.9 | 宮崎 | 239.7 | 宮崎 | 243.6 | 宮崎 | 244.1 | 宮崎 | 254.5 | 宮崎 | 60.2 | 宮崎 | 258.2 | 宮崎 | 248.4 |
| 4 | 熊本 | 142.5 | 熊本 | 145.7 | 熊本 | 125.2 | 熊本 | 132.3 | 熊本 | 133.6 | 熊本 | 139.1 | 熊本 | 134.0 | 熊本 | 133.2 |
| 5 | 岩手 | 103.2 | 岩手 | 109.0 | 岩手 | 89.6 | 岩手 | 91.1 | 岩手 | 89.2 | 長崎 | 91.7 | 長崎 | 93.5 | 長崎 | 91.1 |
| 6 | 栃木 | 98.3 | 栃木 | 94.2 | 栃木 | 81.2 | 長崎 | 84.1 | 長崎 | 88.1 | 岩手 | 88.0 | 岩手 | 87.9 | 栃木 | 83.5 |
| 7 | 宮城 | 95.3 | 宮城 | 90.0 | 宮城 | 81.0 | 宮城 | 80.9 | 栃木 | 84.4 | 栃木 | 84.9 | 栃木 | 86.7 | 岩手 | 81.8 |
| 8 | 長崎 | 89.6 | 長崎 | 88.1 | 長崎 | 76.2 | 栃木 | 79.8 | 宮城 | 80.0 | 沖縄 | 81.0 | 宮城 | 79.5 | 宮城 | 76.1 |
| 9 | 福島 | 79.2 | 沖縄 | 82.2 | 沖縄 | 70.5 | 沖縄 | 79.7 | 沖縄 | 78.0 | 宮城 | 80.1 | 沖縄 | 79.0 | 沖縄 | 75.3 |
| 10 | 沖縄 | 77.5 | 福島 | 74.2 | 群馬 | 59.0 | 兵庫 | 55.7 | 群馬 | 57.3 | 兵庫 | 58.8 | 兵庫 | 58.4 | 兵庫 | 57.2 |
| 九州 | 1,010.0 | | 984.1 | | 883.7 | | 927.1 | | 941.7 | | 977.4 | | 978.2 | | 956.3 | |
| 全国 | 2,755.0 | | 2,763.0 | | 2,479.0 | | 2,555.0 | | 2,614.0 | | 2,687.0 | | 2,672.0 | | 2,595.0 | |

資料) 農林水産省「畜産統計(2月1日現在)」

注) 平成17年は、公表値なし。平成22、27年はセンサス年のため「畜産統計」が作成されていない。

付Ⅱ-26 豚飼養頭数

| 順位 | H18 | | H23 | | H28 | | R1 | | R3 | | R4 | | R5 | | R6 | |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 単 位 | 千頭 | 単 位 | 千頭 | 単 位 | 千頭 | 単 位 | 千頭 | 単 位 | 千頭 | 単 位 | 千頭 | 単 位 | 千頭 | 単 位 | 千頭 |
| 1 | 鹿児島 | 1,396.0 | 鹿児島 | 1,372.0 | 鹿児島 | 1,263.0 | 鹿児島 | 1,269.0 | 鹿児島 | 1,234.0 | 鹿児島 | 1,199.0 | 鹿児島 | 1,153.0 | 鹿児島 | 1,200.0 |
| 2 | 宮崎 | 903.4 | 宮崎 | 766.2 | 宮崎 | 835.4 | 宮崎 | 835.7 | 宮崎 | 796.9 | 宮崎 | 764.2 | 宮崎 | 818.2 | 北海道 | 752.2 |
| 3 | 茨城 | 626.3 | 千葉 | 655.0 | 千葉 | 672.8 | 北海道 | 691.6 | 北海道 | 724.9 | 北海道 | 727.8 | 北海道 | 759.6 | 宮崎 | 721.0 |
| 4 | 群馬 | 599.1 | 茨城 | 623.7 | 群馬 | 628.8 | 群馬 | 629.6 | 群馬 | 643.5 | 群馬 | 604.8 | 群馬 | 593.7 | 群馬 | 610.8 |
| 5 | 千葉 | 558.3 | 群馬 | 610.4 | 北海道 | 608.3 | 千葉 | 603.8 | 千葉 | 614.7 | 千葉 | 582.5 | 千葉 | 588.4 | 千葉 | 580.7 |
| 6 | 北海道 | 521.9 | 北海道 | 609.1 | 茨城 | 557.7 | 茨城 | 466.4 | 茨城 | 513.4 | 岩手 | 491.9 | 岩手 | 474.0 | 岩手 | 459.1 |
| 7 | 岩手 | 404.5 | 岩手 | 486.1 | 岩手 | 432.1 | 栃木 | 406.0 | 岩手 | 485.1 | 茨城 | 420.7 | 茨城 | 458.4 | 茨城 | 424.0 |
| 8 | 青森 | 377.5 | 青森 | 395.8 | 栃木 | 394.6 | 岩手 | 402.4 | 栃木 | 427.3 | 青森 | 358.6 | 青森 | 356.3 | 熊本 | 347.9 |
| 9 | 愛知 | 369.2 | 栃木 | 391.1 | 青森 | 362.1 | 愛知 | 352.7 | 青森 | 352.7 | 栃木 | 356.2 | 熊本 | 338.0 | 青森 | 334.8 |
| 10 | 栃木 | 356.8 | 愛知 | 364.8 | 愛知 | 333.3 | 青森 | 351.8 | 熊本 | 349.5 | 熊本 | 339.4 | 愛知 | 308.7 | 栃木 | 324.9 |
| | ⑩熊本 | 276.5 | ⑩熊本 | 287.7 | ⑩熊本 | 282.3 | ⑩熊本 | 277.1 | | | | | | | | |
| 九州 | 3,081.0 | | 2,982.0 | | 2,873.0 | | 2,879.0 | | 2,892.0 | | 2,800.0 | | 2,818.0 | | 2,753.0 | |
| 全国 | 9,620.0 | | 9,768.0 | | 9,313.0 | | 9,156.0 | | 9,290.0 | | 8,949.0 | | 8,956.0 | | 8,798.0 | |

資料) 農林水産省「畜産統計(2月1日現在)」

注) 平成17年は、公表値なし。

注) センサス実施年である平成22、27年、令和2年、7年における「畜産統計」は、豚の調査が休止されるため、データ無し

付Ⅱ-27 農業産出額の年次別推移

| 年次 | 農業 産出額 | 耕 種 | | | | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-------|-----|-----------|-----|-------|-----|-----|-----------|-----------|
| | | 計 | 米 | 麦 類 | 雑穀・ 豆類 | いも類 | 野 菜 | 果 実 | 花 き | 工芸 農作物 | その他 作物 |
| | (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) |
| 昭. 40 | 822 | 662 | 342 | 50 | 19 | 26 | 69 | 63 | 3 | 86 | 3 |
| 41 | 974 | 781 | 429 | 29 | 23 | 23 | 87 | 70 | 3 | 111 | 4 |
| 42 | 1 125 | 906 | 517 | 34 | 17 | 20 | 86 | 64 | 3 | 160 | 6 |
| 43 | 1 214 | 936 | 496 | 51 | 21 | 20 | 98 | 80 | 5 | 161 | 5 |
| 44 | 1 299 | 997 | 511 | 29 | 18 | 17 | 102 | 119 | 5 | 151 | 45 |
| 45 | 1 336 | 993 | 414 | 21 | 18 | 20 | 144 | 156 | 6 | 169 | 45 |
| 46 | 1 394 | 990 | 396 | 23 | 11 | 16 | 177 | 147 | 8 | 168 | 43 |
| 47 | 1 638 | 1 170 | 485 | 11 | 15 | 18 | 221 | 167 | 10 | 205 | 39 |
| 48 | 1 939 | 1 352 | 543 | 7 | 12 | 20 | 281 | 178 | 13 | 255 | 42 |
| 49 | 2 498 | 1 819 | 800 | 23 | 13 | 25 | 336 | 237 | 15 | 322 | 48 |
| 50 | 2 961 | 2 130 | 973 | 21 | 14 | 31 | 373 | 275 | 23 | 366 | 56 |
| 51 | 3 153 | 2 257 | 904 | 18 | 15 | 36 | 430 | 293 | 27 | 488 | 46 |
| 52 | 3 451 | 2 426 | 1 037 | 21 | 15 | 40 | 441 | 325 | 37 | 454 | 57 |
| 53 | 3 540 | 2 470 | 974 | 46 | 18 | 38 | 484 | 349 | 39 | 475 | 47 |
| 54 | 3 605 | 2 483 | 939 | 63 | 23 | 43 | 529 | 349 | 44 | 445 | 48 |
| 55 | 3 413 | 2 342 | 787 | 54 | 20 | 54 | 571 | 346 | 50 | 412 | 50 |
| 56 | 3 647 | 2 537 | 901 | 61 | 26 | 66 | 554 | 405 | 54 | 419 | 52 |
| 57 | 3 645 | 2 537 | 836 | 63 | 26 | 50 | 560 | 430 | 58 | 461 | 53 |
| 58 | 3 683 | 2 555 | 876 | 66 | 32 | 51 | 604 | 391 | 61 | 420 | 53 |
| 59 | 3 919 | 2 760 | 963 | 105 | 31 | 67 | 610 | 435 | 60 | 437 | 52 |
| 60 | 3 818 | 2 679 | 941 | 89 | 26 | 49 | 630 | 402 | 71 | 419 | 51 |
| 61 | 3 886 | 2 751 | 988 | 90 | 28 | 49 | 665 | 373 | 72 | 436 | 50 |
| 62 | 3 653 | 2 551 | 755 | 68 | 28 | 46 | 755 | 303 | 74 | 474 | 48 |
| 63 | 3 759 | 2 641 | 788 | 55 | 35 | 48 | 847 | 318 | 80 | 423 | 48 |
| 平. 元 | 4 002 | 2 816 | 772 | 44 | 34 | 50 | 964 | 358 | 90 | 453 | 50 |
| 2 | 4 016 | 2 883 | 742 | 45 | 29 | 51 | 1 105 | 434 | 101 | 332 | 44 |
| 3 | 3 657 | 2 594 | 631 | 16 | 20 | 48 | 1 017 | 358 | 102 | 358 | 45 |
| 4 | 3 819 | 2 820 | 782 | 24 | 21 | 61 | 1 010 | 333 | 100 | 432 | 58 |
| 5 | 3 587 | 2 665 | 719 | 23 | 9 | 49 | 1 078 | 264 | 112 | 355 | 57 |
| 6 | 3 993 | 3 069 | 937 | 22 | 11 | 56 | 1 099 | 342 | 117 | 428 | 57 |
| 7 | 3 856 | 2 913 | 763 | 22 | 13 | 48 | 1 146 | 400 | 123 | 337 | 60 |
| 8 | 3 789 | 2 836 | 724 | 22 | 15 | 59 | 1 132 | 367 | 124 | 338 | 55 |
| 9 | 3 616 | 2 676 | 647 | 19 | 13 | 56 | 1 132 | 342 | 117 | 299 | 51 |
| 10 | 3 640 | 2 748 | 633 | 5 | 15 | 54 | 1 156 | 433 | 132 | 269 | 52 |
| 11 | 3 222 | 2 336 | 479 | 25 | 11 | 46 | 1 047 | 318 | 120 | 238 | 52 |
| 12 | 3 358 | 2 459 | 561 | 29 | 17 | 63 | 1 039 | 368 | 121 | 212 | 50 |
| 13 | 3 298 | 2 430 | 559 | 25 | 19 | 56 | 1 067 | 336 | 122 | 199 | 47 |
| 14 | 3 255 | 2 369 | 538 | 27 | 20 | 57 | 1 039 | 330 | 120 | 191 | 47 |
| 15 | 3 242 | 2 378 | 587 | 27 | 16 | 55 | 1 039 | 329 | 116 | 168 | 41 |
| 16 | 3 084 | 2 148 | 387 | 31 | 8 | 56 | 992 | 338 | 107 | 187 | 42 |
| 17 | 3 102 | 2 131 | 448 | 30 | 10 | 50 | 961 | 318 | 103 | 171 | 40 |
| 18 | 2 984 | 2 065 | 386 | 29 | 11 | 51 | 975 | 343 | 102 | 129 | 41 |
| 19 | 3 046 | 2 107 | 430 | 15 | 8 | 51 | 1 017 | 302 | 104 | 139 | 41 |
| 20 | 3 053 | 2 098 | 443 | 17 | 9 | 53 | 1 001 | 303 | 90 | 145 | 38 |
| 21 | 3 004 | 2 066 | 434 | 12 | 9 | 48 | 1 003 | 294 | 91 | 139 | 37 |
| 22 | 3 071 | 2 105 | 351 | 6 | 8 | 54 | 1 113 | 323 | 98 | 115 | 38 |
| 23 | 3 113 | 2 122 | 409 | 5 | 7 | 59 | 1 065 | 321 | 97 | 123 | 36 |
| 24 | 3 245 | 2 268 | 450 | 6 | 7 | 43 | 1 176 | 333 | 103 | 114 | 36 |
| 25 | 3 250 | 2 218 | 403 | 7 | 8 | 39 | 1 172 | 334 | 102 | 115 | 38 |
| 26 | 3 283 | 2 172 | 353 | 7 | 9 | 45 | 1 191 | 311 | 99 | 119 | 38 |
| 27 | 3 348 | 2 205 | 360 | 6 | 6 | 55 | 1 273 | 263 | 106 | 96 | 39 |
| 28 | 3 475 | 2 304 | 377 | 6 | 8 | 50 | 1 321 | 314 | 102 | 87 | 40 |
| 29 | 3 423 | 2 241 | 380 | 8 | 6 | 46 | 1 247 | 318 | 99 | 100 | 38 |
| 30 | 3 406 | 2 223 | 391 | 7 | 7 | 45 | 1 227 | 327 | 96 | 90 | 36 |
| 令. 元 | 3 364 | 2 186 | 368 | 8 | 6 | 50 | 1 220 | 313 | 96 | 91 | 34 |
| 2 | 3 407 | 2 186 | 361 | 7 | 7 | 56 | 1 221 | 338 | 86 | 79 | 30 |
| 3 | 3 477 | 2 135 | 302 | 9 | 5 | 61 | 1 186 | 362 | 94 | 89 | 27 |
| 4 | 3 512 | 2 170 | 277 | 9 | 6 | 62 | 1 248 | 362 | 107 | 73 | 26 |
| 5 | 3 757 | 2 368 | 328 | 8 | 7 | 61 | 1 365 | 391 | 117 | 76 | 17 |
| 6 | 4 116 | 2 752 | 545 | 4 | 4 | 66 | 1 508 | 419 | 123 | 67 | 16 |

資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

注) 「養蚕」は、H16 から「その他畜産物」に含む。

単位：億円

| 計 | 畜 | | | 産 | | | | | 加工 農産物 | 生産農業 所得 | 年次 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------------|-----------|------------|------|
| | 肉用牛 | 乳用牛 | 生乳 | 豚 | 鶏 | 鶏卵 | 養 蚕 | その他 畜産物 | | | |
| (12) | (13) | (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | (21) | (22) | |
| 148 | 25 | 25 | 19 | 29 | 42 | 34 | 26 | 2 | 12 | 526 | 昭.40 |
| 175 | 33 | 30 | 23 | 32 | 45 | 35 | 33 | 3 | 18 | 630 | 41 |
| 209 | 41 | 33 | 26 | 49 | 44 | 33 | 40 | 3 | 10 | 694 | 42 |
| 257 | 49 | 42 | 35 | 70 | 55 | 42 | 40 | 2 | 21 | 714 | 43 |
| 278 | 44 | 50 | 43 | 80 | 66 | 49 | 37 | 1 | 24 | 749 | 44 |
| 309 | 47 | 60 | 48 | 95 | 65 | 46 | 42 | 1 | 34 | 700 | 45 |
| 348 | 52 | 65 | 51 | 126 | 66 | 48 | 38 | 1 | 56 | 680 | 46 |
| 405 | 69 | 77 | 60 | 150 | 69 | 51 | 40 | 1 | 62 | 929 | 47 |
| 513 | 104 | 84 | 66 | 177 | 85 | 60 | 60 | 3 | 74 | 1 125 | 48 |
| 591 | 99 | 109 | 99 | 228 | 108 | 72 | 44 | 3 | 88 | 1 432 | 49 |
| 752 | 161 | 123 | 110 | 304 | 116 | 79 | 44 | 5 | 79 | 1 735 | 50 |
| 829 | 200 | 149 | 133 | 315 | 120 | 75 | 39 | 6 | 68 | 1 689 | 51 |
| 921 | 217 | 164 | 147 | 362 | 135 | 83 | 36 | 6 | 104 | 1 739 | 52 |
| 972 | 231 | 187 | 164 | 379 | 128 | 75 | 40 | 7 | 98 | 1 919 | 53 |
| 1 012 | 247 | 214 | 181 | 364 | 141 | 78 | 40 | 7 | 109 | 1 773 | 54 |
| 976 | 240 | 208 | 168 | 347 | 141 | 82 | 33 | 7 | 95 | 1 629 | 55 |
| 1 017 | 235 | 218 | 183 | 366 | 159 | 97 | 31 | 9 | 92 | 1 591 | 56 |
| 983 | 232 | 223 | 188 | 351 | 139 | 79 | 30 | 9 | 125 | 1 574 | 57 |
| 1 023 | 263 | 236 | 203 | 333 | 157 | 75 | 27 | 8 | 105 | 1 544 | 58 |
| 1 057 | 289 | 239 | 204 | 329 | 169 | 71 | 23 | 8 | 103 | 1 653 | 59 |
| 1 033 | 313 | 253 | 214 | 273 | 168 | 76 | 18 | 9 | 106 | 1 591 | 60 |
| 1 011 | 333 | 253 | 209 | 240 | 160 | 72 | 16 | 9 | 125 | 1 662 | 61 |
| 1 005 | 357 | 255 | 206 | 219 | 156 | 59 | 9 | 9 | 97 | 1 583 | 62 |
| 1 010 | 354 | 265 | 212 | 221 | 146 | 61 | 11 | 12 | 108 | 1 656 | 63 |
| 1 071 | 372 | 300 | 239 | 220 | 151 | 66 | 14 | 13 | 115 | 1 853 | 平.元 |
| 1 025 | 339 | 295 | 236 | 205 | 163 | 84 | 9 | 15 | 108 | 1 823 | 2 |
| 976 | 305 | 274 | 229 | 199 | 174 | 103 | 8 | 15 | 88 | 1 652 | 3 |
| 899 | 250 | 277 | 240 | 197 | 156 | 90 | 5 | 13 | 99 | 1 805 | 4 |
| 823 | 224 | 266 | 235 | 174 | 144 | 80 | 3 | 13 | 99 | 1 670 | 5 |
| 817 | 227 | 257 | 232 | 177 | 143 | 83 | 2 | 11 | 107 | 1 918 | 6 |
| 821 | 240 | 253 | 232 | 176 | 140 | 90 | 1 | 11 | 122 | 1 757 | 7 |
| 839 | 241 | 254 | 230 | 179 | 151 | 100 | 1 | 12 | 114 | 1 731 | 8 |
| 843 | 251 | 253 | 230 | 175 | 151 | 100 | 1 | 12 | 97 | 1 645 | 9 |
| 804 | 237 | 248 | 226 | 173 | 134 | 86 | 0 | 12 | 88 | 1 676 | 10 |
| 805 | 229 | 248 | 228 | 176 | 141 | 85 | 0 | 12 | 80 | 1 415 | 11 |
| 842 | 257 | 258 | 237 | 169 | 142 | 91 | 0 | 16 | 56 | 1 424 | 12 |
| 812 | 228 | 258 | 237 | 179 | 131 | 83 | 0 | 16 | 56 | 1 389 | 13 |
| 828 | 226 | 266 | 245 | 190 | 131 | 80 | 0 | 16 | 58 | 1 367 | 14 |
| 801 | 223 | 275 | 250 | 164 | 121 | 72 | 0 | 19 | 63 | 1 349 | 15 |
| 879 | 278 | 277 | 250 | 175 | 127 | 73 | 22 | | 57 | 1 165 | 16 |
| 921 | 300 | 278 | 250 | 178 | 142 | 78 | 23 | | 49 | 1 136 | 17 |
| 873 | 295 | 256 | 229 | 164 | 129 | 64 | 29 | | 46 | 1 043 | 18 |
| 907 | 294 | 252 | 230 | 180 | 156 | 68 | 25 | | 32 | 1 075 | 19 |
| 920 | 283 | 243 | 224 | 195 | 168 | 72 | 31 | | 35 | 912 | 20 |
| 907 | 294 | 263 | 240 | 161 | 156 | 68 | 33 | | 31 | 879 | 21 |
| 935 | 307 | 261 | 235 | 166 | 167 | 69 | 35 | | 31 | 1 080 | 22 |
| 956 | 304 | 263 | 237 | 173 | 188 | 77 | 27 | | 35 | 1 064 | 23 |
| 949 | 309 | 269 | 246 | 166 | 182 | 75 | 23 | | 27 | 1 134 | 24 |
| 996 | 326 | 269 | 243 | 191 | 182 | 86 | 27 | | 36 | 1 167 | 25 |
| 1 070 | 337 | 280 | 251 | 228 | 192 | 89 | 33 | | 41 | 1 186 | 26 |
| 1 115 | 376 | 300 | 260 | 209 | 196 | 94 | 35 | | 28 | 1 177 | 27 |
| 1 141 | 432 | 310 | 257 | 191 | 186 | 82 | 22 | | 30 | 1 373 | 28 |
| 1 147 | 420 | 306 | 259 | 211 | 187 | 85 | 23 | | 35 | 1 296 | 29 |
| 1 147 | 430 | 317 | 265 | 194 | 187 | 79 | 20 | | 35 | 1 395 | 30 |
| 1 148 | 427 | 330 | 276 | 194 | 173 | 76 | 23 | | 29 | 1 442 | 令.元 |
| 1 192 | 400 | 339 | 290 | 227 | 196 | 81 | 30 | | 29 | 1 495 | 2 |
| 1 318 | 454 | 341 | 300 | 255 | 236 | 100 | 32 | | 25 | 1 485 | 3 |
| 1 323 | 452 | 332 | 299 | 265 | 238 | 100 | 36 | | 19 | 1 446 | 4 |
| 1 371 | 435 | 352 | 317 | 265 | 285 | 146 | 34 | | 18 | 1 554 | 5 |
| 1 347 | 420 | 371 | 332 | 294 | 232 | 103 | 28 | | 18 | 1 744 | 6 |

付Ⅱ-28 市町村別農業産出額（国推計）（R5年（2023年））

| 市町村 | 農業 産出額 | 耕 種 | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|------|------|------|------------|
| | | 小 計 | 米 | 麦 類 | 雑 穀 | 豆 類 | いも類 | 野 菜 | 果 実 | 花 き | 工 芸 | | その他 作 物 |
| | | | | | | | | | | | 農作物 | 茶 | |
| (1) | (2) | (3) | (4) | (5) | (6) | (7) | (8) | (9) | (10) | (11) | (12) | (13) | |
| 熊本市 | 5,057 | 4,325 | 456 | 16 | 0 | 14 | 19 | 2,692 | 930 | x | 21 | 1 | x |
| 八代市 | 3,612 | 3,451 | 410 | 3 | - | 0 | 59 | 2,707 | 43 | x | 157 | 3 | x |
| 人吉市 | 332 | 122 | 41 | 0 | 0 | 0 | 2 | 35 | 11 | 9 | 21 | 0 | 2 |
| 荒尾市 | 251 | 178 | 38 | 1 | - | 0 | 1 | 33 | 98 | 2 | 3 | - | 1 |
| 水俣市 | 186 | 143 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 89 | 0 | 8 | 7 | 3 |
| 玉名市 | 2,830 | 2,405 | 255 | 12 | - | 6 | 36 | 1,477 | 595 | x | 5 | - | x |
| 山鹿市 | 2,273 | 1,209 | 238 | 8 | 1 | 5 | 9 | 696 | 136 | x | 49 | 8 | x |
| 菊池市 | 4,368 | 967 | 171 | 5 | 1 | 2 | 13 | 582 | 52 | x | 19 | 10 | x |
| 宇土市 | 360 | 354 | 69 | 1 | - | 0 | 0 | 181 | 74 | 9 | 18 | - | 2 |
| 上天草市 | 266 | 204 | 16 | 0 | - | 0 | 1 | 86 | 27 | x | 1 | - | x |
| 宇城市 | 2,452 | 1,805 | 162 | 1 | - | 1 | 26 | 949 | 577 | 51 | 32 | 0 | 7 |
| 阿蘇市 | 1,570 | 647 | 202 | 2 | 2 | 2 | 3 | 343 | 3 | 41 | 41 | 1 | 8 |
| 天草市 | 1,060 | 576 | 97 | 0 | 0 | 0 | 9 | 144 | 274 | 21 | 27 | 1 | 4 |
| 合志市 | 1,030 | 542 | 25 | 2 | 1 | 2 | 9 | 255 | 10 | 203 | 34 | x | 3 |
| 美里町 | 140 | 103 | 37 | 0 | 0 | 0 | 0 | 46 | 8 | x | 8 | 3 | x |
| 玉東町 | 281 | 279 | 14 | 0 | - | 0 | - | 43 | 215 | 0 | 3 | - | 3 |
| 南関町 | 229 | 139 | 42 | 0 | - | 0 | 1 | 81 | 13 | x | 1 | 0 | x |
| 長洲町 | 74 | 73 | 31 | 3 | - | 1 | 3 | 26 | 7 | - | 2 | - | 0 |
| 和水町 | 899 | 336 | 54 | 0 | - | 0 | 11 | 141 | 121 | 6 | 1 | 0 | 3 |
| 大津町 | 934 | 451 | 8 | 4 | 0 | 3 | 144 | 263 | 6 | 4 | 9 | 2 | 9 |
| 菊陽町 | 447 | 259 | 10 | 1 | - | 1 | 16 | 209 | 4 | x | 10 | 5 | x |
| 南小国町 | 163 | 75 | 20 | - | - | 0 | 0 | 46 | 1 | x | 3 | - | x |
| 小国町 | 236 | 99 | 25 | - | 0 | 0 | 5 | 67 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 産山村 | 214 | 65 | 17 | - | - | 0 | 0 | 40 | 1 | x | 0 | - | x |
| 高森町 | 560 | 199 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 139 | 0 | 26 | 5 | 0 | 9 |
| 西原村 | 377 | 179 | 8 | 0 | 0 | 0 | 109 | 50 | 9 | 2 | 0 | - | 1 |
| 南阿蘇村 | 413 | 292 | 99 | 0 | 2 | 0 | 2 | 145 | 7 | 27 | 8 | 1 | 3 |
| 御船町 | 483 | 151 | 59 | 3 | - | 1 | 5 | 59 | 7 | x | 11 | 3 | x |
| 嘉島町 | 82 | 67 | 23 | 8 | - | 11 | - | 24 | 0 | x | 0 | - | x |
| 益城町 | 617 | 546 | 88 | 2 | - | 2 | 93 | 345 | 13 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 甲佐町 | 252 | 205 | 42 | 3 | 0 | 2 | 0 | 29 | 15 | x | 3 | 0 | x |
| 山都町 | 1,280 | 852 | 120 | - | 0 | 0 | 3 | 624 | 40 | 42 | 18 | 12 | 6 |
| 氷川町 | 865 | 746 | 47 | 2 | - | 0 | 3 | 484 | 95 | 89 | 23 | - | 3 |
| 芦北町 | 332 | 245 | 38 | - | 0 | 0 | 0 | 27 | 168 | 10 | 2 | 0 | 0 |
| 津奈木町 | 93 | 65 | 5 | - | - | 0 | 0 | 3 | 56 | 0 | 0 | 0 | - |
| 錦町 | 623 | 220 | 42 | 0 | 0 | 0 | 2 | 84 | 56 | 2 | 30 | 6 | 3 |
| 多良木町 | 446 | 282 | 62 | 1 | 0 | 0 | 1 | 136 | 40 | 6 | 35 | - | 1 |
| 湯前町 | 122 | 76 | 27 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 | 10 | 6 | 3 | 0 | 1 |
| 水上村 | 68 | 45 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 26 | 5 | - | 1 | 1 | 0 |
| 相良村 | 293 | 91 | 16 | 0 | 1 | 0 | 0 | 33 | 6 | 0 | 28 | 19 | 8 |
| 五木村 | 2 | 2 | 0 | - | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | - | 1 | 1 | 0 |
| 山江村 | 59 | 43 | 10 | 0 | 0 | 0 | 3 | 12 | 15 | 0 | 3 | 0 | 1 |
| 球磨村 | 56 | 50 | 4 | - | 0 | 0 | 0 | 12 | 31 | x | 2 | 0 | x |
| あさぎり町 | 856 | 403 | 94 | 3 | 1 | 2 | 13 | 145 | 19 | 17 | 108 | 1 | 2 |
| 苓北町 | 140 | 111 | 13 | - | - | 0 | 1 | 71 | 25 | x | 1 | - | x |

資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

注) 都道府県農業産出額を基に農林業センサス等を用いた新たに市町村別農業産出額を推計したものの。平成18年以前と算出方法が異なるため、利用には留意が必要。

単位：1,000 万円

| 畜 産 | | | | | | | | | 加 工 農産物 | 市町村 |
|-------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------------|------------|-------|
| 小 計 | 肉用牛 | 乳用牛 | 生乳 | 豚 | 鶏 | 鶏 卵 | ブロイラー | その他 畜産物 | | |
| (14) | (15) | (16) | (17) | (18) | (19) | (20) | (21) | (22) | (23) | |
| 727 | 76 | 231 | 207 | 345 | 71 | 71 | - | 4 | 4 | 熊本市 |
| 129 | 9 | 11 | x | - | 91 | x | x | 18 | 32 | 八代市 |
| 206 | 54 | 125 | 118 | 13 | 13 | x | - | 1 | 4 | 人吉市 |
| 73 | 9 | 53 | 49 | - | 11 | x | - | 0 | 1 | 荒尾市 |
| 38 | 7 | 5 | x | - | 27 | 27 | - | - | 4 | 水俣市 |
| 424 | 14 | 146 | 135 | 33 | 224 | 134 | 89 | 8 | 1 | 玉名市 |
| 1,052 | 144 | 230 | 215 | 121 | 557 | 320 | 237 | 0 | 12 | 山鹿市 |
| 3,393 | 1,061 | 881 | 786 | 1,250 | 198 | 197 | - | 3 | 7 | 菊池市 |
| 2 | 1 | - | - | - | 2 | x | - | - | 4 | 宇土市 |
| 62 | 18 | 30 | 27 | x | 2 | 0 | x | x | 0 | 上天草市 |
| 641 | 522 | 47 | 43 | 0 | 72 | 71 | - | 1 | 6 | 宇城市 |
| 914 | 378 | 221 | 198 | 226 | 90 | x | 89 | 0 | 8 | 阿蘇市 |
| 479 | 160 | 16 | 14 | 289 | 12 | 12 | 0 | 3 | 6 | 天草市 |
| 481 | 116 | 314 | 282 | x | 8 | x | - | x | 7 | 合志市 |
| 35 | 34 | 2 | 2 | - | 0 | 0 | - | - | 2 | 美里町 |
| 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 玉東町 |
| 90 | 25 | 21 | 19 | - | 41 | x | 40 | 3 | 0 | 南関町 |
| 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 長洲町 |
| 563 | 145 | 74 | 67 | x | 303 | x | - | x | 0 | 和水町 |
| 481 | 154 | 219 | 196 | 84 | 24 | x | - | - | 2 | 大津町 |
| 185 | 69 | 31 | 29 | x | 22 | x | - | x | 3 | 菊陽町 |
| 88 | 76 | - | - | - | 12 | 0 | x | 1 | 1 | 南小国町 |
| 136 | 35 | 93 | 82 | x | 0 | 0 | - | x | 0 | 小国町 |
| 150 | 56 | 19 | x | x | 69 | 0 | 69 | x | 0 | 産山村 |
| 360 | 80 | 29 | 26 | - | 251 | - | 251 | - | 1 | 高森町 |
| 198 | 110 | 43 | 40 | x | 0 | 0 | - | x | 0 | 西原村 |
| 119 | 109 | 10 | 9 | - | 0 | 0 | - | - | 2 | 南阿蘇村 |
| 329 | 23 | 21 | 18 | x | 1 | x | - | x | 3 | 御船町 |
| 15 | 13 | - | - | x | - | - | - | x | 0 | 嘉島町 |
| 70 | 16 | 28 | 25 | x | - | - | - | x | 0 | 益城町 |
| 47 | 5 | 41 | 37 | - | 0 | 0 | - | 0 | 1 | 甲佐町 |
| 421 | 188 | 18 | 16 | x | 210 | 143 | 67 | x | 7 | 山都町 |
| 114 | 0 | 93 | 85 | - | 21 | - | x | - | 4 | 氷川町 |
| 87 | 66 | 1 | x | - | 20 | 0 | x | - | 1 | 芦北町 |
| 27 | 0 | - | - | 0 | 27 | - | x | - | 0 | 津奈木町 |
| 395 | 198 | 183 | 163 | x | - | - | - | x | 8 | 錦町 |
| 157 | 50 | 72 | 65 | - | 35 | 0 | 35 | 0 | 7 | 多良木町 |
| 45 | 26 | 17 | 15 | x | - | - | - | x | 1 | 湯前町 |
| 22 | 7 | - | - | - | 15 | 0 | x | 0 | 0 | 水上村 |
| 191 | 81 | 39 | 28 | - | 65 | - | x | 6 | 11 | 相良村 |
| - | - | - | - | - | - | - | - | - | 0 | 五木村 |
| 15 | 10 | 3 | 3 | - | 2 | x | - | - | 1 | 山江村 |
| 6 | 2 | 0 | 0 | x | - | - | - | x | 0 | 球磨村 |
| 431 | 180 | 153 | 137 | 10 | 87 | 39 | 48 | 1 | 22 | あさぎり町 |
| 29 | 22 | 6 | 6 | - | - | - | - | 0 | 0 | 苓北町 |

※令和6年の結果は、令和8年6月下旬に国が公表予定。

令和6～7年度（2024～2025年度）

熊本県農業動向年報

令和8年（2026年）6月発行

発行 熊本県農林水産部
Tel 096-333-2422

| |
|------------|
| 発行者：熊本県 |
| 所属：農林水産政策課 |
| 発行年度：令和8年度 |